



OFFICEJET PRO X476 AND X576 MFP SERIES

User Guide





HP Officejet Pro X476 and X576 MFP Series

ユーザー ガイド

著作権およびライセンス

© 2012 Copyright Hewlett-Packard Development Company, L.P.

事前の書面による許可なく複製、改変、変換することは、著作権法で許可されていない限り禁じられています。

本文書の内容は、事前の通知なく変更される可能性があります。

HP の製品およびサービスに対する唯一の保証は、当該製品またはサービスに付属の明示的な保証条項で規定されます。本文書のいかなる部分も、追加の保証を構成するとは見なされません。HP は、本文書に含まれる技術的または表記上の誤記や欠落について、一切の責任を負わないものとします。

Edition 3, 4/2014

商標について

Adobe®、Acrobat®、および PostScript® は、Adobe Systems Incorporated の商標です。

Intel® Core™ は、米国およびその他の国/地域における Intel Corporation の商標です。

Java™ は、Sun Microsystems, Inc. の米国における商標です。

Microsoft®、Windows®、Windows® XP および Windows Vista® は、Microsoft Corporation の米国における登録商標です。

UNIX® は、The Open Group の登録商標です。

ENERGY STAR および ENERGY STAR マークは、米国における登録マークです。

このガイドで使用されているマーク

 **ヒント：** ヒントは、役に立つヒントやショートカットを示します。

 **注記：** 注記は、概念の説明やタスクの完了に必要な、重要な情報を示します。

 **注意：** 注意は、データの損失やプリンタの損傷を避けるために従う必要がある手順を示しています。

 **警告！** 警告は、負傷、壊滅的なデータ損失、またはプリンタへの甚大な損害を回避するために従う必要がある特定の手順に注意を喚起します。

目次

1 製品の基本	1
製品概要	2
HP Officejet Pro X476 MFP Series モデル	2
HP Officejet Pro X576 MFP Series モデル	3
環境への配慮	4
ユーザー補助機能	4
製品ビュー	5
正面図	5
背面図	6
インタフェース ポート	7
シリアル番号およびモデル番号の位置	7
コントロール パネルのレイアウト	8
2 コントロール パネルのメニュー	13
コピー メニュー	13
ファクスメニュー	15
スキャンメニュー	15
アプリケーション	17
プラグアンドプリント	17
セットアップ メニュー	17
ファクス設定 メニュー	17
ネットワーク設定 メニュー	20
HP デジタルソリューションのセットアップ メニュー	22
デバイス セットアップ メニュー	22
ツール メニュー	26
レポートの印刷 メニュー	26
3 接続	29
USB ケーブルで製品を接続	29
CD からのインストール	29
ネットワークに製品を接続	30
対応ネットワーク プロトコル	30
有線ネットワーク上でソフトウェアをインストール	30
IP ネットワークの設定	32

HP ePrint	34
ワイヤレス ネットワークにプリンターを導入 (ワイヤレス モデルのみ)	34
ワイヤレス セットアップ ウィザードを使用して、プリンターをワイヤレス ネットワークに接続	34
WPS を使用して製品をワイヤレス ネットワークに接続	35
ネットワークでワイヤレス製品のソフトウェアを正しくインストール	35
製品のワイヤレス ネットワークへの手動接続	35

4 Windows での製品の使用 37

対応オペレーティング システムとプリンター ドライバ (Windows)	37
適切なプリンタ ドライバの選択 (Windows)	38
HP ユニバーサル プリンタ ドライバ (UPD)	38
印刷ジョブ設定の変更 (Windows)	39
印刷設定の優先度	39
すべての印刷ジョブの設定を変更する (ソフトウェア プログラムが終了するまで有効)	40
すべての印刷ジョブのデフォルト設定を変更する	40
製品の設定を変更する	40
Windows からプリンター ドライバを削除する	41
サポートされているユーティリティ (Windows)	41
その他の Windows コンポーネントおよびユーティリティ	41

5 Mac でのプリンターの使用 43

対応オペレーティング システムとプリンター ドライバ (Mac)	43
Mac コンピューター用ソフトウェア	43
HP Utility (Mac)	43
印刷設定の優先度 (Mac の場合)	44
プリンタ ドライバ設定の変更 (Mac の場合)	45
すべての印刷ジョブの設定を変更する (ソフトウェア プログラムが終了するまで有効)	45
すべての印刷ジョブのデフォルト設定を変更する	45
製品の設定を変更する	45
Mac オペレーティング システムからプリンター ドライバを削除する	45
サポートされているユーティリティ (Mac の場合)	46
HP 内蔵 Web サーバ	46
Mac でのファクス送信	46
Mac を使ったスキャン	47
Mac コンピュータにイメージをスキャンするには、HP Scan ソフトウェアを使用します。	47

Apple プレビューおよびイメージ キャプチャ アプリケーションを使用したスキャン (Mac OS X v10.6 以降)	47
Mac での問題の解決	48
6 用紙および印刷メディア	49
用紙の使い方	49
Windows でプリンタ ドライバを変更して用紙タイプとサイズを合わせる	50
使用可能な用紙サイズ	50
対応している用紙タイプおよびトレイの容量	53
用紙トレイのセット	55
トレイ 1 (製品左側の多目的トレイ) のセット	55
トレイ 2 またはトレイ 3 (オプション) へのセット	56
文書フィーダのセット	57
トレイの設定	58
7 インク カートリッジ	61
インク カートリッジ情報	61
サプライ品	62
インク カートリッジの図	62
インク カートリッジの管理	62
インク カートリッジの設定の変更	62
サプライ品の保管とリサイクル	63
HP の偽造防止 Web サイト	63
交換手順	64
インク カートリッジの交換	64
サプライに関する問題の解決	66
インク カートリッジの確認	66
サプライ品に関するコントロール パネルのメッセージの説明	68
8 印刷	71
印刷タスク (Windows)	71
プリンタ ドライバを開く (Windows の場合)	71
印刷オプションのヘルプを見る (Windows の場合)	72
印刷部数の変更 (Windows の場合)	72
再利用が可能なユーザー定義の印刷設定を保存する (Windows の場合)	72
印刷品質の向上 (Windows の場合)	75
両面印刷 (Windows の場合)	76
1 枚の用紙に複数ページを印刷する (Windows の場合)	77
用紙の向きを選択する (Windows の場合)	78

詳細カラー オプションの設定 (Windows)	79
印刷タスク (Mac)	80
印刷機能のプリセットの作成および使用 (Mac の場合)	80
表紙の印刷 (Mac の場合)	80
1 枚の用紙への複数ページの印刷 (Mac の場合)	81
両面印刷 (Mac の場合)	81
カラー オプションの設定 (Mac の場合)	81
その他の印刷タスク (Windows)	83
Windows で印刷ジョブをキャンセルする	83
カラー テキストをモノクロ (グレースケール) で印刷 (Windows の場合)	83
特殊な用紙またはラベルへの印刷 (Windows)	83
最初または最後のページを異なる用紙に印刷 (Windows の場合)	85
Windows で文書を用紙サイズに合わせて拡大縮小	87
透かしの文書への追加 (Windows の場合)	88
ブックレットの作成 (Windows の場合)	88
その他の印刷タスク (Mac OS X)	90
Mac で印刷ジョブをキャンセルする	90
Mac で使用する用紙のサイズとタイプの変更	91
文書のサイズ変更またはカスタム用紙サイズへの印刷 (Mac の場合)	91
透かしの使用 (Mac の場合)	91
HP ePrint を使用する	91
HP ePrint Mobile ドライバを使用する	92
AirPrint	93
HP ワイヤレス ダイレクトによるプリンターの接続	94
Wi-Fi 対応のモバイル デバイスからの接続と印刷	94
Wi-Fi 対応のコンピューターからのワイヤレス ルーターおよびワイヤレス ダイレク トを経由した接続	95
Wi-Fi 対応のコンピューターからのワイヤレス ダイレクトのみを経由した接続	95
USB 経由の印刷からワイヤレス ダイレクト接続への変更	96
プラグアンドプリント USB ドライブ印刷	96
9 カラー	99
カラーの調整	99
印刷ジョブのカラー テーマの変更	99
カラー オプションを変更する	100
[HP EasyColor] オプションの使用	101
カラーをコンピューター画面と一致させる	102
色あせおよび水濡れに強い印刷	103

10 コピー	105
コピー機能の使用	105
コピー	105
複数コピー	106
複数ページの原稿のコピー	106
ID カードのコピー	107
コピー ジョブのキャンセル	108
縮小/拡大コピー	108
コピーの丁合い	109
コピー設定	109
スキャナ ガラスにごみや汚れがないか検査する	109
コピーの薄さまたは濃さを調整する	111
カスタム コピー設定を定義する	111
特殊用紙にコピーする場合の用紙サイズと用紙タイプを設定する	112
写真をコピーする	112
複数のサイズが混在する原稿をコピーする	113
両面コピー	114
自動両面コピー	114
11 スキャン	115
スキャン機能の使用	115
スキャン方法	115
スキャンのキャンセル	117
スキャン設定	118
スキャナの解像度とカラー	118
スキャン品質	119
USB への写真のスキャン	120
12 ファクス	123
ファクス機能を設定する	123
ハードウェアの設置と接続	123
ファクスの設定	123
HP ファクス セットアップ ウィザードの使用 (Windows)	124
電話帳を使用する	124
短縮ダイヤルを使用する	125
グループ ダイヤル エントリを管理する	126
ファクスの設定を行う	126
ファクス送信設定	126
ファクス受信設定	129

ファクス ポーリングの設定	132
ファクスを使用する	133
ファクス ソフトウェア	133
ファクスのキャンセル	133
DSL システム、PBX システム、または ISDN システムでファクスを使用する	134
VoIP サービスでのファクスの使用	135
ファクス メモリ	135
メモリからファクスを削除する	135
ファクスの送信	136
ファクスを受信する	142
ファクスに関する問題を解決する	143
ファクス トラブルシューティング チェックリスト	143
ファクス エラー メッセージ	144
ファクスのログおよびレポート	149
エラー修正およびファクス速度の変更	151
ファクス送信の問題を解決する	151
ファクス受信の問題を解決する	157
一般的なファクスの問題の解決	161
規制に関する情報および保証	163
13 管理とメンテナンス	165
情報ページの印刷	165
HP 内蔵 Web サーバーの使用	166
Cookie について	167
HP 内蔵 Web サーバーの起動	167
機能	168
HP Web Jetadmin ソフトウェアの使用	171
プリンターのセキュリティ機能	171
セキュリティ ステートメント	171
HP 内蔵 Web サーバーでの管理者パスワードの割り当て	171
コントロール パネル ロック	171
未使用のプロトコルおよびサービスの無効化	172
管理者設定	173
カラー印刷アクセス制御	173
保護されたプロトコル - HTTPS	173
Firewall	173
フォルダーへのスキャンおよびフォルダーへのファクスの認証	173
Syslog	173
証明書	174

署名付きファームウェア	174
ワイヤレス認証	174
エコノミー設定	174
一般オフィス モードでの印刷	174
電力管理	174
プリンターのクリーニング	175
プリントヘッドのクリーニング	175
スキャナ ガラスのタブとプラテンのクリーニング	176
文書フィーダピックアップ ローラーおよび仕分けパッドのクリーニング	177
タッチ スクリーンのクリーニング	178
製品のアップデート	178
14 問題の解決	179
カスタマ サポート	179
問題解決のチェックリスト	179
手順 1: 製品の電源が入っていることの確認	180
手順 2: コントロール パネルのエラー メッセージの確認	180
手順 3: 印刷機能のテスト	180
手順 4: コピー機能のテスト	181
手順 5: ファクス送信機能のテスト	181
手順 6: ファクス受信機能のテスト	181
手順 7: コンピューターからの印刷ジョブの送信	181
手順 8: プラグアンドプリント USB ドライブ印刷機能のテスト	181
プリンターの性能に影響を与える要因	182
出荷時のデフォルト設定の復元	182
用紙送りが滑らかでない、または紙詰まりが発生する	182
用紙がピックアップされない	182
複数枚の用紙がピックアップされる	183
紙詰まりを防ぐ	183
紙詰まりの解消	183
紙詰まりの場所	183
文書フィーダの紙詰まりを解決する	184
トレイ 1 (多目的トレイ) の紙詰まりの解消	186
トレイ 2 の紙詰まりの除去	189
トレイ 3 (オプション) の紙詰まりの除去	190
左のドアの紙詰まりを取り除く	192
排紙ビンの紙詰まりの除去	193
両面印刷ユニットの紙詰まりの除去	194
印刷品質の改善	196

プリンタ ドライバで正しい用紙タイプ設定を使用する	197
カラーの調整	197
HP の仕様を満たす用紙を使用する	200
インク カートリッジの確認	201
インクのにじみのクリーニング	203
プリントヘッドのクリーニング	203
自社の印刷ニーズに最適なプリンタ ドライバを使用する	204
コピー処理におけるプリント品質を向上させる	205
印刷されない、または印刷速度が遅い	206
印刷されない	206
印刷速度が遅い	207
プラグアンドプリント USB ドライブ印刷の問題の解決	207
USB アクセサリを挿入したときに [USB Print] メニューが開かない	208
USB ストレージ デバイスのファイルが印刷されない	208
印刷するファイルが [USB Print] メニューに一覧表示されない	208
製品の接続に関する問題を解決する	209
USB 直接接続に関する問題の解決	209
ネットワークに関する問題の解決	209
ワイヤレス ネットワークに関する問題の解決	211
ワイヤレス接続チェックリスト	211
コントロール パネルに、「プリンターのワイヤレス機能が無効になっている」と表示される。	212
ワイヤレス設定が完了しても印刷されない	212
印刷されない (コンピュータにサードパーティのファイアウォールがインストールされている場合)	213
ワイヤレス ルーターまたはプリンターの移動後、ワイヤレス接続が上手くいかない ..	213
ワイヤレス製品にコンピュータを追加接続できない	213
VPN に接続すると、ワイヤレス製品の通信が切断される	214
対象のネットワークが、ワイヤレス ネットワーク リストに表示されていない	214
ワイヤレス ネットワークが機能していない	215
Windows において、プリンタのソフトウェアに関する問題を解決する	215
Mac において、プリンタのソフトウェアに関する問題を解決する	216
[プリントとスキャン] リストにプリンター ドライバが表示されない	217
[プリントとスキャン] の製品リストにこの製品の名前が表示されない	217
[プリントとスキャン] リストで選択したプリンターがプリンター ドライバによって自動セットアップされない	217
印刷ジョブが、目的のプリンタに送信されない	217
USB ケーブルを使用して接続している場合、ドライバ選択後に [プリントとスキャン] リストに製品が表示されない	218
プリンタを USB 接続しているときに汎用プリンタ ドライバを使用している	218

付録 A サプライ品およびアクセサリ	219
部品、アクセサリ、およびサプライ品の注文	219
製品番号	219
付録 B サービスおよびサポート	221
Hewlett-Packard 社製品限定保証	221
ソフトウェア使用許諾契約書	222
OpenSSL	224
カスタマ サポート	225
付録 C 製品の仕様	227
物理的仕様	227
電力消費、電気仕様、および稼働音	227
AE (acoustic emissions : アコースティック エミッション)	227
環境仕様	228
付録 D 環境製品ステewardシップ プログラム	229
環境の保護	229
オゾン放出	229
消費電力	229
用紙の使用	230
プラスチック	230
HP Officejet サプライ品	230
回収およびリサイクル手順	231
米国およびプエルトリコ	231
米国以外でのリサイクル品の回収	232
バッテリーの廃棄	232
プリンターのリサイクル	232
用紙	232
材料の制限	232
ユーザーによる使用済み機器の廃棄	233
電子ハードウェアのリサイクル	233
化学物質	234
化学物質安全性データシート (MSDS)	234
詳細について	234
成分表 (中国)	235
有害物質に関する制限の規格 (トルコ)	235
有害物質に関する制限の規格 (ウクライナ)	235
有害物質に関する制限の規格 (ベトナム)	235

付録 E 規制に関する情報	237
規制に関する告知	237
規定モデル識別番号	237
FCC 規定	237
VCCI 規格（日本）	238
電源コードの使用手順	238
電源コード規格（日本）	238
EMC ステートメント（韓国）	238
GS 規格（ドイツ）	239
欧州連合規制通知	239
電気通信（ファクス）製品向けのその他の規格	240
通信運用に関する EU ステートメント	240
New Zealand Telecom Statements	240
Additional FCC statement for telecom products (US)	241
Telephone Consumer Protection Act (US)	242
Industry Canada CS-03 requirements	242
Note à l'attention des utilisateurs du réseau téléphonique Canadien/notice to users of the Canadian telephone network	243
オーストラリアの有線ファクスに関する声明	243
ドイツ電話網ユーザーへの告知	243
ベトナムの有線通信における ICTQC で型番認証された製品に対するマーク	244
ワイヤレス製品の追加規定	244
FCC 準拠の規定 - 米国	244
米国およびカナダのユーザー向けの通知	244
オーストラリアの規定	244
ブラジル ANATEL 規定	244
カナダの規定	244
日本の規定	245
韓国の規定	245
台湾の規定	245
メキシコの規定	246
匿名の使用状況情報の保存	246
付録 F 操作	247
索引	249

1 製品の基本

- [製品概要](#)
- [環境への配慮](#)
- [ユーザー補助機能](#)
- [製品ビュー](#)

製品概要

HP Officejet Pro X476 MFP Series モデル

Officejet Pro X476dn モデル

CN460A



用紙処理 :

- トレイ 1 (50 枚用、75 GSM または 20 ポンド ボンド用紙)
- トレイ 2 (500 枚用、75 GSM または 20 ポンド ボンド用紙)
- オプションのトレイ 3 (500 枚用、75 GSM または 20 ポンド ボンド用紙)
- ADF フィーダ トレイ (50 枚用、75 GSM または 20 ポンド ボンド用紙)
- 標準排紙ビン (250 枚用、75 GSM または 20 ポンド ボンド用紙)
- 自動両面印刷

サポートされているオペレーティング システム :

- Windows XP (32 ビット版、Service Pack 2 以上)
- Windows Vista (32 ビット版および 64 ビット版)
- Windows 7 (32 ビット版および 64 ビット版)
- Windows 8 (32 ビット版および 64 ビット版)
- Windows 8 Pro (32 ビット版および 64 ビット版)
- Mac OS X バージョン 10.6 以上

注記 : オペレーティング システムのサポートの詳細については、「対応オペレーティング システムとプリンタ ドライバ (Windows)」を参照してください。

接続 :

- 高速 USB 2.0
- 10/100 Ethernet (有線) LAN 接続

印刷 :

- レター サイズ用紙にプロフェッショナル品質で片面印刷した場合、カラー、モノクロとも最大毎分 30 ページ (ppm) の印刷が可能
- レター サイズ用紙にプロフェッショナル品質で両面印刷した場合、カラー、モノクロとも最大毎分 15 ページ (ppm) の印刷が可能
- プラグアンドプリント USB ドライブ印刷 (コンピューター不要)

コピー :

- モノクロの場合最大 20ppm、カラーの場合最大 15ppm でコピー
- 長さが 127 ~ 356mm (5 ~ 14 インチ)、幅が 127 ~ 216mm (5 ~ 8.5 インチ) のページをサポートする 50 ページ文書フィーダ
- フラットベッド スキャナは、長さが最大 297mm (11.7 インチ)、幅が最大 215mm (8.5 インチ) のページをサポート
- 自動両面コピー

スキャン :

- 自動両面スキャン
- メモリ デバイスへのスキャン (コンピューター不要)

ファクス :

- RJ-11 ファクス ポートを備えた V.34

Officejet Pro X476dw モデル

CN461A



Officejet Pro X476dn シリーズと同じ機能に加え、次の機能を備えています。

- 802.11 B/G/N シングル バンド ワイヤレス アダプタ
- HP ワイヤレス ダイレクト印刷

HP Officejet Pro X576 MFP Series モデル

Officejet Pro X576dw モデル

CN462A



用紙処理 :

- トレイ 1 (50 枚用、75 GSM または 20 ポンド ポンド用紙)
- トレイ 2 (500 枚用、75 GSM または 20 ポンド ポンド用紙)
- オプションのトレイ 3 (500 枚用、75 GSM または 20 ポンド ポンド用紙)
- ADF フィーダ トレイ (50 枚用、75 GSM または 20 ポンド ポンド用紙)
- 標準排紙ビン (250 枚用、75 GSM または 20 ポンド ポンド用紙)
- 自動両面印刷

サポートされているオペレーティング システム :

- Windows XP (32 ビット版、Service Pack 2 以上)
- Windows Vista (32 ビット版および 64 ビット版)
- Windows 7 (32 ビット版および 64 ビット版)
- Windows 8 (32 ビット版および 64 ビット版)
- Windows 8 Pro (32 ビット版および 64 ビット版)
- Mac OS X バージョン 10.6 以上

注記 : オペレーティング システムのサポートの詳細については、「対応オペレーティング システムとプリンタ ドライバ (Windows)」を参照してください。

接続 :

- 高速 USB 2.0
- 802.11 B/G/N シングル バンド ワイヤレス アダプタ
- 10/100 Ethernet (有線) LAN 接続
- HP ePrint
- HP ワイヤレス ダイレクト印刷

印刷 :

- レター サイズ用紙にプロフェッショナル品質で片面印刷した場合、カラー、モノクロとも最大毎分 40 ページ (ppm) の印刷が可能
- レター サイズ用紙にプロフェッショナル品質で両面印刷した場合、カラー、モノクロとも最大毎分 20 ページ (ppm) の印刷が可能
- プラグアンドプリント USB ドライブ印刷 (コンピューター不要)

コピー :

- モノクロの場合最大 20ppm、カラーの場合最大 15ppm でコピー
- 長さが 127 ~ 356mm (5 ~ 14 インチ)、幅が 127 ~ 216mm (5 ~ 8.5 インチ) のページをサポートする 50 ページ文書フィーダ
- フラットベッド スキャナは、長さが最大 297mm (11.7 インチ)、幅が最大 215mm (8.5 インチ) のページをサポート
- 自動両面コピー

スキャン :

- 自動両面スキャン
- メモリ デバイスへのスキャン (コンピューター不要)

ファクス :

- RJ-11 ファクス ポートを備えた V.34

環境への配慮

両面印刷	自動両面印刷は、Officejet Pro X476 および Officejet Pro X576 で使用できます。両面印刷は、環境負荷を減らし、費用を節約する効果があります。
1 枚の用紙に複数ページを印刷する	1 枚の用紙に同じ文書の複数のページを並べて印刷すると、用紙が節約できます。この機能は、プリンター ドライバから使用できます。
1 枚の用紙に複数ページをコピーする	1 枚の用紙に原稿の 2 ページ分を並べてコピーすると、用紙が節約できます。
リサイクル	再生紙を使って廃棄物を削減します。 インク カートリッジは、HP Planet Partners 返却処理を利用してリサイクルしてください。
省電力	この製品は、スリープ モードとタイマー オプションにより、印刷していないときはすぐに節電状態になるため、省電力です。

 **注記：** 4 時間より長く使用しない場合は、プリンターの電源をオフにすることで、さらに電力を節約できます。

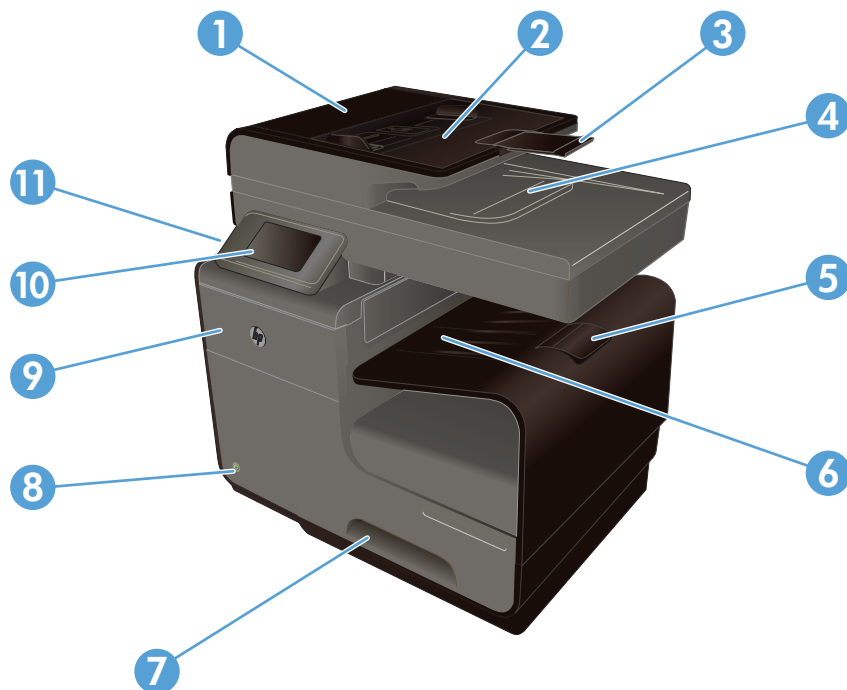
ユーザー補助機能

製品には、視覚、聴覚、手の機能、筋力に制限がある方を支援する機能が備わっています。

- 文字読み上げソフトに対応する、オンライン ユーザー ガイド。
- インク カートリッジは片手で取り付けおよび取り外し可能。
- ドアおよびカバーはすべて片手で開閉可能。

製品ビュー

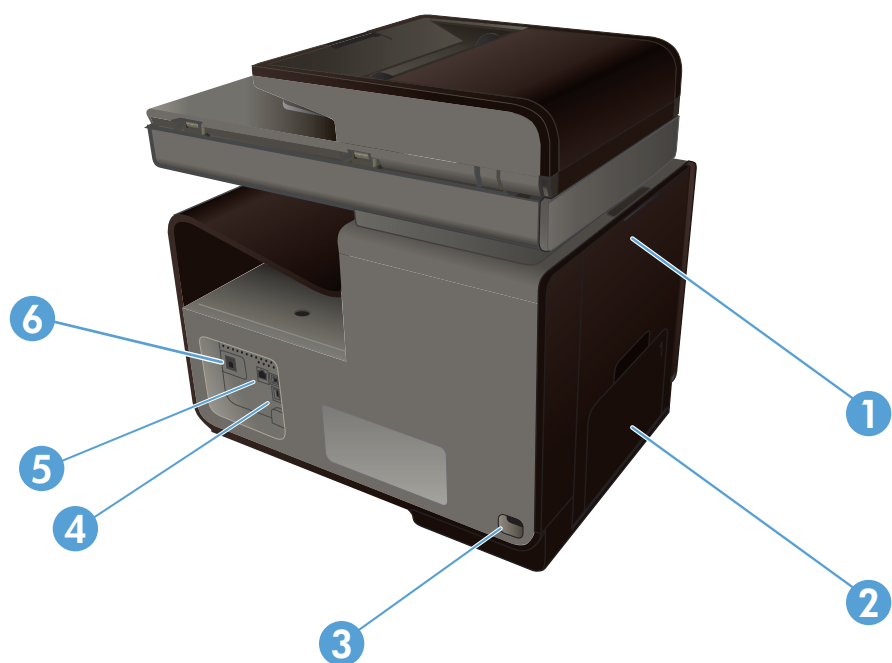
正面図



1	文書フィーダ カバー (紙詰まりを解消する際に操作する)
2	文書フィーダ給紙トレイ
3	文書フィーダ給紙トレイの延長部分
4	文書フィーダ排紙ビン
5	排紙ビン拡張
6	排紙ビン
7	トレイ 2 - メイン用紙トレイ
8	オン/オフ ボタン
9	インク カートリッジ ドア
10	カラー タッチ スクリーンのコントロール パネル
11	USB 2.0 ポート

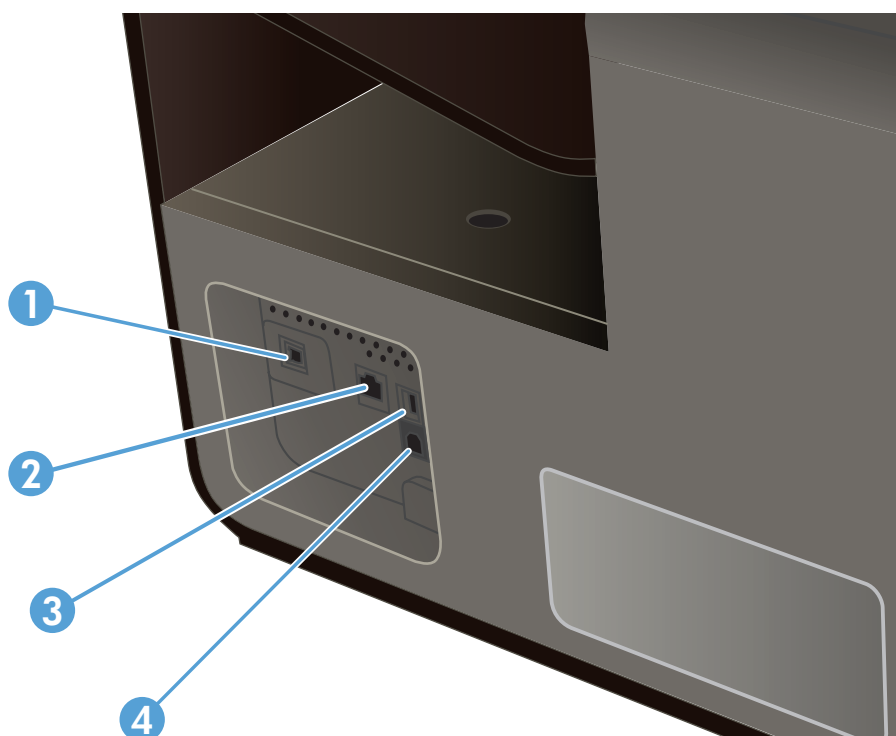
 **重要：** プリンターを 15 度より大きく傾けると、特に起動直後には、インクの漏れが生じるおそれがあります。プリンターを移動する際には注意してください。

背面図



1	左ドア (紙詰まりの除去時に開く)
2	トレイ 1 (多目的トレイ)
3	電源接続
4	Hi-Speed USB 2.0 ポート
5	Ethernet ポート
6	ファクス回線ポート

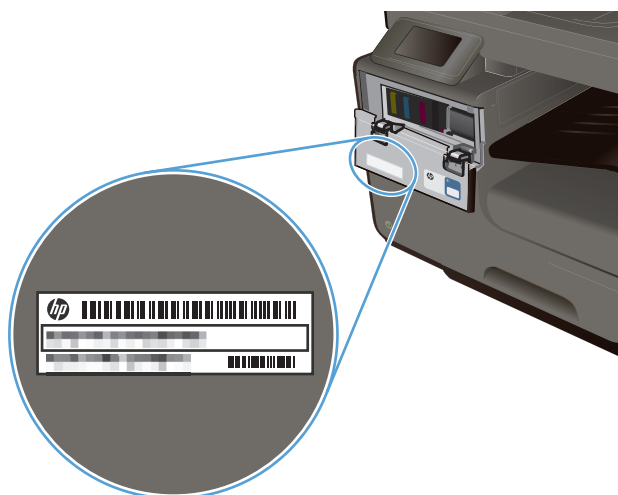
インターフェース ポート



1	ファクス回線ポート
2	Ethernet ポート
3	USB ホスト ポート (USB ストレージ デバイスを接続して、USB へのスキャンやプラグアンドプリント印刷に使用)。 注記： USB ホスト ポートは、製品正面のコントロール パネルの後ろにもあります。
4	USB デバイス ポート (ネットワークおよびワイヤレス接続の代わりとして PC と USB ケーブルで接続するために使用)。

シリアル番号およびモデル番号の位置

インク カートリッジ ドアを開くと、シリアル番号と製品モデル番号のラベルが見えます。



コントロール パネルのレイアウト



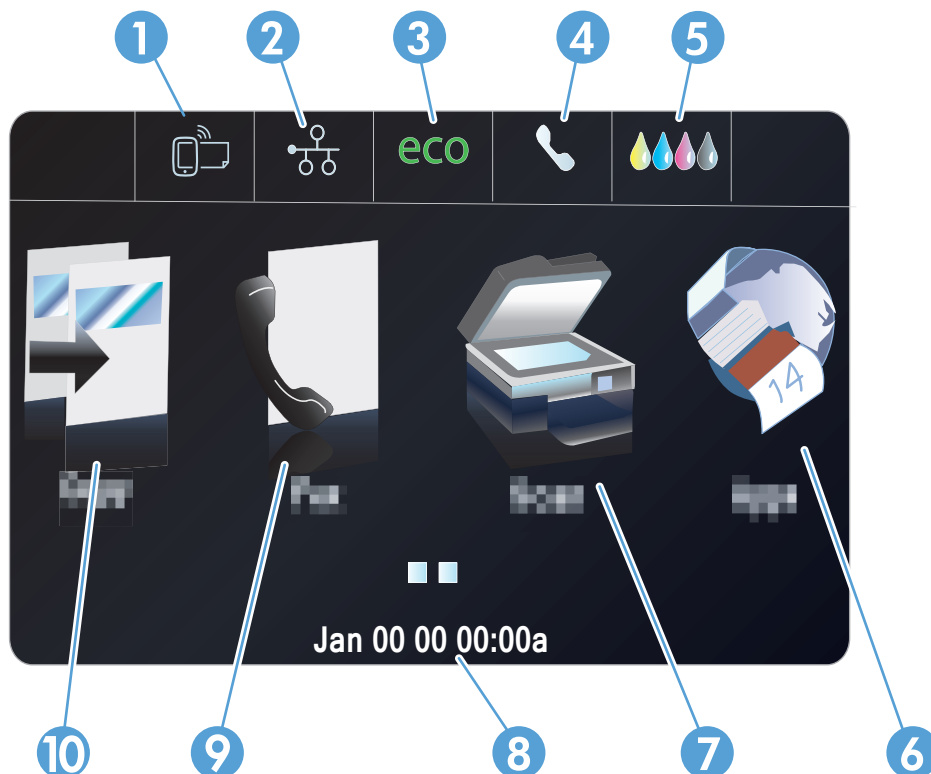
1		ディスプレイおよびタッチ スクリーン領域
2	?	ヘルプ ボタン： 製品のヘルプ システムにアクセスします
3	▶	右矢印ボタン： カーソルを右に移動するか、表示イメージを次の画面に移動します。 注記： このボタンは、現在の画面でこの機能を使用できるときのみ点灯します。
4	✖	キャンセル ボタン： 現在のジョブのキャンセル、または現在の画面の終了を行います。 注記： このボタンは、現在の画面でこの機能を使用できるときのみ点灯します。

5		戻るボタン：前の画面に戻ります。 注記： このボタンは、現在の画面でこの機能を使用できるときのみ点灯します。
6		左矢印ボタン：カーソルを左に移動します。 注記： このボタンは、現在の画面でこの機能を使用できるときのみ点灯します。
7		ホーム ボタン：ホーム画面にすばやくアクセスできます。このボタンは、現在の画面でこの機能を使用できるときのみ点灯します。
8		ワイヤレス ランプ：ワイヤレス ネットワークが有効であることを示します。ランプは、プリンターがワイヤレス ネットワークへの接続を確立している間点滅します。接続すると、ランプの点滅が止まり、点灯したままになります。

ホーム画面のボタン

ホーム画面からプリンターの各機能にアクセスしたり、プリンターのステータスを確認したりできます。

 **注記：** プリンターの構成によっては、ホーム画面の機能が異なることがあります。一部の言語では、レイアウトが逆の場合もあります。



- | | |
|---|---|
| 1 | Web サービス  ボタン： HP ePrint などの HP Web サービスの機能にすぐにアクセスできます。

HP ePrint は、電子メール対応デバイスを使用して文書をプリンターの電子メール アドレスに送信し、文書を印刷するツールです。 |
| 2 | ネットワーク  ボタン： ネットワークの設定と情報にアクセスできます。 ネットワーク設定画面からは、 ネットワークの概要 ページの印刷、ワイヤレス ネットワーク接続のセットアップ、ネットワーク詳細設定へのアクセスが可能です。

注記： ワイヤレス ネットワーク機能は一部のモデルでのみ使用できます。
注記： ワイヤレス ネットワークに接続しているとき、このアイコンは一連の信号強度バーに変わります。 |
| 3 | エコ設定eco ボタン： 省電力と用紙節約に役立つオプションのリストを表示します。 |
| 4 | ファクス ステータス  ボタン： 使用可能なファクス レポートと設定のリストを表示します。 |
| 5 | サプライ品  ボタン： サプライ品のステータスに関する情報が表示されます。 サプライ品の要約画面からは、 サプライ品のステータス ページを印刷できます。 |
| 6 | Apps  ボタン： アプリケーション メニューにアクセスして、特定の Web アプリケーションから直接印刷できます。 |

7	スキャン  ボタン： スキャン機能にアクセスできます。
8	ステータス表示。 製品がアイドル状態のときには、コントロール パネルのこの領域には日付と時刻が表示され、タッチすることで日付と時刻の設定を行うことができます。 製品がジョブを処理しているときには、日付と時刻の代わりにジョブ ステータス情報が表示されます。
9	ファクス  ボタン： ファクス機能にアクセスできます。
10	コピー  ボタン： コピー機能にアクセスできます。

[ホーム] 画面からコントロール パネルの右矢印ボタンをタッチして、**USB ドキュメント印刷**  button および **セットアップ**  ボタンにアクセスできます。 [USB ドキュメント印刷] ボタンは、プラグアンドプリント USB ドライブ印刷およびスキャン機能にアクセスするために使用します (コンピューターは不要)。[セットアップ] ボタンは、製品の設定にアクセスするために使用します。

コントロール パネルのヘルプ システム

このプリンターには、各画面の使い方を説明するヘルプ システムが組み込まれています。 ヘルプ システムを開くには、コントロール パネルの右上隅のヘルプ  ボタンを押します。

一部の画面では、[ヘルプ] にタッチすると、特定のトピックを検索できるグローバル メニューが表示されることがあります。 メニューのボタンにタッチして、メニュー構造を参照できます。

一部の [ヘルプ] 画面には、紙詰まりの解消などの手順を示すアニメーションが含まれています。

個々のタスクの設定が表示されている画面からヘルプを開くと、そのタスクのオプションについて説明するトピックが表示されます。

2 コントロール パネルのメニュー

- [コピー メニュー](#)
- [ファクスメニュー](#)
- [スキャンメニュー](#)
- [アプリケーション](#)
- [プラグアンドプリント](#)
- [セットアップ メニュー](#)

コピー メニュー

これらの機能にアクセスするには、コントロール パネルで**コピー**  ボタンをタッチします。

 **注記：** このメニューで変更した設定は、最後のコピーが完了してから 2 分後に期限切れになります。

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	説明
部数	(1 ~ 99)		部数を入力します。
両面印刷	片面から片面 コピー*		コピーの両面印刷設定を指定します。
	片面から両面 コピー		
	両面から片面 コピー		
	両面から両面 コピー		
薄い/濃い			コピーの濃淡を指定します。
スタート	黒		モノクロまたはカラー コピーを指定します。
	カラー		
プレビュー			コピーする内容を画面上にプレビューします。

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	説明
設定	HP 修正コピー	オン オフ*	モノクロ コピーの黒い枠を消去し、ページの傾きを補正して印刷物の品質を自動的に高めめます。
	ID コピー	オン オフ*	ID カードの両面や、他の小さいサイズの文書を、1 枚の用紙の同じ面にコピーします。
	リサイズ	実際* フル ページ = 91% 用紙の大きさに合わせる リーガル サイズからレター サイズ (72%) A4 から Letter=91% カスタム サイズ 1 ページに 2 枚	コピーのサイズを変更します。
	品質	プレゼンテーション プロフェッショナル* 一般オフィス	コピーの品質を設定します。
	丁合い	オン オフ*	コピージョブで丁合いを行うかどうかを指定します。
	余白の変更	オン オフ*	左の余白を移動して綴じ代を作ります。
	トリミング		ページの特定部分をコピーします。
	コピー プレビュー		コピーする内容を画面上にプレビューします。
	トレイ選択	トレイ 1 トレイ 2* トレイ 3	コピーに使用するトレイと、用紙のサイズおよび種類を指定します。
	強調	テキスト フォト 混在* なし	コピーの特定の性質を改善します。
	新しいデフォルト値として設定		このメニューに加えた変更をすべて新しいデフォルトとして保存します。

ファクスメニュー

これらのメニューを開くには、**ファクス**  ボタンをタッチします。

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	説明
設定	解像度	標準	送信される文書の解像度を設定します。 解像度が高いほどインチあたりのドット数 (dpi) が多くなり、より詳細に表示されます。 解像度が低いほどインチあたりのドット数が少なくなりイメージの詳細度は低下しますが、ファイル サイズが小さくなります。
		高解像度*	
		超高画質	
		フォト	
	薄い/濃い		ファクスの明るさのレベルを設定します。
	ファクス送信原稿	片面原稿	ファクスが用紙に送信される方法を設定します。
		両面原稿	
		カバーページ付き両面原稿	
	新しいデフォルト値として設定		調整した設定を製品の新しいデフォルトとして保存します。
ファクス方法	スキャンとファクス		ダイヤル前にドキュメント全体をスキャンし、ファクスの 1 ページ目の画像を確認ページに印刷します。
	ブロードキャスト ファクス		ブロードキャスト機能を使用すると、配信リストの宛先にファクスを送信できます。 ブロードキャスト ファクスを送信するには、ブロードキャスト リストを作成しておく必要があります。
	ファクスを後で送信		ファクスを日時指定して送信できるようにします。
	ポーリング受信		別のマシンからリモートでファクスを送信できます。

スキャンメニュー

これらのメニューを開くには、**スキャン**  ボタンをタッチします。

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	説明
コンピューター			製品と同じネットワーク上にあるか、製品に接続されているコンピューターにスキャンします。
メモリ デバイス			製品に接続された USB ドライブにスキャンします。
ネットワーク フォルダ			ネットワーク上のフォルダーまたはディレクトリにスキャンします。
電子メール			指定した電子メール アドレスにスキャンを送信します。
文書タイプ	PDF カラー (圧縮)		
	PDF カラー		
	PDF 黒		
	JPEG カラー		
	JPEG グレースケール		
	モノクロ TIFF		
解像度	600dpi* (ガラス面からのスキャンのデフォルト解像度)		スキャンされたイメージに使用する解像度を指定します。
	300dpi* (ADF からのスキャンのデフォルト解像度)		解像度が高いとスキャン品質が上がりますが、ファイル サイズも大きくなります。
	200dpi		
	75dpi		
ファイル名			スキャン ジョブ ファイルの標準的なファイル名プレフィックスの設定方法が提供されます。
設定 (スキャン方法を選択した後で設定を調整可能)	原稿	片面原稿* 両面原稿	スキャンする原稿の面の数を指定します。
	薄い/濃い		スキャンの濃淡をスライダで選択できます。
	用紙サイズ	自動* レター (8.5 x 11 インチ) リーガル (8.5 x 14 インチ) 4x6 5x7	スキャンされたファイルに使用するページのサイズを指定します。デフォルトのページ サイズは国によって異なります。
	新しいデフォルト値として設定		このメニューに加えた変更をすべて新しいデフォルトとして保存します。

アプリケーション

[Apps] メニューからは、製品の Web サービスを有効にしたり、HP ePrint およびプリント Apps を使用したりすることができます。

プラグアンドプリント

[プラグアンドプリント] メニューを使用すると、USB フラッシュ ドライブまたはハード ドライブから直接印刷することができます。

セットアップ メニュー

このメニューを開くには、**セットアップ**  ボタンをタッチします。使用可能なサブメニューは以下のとおりです。

- [ファクス設定 メニュー](#)
- [ネットワーク設定 メニュー](#)
- [HP デジタルソリューションのセットアップ メニュー](#)
- [デバイス セットアップ メニュー](#)
- [ツール メニュー](#)
- [レポートの印刷 メニュー](#)

ファクス設定 メニュー

次の表で、アスタリスク (*) の付いている項目は出荷時のデフォルト設定を示しています。

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	説明
ファクス設定ウィザード			これは、ファクス設定を構成するツールです。画面上の指示に従って、各質問に対する適切な応答を選択します。
短縮ダイヤル設定	短縮ダイヤルの追加/編集		保存されているファクスの個別宛先または宛先グループ情報を設定します。
	グループ短縮ダイヤル		
	短縮ダイヤルを削除		
	短縮ダイヤルの印刷		
ファクスの基本設定	ファクス ヘッド	名前を入力	受信側製品に送信される識別情報を設定します。
		ファクス番号を入力します。	
	両面 ファクス印刷	片面に印刷*	着信ファクスの印刷で便利さと節約のどちらを優先するかを指定します。
		両面に印刷	

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	説明
	自動応答	オン* オフ	ファクスを自動 (オン) または手動 (オフ) で受信します。 デフォルト設定は国によって異なります。
	応答するまでの呼び出し回数		ファクス モデムが応答するまでの呼び出し回数を設定します。デフォルト設定は 5 です。
	ファクス用紙サイズ	レター (8.5 x 11 インチ) A4 (297 x 210mm) リーガル (8.5 x 14 インチ)	送信ファクスのデフォルト用紙サイズを設定します。
	ファクス音のボリューム	ソフト* 音量大 オフ	ファクス接続信号の音量を設定します。
	ダイヤルの種類	トーン ダイヤル* パルス ダイヤル	トーン ダイヤルまたはパルス ダイヤルのどちらを使用するかを設定します。
	ダイヤル識別番号	オン オフ*	プリンターからファクスを送信するときにダイヤルする必要があるプレフィックス番号を指定します。 この機能が有効な場合、プリンターにより番号の入力が求められ、ファクスを送信するたびにその番号が自動的に含められます。
	迷惑ファクスのブロック	迷惑ファクスのブロック 番号の追加 すべての番号を削除 レポートの印刷	迷惑ファクス リストを変更します。 迷惑ファクス リストには、最大 100 個の番号を含めることができます。 プリンターが迷惑ファクス番号を受信すると、その受信ファクスを削除します。 また、迷惑ファクスのログを、他のジョブ会計情報とともに使用状況ログに記録します。 レポートの印刷時に、迷惑ファクス一覧、着信識別履歴、ファクス ログの印刷を選択できます。 注記： この機能を使用するには、電話会社に着信識別サービスを申し込む必要があります。
	HP デジタル ファクス	設定の表示 ファクス印刷 HP デジタルファクスを無効にします。	HP デジタル ファクス機能を使用するには、製品に付属しているソフトウェアと、製品と同じネットワークに接続されたコンピューターを使用して、機能を設定します。

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	説明
ファクスの詳細設定	特徴のある呼び出し	呼び出し音のパターン 検出	独自の呼び出し電話サービスを利用している場合、この項目を使用してプリンターが着信に応答する方法を設定します。
		すべての呼び出し*	● すべての呼び出し: プリンターは、電話回線をとおして着信するすべての呼び出しに応答します。
		1 回	● 1 回: プリンターは、1 回呼び出しパターンを生成するすべての呼び出しに応答します。
		2 回	● 2 回: プリンターは、2 回呼び出しパターンを生成するすべての呼び出しに応答します。
		3 回	● 3 回: プリンターは、3 回呼び出しパターンを生成するすべての呼び出しに応答します。
		2 回および 3 回	● 2 回および 3 回: プリンターは 2 回呼び出しまたは 3 回呼び出しパターンを生成するすべての呼び出しに応答します。
	リダイヤル セットアップ	ビジー リダイヤル 応答なしリダイヤル 通信エラー リダイヤル	話し中、応答なし、または通信エラーの発生時に、製品がリダイヤルを試みるかどうかを設定します。
	ファクス スタンプ	オン オフ*	受信ファクスの各ページに日付、時刻、送信者の電話番号、ページ番号が印刷されるように設定します。
	ファクスの確認	オン (ファクス送信)* オン (ファクス受信) オン (ファクス送受信) オフ	有効にした場合、ファクスのサムネイル画像をファクス確認ページに印刷します。
	自動縮小	オン* オフ	[用紙の大きさに合わせる] オプションをオンにすると、長いファクスが最大で 75% 自動的に縮小され、デフォルトの用紙サイズに情報が適合します (たとえばリーガル サイズからレター サイズにファクスが縮小します)。 [用紙の大きさに合わせる] オプションをオフにすると、長いファクスはフルサイズで複数ページに印刷されます。 受信ファクス自動縮小の出荷時のデフォルト設定は [オン] です。 [ファクスの受信スタンプ] オプションをオンにした場合は、自動縮小もオンにしなければならないことがあります。 これによって受信ファクスのサイズがわずかに小さくなり、ページスタンプのためにファクスが 2 ページになることが防止されます。
	バックアップ ファクス受信	オン* エラーの場合のみ オフ	受信ファクスの電子的バックアップを記録します。
	エラー修正モード	オン* オフ	エラー修正モードでは、エラー信号が検出された場合に送信側デバイスがデータを再送信できます。

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	説明
	ファクス番号の確認	オン オフ*	製品が送信前にファクス番号を確認するかどうかを設定します。
	ファクスの速度	はやい (33600 bps)* 標準 (14400 bps) おそい (9600 bps)	ファクス通信速度を設定します。
	ファクスの転送	オン (印刷および転送) オン (転送) オフ*	ファクスを別のファクス機に転送します。 ハードコピーを印刷するには、印刷および転送オプションを選択します。
	ファクス レポート	オン (ファクス送信)* オン (ファクス受信) オン (ファクス送受信) オフ	選択した設定に基づいてファクス情報ページを印刷します。
	ファクスのデフォルトの設定を復元		すべてのファクス設定を出荷時のデフォルト値にリセットします。
ファクス ツール	メモリのファクスを再印刷		製品は保存されているすべてのファクスを再印刷します。
	ファクス テストの実行		ファクス テストを実行して、電話コードが適切なジャックに接続されており、電話回線に信号があることを確認します。 結果を示すファクス テスト レポートが印刷されます。
	ファクス ログの消去		メモリ内のすべてのファクスをクリアします。
ファクス レポート	最後の処理		送信または受信した最後のファクス操作の詳細なレポートを印刷します。
	ファクス ログ		ファクス ログの最後の 30 のエントリを印刷します。
	短縮ダイヤル一覧		このプリンターにセットアップされている短縮ダイヤルの一覧を印刷します。 短縮ダイヤル リストには 99 個までの番号を登録できます。
	着信識別レポート		着信ファクスの電話番号を最大 30 個印刷します。
	迷惑ファクス レポート		このプリンターへのファクス送信をブロックされている電話番号の一覧を印刷します。

ネットワーク設定 メニュー

次の表で、アスタリスク (*) の付いている項目は出荷時のデフォルト設定を示しています。

 **注記：** [ワイヤレス] メニューのオプションは、ワイヤレス接続をサポートする製品でのみ使用できます。 詳細については、このユーザー ガイドの「製品の基本」の章を参照してください。

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	説明
ワイヤレス メニュー (ワイヤレス製品のみ) 注記： コントロール パネルの ワイヤレス  ボタンをタッチし ても、このメニューにア クセスできます。	オン オフ		ワイヤレス ネットワーク機能を有効または無効にしま す。
ワイヤレス ダイレクト (ワイヤレス製品のみ)	オン オン (セキュリティあ り) オフ		製品のワイヤレス ダイレクト設定を設定します。
ワイヤレス セットアッ プ ウィザード (ワイヤ レス製品のみ)	ガイドを印刷 継続		ワイヤレス ネットワーク用に製品を設定する手順を詳しく示します。
Wi-Fi Protected Setup (ワイヤレス製品のみ)	継続	プッシュ ボタン PIN	ワイヤレス ルーターが WPS をサポートしている場合、 この方法でワイヤレス ネットワーク用に製品を設定しま す。 これは最も簡単な方法です。
ネットワーク概要の表 示	有線の表示 無線の表示		ネットワーク設定の概要を印刷します。
ワイヤレス テスト レ ポートを印刷 (ワイヤ レス製品のみ)			ワイヤレス テスト レポートを印刷します。
ネットワーク設定ペー ジの印刷			ネットワーク構成設定のレポートを印刷します。
高度な設定	リンク速度	自動* 10T フル 10T ハーフ 100TX フル 100TX ハーフ	リンク速度を設定します。 リンク速度を設定すると、プ リンターは自動的に再開されます。
	IP 設定	自動 (DHCP)* 手動 (静的)	製品の IP 設定を DHCP で自動的に設定するか、手動で 設定するかを指定します。
	IPv6	オン* オフ	製品で IPv6 プロトコルを有効化または無効化します。
	ホスト名	OK 変更	この設定により、製品がネットワーク上で識別される方法 を変更します。
	レガシー デフォルト IP	オン オフ	
デフォルトのネットワ ークに戻す			すべてのネットワーク設定を出荷時のデフォルト値にリ セットします。

HP デジタルソリューションのセットアップ メニュー

次の表で、アスタリスク (*) の付いている項目は出荷時のデフォルト設定を示しています。

メニュー項目	サブメニュー項目	説明
デジタル ソリューション セットアップ ウィザード		HP デジタル ソリューションをセットアップする手順を表示します。

デバイス セットアップ メニュー

次の表で、アスタリスク (*) の付いている項目は出荷時のデフォルト設定を示しています。

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	説明
ユーザー設定	日付と時刻			製品の時刻フォーマット、現在の時刻、日付フォーマット、現在の日付を設定します。
	言語	使用可能なコントロール パネル表示言語の一覧		コントロール パネル表示メッセージおよびプリンターのレポートの言語を設定します。
	国/地域	使用可能な国/地域の一覧		
	キーボード	QWERTY* AZERTY OWERTZ		コントロール パネルで使用するキーボード レイアウトを選択します。
	画面の明るさ			スライド バーを使用してコントロールパネルの画面の明るさを調整します。
	サウンド効果の音量	ソフト* 音量大 オフ		製品のサウンド効果のレベルを調整します。
	高速参照	オン オフ*		ブラウジング速度をデフォルトよりも高速に設定します。
用紙の取り扱い	デフォルト トレイ	トレイ 1 (多目的) トレイ 2 (メイン)* トレイ 3 (アクセサリ)インストールされている場合のみ		ドキュメントのコピー時に印刷に使用するデフォルトのトレイを設定します。

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	説明
	トレイ選択	コピー用 プラグアンドプリント用 ファクス印刷用		コピー、プラグアンドプリント印刷、ファクス印刷に使用するデフォルトのトレイを設定します。
	用紙の選択	トレイ 1 トレイ 2 トレイ 3	デフォルトの用紙サイズ レター (8.5 x 11 インチ) A4 (297 x 210mm) ... すべての用紙サイズの一覧は、「使用可能な用紙サイズ」を参照してください。 デフォルトの用紙の種類 普通紙 プレミアム インクジェット用紙 ... すべての用紙サイズの一覧は、「使用可能な用紙サイズとトレイ容量」を参照してください。	各トレイのデフォルトのメディアのサイズとタイプを設定します。
トレイのデフォルト用紙	トレイ 1	デフォルト用紙サイズ	レター (8.5 x 11 インチ) A4 (297 x 210mm) ... すべての用紙サイズの一覧は、「使用可能な用紙サイズ」を参照してください。	トレイ 1 (多目的トレイ) のデフォルトの用紙サイズを選択します。

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	説明
		デフォルトの用紙タイプ	普通紙 プレミアム インクジェット用紙 ... すべての用紙サイズの一覧は、「使用可能な用紙サイズとトレイ容量」を参照してください。	内部レポートの印刷、ファクス、または用紙タイプを指定していない印刷ジョブに使用する用紙タイプを設定します。
	トレイ 2	デフォルト用紙サイズ	レター (8.5 x 11 インチ) A4 (297 x 210mm) ... すべての用紙サイズの一覧は、「使用可能な用紙サイズ」を参照してください。	トレイ 2 (メイン用紙トレイ) のデフォルトの用紙サイズを選択します。
		デフォルトの用紙タイプ	普通紙 プレミアム インクジェット用紙 ... すべての用紙サイズの一覧は、「使用可能な用紙サイズとトレイ容量」を参照してください。	内部レポートの印刷、ファクス、または用紙タイプを指定していない印刷ジョブに使用する用紙タイプを設定します。
	トレイ 3	デフォルト用紙サイズ	レター (8.5 x 11 インチ) A4 (297 x 210mm) ... すべての用紙サイズの一覧は、「使用可能な用紙サイズ」を参照してください。	オプションのトレイ 3 のデフォルトの用紙サイズを設定します。

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	説明
		デフォルトの用紙タイプ	普通紙 プレミアム インクジェット用紙 ... すべての用紙サイズの一覧は、「使用可能な用紙サイズとトレイ容量」を参照してください。	内部レポートの印刷、ファクス、または用紙タイプを指定していない印刷ジョブに使用する用紙タイプを設定します。
トレイのロック	トレイ 1 トレイ 2 トレイ 3 なし*			トレイのロックは、明示的に指定されない限りプリンターがそのトレイの用紙を使用しないようにロックする機能です。これは、レターヘッドなどの特殊な用紙をトレイに入れる場合に使用できます。用紙トレイを [自動選択] に設定して、トレイ 1 をロックした場合、プリンターは残りのトレイ、すなわちトレイ 2 またはオプションのトレイ 3 (取り付けられている場合) からのみ給紙します。ロックされているトレイから印刷するには、用紙トレイを明示的に指定する必要があります。トレイ 1 のロックは、特定の条件では無効になることがあります。
インク残りわず か警告レベル	自動 カスタム			インク残りわずか警告メッセージがコントロール パネルにいつ表示されるかを決定します。 カスタム を選択して、カートリッジの色と 1 ~ 99 のインク レベル値を選択します。
電力管理	スタンバイ	5 分 10 分* 15 分 30 分 1 時間		製品をいつ待機モードにするかを決定します。
	待機後にスリープ	待機後 15 分 待機後 30 分 待機後 1 時間 待機後 2 時間*		製品を待機モードにした後でいつスリープ状態にするかを決定します。
	スケジュール オン/オフ	スケジュール オン スケジュール オフ		製品を自動的にオンまたはオフにする時刻を設定します。
印刷設定	パーソナリティ	自動* PCL5 のみ PCL6 のみ PS のみ		プリンターの言語を設定します。デフォルトでは、製品は使用する言語を自動的に選択します。

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	説明
	部数			[コピー] ボタンをタッチしたときに作成するコピーの部数 (0 ~ 99) を設定します。 デフォルトは 1 です。
	品質	一般オフィス プロフェッショナル プレゼンテーション		デフォルトの印刷品質を設定します。
	両面印刷	オン オフ		製品の自動両面印刷機能を設定します。
	PCL 設定	用紙の行数 印刷の向き フォント番号 フォント ピッチ フォント ポイント サイズ シンボル セット LF に CR を追加		使用するプリンター制御言語のテキスト属性を設定します。
	ポストスクリプト エラーを印刷	オン オフ		ポストスクリプト エラーが発生した場合にエラーを印刷するように設定します。

ツール メニュー

ツールメニューでは、製品の印刷品質の改善と、推定インク レベルの表示を行うことができます。

メニュー項目	説明
推定インク レベルの表示	各カートリッジのインクがどれだけ消費されたかをグラフで示します。
プリントヘッドのクリーニング	この機能は、プリントヘッドのクリーニング、調整、位置合わせに使用します。 画面の指示に従って、製品の印刷品質を改善します。
カートリッジ チップ情報	カートリッジ チップには、製品の使用状況に関する匿名の情報が記録されます。
コントロール パネル ロック	この機能は、製品のコントロール パネルをロックして、製品の不正使用を防ぎます。
にじみ解消	この機能は、印刷したページのインクの汚れから生じる印刷品質の問題を解決するために使用します。
出荷時デフォルト値に戻す	すべての設定を出荷時のデフォルト値に戻します。

レポートの印刷 メニュー

[レポートの印刷] メニューを使用して、プリンターについての情報を示すレポートを印刷します。

メニュー項目	サブメニュー項目	説明
プリンタ ステータス レポート		現在の製品情報、カートリッジの状態、その他の詳細情報を印刷します。
印刷品質レポート		それほど重要ではない印刷問題を診断するための品質テストを印刷します。
使用状況ページ		製品で処理したすべての用紙サイズの総数、モノクロとカラーの区別、片面印刷と両面印刷の区別、およびページ数の一覧を表示します。この結果は、契約による請求書の作成に利用できます。
ネットワーク設定ページ		製品の有線またはワイヤレス ネットワーク接続に関する有用な情報を印刷します。
イベント ログ		問題のトラブルシューティングに役立つエラーと間欠的な障害のリストを印刷します。
ファクス レポート	最後の処理 ファクス ログ 短縮ダイヤル一覧 着信識別レポート 迷惑ファクス レポート	製品のファクス機能を管理するためのレポート オプションのリストを表示します。
PCL フォント リスト		インストールされているすべての PCL フォントのリストを印刷します。
PCL6 フォント リスト		インストールされているすべての PCL6 フォントのリストを印刷します。
PS フォント リスト		インストールされているすべての PS フォントのリストを印刷します。

3 接続

- [USB ケーブルで製品を接続](#)
- [ネットワークに製品を接続](#)
- [ワイヤレス ネットワークにプリンターを導入 \(ワイヤレス モデルのみ\)](#)

USB ケーブルで製品を接続

このプリンターでは USB 2.0 接続がサポートされています。A-to-B 型 USB ケーブルを使用してください。HP では、2 m 以下のケーブルの使用を推奨しています。

 **注意：** インストール ソフトウェアの指示があるまで、USB ケーブルを接続しないでください。

CD からのインストール

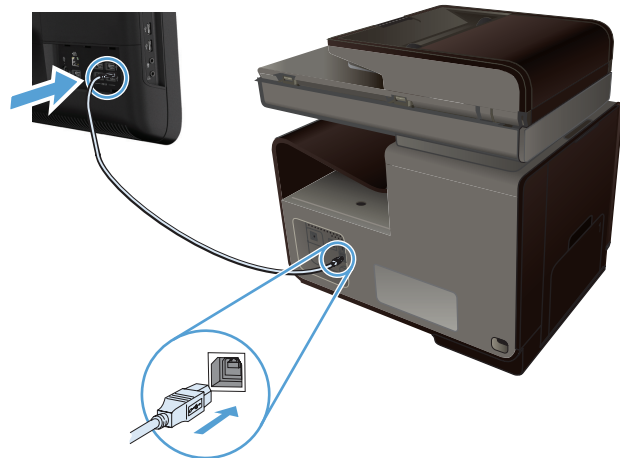
1. コンピューター上の開いているすべてのプログラムを終了します。
2. CD からソフトウェアをインストールし、画面の指示に従います。

 **注記：** Mac にインストールする場合、HP インストーラ アイコンをクリックしてソフトウェアをインストールします。

3. プロンプトが表示されたら、**[USB ケーブルでプリンターをコンピューターに USB 接続]** オプションを選択し、**[次へ]** ボタンをクリックします。

 **注記：** Web サービス (HP ePrint およびプリント Apps) は USB インストールでは利用できないという警告のダイアログが表示されます。**[はい]** ボタンをクリックして USB インストールを続行するか、**[いいえ]** ボタンをクリックして USB インストールをキャンセルします。

4. ソフトウェアからの指示が表示されたら、コンピューターと製品に USB ケーブルを接続します。



5. インストールが完了したら、任意のプログラムからページを印刷して、印刷ソフトウェアが正常にインストールされたことを確認します。

ネットワークに製品を接続

対応ネットワーク プロトコル

ネットワーク対応製品をネットワークに接続するには、次のプロトコルを 1 つ以上使用しているネットワークが必要です。

- TCP/IP (IPv4 または IPv6)

 **注記：** この製品は IPv6 ネットワークで使用可能ですが、CD からの製品ソフトウェアのインストールは IPv6 ネットワークではサポートされません。

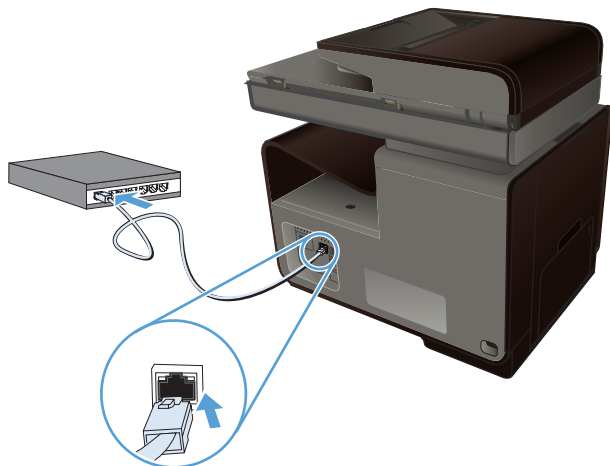
- LPD プリント
- SLP
- WS-Discovery
- HP ワイヤレス ダイレクト

有線ネットワーク上でソフトウェアをインストール

この手順は、Windows で製品を有線ネットワークに取り付けるために使用します。

IP アドレスの取得

1. Ethernet ケーブルで製品とネットワークを接続します。プリンターの電源を入れます。



2. 次の操作まで 60 秒待機します。その間に、ネットワークがプリンターを認識して、IP アドレスまたはホスト名を割り当てます。
3. ネットワーク品ボタンをタッチして、IP アドレスを表示します。

ネットワーク接続の詳細を知るには、ネットワーク設定ページを印刷します。

1. [レポートの印刷] メニューをタッチします。
2. ネットワーク設定ページメニュー項目をタッチして、ネットワーク設定レポートを印刷します。
3. ネットワーク設定レポートで、IP アドレスを確認します。



ソフトウェアのインストール

1. コンピュータ上のすべてのプログラムを終了します。
2. CD からソフトウェアをインストールします。
3. 画面に表示される手順に従います。

4. メッセージが表示されたら、[有線ネットワーク - プリンターを Ethernet ケーブルでネットワークに接続します。] オプションを選択し、[次へ] ボタンをクリックします。
5. 使用可能なプリンタの一覧から、正しいアドレスのプリンタを選択します。
6. インストールが完了したら、任意のプログラムからページを印刷して、印刷ソフトウェアが正常にインストールされたことを確認します。

IP ネットワークの設定

ネットワーク設定の表示または変更

内蔵 Web サーバを使用して、IP 設定を表示・変更します。

1. 設定ページを印刷し、IP アドレスを探します。
 - IPv4 を使用している場合、IP アドレスには数字のみが含まれます。形式は次のとおりです。
`xxx.xxx.xxx.xxx`
 - IPv6 を使用している場合、IP アドレスは 16 進数の文字と桁の組み合わせです。次のような形式になります。
`xxxx::xxxx:xxxx:xxxx:xxxx`
2. Web ブラウザのアドレス欄に IP アドレス (IPv4) を入力し、HP 内蔵 Web サーバを開きます。IPv6 の場合、IPv6 アドレスを入力するために Web ブラウザが確立したプロトコルを使用します。
3. [ネットワークング] タブをクリックし、ネットワーク情報を取得します。必要に応じて設定を変更できます。

製品パスワードの設定/変更

権限のないユーザーが製品設定を変更できないように、HP 内蔵 Web サーバを使用して、製品のパスワードを設定するか、既存のパスワードを変更します。

1. Web ブラウザのアドレス欄に IP アドレスを入力します。[設定]タブをクリックし、[セキュリティ]をクリックし、[パスワード設定]リンクをクリックします。

 **注記：** パスワードが既に設定されている場合は、パスワードを入力する画面が表示されます。[ユーザー名] に “admin” と入力し、パスワードを入力し、[適用]ボタンをクリックします。

2. [パスワード] ボックスおよび [パスワードの確認] ボックスに新しいパスワードを入力します。
3. ウィンドウの下部の [適用] ボタンをクリックしてパスワードを保存します。

コントロール パネルから IPv4 TCP/IP パラメータを手動で設定

コントロール パネルのメニューを使用して IPv4 アドレス、サブネット マスク、デフォルト ゲートウェイを手動で設定します。

1. **セットアップ**  ボタンをタッチします。
2. スクロールして **[ネットワーク設定]** メニューをタッチします。
3. **[高度な設定]** メニューをタッチし、**[IPv4 設定]** ボタンをタッチします。
4. **[手動 IP アドレス]** ボタンをタッチします。
5. 数値キーパッドを使用して、IP アドレスを入力し、**[OK]** ボタンをタッチします。 **[はい]** ボタンをタッチして確認します。
6. 数値キーパッドを使用して、サブネット マスクを入力し、**[OK]** ボタンをタッチします。 **[はい]** ボタンをタッチして確認します。
7. 数値キーパッドを使用して、デフォルト ゲートウェイを入力し、**[OK]** ボタンをタッチします。 **[はい]** ボタンをタッチして確認します。

リンク速度と二重通信設定

 **注記：** この情報は、Ethernet (有線) ネットワークのみに適用されます。 ワイヤレス ネットワークには適用されません。

プリント サーバーのリンク速度と通信モードはネットワーク ハブと一致する必要があります。 特別な場合を除き、自動モードから変更しないでください。 リンク速度と二重通信設定を誤って変更すると、プリンターと他のネットワーク デバイス間の通信ができなくなります。 変更する必要がある場合は、プリンターのコントロール パネルを使用します。

 **注記：** この設定は、接続先のネットワーク製品 (ネットワーク ハブ、スイッチ、ゲートウェイ、ルーター、またはコンピューター) と一致する必要があります。

 **注記：** 設定を変更すると、プリンターがいったんオフになってから再びオンになります。 変更を加える場合は、プリンターがアイドル状態のときに操作してください。

1. **セットアップ**  ボタンをタッチします。
2. スクロールして **[ネットワーク設定]** メニューをタッチします。
3. **[高度な設定]** メニュー項目をタッチします。
4. **[リンク速度]** メニューをタッチします。
5. 次のいずれかのオプションを選択します。

設定	説明
自動	使用しているネットワークで可能な最高のリンク速度と通信モードに自動的に設定されます。
10T ハーフ	10Mbps、ハーフ二重
10T フル	10Mbps、フル二重

設定	説明
100TX ハーフ	100Mbps、ハーフ二重
100TX フル	100Mbps、フル二重

6. OK ボタンをタッチします。プリンターの電源を入れ直します。

HP ePrint

HP ePrint では、場所と時間を問わず携帯電話、ラップトップ、またはその他のモバイル デバイスから印刷できます。HP ePrint は、電子メールに対応したデバイスで使用できます。電子メールを送信できれば、HP ePrint に対応したプリンタで印刷できます。詳細については、www.hpeprintcenter.com を参照してください。

 **注記：** HP ePrint を使用するには、プリンタがネットワークに接続され、インターネットにアクセスできる必要があります。

プリンタのデフォルトの設定では、HP ePrint は無効になっています。有効にするには、以下の手順に従います。

1. プリンタの IP アドレスを Web ブラウザのアドレス行に入力し、HP 内蔵 Web サーバーを開きます。
2. [HP Web サービス] タブをクリックします。
3. Web サービスを有効にするオプションを選択します。

ワイヤレス ネットワークにプリンターを導入 (ワイヤレスモデルのみ)

製品ソフトウェアをインストールする前に、製品が Ethernet ケーブルを使用してネットワークに接続されていないことを確認します。

ワイヤレス ルーターが Wi-Fi Protected Setup (WPS) をサポートしていない場合、ワイヤレス ルーターのネットワーク設定をシステム管理者に確認するか、次の手順を実行します。

- ワイヤレス ネットワーク名またはサービス セット識別子 (SSID) を確認します。
- ワイヤレス ネットワークのセキュリティ パスワードまたは暗号化キーを決定します。

ワイヤレス セットアップ ウィザードを使用して、プリンターをワイヤレス ネットワークに接続

ワイヤレス セットアップ ウィザードは、製品をワイヤレス ネットワークに接続するための最善の方法です。

1. プリンターのコントロール パネルのホーム画面で、**セットアップ**  ボタンをタッチします。
2. **ネットワーク** ボタンをタッチし、**ワイヤレス セットアップ ウィザード** ボタンをタッチします。
3. プリンターにより、使用可能なワイヤレス ネットワークがスキャンされ、ネットワーク名 (SSID) の一覧が返されます。ワイヤレス ルーターが一覧にある場合、一覧からその SSID を

選択します。ワイヤレス ルーターの SSID が一覧にない場合、**SSID の入力** ボタンをタッチします。ネットワーク セキュリティのタイプを選択するように求められたら、ワイヤレス ルーターで使用しているオプションを選択します。コントロール パネル画面にキーパッドが表示されます。

4. ワイヤレス ルーターで WPA セキュリティが使用されている場合、キーパッドでパスフレーズを入力します。

ワイヤレス ルーターで WEP セキュリティが使用されている場合、キーパッドでキーを入力します。

5. **OK** ボタンをタッチし、プリンターがワイヤレス ルーターへの接続を確立するまで待ちます。ワイヤレス接続の確立に、数分かかる場合があります。

WPS を使用して製品をワイヤレス ネットワークに接続

1. プリンターのコントロール パネルのホーム画面で、**セットアップ**  ボタンをタッチします。
2. **ネットワーク** メニュー ボタンをタッチし、**継続** をタッチします。
3. 次のいずれかの方法で設定を完了します。
 - **押しボタン**：[**プッシュ ボタン**] オプションを選択して、コントロール パネルの手順に従います。ワイヤレス接続の確立に、数分かかる場合があります。
 - **PIN**：[**PIN を生成**] オプションを選択して、コントロール パネルの手順に従います。プリンターでは一意の PIN が生成されます。この PIN をワイヤレス ルーターの設定画面に入力する必要があります。ワイヤレス接続の確立に、数分かかる場合があります。

 **注記**： この方法が成功しない場合、プリンターのコントロール パネルでワイヤレス セットアップ ウィザードを使用するか、USB ケーブル接続の方法を使用してください。

ネットワークでワイヤレス製品のソフトウェアを正しくインストール

ワイヤレス ネットワークで製品に既に IP アドレスが割り当てられており、コンピュータに製品のソフトウェアをインストールするには、以下の手順に従います。

1. 製品のコントロール パネルから、設定ページを印刷して、製品の IP アドレスを確認します。
2. CD からソフトウェアをインストールします。
3. 画面の指示に従います。
4. メッセージが表示されたら、[**ワイヤレス - プリンターをワイヤレス ネットワークとインターネットに接続します。**] オプションを選択し、[**次へ**] ボタンをクリックします。
5. 使用可能なプリンタの一覧から、正しいアドレスのプリンタを選択します。

製品のワイヤレス ネットワークへの手動接続

製品セットアップの最初の 120 分間、または製品のネットワークのデフォルト設定のリセット後 (製品にネットワーク ケーブルが接続されていない場合)、製品のワイヤレス無線機は製品のワイヤレス セットアップ ネットワークをブロードキャストします。

このネットワークの名前は “HP-Setup-xx-[製品名]” です。

 **注記：** ネットワーク名の “xx” は、製品の MAC アドレスの最後の 2 文字です。製品名は HP Officejet Pro X476 MFP Series または HP Officejet Pro X576 MFP Series です。

1. ワイヤレス対応の製品から、デバイスのセットアップ ネットワークに接続します。
2. このセットアップ ネットワークに接続した状態で Web ブラウザを開き、次の IP アドレスを使用して HP 内蔵 Web サーバー (HP EWS) を開きます。
 - 192.168.223.1
3. 製品の EWS でワイヤレス セットアップ ウィザードを見つけ、画面の指示に従って製品を手動で接続します。

 **注記：** 製品はデフォルトでは自動 DHCP を使用します。

4 Windows での製品の使用

- [対応オペレーティング システムとプリンター ドライバ \(Windows\)](#)
- [適切なプリンター ドライバの選択 \(Windows\)](#)
- [印刷ジョブ設定の変更 \(Windows\)](#)
- [Windows からプリンター ドライバを削除する](#)
- [サポートされているユーティリティ \(Windows\)](#)

対応オペレーティング システムとプリンター ドライバ (Windows)

本製品は、次の Windows オペレーティング システムに対応します。

推奨ソフトウェア インストール

- Windows XP (32 ビット、Service Pack 2 以上)
- Windows Vista (32 ビット版および 64 ビット版)
- Windows 7 (32 ビット版および 64 ビット版)
- Windows 8 (32 ビット版および 64 ビット版)

印刷ドライバおよびスキャン ドライバのみ

- Windows 2003 Server (32 ビット、Service Pack 3)
- Windows 2008 Server
- Windows 2008 Server R2

注記： Windows Server のインストール サポートは、エンタープライズ (コマンド ライン) インストール方法でのみ利用できます。

本製品は、次の Windows 用プリンター ドライバに対応します。

- HP PCL 6 (CD に収録されているデフォルトのプリンター ドライバ)
- HP Universal Print Driver for Windows Postscript
- HP Universal Print Driver for PCL 5
- HP Universal Print Driver for PCL 6

プリンター ドライバには、オンライン ヘルプが収録されており、一般的な印刷タスクの手順と、プリンター ドライバにあるボタン、チェックボックス、およびドロップダウン リストに関する説明を確認できます。

 **注記：** HP UPD Postscript、PCL 5、PCL 6 ドライバのダウンロード方法と詳細については、www.hp.com/go/upd を参照してください。

適切なプリンタ ドライバの選択 (Windows)

プリンタ ドライバから製品の機能にアクセスできます。また、ドライバによってコンピュータと製品間の通信が可能になります (プリンタ言語を使用)。次のプリンタ ドライバは、<http://www.hp.com/go/support> で入手できます。

HP PCL 6 ドライバ (このプリント ドライバは付属 CD に収録されており、 http://www.hp.com/go/support から入手できます)。	• デフォルトのドライバです。他のドライバを選択しない限り、このドライバが自動的にインストールされます。 • すべての Windows 環境における推奨ドライバです。 • ほとんどのユーザーにとって、速度、印刷品質、および利用可能なプリンタ機能の面で最高レベルです。 • Windows Graphic Device Interface (GDI) を使用して作成されているので、Windows 環境での動作が高速です。 • PCL5 をベースにしたサードパーティのソフトウェア プログラムおよびカスタマイズされたソフトウェア プログラムの間で、互換性が完全ではない可能性があります。
HP UPD PS ドライバ (このプリント ドライバは www.hp.com/go/upd からダウンロードできます)	• Adobe® ソフトウェア プログラムやその他のグラフィック集約型ソフトウェア プログラムで印刷する場合の推奨ドライバです。 • Postscript エミュレーションでの印刷や Postscript Flash フォントの印刷に対応しています。
HP UPD PCL 5 (このプリント ドライバは www.hp.com/go/upd からダウンロードできます)	• Windows 環境で一般的なオフィス文書を印刷する場合の推奨ドライバです。 • PCL の旧バージョンおよび古い HP Officejet 製品と互換性があります。 • 一部のサードパーティまたはカスタム ソフトウェア プログラムからの印刷に最適です。 • PCL 5 を使用している混合環境での使用に最適です (UNIX、Linux、メインフレーム)。 • 会社での Windows 環境向け使用を目的とした設計となっており、単一のドライバで複数のプリンタ モデルに対応しています。 • Windows 搭載のモバイル コンピュータから複数のプリンタ モデルに印刷する場合にお勧めします。
HP UPD PCL 6 (このプリント ドライバは www.hp.com/go/upd からダウンロードできます)	• すべての Windows 環境における推奨ドライバです。 • ほとんどのユーザーにとって、速度、印刷品質、および利用可能なプリンタ機能の面で最高レベルです。 • Windows Graphic Device Interface (GDI) を使用して作成されているので、Windows 環境での動作が高速です。 • PCL5 をベースにしたサードパーティ製品およびカスタム製品との間で、互換性が完全ではない可能性があります。

HP ユニバーサル プリンタ ドライバ (UPD)

Windows 用 HP Universal Print Driver (UPD) を使えば、それぞれ異なるドライバをダウンロードしなくても、あらゆる場所からほぼすべての HP Officejet プリンターを簡単に利用できます。実績ある HP プリント ドライバ テクノロジーに基づいて構築され、徹底的にテストされており、多数のソ

フトウェア プログラムで使用されています。 長期間にわたり一貫した性能が得られる、強力なソリューションです。

HP UPD は、各 HP 製品と直接通信し、設定情報を収集してから、その製品に固有の機能を表示するようにユーザー インタフェースをカスタマイズします。 両面印刷など、各製品で利用できる機能を自動的に有効にするため、手動で有効化する必要はありません。

詳細は、www.hp.com/go/upd を参照してください。

UPD インストール モード

従来モード	1 台のコンピュータにドライバをインストールする場合は、このモードを使用します。 詳細は、www.hp.com/go/upd を参照してください。 - トラディショナル モードでインストールした場合、UPD は単独のプリンター ドライバのように動作します。 特定のプリンターで動作します。 - このモードを使用する場合、コンピュータごとおよびプリンターごとに UPD を別個にインストールする必要があります。
動的モード	- このモードを使用するには、インターネットから UPD をダウンロードします。詳細は、www.hp.com/go/upd を参照してください。 - 動的モードでは、インストールした 1 つのドライバを使用して、任意の場所にある HP 製品を検出してその製品で印刷できます。 - このモードは、UPD をワークグループ向けにインストールする場合、またはプリンターの集合に個別のユーザーから便利にアクセスしたい場合に使用します。

印刷ジョブ設定の変更 (Windows)

印刷設定の優先度

印刷設定の変更は、変更が行われた場所によって優先度が決まります。

 **注記：** コマンドおよびダイアログ ボックスの名前は、ソフトウェア プログラムによって異なる場合があります。 管理環境では、管理者が印刷ポリシーと制限を適用する場合があります。

- [ページ設定] ダイアログ ボックス：** ご使用のプログラムの [ファイル] メニューで [ページ設定] またはそれと同様のコマンドをクリックすると、このダイアログ ボックスが開きます。このダイアログ ボックスで変更された設定は、他のどの場所でも変更された設定よりも優先されます。
- [印刷] ダイアログ ボックス：** ご使用のプログラムの [ファイル] メニューで、[印刷]、[印刷設定]、またはそれと同様のコマンドをクリックすると、このダイアログ ボックスが開きます。[印刷] ダイアログ ボックスで変更された設定は優先順位が低く、通常、[ページ設定] ダイアログボックスで行われた変更より優先されません。
- [プリンターのプロパティ] ダイアログ ボックス (プリンター ドライバ)：** [印刷] ダイアログ ボックスの [プロパティ] をクリックすると、プリンター ドライバが開きます。[プリンターのプロパティ] ダイアログボックスで変更した設定は、通常は印刷ソフトウェアの他の場所での設定をオーバーライドせず、衝突するコマンドが印刷ジョブとともに送信されなかった場合に適用されます。 このダイアログ ボックスでは、ほとんどの印刷設定を変更できます。

- **プリンタ ドライバのデフォルト設定**： プリンタ ドライバのデフォルト設定は、[ページ設定]、[印刷]、または [プリンタのプロパティ] ダイアログ ボックスで設定が変更されない限り、すべての印刷ジョブで使用されます。
- **プリンタのコントロール パネルの設定**： プリンタのコントロール パネルで変更した設定は、他の場所で行った変更よりも優先度が低くなります。

すべての印刷ジョブの設定を変更する (ソフトウェア プログラムが終了するまで有効)

1. ソフトウェア プログラムの [ファイル] メニューで、[印刷] をクリックします。
2. ドライバを選択し、[プロパティ] または [基本設定] をクリックします。

手順は変わることがあり、共通ではありません。

すべての印刷ジョブのデフォルト設定を変更する

1. **Windows XP、Windows Server 2003、および Windows Server 2008 (標準の [スタート] メニューの場合)**： [スタート]、[プリンタと FAX] の順にクリックします。

Windows XP、Windows Server 2003、および Windows Server 2008 (クラシック [スタート] メニューの場合)： [スタート]、[設定]、[プリンタ] の順にクリックします。

Windows Vista： [スタート]、[コントロール パネル] の順にクリックし、[ハードウェアとサウンド] カテゴリで [プリンタ] をクリックします。

Windows 7 の場合： [スタート]、[デバイスとプリンター] の順にクリックします。

2. ドライバ アイコンを右クリックし、[印刷設定] を選択します。

製品の設定を変更する

1. **Windows XP、Windows Server 2003、および Windows Server 2008 (標準の [スタート] メニューの場合)**： [スタート]、[プリンタと FAX] の順にクリックします。

Windows XP、Windows Server 2003、および Windows Server 2008 (クラシック [スタート] メニューの場合)： [スタート]、[設定]、[プリンタ] の順にクリックします。

Windows Vista： [スタート]、[コントロール パネル] の順にクリックし、[ハードウェアとサウンド] カテゴリで [プリンタ] をクリックします。

Windows 7 の場合： [スタート]、[デバイスとプリンター] の順にクリックします。

2. ドライバ アイコンを右クリックし、[プロパティ] または [プリンタのプロパティ] を選択します。
3. [[デバイス設定]] タブをクリックします。

Windows からプリンター ドライバを削除する

Windows XP

1. [スタート]、[コントロールパネル] の順にクリックして、次に [プログラムの追加と削除] をクリックします。
2. リストで製品を探して選択します。
3. [変更/削除] ボタンをクリックして、ソフトウェアを削除します。

Windows Vista

1. [スタート]、[コントロールパネル] の順にクリックして、次に [プログラムと機能] をクリックします。
2. リストで製品を探して選択します。
3. [[アンインストール/変更]] オプションを選択します。

Windows 7

1. [スタート]、[コントロール パネル] の順にクリックし、[プログラム] 見出しの下にある [プログラムのアンインストール] をクリックします。
2. リストで製品を探して選択します。
3. [[アンインストール]] オプションを選択します。

サポートされているユーティリティ (Windows)

- HP Web Jetadmin
- HP 内蔵 Web サーバー
- HP ePrint
- HP ワイヤレス ダイレクト

その他の Windows コンポーネントおよびユーティリティ

- HP OfficeJet Scan
- HP デジタル ファクス
- HP プリンターアシスタント (製品ソフトウェアを CD からインストールした場合に使用可能)

5 Mac でのプリンターの使用

- [対応オペレーティング システムとプリンター ドライバ \(Mac\)](#)
- [Mac コンピューター用ソフトウェア](#)
- [印刷設定の優先度 \(Mac の場合\)](#)
- [プリンタ ドライバ設定の変更 \(Mac の場合\)](#)
- [Mac オペレーティング システムからプリンター ドライバを削除する](#)
- [サポートされているユーティリティ \(Mac の場合\)](#)
- [Mac でのファクス送信](#)
- [Mac を使ったスキャン](#)
- [Mac での問題の解決](#)

対応オペレーティング システムとプリンター ドライバ (Mac)

この製品では、次の Macintosh オペレーティング システムがサポートされています。

- Mac OS X 10.6 以降

 **注記：** Mac 用の最新のドライバについては、www.hp.com/support を参照してください。

 **注記：** Mac OS X 10.6 以降では、Intel Core プロセッサ Mac がサポートされています。

HP Officejet ソフトウェア インストーラには、Mac OS X コンピューター用の PostScript® Printer Description (PPD) ファイル、Printer Dialog Extensions (PDE)、および HP Utility が含まれています。HP プリンター PPD および PDE ファイルは、ビルトイン Apple PostScript プリンター ドライバとの結合により、フル印刷機能や HP プリンター独自の機能へのアクセスを提供します。

Mac コンピューター用ソフトウェア

HP Utility (Mac)

HP Utility を使用して、プリンタ ドライバでは使用できない製品機能を設定します。

HP Utility は、製品でユニバーサル シリアル バス (USB) ケーブルを使用している場合、または製品が TCP/IP ベースのネットワークに接続されている場合に使用できます。

HP Utility を開く

次のいずれかの方法で HP Utility を開きます。

- Dock で、[HP Utility] をクリックします。
- [アプリケーション] で、[Hewlett-Packard] フォルダを開き、[HP Utility] をクリックします。
- [プリントとファクス] から [オプションとサプライ パネル] の[ユーティリティ]タブをクリックします。

HP Utility の機能

HP Utility ソフトウェアを使用して、次のタスクを実行できます。

- サプライ品のステータスに関する情報を取得します。
- ファームウェアのバージョンやシリアル番号など、プリンターに関する情報を取得します。
- 設定ページを印刷します。
- IP ベースのネットワークに接続しているプリンターの場合は、ネットワーク情報を取得し、HP 内蔵 Web サーバーを開きます。
- トレイの用紙タイプとサイズを設定します。
- 基本的なファクス設定を行います。

印刷設定の優先度 (Mac の場合)

印刷設定の変更は、変更が行われた場所によって優先度が決まります。

 **注記：** コマンドおよびダイアログ ボックスの名前は、ソフトウェア プログラムによって異なる場合があります。

- **[ページ設定] ダイアログ ボックス：** ご使用のプログラムの [ファイル] メニューで [ページ設定] またはそれと同様のコマンドをクリックすると、このダイアログ ボックスが開きます。ここで変更した設定内容が、他の場所を変更した設定内容に優先します。
- **[印刷] ダイアログ ボックス：** ご使用のプログラムの [ファイル] メニューで [印刷]、[ページ設定]、またはそれと同様のコマンドをクリックすると、このダイアログ ボックスが開きます。[印刷] ダイアログ ボックスで変更された設定は優先度が低いため、[ページ設定] ダイアログ ボックスで変更した設定より優先されることはありません。
- **プリンタ ドライバのデフォルト設定：** プリンタ ドライバのデフォルト設定は、[ページ設定]、[印刷]、または [プリンタのプロパティ] ダイアログ ボックスで設定が変更されない限り、すべての印刷ジョブで使用されます。
- **プリンタのコントロール パネルの設定：** プリンタのコントロール パネルで変更した設定は、他の場所で行った変更よりも優先度が低くなります。

プリンタ ドライバ設定の変更 (Mac の場合)

すべての印刷ジョブの設定を変更する (ソフトウェア プログラムが終了するまで有効)

1. [ファイル] メニューで、[印刷] ボタンをクリックします。
2. さまざまなメニューで設定を変更します。

すべての印刷ジョブのデフォルト設定を変更する

1. [ファイル] メニューで、[印刷] ボタンをクリックします。
2. さまざまなメニューで設定を変更します。
3. [プリセット] メニューで、[名前を付けて保存] オプションをクリックしてプリセットの名前を入力します。

これらの設定が [プリセット] メニューに追加されます。新しい設定を使用するには、プログラムを起動して印刷するたびに、保存したプリセット オプションを選択する必要があります。

製品の設定を変更する

1. アップルメニュー  から、[システム環境設定] メニューをクリックし、[プリントとスキャン] アイコンをクリックします。
2. ウィンドウの左側でプリンタを選択します。
3. [オプションとサプライ品] ボタンをクリックします。
4. [ドライバ] タブをクリックします。
5. インストールされているオプションを設定します。

Mac オペレーティング システムからプリンター ドライバを削除する

ソフトウェアを削除するには、管理者権限が必要です。

1. [システム環境設定] を開きます。
2. [プリントとスキャン] を選択します。
3. プリンタを選択します。
4. マイナス (-) 記号をクリックして、プリント キューを削除します。

サポートされているユーティリティ (Mac の場合)

HP 内蔵 Web サーバ

このプリンターには、HP 内蔵 Web サーバーが組み込まれています。これにより、プリンターおよびネットワークの稼動状況に関する情報を取得できます。HP 内蔵 Web サーバーにアクセスするには、HP Utility を使用します。具体的には、**[プリンタ設定]** メニューを開き、**[詳細設定]** を選択します。

Safari Web ブラウザに製品の IP アドレスを入力して、HP 内蔵 Web サーバーを開くこともできます。

1. Safari ツールバーの左側にあるページ アイコンを選択します。
2. Bonjour のロゴをクリックします。
3. プリンターのリストで、このプリンターをダブルクリックします。HP 内蔵 Web サーバーが開きます。

他の Web ブラウザから HP 内蔵 Web サーバーにアクセスするには、製品の IP アドレスをブラウザのアドレス フィールドに入力します。

HP 内蔵 Web サーバーは、**[システム環境設定]** メニューからもアクセスできます。**[システム環境設定]** をクリックし、**[プリントとスキャン]** をクリックし、製品名を選択します。**[オプションとサプライ]** をクリックし、**[一般]** をクリックし、**[プリンターの Web ページの表示]** をクリックします。

Mac でのファクス送信

ファクス ドライバに印刷してファクスを送信するには、次の手順を実行します。

1. ファクスで送信する文書を開きます。
2. **[ファイル]** をクリックし、**[印刷]** をクリックします。
3. **[プリンタ]** ポップアップ メニューで、使用するファクス プリント キューを選択します。
4. **[部数]** フィールドで、必要に応じて印刷する部数を調整します。
5. **[用紙サイズ]** ポップアップメニューで、必要に応じて用紙サイズを調整します。
6. **[ファクス情報]** 領域に、1 つまたは複数の送信先ファクス番号を入力します。**[プレビュー]**、**[カラー]** または **[モノクロ]**、**[レイアウト]**、**[用紙の取り扱い]**、**[スケジューラ]** など、その他のファクス オプションも使用できる場合があります。

 **注記:** ダイアル プレフィックスを指定する必要がある場合は、**[ダイアル プレフィックス]** フィールドに入力します。

7. **[ファクス]** をクリックします。

Mac を使ったスキャン

Mac コンピュータにイメージをスキャンするには、HP Scan ソフトウェアを使用します。

スキャンをサポートする製品用に HP ドライバをインストールしてある場合、次の手順でスキャンを実行します。

1. 文書をスキャナ ガラスまたは文書フィーダにセットします。
2. **[アプリケーション]** フォルダを開き、**[Hewlett-Packard]** をクリックします。 **[HP Scan]** を選択します。
3. **[HP Scan]** メニューを開き、**[基本設定]** をクリックします。 **[スキャナ]** ポップアップ メニューのリストからこの製品を選択します。
4. イメージやテキストをスキャンしたとき、許容範囲内の結果が得られるようにあらかじめ設定されている標準プリセットを使用するには、**[続行]** ボタンをクリックします。

写真やテキスト文書向けに最適化されたプリセットを使用するには、**[スキャナ プリセット]** ポップアップ メニューから目的のプリセットを選択します。 スキャンの準備が整ったら、**[続行]** ボタンをクリックします。

5. さらにページをスキャンする場合は、次のページをセットして **[+]** ボタンをクリックします。必要に応じてスキャナーとプリセットを調整し、**[続行]** ボタンをクリックします。フラットベッド スキャナーを使用する場合、スキャンが完了すると **[次のアイテムをスキャン]** のプロンプトが表示されます。すべてのページをスキャンするまで、これらの手順を繰り返します。スキャンしたアイテムのうち不要なものを削除するには、**[-]** ボタンを使用します。
6. **[送信する]** ボタンをクリックし、ファイルを保存するコンピューター上のフォルダーを参照するか、スキャンしたアイテムを印刷するプリンターを選択します。

 **注記：** **[編集]** ツールを使用してスキャンしたアイテムを修正します。スキャンしたすべてのアイテムを一度に修正するには、**[バッチ]** メニューを使用します。

Apple プレビューおよびイメージ キャプチャ アプリケーションを使用したスキャン (Mac OS X v10.6 以降)

以下のいずれかの場合は、Mac OS X v10.6 以降の Apple プレビューまたはイメージ キャプチャ アプリケーションを使用してスキャンを実行できます。

- 最近 Mac OS X v10.6 以降にアップグレードし、HP Scan アプリケーションにアクセスできない。
- 製品に対するフル機能のドライバ更新が利用できないか、製品でスキャンをサポートする HP ドライバが提供される前に製品がリリースされた。
- スキャン機能を持つ利用可能な HP ソフトウェアをまだインストールしていない。
- スキャンの問題のトラブルシューティング中で、問題の原因を突き止めようとしている。

Apple プレビューを使用したスキャン

1. Dock の [Apple プレビュー] アイコンをクリックするか、[アプリケーション] フォルダーから [プレビュー] を開きます。
2. [プレビューファイル] メニューで、[スキャナからインポート] オプションを選択します。
 **注記：** 製品がネットワークに接続されている場合、[ネットワーク接続したデバイスを含む] オプションを選択し、[プレビューファイル] メニューで [スキャナからインポート] オプションを選択して、ネットワークに接続された製品をリストに表示します。
3. リストから製品を選択します。 スキャン インタフェースが開きます。
 **注記：** [詳細の表示] ボタンをクリックして、設定とオプションを表示できます。

イメージ キャプチャを使用したスキャン

1. Dock の [Apple イメージ キャプチャ] アイコンをクリックするか、[アプリケーション] フォルダーから [イメージ キャプチャ] を開きます。
2. 製品をリストから選択するか、製品がネットワークに接続されている場合は、[共有] リストから選択します。 スキャン インタフェースが開きます。
 **注記：** [詳細の表示] ボタンをクリックして、設定とオプションを表示できます。

Mac での問題の解決

Mac での問題解決の詳細については、[216 ページの「Mac において、プリンタのソフトウェアに関する問題を解決する」](#)を参照してください。

6 用紙および印刷メディア

- [用紙の使い方](#)
- [Windows でプリンタ ドライバを変更して用紙タイプとサイズを合わせる](#)
- [使用可能な用紙サイズ](#)
- [対応している用紙タイプおよびトレイの容量](#)
- [用紙トレイのセット](#)
- [トレイの設定](#)

用紙の使い方

ビジネス用の HP Officejet インクは、HP プリントヘッドで使用するよう特別に開発されています。独自のインク組成により、プリントヘッドの長寿命化と信頼性の向上を実現しています。ColorLok® 用紙にこのインクで印刷した場合、レーザー プリンターと同様の品質の出力が得られ、乾燥が早く、配布用に最適です。

この製品は、さまざまな用紙やその他の印刷メディアをサポートしています。次のガイドラインに適合しない用紙および印刷メディアを使用すると、印刷品質の低下、紙詰まりの増加、および製品の消耗が早まる原因になる場合があります。

用紙が全ガイドラインに適合していたとしても、十分な印刷結果が得られない場合があります。これは、不適切な操作、耐用温度または湿度レベル外での使用など、HP が管理できない環境下で使用了ことが原因であると考えられます。

⚠ 注意： HP の規格に適合しない用紙または印刷メディアを使用した場合、本製品に問題が発生し、修理が必要になる場合があります。このような条件下で発生した修理は、HP の保証またはサービス契約の適用外となります。

- 最高の結果を得るには、インクジェット プリンター用または多目的用の HP ブランド純正用紙のみを使用してください。
- インクジェット プリンター用の用紙または印刷メディアを使用してください。
- 弊社では、品質を管理することができないため、他社の用紙を使用することはお勧めしません。

📄 注記： 各種普通紙を対象とした HP 社内テストの結果、HP では本製品で ColorLok® ロゴのついた用紙を使用することを強くお勧めしております。詳細については、www.hp.com/go/printpermanence を参照してください。



特殊な用紙または印刷メディアを使用する場合、十分な印刷品質が得られるように、次のガイドラインに従ってください。最適な最適品質を得るには、プリンタ ドライバで用紙のタイプとサイズを設定してください。

メディアの種類	推奨	禁止
封筒	- 封筒を平らな状態で保管してください。 - 開口部が端まである封筒を使用。	- しわ、きざみ、接着部分、または損傷がある封筒を使用。 - 留め金、スナップ、窓、またはコーティング加工済みの内張りがある封筒を使用。
ラベル	- 裏張りが露出していないラベルのみを使用。 - 平らなラベルを使用してください。 - ラベルのシート全体のみを使用。	- しわ、気泡、または損傷のあるラベルを使用。 - ラベルのシートの一部を使用。
レターヘッドまたは事前印刷用紙	インクジェット プリンターでの使用が認可されているレターヘッドまたはフォームのみ使用してください。	浮き彫りまたは金属加工が施されたレターヘッドを使用。
厚紙	インクジェット プリンターでの使用が許可され、この製品の重量規格に適合する厚手の用紙のみを使用してください。	本製品での使用が許可されている HP レーザー紙を使用せず、本製品の推奨メディア規格より重い用紙を使用。
光沢紙またはコート紙	インクジェット プリンターでの使用が許可されている光沢紙またはコート紙のみを使用してください。	レーザー プリンターで使用するよう設計された光沢紙またはコート紙は使用しないでください。

Windows でプリンタ ドライバを変更して用紙タイプとサイズを合わせる

1. ソフトウェア プログラムの [ファイル] メニューで、[印刷] をクリックします。
2. プリンタを選択し、[プロパティ] または [ユーザー設定] をクリックします。
3. [用紙/品質] タブをクリックします。
4. [用紙サイズ] ドロップダウン リストからサイズを選択します。
5. [用紙タイプ] ドロップダウン リストから用紙タイプを選択します。
6. [OK] ボタンをクリックします。

使用可能な用紙サイズ

 **注記：** 最良の印刷結果を得るには、印刷前にプリンタ ドライバで適切な用紙のサイズおよび種類を選択します。

表 6-1 使用可能な用紙および印刷メディアのサイズ

サイズ	寸法	トレイ 1	トレイ 2	トレイ 3	自動両面印刷
レター	216 x 279 mm	✓	✓	✓	✓
Oficio 8.5x13	8.5 x 13 インチ	✓		✓	✓
Oficio 216x340 mm	216 x 340mm	✓		✓	✓
リーガル	216 x 356 mm	✓		✓	✓
A4	210 x 297mm	✓	✓	✓	✓
エグゼクティブ	184 x 267mm	✓	✓	✓	✓
ステートメント	140 x 216mm	✓	✓	✓	
A5	148 x 210mm	✓	✓	✓	
A6	105 x 148.5mm	✓			
B5 (JIS)	182 x 257 mm	✓	✓	✓	✓
B6 (JIS)	128 x 182mm	✓			
16k	184 x 260 mm				
	195 x 270 mm	✓	✓	✓	
	197 x 273 mm				
カスタム	最小 : 3 x 5 インチ 最大 : 8.5 ~ 14 インチ	幅 : 3 ~ 8.5 インチ 長さ : 5 ~ 14 インチ	幅 : 4 ~ 8.5 インチ 長さ : 8.27 ~ 11.7 インチ	幅 : 4 ~ 8.5 イ ンチ 長さ : 8.27 ~ 14 インチ	

表 6-2 サポートする封筒

サイズ	寸法	トレイ 1	トレイ 2	トレイ 3	自動両面印刷
封筒 #10	105 x 241 mm	✓	✓		
封筒 DL	110 x 220 mm	✓	✓		
封筒 C5	162 x 229mm	✓	✓		
封筒 B5	176 x 250 mm	✓	✓		
封筒 C6	114 x 162mm	✓			
封筒 Monarch	98 x 191 mm	✓			

表 6-2 サポートする封筒（続き）

サイズ	寸法	トレイ 1	トレイ 2	トレイ 3	自動両面印刷
封筒長形 3 号	120 x 235mm	✓	✓		
封筒長形 4 号	90 x 205mm	✓			

表 6-3 サポートするカード

サイズ	寸法	トレイ 1	トレイ 2	トレイ 3	自動両面印刷
3x5	76.2 x 127mm	✓			
4x6	102 x 152mm	✓			
5x8	127 x 203mm	✓			
A6	105 x 148.5mm	✓			
ハガキ	100 x 148mm	✓			
往復ハガキ (回転)	148 x 200mm	✓			

表 6-4 サポートするフォト用紙

サイズ	寸法	トレイ 1	トレイ 2	トレイ 3	自動両面印刷
4x6	102 x 152mm	✓			
10 x 15cm	100 x 150mm	✓			
L	89 x 127mm	✓			
5x7 フォト 用紙 (5 x 7 インチ、タブ なし)	127 x 178mm	✓			
フォト用紙 (レター、A4)		✓	✓	✓	
ハガキ	100 x 148mm	✓			
カスタム	最小：3 x 5 インチ 最大：8.5 ~ 14 インチ	幅：3 ~ 8.5 イ ンチ 長さ：5 ~ 14 インチ	幅：4 ~ 8.5 インチ 長さ：8.27 ~ 11.7 インチ	幅：4 ~ 8.5 イ ンチ 長さ：8.27 ~ 14 インチ	

表 6-5 サポートするその他の用紙

サイズ	寸法	トレイ 1	トレイ 2	トレイ 3	自動両面印刷
ラベル (レター、A4)		✓	✓	✓	

対応している用紙タイプおよびトレイの容量

表 6-6 製品左側のトレイ 1 (多目的)

用紙タイプ	重量	給紙容量 ¹	用紙の向き
エブリデイ : - 未指定および普通紙 - HP EcoSMART 軽量紙 - 薄手用紙 60-74g - 中間 85-95g - 標準重量 96-110g - 厚手 111-130g - HP プレミアム プレゼンテーション専用つや消し紙 120g - 超厚手 131-175g	60 ~ 175 g/m ² 16 ~ 47 ポンド	最大 50 枚	印刷面を下向きにし、用紙の上端をトレイの正面に向けます。
- HP ブローシャつや消し 180g - HP ブローシャ光沢 180g - 厚紙 176-220g - HP カバーつや消し 200g - HP アドバンスフォト用紙	最大 220g/m ² (58 ポンド) ¹	最大 25 枚	印刷面を下向きにし、用紙の上端をトレイの後部に向けます。
- 封筒 - 厚手封筒 - ラベル紙		封筒またはラベル最大 7 枚	印刷面を下向きにし、用紙の上端を製品に向けます。

¹ 給紙容量は、用紙の重さおよび厚さや環境条件によって変わる場合があります。

表 6-7 トレイ 2 (メイン トレイ) およびトレイ 3 (アクセサリ トレイ)

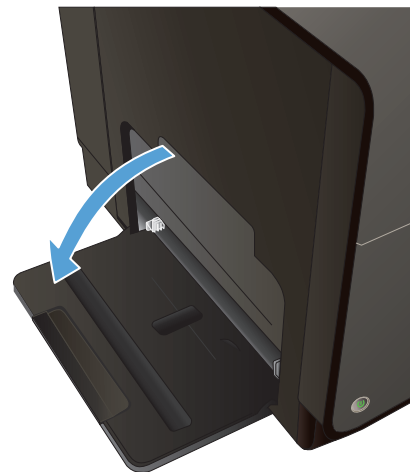
用紙タイプ	重量	給紙容量 ¹	用紙の向き
- 未指定および普通紙 - HP EcoSMART 軽量紙 - 薄手用紙 60-74g - 中間 85-95g - 標準重量 96-110g - 厚手 111-130g - HP プレミアム プレゼンテーション専用つや消し紙 120g - 超厚手 131-175g	60 ~ 175 g/m ² 16 ~ 47 ポンド	最大 500 枚	印刷面を上向きにし、用紙の上端をトレイの正面に向けます。
- HP ブローシャつや消し 180g - HP ブローシャ光沢 180g - 厚紙 176-220g - HP カバーつや消し 200g - HP アドバンスフォト用紙	最大 220g/m ² (58 ポンド) ¹	最大 100 枚	印刷面を上向きにし、切手を貼る方をトレイの後部に向けてセットします
- 封筒 - 厚手封筒 - ラベル紙		封筒またはラベル最大 30 枚。 注記: トレイ 3 は封筒印刷をサポートしません。	印刷面を上向きにし、用紙の上端をプリンターに向けます。

¹ 給紙容量は、用紙の重さおよび厚さや環境条件によって変わる場合があります。

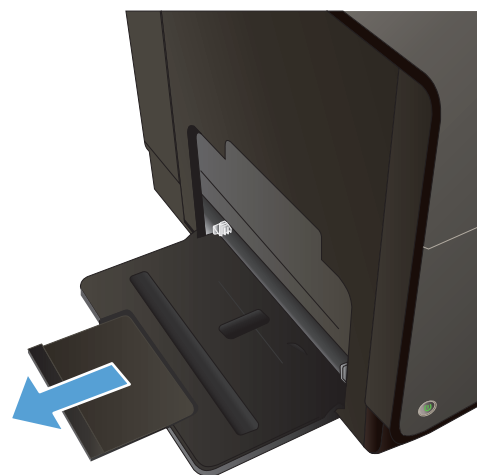
用紙トレイのセット

トレイ 1 (製品左側の多目的トレイ) のセット

1. トレイ 1 を引き出します。

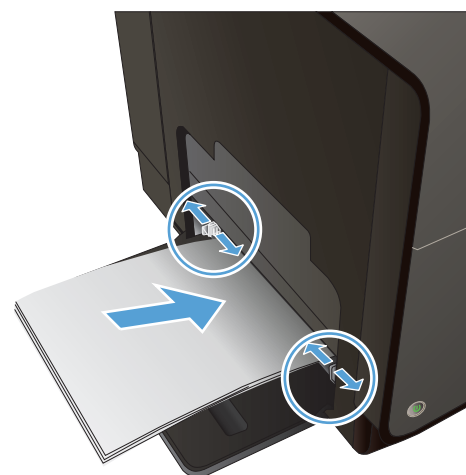


2. 延長トレイを引き出します。



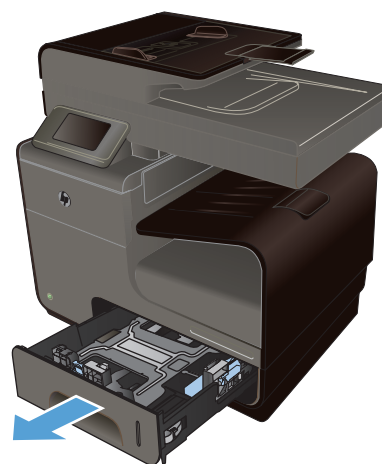
3. 用紙ガイドを最大に広げ、用紙の束をトレイ 1 にセットします。用紙のサイズに合わせて、用紙ガイドを調整します。

注記： 印刷面を下向きにし、ページの上端をトレイの正面に向けて、用紙をトレイ 1 にセットします。

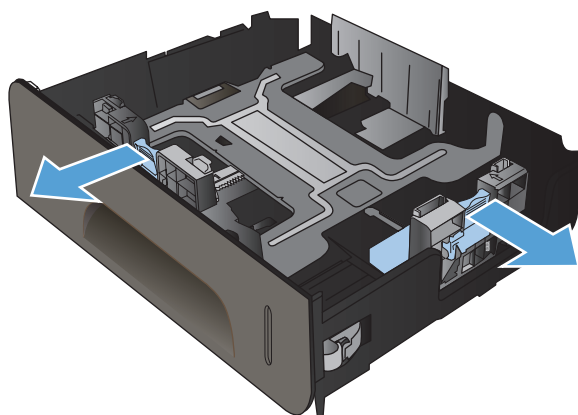


トレイ 2 またはトレイ 3 (オプション) へのセット

1. 製品からトレイを引き出します。

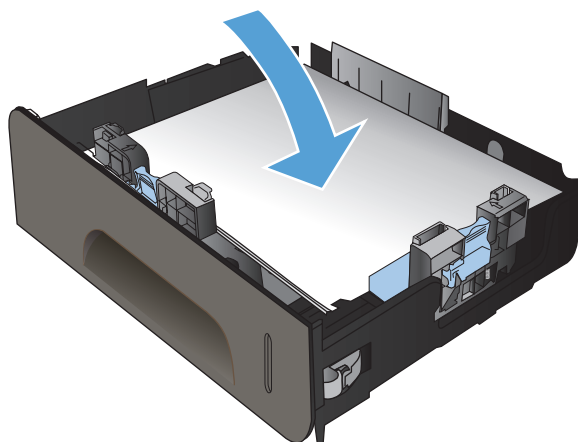


2. 用紙の長さガイドおよび幅ガイドをスライドさせてガイドの間隔を広げます。

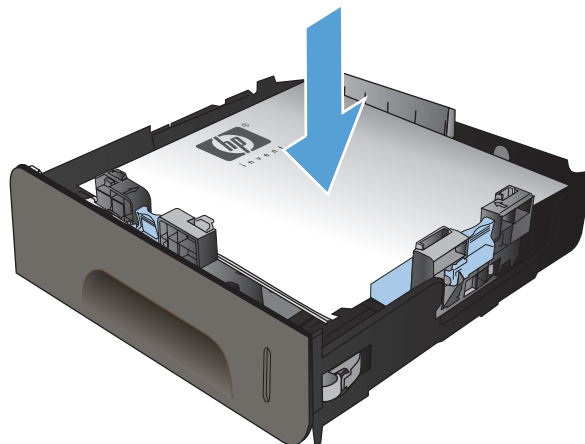


3. 用紙をトレイにセットして、四隅が平らであることを確認します。トレイの底面にある用紙サイズのマークに合うように、側面の用紙幅ガイドをスライドさせます。トレイの奥に向かって用紙の束を押すように、手前の用紙長さガイドをスライドさせます。

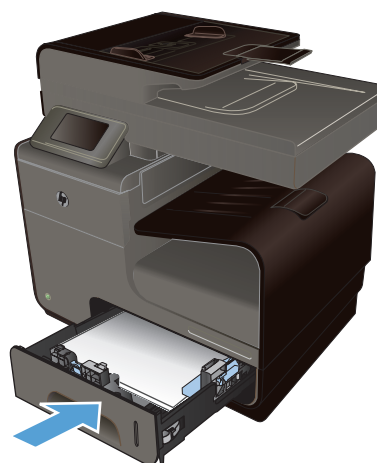
注記： 印刷面を上に向けて、用紙をトレイに置きます。



4. 用紙を上から押して、一番上の用紙が、トレイの側面についている上限タブよりも低い位置になっていることを確認します。



5. トレイを製品に戻します。



文書フィーダのセット

文書フィーダには、75g/m² の用紙を 50 枚までセットできます。

⚠ 注意： プリンターの破損を防ぐため、修正テープ、修正液、ペーパー クリップ、ホチキスが使用されている原稿をセットしないでください。 また、写真、小さい原稿、壊れやすい原稿を文書フィーダにセットしないでください。

1. 原稿を文書フィーダに上向きで挿入します。



2. ガイドを調節して、用紙に軽く触れるようにします。



トレイの設定

デフォルトの場合、プリンターはトレイ 2 から給紙を行います。トレイ 2 が空になった場合、プリンターはトレイ 1 またはトレイ 3 (取り付けられている場合) から給紙を行います。この製品でトレイを設定すると、使用する用紙のタイプで最高の印刷品質が得られるように、速度設定が変更されます。印刷ジョブのすべて、または多くで特殊な用紙を使用する場合、このデフォルトのトレイ設定を変更します。

次の表では、印刷ニーズに対応するために、トレイ設定の使い方について説明します。

用紙の使用	プリンタの設定	印刷
トレイ 1 と他のトレイに同じ用紙をセットし、片方のトレイが空になっても、もう一方から給紙できるようにする。	トレイ 1 に用紙をセットします。タイプとサイズのデフォルト設定が変更されていない場合、設定は不要です。	ソフトウェア プログラムから、ジョブを印刷します。

用紙の使用	プリンタの設定	印刷
時々、厚手の用紙やレターヘッドなどの特殊な用紙を、普段は普通紙が入っているトレイから給紙して印刷する。	トレイ 1 に特殊用紙をセットします。	印刷ジョブを送信する前に、ソフトウェア プログラムの印刷ダイアログ ボックスから、トレイにセットされた特殊用紙に合った用紙タイプを選択します。 【用紙/品質】タブ (Windows) または【給紙】メニュー (Mac) から、用紙トレイとしてトレイ 1 を選択します。
頻繁に、厚手の用紙やレターヘッドなどの特殊用紙を、1 つのトレイから給紙して印刷する。	特殊用紙をトレイ 1 にセットして、その用紙タイプに合わせてトレイを設定します。	印刷ジョブを送信する前に、ソフトウェア プログラムの印刷ダイアログ ボックスから、トレイにセットされた特殊用紙に合った用紙タイプを選択します。 【用紙/品質】タブ (Windows) または【給紙】メニュー (Mac) から、用紙トレイとしてトレイ 1 を選択します。

トレイの設定

1. プリンタの電源がオンになっていることを確認します。
2. 次のいずれかの操作を実行します。
 - **コントロール パネル**： **セットアップ**  ボタンをタッチし、**用紙の取り扱い**をタッチし、**用紙の選択**をタッチします。 設定するトレイを選択します。
 - **内蔵 Web サーバー**：【設定】タブをクリックして、左側のパネルで【用紙設定】をクリックします。 各トレイに対して【デフォルトの用紙サイズ】と【デフォルトの用紙の種類】を選択します。
3. **OK** を押すか、【適用】 をクリックします。

7 インク カートリッジ

本文書の内容は、事前の通知なく変更される可能性があります。最新のユーザー ガイド情報については、www.hp.com/support をご覧ください。

- [インク カートリッジ情報](#)
- [サプライ品](#)
- [インク カートリッジの管理](#)
- [交換手順](#)
- [サプライに関する問題の解決](#)

インク カートリッジ情報

カラー	カートリッジ番号	部品番号
標準容量の交換用インク カートリッジ (黒)	HP 970	CN621A
大容量の交換用インク カートリッジ (黒)	HP 970XL	CN625A
標準容量の交換用インク カートリッジ (シアン)	HP 971	CN622A
大容量の交換用インク カートリッジ (シアン)	HP 971XL	CN626A
標準容量の交換用インク カートリッジ (イエロー)	HP 971	CN624A
大容量の交換用インク カートリッジ (イエロー)	HP 971XL	CN628A
標準容量の交換用インク カートリッジ (マゼンタ)	HP 971	CN623A
大容量の交換用インク カートリッジ (マゼンタ)	HP 971XL	CN627A

ユーザー補助： インク カートリッジは片手で取り付けおよび取り外しができます。

環境への配慮： インク カートリッジは、HP Planet Partners 返却リサイクル プログラムを利用してリサイクルしてください。

サプライ品の詳細については、www.hp.com/go/learnaboutsupplies を参照してください。

サプライ品

インク カートリッジの図



-
- 1 金属コネクタとインク ノズル。手を触れないでください。指紋が付くと、サプライ品のエラー メッセージが表示されることがあります。埃が付いた場合もエラー メッセージが表示されることがあるので、インク カートリッジを長期間製品の外に放置しないでください。
-

インク カートリッジの管理

インク カートリッジの正しい使用、保管、および監視によって、高品質な印刷出力を保証することができます。

インク カートリッジの設定の変更

インク カートリッジが推定寿命に達したときの印刷

サプライ品関連の通知は、プリンターのコントロール パネルに表示されます。

- インク カートリッジの寿命が近づくと、<サプライ品> 残りわずか というメッセージ (<サプライ品> はカートリッジ) が表示されます。印刷を続行できますが、交換用サプライ品の準備を考えてください。
- インク カートリッジが推定寿命直前になると、<サプライ品> 非常にわずか というメッセージが表示されます。交換用のインク カートリッジを用意しておいてください。
- インク カートリッジが空になると、<サプライ品> インク切れ というメッセージが表示されます。

 **注記：** 継続設定を使用すると、[非常にわずか] のメッセージが表示された後でもカートリッジを交換せずに印刷できますが、印刷の問題が発生する前に製品はシャットダウンします。

コントロール パネルからのインク残量警告レベル設定の変更

デフォルト設定はいつでも有効または無効にできます。また、新しいインク カートリッジを取り付けたときに有効にし直す必要はありません。

1. コントロール パネルの [ホーム] 画面で、[セットアップ - 2. [デバイス セットアップ] メニュー項目をタッチします。
- 3. [インク残りわずか警告レベル] 項目をタッチします。
- 4. 以下のオプションのどれかを選択します。
 - デフォルトのインク残量警告を使用するには、**自動**を選択します。
 - インク残量警告を表示するインク レベルを選択するには、**カスタム**を選択します。

一般オフィス モードでの印刷

一般オフィス モードではインク使用量が少なく、カートリッジの寿命が長くなります。

1. ソフトウェアで [ファイル] メニューの [印刷] をクリックします。
2. プリンタを選択し、[プロパティ] または [ユーザー設定] をクリックします。
3. [用紙/品質] タブをクリックします。
4. [印刷品質] ドロップダウン ボックスから [一般オフィス] を選択します。

サプライ品の保管とリサイクル

サプライ品のリサイクル

リサイクル情報の詳細と、リサイクル用の送料支払い済みラベル、封筒、ボックスの請求については、hp.com/recycle を参照してください。

インク カートリッジの保管

インク カートリッジは、使用直前までパッケージから出さないでください。

HP 製以外のインク カートリッジに関する規定

Hewlett-Packard 社は、新品であれ再生品であれ、HP 製以外のインク カートリッジの使用は推奨していません。

 **注記：** HP 製以外のプリント カートリッジが原因で故障が発生した場合、HP の保証やサービス契約は適用されません。

HP の偽造防止 Web サイト

HP プリント カートリッジのインストール時に、カートリッジが使用済みまたは偽造品であるというコントロール パネル メッセージが表示される場合は、www.hp.com/go/anticounterfeit にアクセスしてください。HP が問題の解決作業をお手伝いします。

次の点に気づいた場合、お手元のインク カートリッジは HP 純正インク カートリッジでない可能性があります。

- サプライ品ステータス ページに、使用済みまたは偽造のサプライ品が取り付けられていることが示されている。
- インク カートリッジに関する問題が多発している。
- カートリッジが通常のものとは違って見える (たとえば、パッケージが HP 製のものと異なるなど)。

交換手順

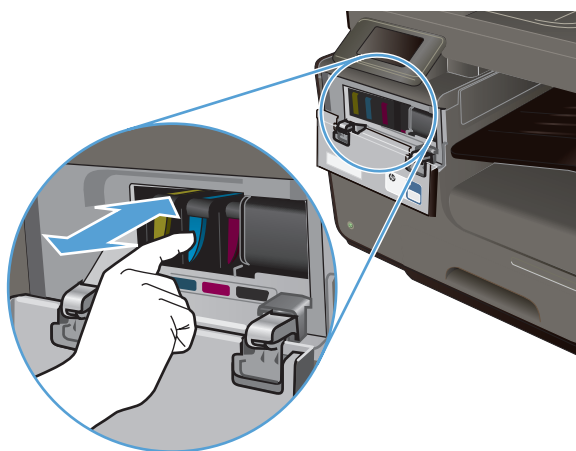
インク カートリッジの交換

製品は 4 色を使用し、色ごとにインク カートリッジがあります。イエロー (Y)、シアン (C)、マゼンタ (M)、および黒 (K) のインク カートリッジがあります。

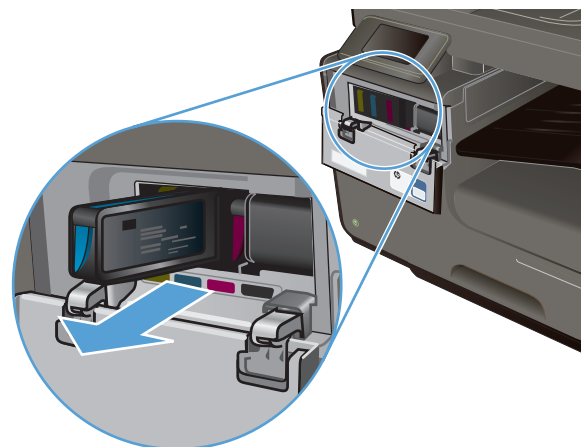
1. インク カートリッジ ドアを開きます。



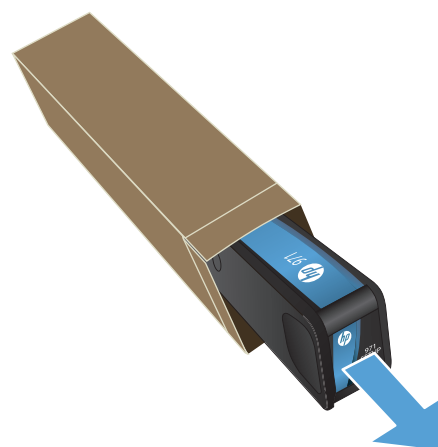
2. 古いインク カートリッジを内側に押し込んでロックを外します。



3. 古いインク カートリッジの端をつかみ、まっすぐ外側に引いて取り外します。



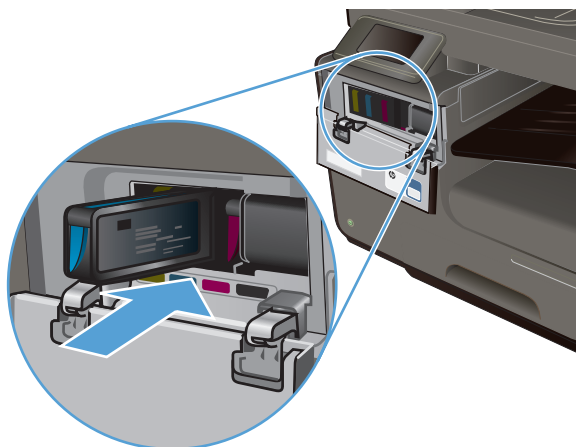
4. 新しいインク カートリッジを開梱します。



5. インク カートリッジの金属のコンネクタには触れないでください。コンネクタに指紋が付着すると印刷品質に問題が生じることがあります。



6. 新しいインク カートリッジを製品に挿入します。



7. インク カートリッジ ドアを閉めます。



8. 古いインク カートリッジはボックスに入れ、HP のリサイクル手順 (<http://www.hp.com/recycle>) に従ってリサイクルしてください。

サプライに関する問題の解決

インク カートリッジの確認

印刷品質の問題が生じた場合は、[196 ページの「印刷品質の改善」](#)を参照してください。

 **注記：** 一般オフィス印刷設定を使用している場合は、印刷が薄くなることがあります。

インク カートリッジを交換する必要があると判断した場合は、カートリッジを見るか、サプライ品ステータス ページを印刷して、HP 純正プリント カートリッジの部品番号を確認してください。

補充または再生インク カートリッジ

Hewlett-Packard 社は、新品または再生品のどちらについても、HP 製以外のサプライ品の使用は推奨していません。HP 製品ではないため、HP がその設計を変更したり、その品質を管理することは

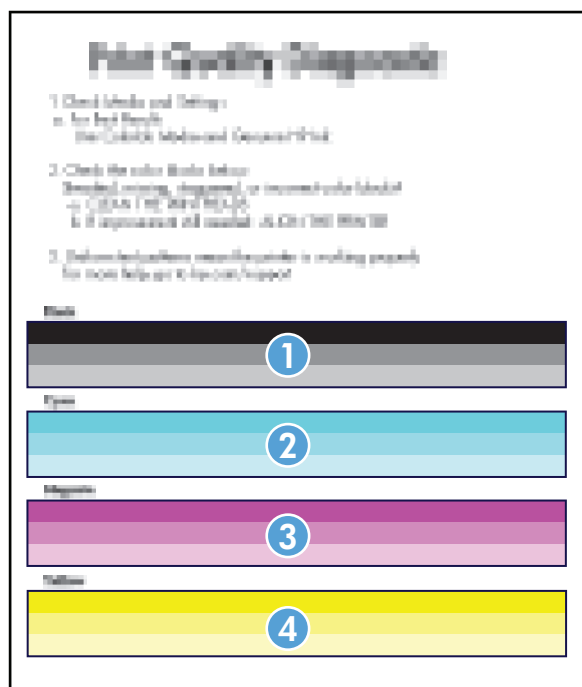
できません。 補充または再生インク カートリッジを使用していて印刷品質に不満を感じている場合は、そのカートリッジを HP 純正のカートリッジに交換してください。

 **注記：** HP 製でないインク カートリッジを HP 純正インク カートリッジに交換しても、プリントヘッドの中には HP 製でないインクが残っている場合があります。残っているインクがすべて使用されると、新しく取り付けた HP 純正インク カートリッジからインクが供給されます。

印刷品質ページの意味

1. コントロール パネルの [セッティング ] ボタンをタッチします。
2. [レポートの印刷] メニューをタッチします。
3. [印刷品質レポート] 項目を選択して、印刷します。
4. 印刷されたページに記載されている指示に従います。

このページには、4 つの色帯が印刷されます。これは、次の図に示すようなグループに分けられています。各グループを確認することで、問題が発生しているインク カートリッジを特定できます。



セクション	インク カートリッジ
1	黒
2	シアン

セクション	インク カートリッジ
3	マゼンタ
4	イエロー

- 点または縞が 1 つまたは複数のグループに現れた場合、プリントヘッドをクリーニングします。それでも問題が解決しない場合は、HP に連絡してください。
- 複数の色帯に縞が現れた場合、もう一度プリントヘッドのクリーニングを行って、それでも問題が解決しなければ、HP に連絡してください。 インク カートリッジ以外のコンポーネントが原因で問題が発生している可能性があります。

サプライ品に関するコントロール パネルのメッセージの説明

セットアップ カートリッジを使用

説明

製品の初期化が完了する前にセットアップ カートリッジが取り外されました。

推奨操作

製品に付属するセットアップ カートリッジを使用して製品を初期化してください。

セットアップ カートリッジは使用しないでください

説明

デバイスの初期化が完了した後では、セットアップ カートリッジは使用できません。

推奨操作

セットアップ カートリッジを取り外し、別のカートリッジを取り付けてください。

[カラー] のカートリッジを取り付けてください

説明

このメッセージは、製品の初期セットアップ時と、製品の初期セットアップが完了した後に表示される可能性があります。

初期セットアップ中にこのメッセージが表示された場合、カラー カートリッジの 1 つが取り付けられていない状態でドアを閉じたことを示します。 カートリッジが取り付けられていないと、製品は印刷を実行できません。

製品の初期セットアップ後にこのメッセージが表示された場合、カートリッジが存在しないか、または取り付けられているが損傷していることを示します。

推奨操作

指示されたカラー カートリッジを取り付けるか交換します。

<カラー> カートリッジ残量ごくわずか

説明

インク カートリッジが耐用寿命の直前です。

推奨操作

交換用のインク カートリッジを用意しておいてください。

<カラー> カートリッジ残量わずか

説明

インク カートリッジの耐用寿命が近づいています。

推奨操作

印刷を続行できますが、交換用サプライ品の準備を考えてください。

<色> のインク切れ

説明

インク カートリッジが寿命に達しました。製品は印刷を実行できません。

推奨操作

インク カートリッジを交換してください。

HP 純正サプライ品が取り付けられています

説明

HP 純正サプライ品が取り付けられました。

推奨操作

操作は必要ありません。

HP 製でないインク カートリッジが装着されています

説明

対応は不要です。これは単なる通知です。

推奨操作

対応は不要です。これは単なる通知です。

偽造または使用済みの <色> カートリッジが取り付けられました。

説明

このカートリッジの元の HP インクはすべて使用されています。

推奨操作

[OK] をクリックして印刷を続行するか、HP 純正カートリッジに交換してください。

互換性のない <カラー>

説明

別の HP 製品モデル用のインク カートリッジが取り付けられています。 このプリント カートリッジでは、製品が正しく機能しません。

推奨操作

この製品用の適切なインク カートリッジを取り付けてください。

使用済みの [カラー] が取り付けられています

説明

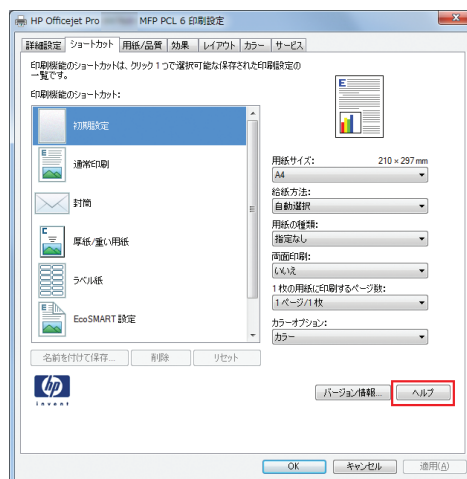
使用済みの HP 純正カラー インク カートリッジが取り付けられたか移動されました。

推奨操作

使用済みの HP 純正カートリッジが取り付けられています。 操作は必要ありません。

印刷オプションのヘルプを見る (Windows の場合)

1. [ヘルプ] ボタンをクリックしてオンラインヘルプを開きます。



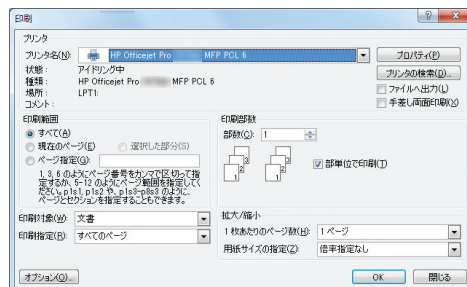
印刷部数の変更 (Windows の場合)

1. ソフトウェア プログラムの [ファイル] メニューで、[印刷] をクリックします。
2. プリンタを選択し、部数を選択します。

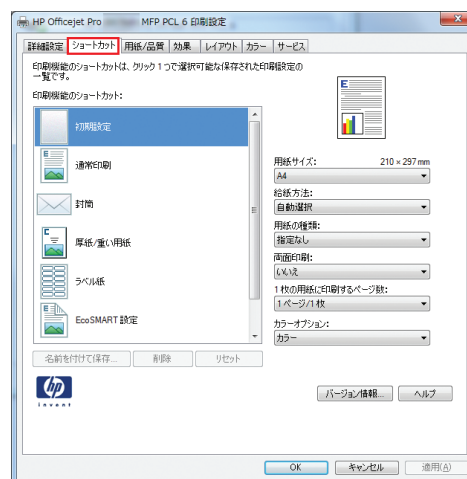
再利用が可能なユーザー定義の印刷設定を保存する (Windows の場合)

ショートカットの使用 (Windows の場合)

1. ソフトウェア プログラムの [ファイル] メニューで、[印刷] をクリックします。
2. プリンタを選択し、[プロパティ] または [ユーザー設定] をクリックします。

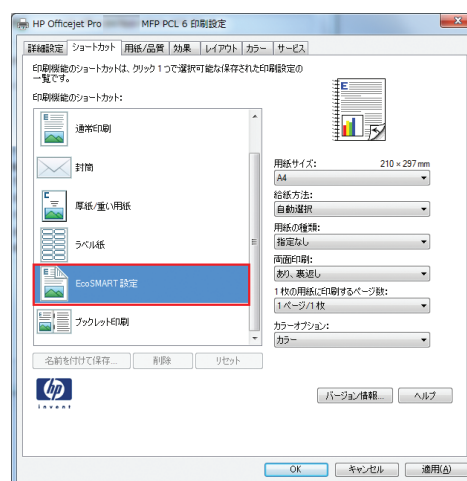


3. 【ショートカット】 タブをクリックします。



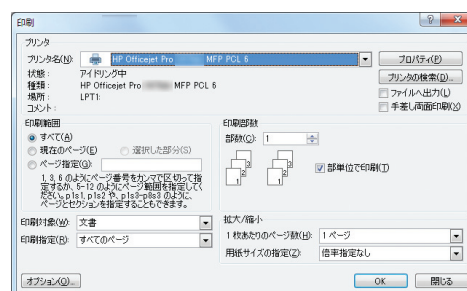
4. いずれかのショートカットを選択して、[OK] ボタンをクリックします。

注記： ショートカットを選択すると、プリンタドライバの他のタブで、対応する設定が変更されます。

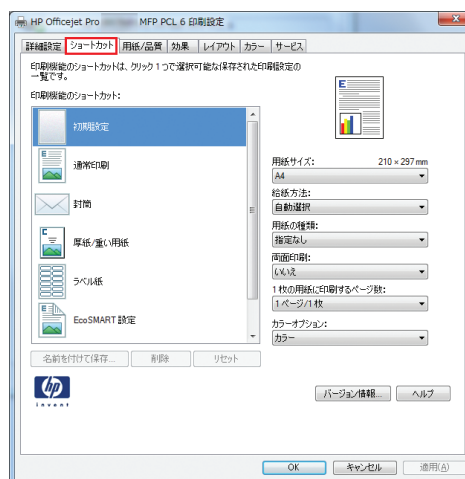


ショートカットの作成

1. ソフトウェア プログラムの【ファイル】メニューで、【印刷】をクリックします。
2. プリンタを選択し、【プロパティ】または【ユーザー設定】をクリックします。

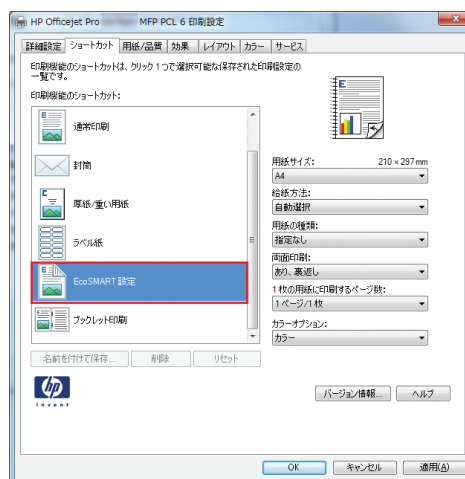


3. 【ショートカット】 タブをクリックします。

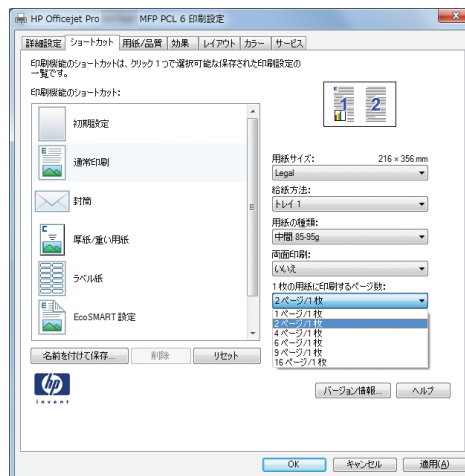


4. 既存のショートカットを基準として選択します。

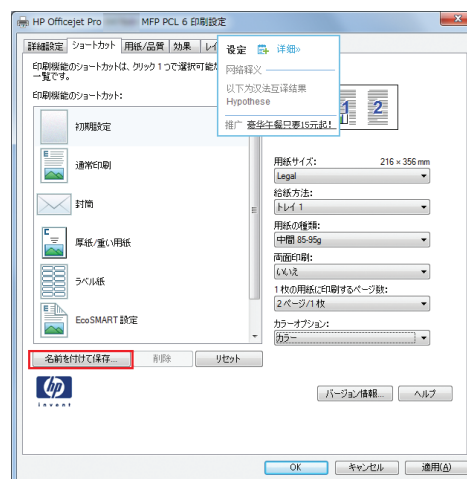
注記： ショートカットは、必ず画面の右側の設定を調整する前に選択してください。設定を調整してからショートカットを選択すると、調整内容はすべて失われます。



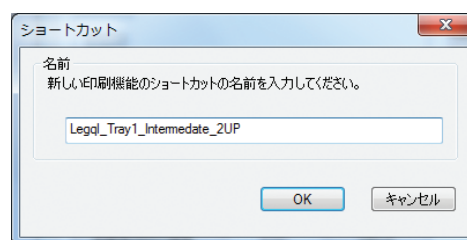
5. 新しいショートカットの印刷オプションを選択します。



6. **【名前を付けて保存】** ボタンをクリックします。



7. ショートカットの名前を入力して、**【OK】** ボタンをクリックします。



印刷品質の向上 (Windows の場合)

ページ サイズの選択 (Windows の場合)

1. ソフトウェアで **【ファイル】** メニューの **【印刷】** をクリックします。
2. プリンタを選択し、**【プロパティ】** または **【ユーザー設定】** をクリックします。
3. **【用紙/品質】** タブをクリックします。
4. **【用紙サイズ】** ドロップダウン リストからサイズを選択します。

カスタム ページ サイズの選択 (Windows の場合)

1. ソフトウェアで **【ファイル】** メニューの **【印刷】** をクリックします。
2. プリンタを選択し、**【プロパティ】** または **【ユーザー設定】** をクリックします。
3. **【用紙/品質】** タブをクリックします。
4. **【カスタム】** ボタンをクリックします。
5. ユーザー定義サイズの名前を入力し、寸法を指定します。
 - 幅は、用紙の短辺です。
 - 長さは、用紙の長辺です。

 **注記：** 常に、短辺を先にしてトレイにセットします。

6. **[OK]** ボタンをクリックし、次に**[用紙/品質]** タブの**[OK]** ボタンをクリックします。次の機会にプリンタ ドライバを開くと、カスタムのページ サイズが用紙サイズの一覧に表示されます。

用紙タイプの選択 (Windows の場合)

1. ソフトウェアで**[ファイル]** メニューの**[印刷]** をクリックします。
2. プリンタを選択し、**[プロパティ]** または**[ユーザー設定]** をクリックします。
3. **[用紙/品質]** タブをクリックします。
4. **[用紙タイプ]** ドロップ ダウン リストで、**[詳細...]** オプションをクリックします。
5. **[用紙の種類:]** オプションのリストを展開します。
6. 使用している用紙の説明として最も適切な用紙タイプのカテゴリを展開して、使用している用紙をクリックします。

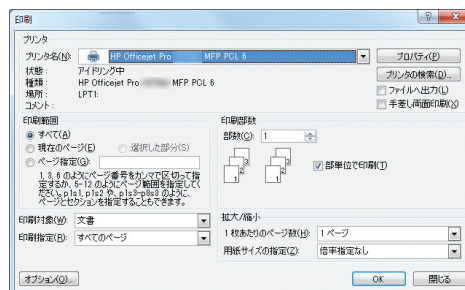
用紙トレイの選択 (Windows の場合)

1. ソフトウェアで**[ファイル]** メニューの**[印刷]** をクリックします。
2. プリンタを選択し、**[プロパティ]** または**[ユーザー設定]** をクリックします。
3. **[用紙/品質]** タブをクリックします。
4. **[用紙トレイ]** ドロップダウン リストからトレイを選択します。

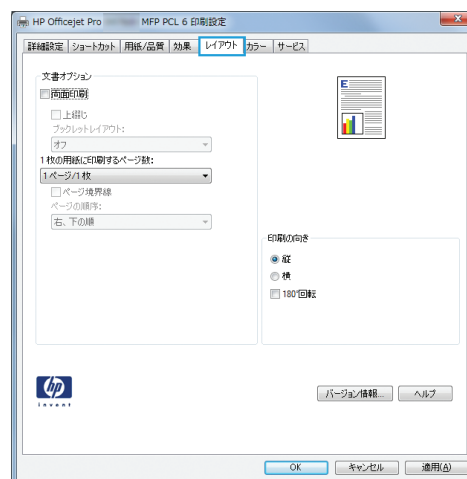
両面印刷 (Windows の場合)

自動両面印刷 (Windows の場合)

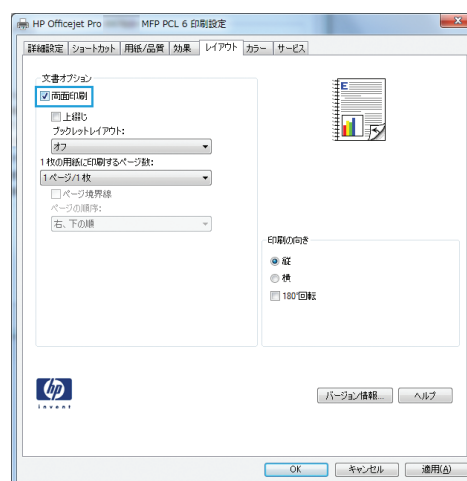
1. ソフトウェアで**[ファイル]** メニューの**[印刷]** をクリックします。
2. プリンタを選択し、**[プロパティ]** または**[ユーザー設定]** をクリックします。



3. 【レイアウト】 タブをクリックします。

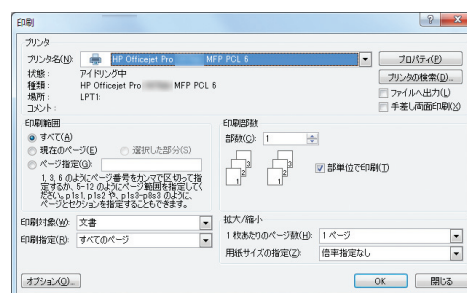


4. 【両面印刷】 チェックボックスをオンにします。【OK】 ボタンをクリックして、ジョブを印刷します。

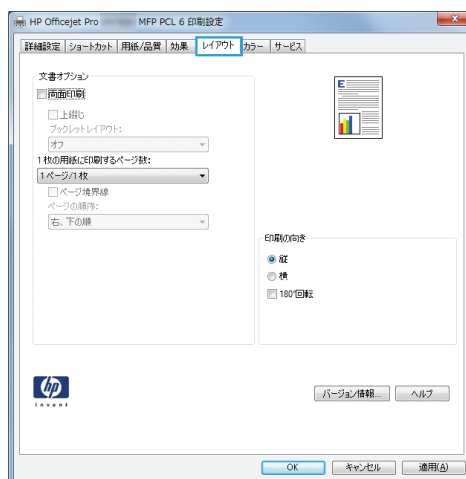


1 枚の用紙に複数ページを印刷する (Windows の場合)

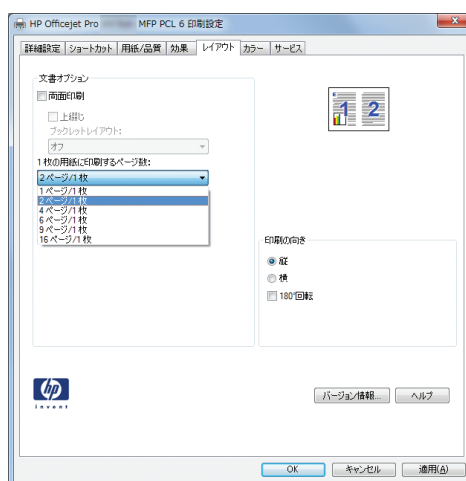
1. ソフトウェア プログラムの【ファイル】メニューで、【印刷】をクリックします。
2. プリンタを選択し、【プロパティ】または【ユーザー設定】をクリックします。



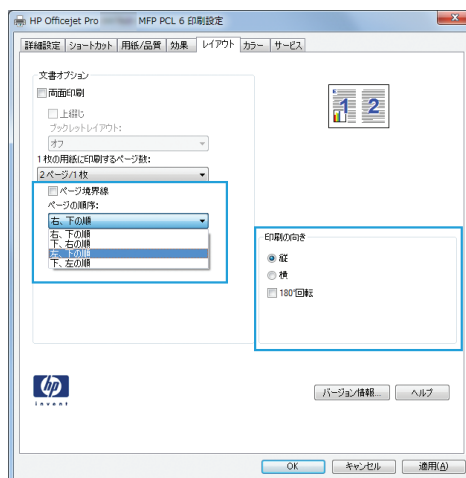
3. [レイアウト] タブをクリックします。



4. [1 枚の用紙に印刷するページ数] ドロップダウン リストから、1 枚の用紙に印刷するページ数を選択します。



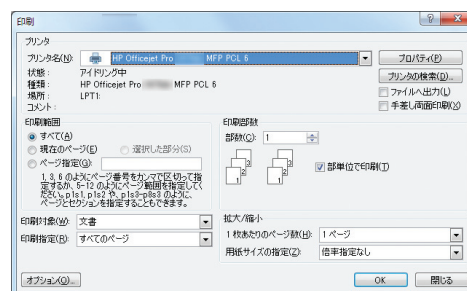
5. [ページ境界線]、[ページ順序]、および[印刷の向き] オプションで正しい項目を選択します。



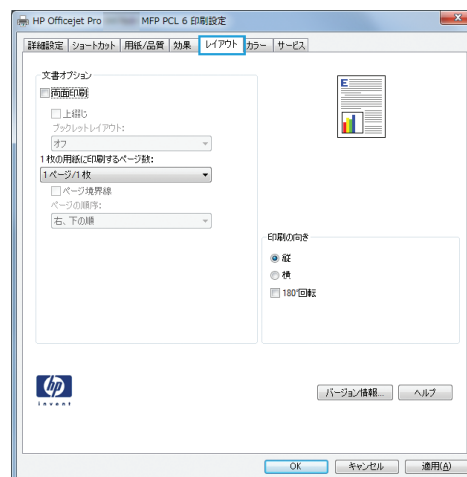
用紙の向きを選択する (Windows の場合)

1. ソフトウェア プログラムの [ファイル] メニューで、[印刷] をクリックします。

2. プリンタを選択し、[プロパティ] または [ユーザー設定] をクリックします。

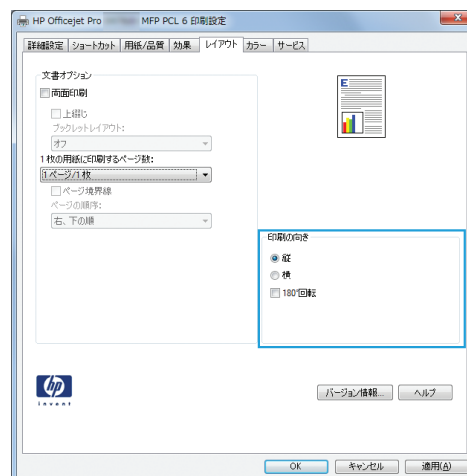


3. [レイアウト] タブをクリックします。



4. [印刷の向き] 領域で、[縦] または [横] オプションを選択します。

ページのイメージを上下逆に印刷するには、[180°回転] を選択します。



詳細カラー オプションの設定 (Windows)

1. ソフトウェアで [ファイル] メニューの [印刷] をクリックします。
2. プリンタを選択し、[プロパティ] または [ユーザー設定] をクリックします。
3. [カラー] タブをクリックします。
4. [HP EasyColor] チェック ボックスをクリックしてチェックを外します。

5. [カラー オプション] 領域で、[Ink Settings] ボタンをクリックします。
6. スライダーを使用して設定を調整し、[OK] をクリックします。

印刷タスク (Mac)

印刷機能のプリセットの作成および使用 (Mac の場合)

印刷機能のプリセットを使用して現在のプリンタ ドライバの設定を保存すると、同じ設定を再利用できます。

印刷機能のプリセットの作成

1. [ファイル] メニューで、[印刷] オプションをクリックします。
2. プリンター のリストからプリンターを選択します。
3. 再利用できるように保存する印刷設定を選択します。
4. [プリセット] メニューで、[名前を付けて保存] オプションをクリックしてプリセットの名前を入力します。
5. [OK] ボタンをクリックします。

印刷機能のプリセットの使用

1. [ファイル] メニューで、[印刷] オプションをクリックします。
2. プリンター のリストからプリンターを選択します。
3. [プリセット] メニューで、印刷機能のプリセットを選択します。

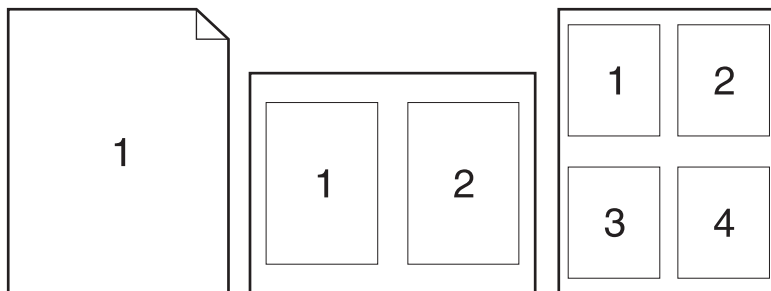
 **注記：** プリンター ドライバのデフォルト設定を使用するには、[標準] または [デフォルト設定] オプションを選択します。

表紙の印刷 (Mac の場合)

1. [ファイル] メニューで、[印刷] オプションをクリックします。
2. プリンター のリストからプリンターを選択します。
3. [表紙] メニューを開いて、表紙を印刷する位置を選択します。[書類の前] ボタンまたは [書類の後] ボタンをクリックします。
4. [表紙の種類] メニューで、表紙に印刷するメッセージを選択します。

 **注記：** 空白の表紙を印刷するには、[表紙の種類] メニューで [標準] オプションを選択します。

1 枚の用紙への複数ページの印刷 (Mac の場合)



1. [ファイル] メニューで、[印刷] オプションをクリックします。
2. [プリンタ] のリストからプリンターを選択します。
3. [レイアウト] メニューを開きます。
4. [ページ数/枚] メニューで、1 枚の用紙に印刷するページ数 (1、2、4、6、9、または 16) を選択します。
5. [レイアウト方向] 領域で、用紙に印刷するページの順序と位置を選択します。
6. [ページ境界線] メニューで、用紙の各ページの周囲に印刷する境界線の種類を選択します。

両面印刷 (Mac の場合)

自動両面印刷の使用

1. 印刷ジョブを実行するために十分な量の用紙をトレイの 1 つにセットします。
2. [ファイル] メニューで、[印刷] オプションをクリックします。
3. [レイアウト] メニューを開きます。
4. [両面] メニューで、[綴じ込み] オプションを選択します。これはデフォルトの綴じ込みを設定します。以降の両面印刷ジョブは、[部数] フィールドの横にある[両面] チェックボックスをオンにするだけで印刷できます。

カラー オプションの設定 (Mac の場合)

Mac に対応した HP Postscript プリンタ ドライバを使用すると、[HP EasyColor] テクノロジーによってすべての文書がスキャンされ、すべての写真の自動的に調整され、品質が向上します。

次に例を示します。左の画像は [HP EasyColor] オプションを使用せずに作成したものです。一方、[HP EasyColor] オプションを使用して作成した右の画像では、品質が向上していることが分かります。



HP Mac Postscript プリンタ ドライバでは、**[HP EasyColor]** オプションがデフォルトで有効になっているため、手動でカラー調整を行う必要はありません。 カラー設定を手動で調整できるようにこのオプションを無効にするには、次の手順に従います。

1. **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** オプションをクリックします。
2. **[プリンタ]** のリストから製品を選択します。
3. **[カラー オプション]** メニューを開き、**[HP EasyColor]** チェック ボックスをクリックしてオフにします。
4. **[RGB カラー]** ドロップダウンメニューから設定を選択して、**[RGB カラー設定]** を調整します。

その他の印刷タスク (Windows)

Windows で印刷ジョブをキャンセルする

1. 印刷ジョブが現在印刷中の場合、キャンセルするには、製品のコントロール パネルの下部付近にある[<ファイル名> を印刷中] 表示をタッチし、コントロール パネルの右側に表示されるキャンセル  をタッチします。

 **注記：** ジョブをキャンセルすると、製品が現在処理中のジョブがクリアされます。複数の処理が実行中の場合、ステップ 1 を繰り返して、他のジョブをキャンセルします。

2. ソフトウェア プログラムまたは印刷キューから印刷ジョブをキャンセルすることもできます。
 - **ソフトウェア プログラム：** 通常は、しばらくの間コンピューターの画面に表示されるダイアログ ボックスで印刷ジョブをキャンセルできます。
 - **Windows プリント キュー：** 印刷ジョブがプリント キュー (コンピューターのメモリ) またはプリント スプーラで待機中の場合、そこでジョブを削除します。
 - **Windows XP、Windows Server 2003、または Windows Server 2008：** [スタート] メニューをクリックし、[設定]、[プリンタと FAX] の順にクリックします。プリンターのアイコンをダブルクリックしてウィンドウを開き、キャンセルする印刷ジョブを右クリックし、[キャンセル] をクリックします。
 - **Windows Vista：** [スタート] メニューをクリックし、[コントロール パネル]、[ハードウェアとサウンド]、[プリンタ] の順にクリックします。プリンターのアイコンをダブルクリックしてウィンドウを開き、キャンセルする印刷ジョブを右クリックし、[キャンセル] をクリックします。
 - **Windows 7：** [スタート]、[デバイスとプリンタ] の順にクリックします。プリンターのアイコンをダブルクリックしてウィンドウを開き、キャンセルする印刷ジョブを右クリックし、[キャンセル] をクリックします。

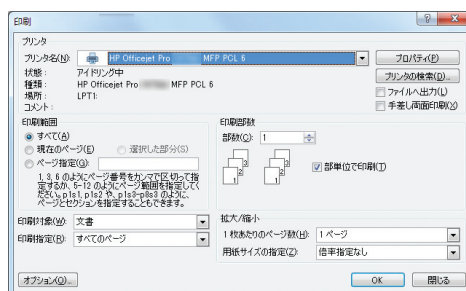
カラー テキストをモノクロ (グレースケール) で印刷 (Windows の場合)

1. ソフトウェアで [ファイル] メニューの [印刷] をクリックします。
2. プリンタを選択し、[プロパティ] または [ユーザー設定] をクリックします。
3. [詳細設定] タブをクリックします。
4. [文書オプション] セクションを展開します。
5. [プリンタの機能] セクションを展開します。
6. [テキスト全部を黒で印刷] ドロップ ダウン リストで、[有効] オプションを選択します。

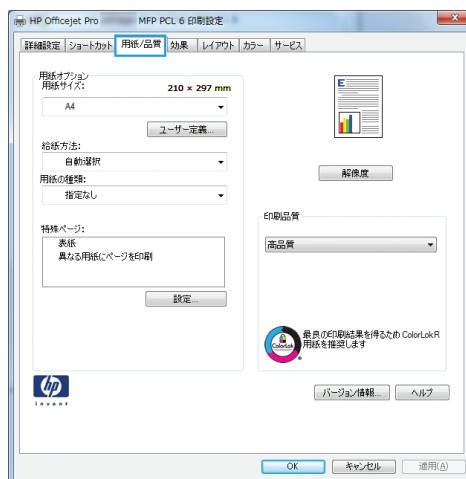
特殊な用紙またはラベルへの印刷 (Windows)

1. ソフトウェア プログラムの [ファイル] メニューで、[印刷] をクリックします。

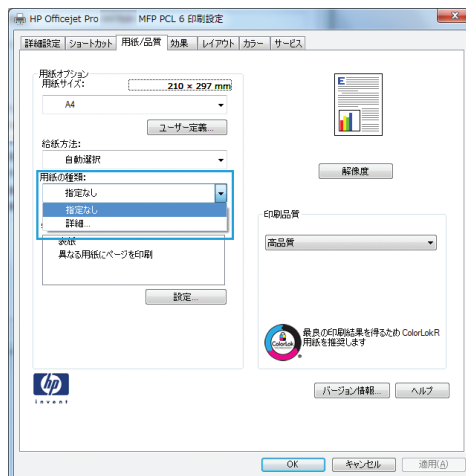
2. プリンタを選択し、[プロパティ] または [ユーザー設定] をクリックします。



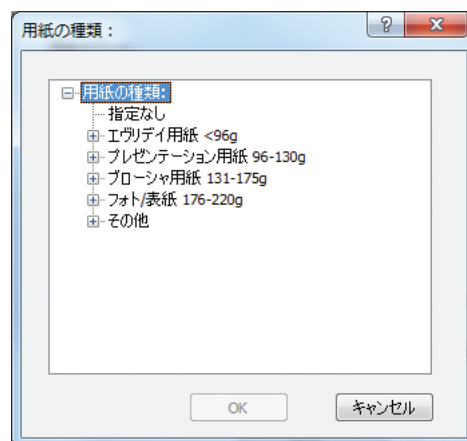
3. [用紙/品質] タブをクリックします。



4. [用紙タイプ] ドロップ ダウン リストで、[詳細...] オプションをクリックします。

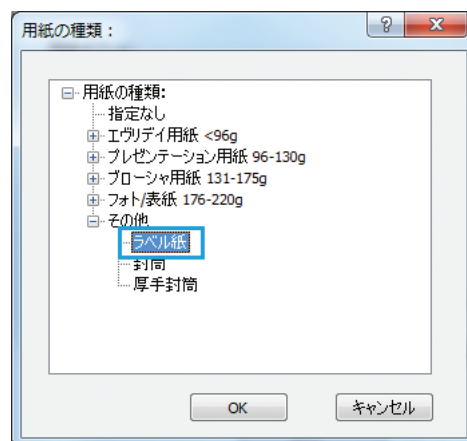


5. 【用紙の種類：】オプションのリストを展開します。



6. 使用する用紙の説明として最適な用紙タイプのカテゴリを展開します。

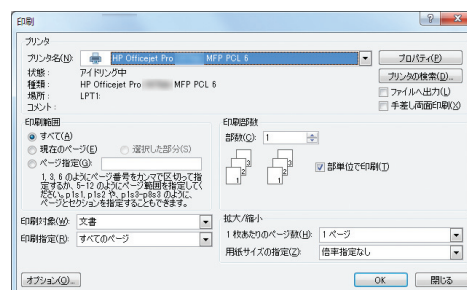
注記： ラベルは、【その他】オプションのリストに入っています。



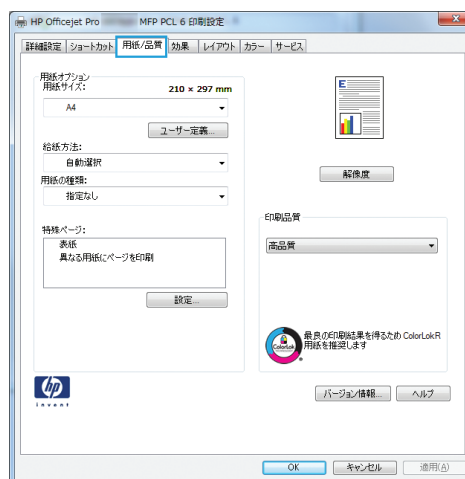
7. 使用する用紙のタイプに合ったオプションを選択して、【OK】ボタンをクリックします。

最初または最後のページを異なる用紙に印刷 (Windows の場合)

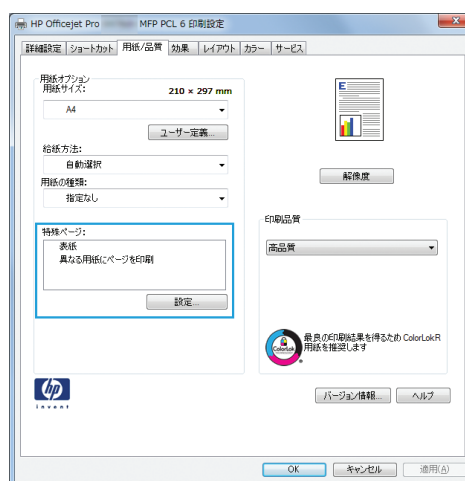
1. ソフトウェアで【ファイル】メニューの【印刷】をクリックします。
2. プリンタを選択し、【プロパティ】または【ユーザー設定】をクリックします。



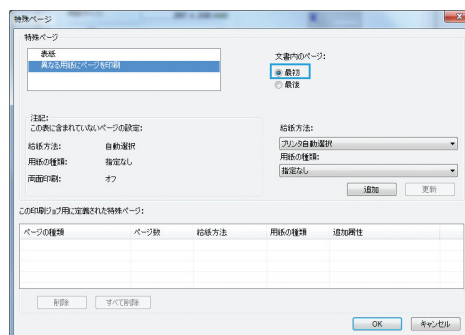
3. 【用紙/品質】 タブをクリックします。



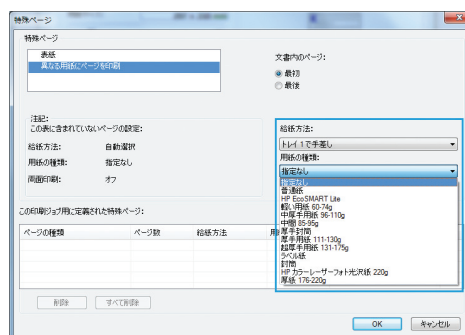
4. 【特殊ページ】 領域で【異なる用紙にページを印刷】 オプションをクリックし、【設定】 ボタンをクリックします。



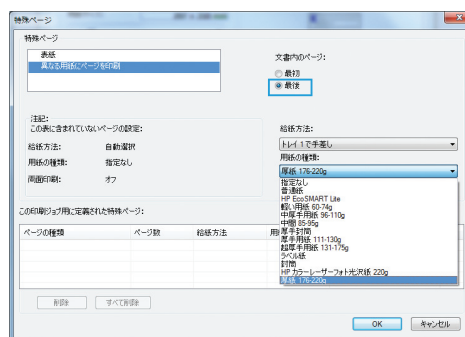
5. 【文書内のページ】 領域で、【最初】 または【最後】 オプションを選択します。



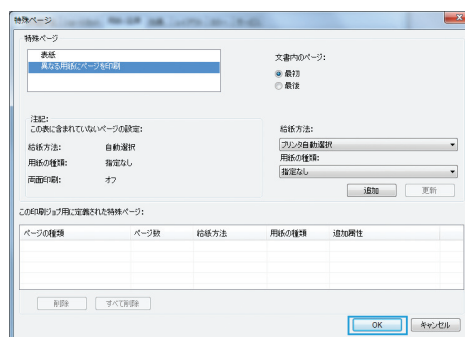
6. 【用紙トレイ】 および【用紙タイプ】 ドロップダウン リストから、正しいオプションを選択します。【追加】 ボタンをクリックします。



7. 最初と最後のページを両方とも別の用紙に印刷する場合は、手順 5 と 6 を繰り返し、もう一方のページのオプションを選択します。

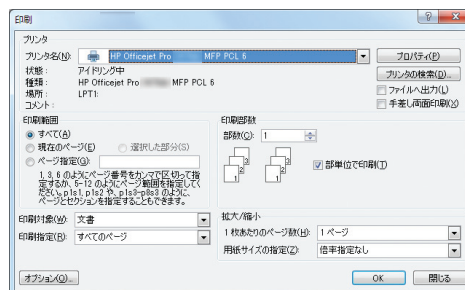


8. [OK] ボタンをクリックします。

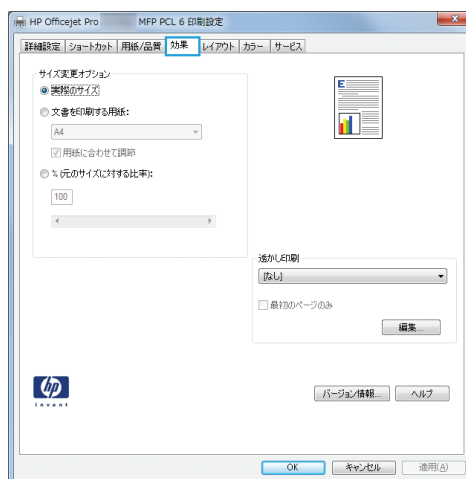


Windows で文書を用紙サイズに合わせて拡大縮小

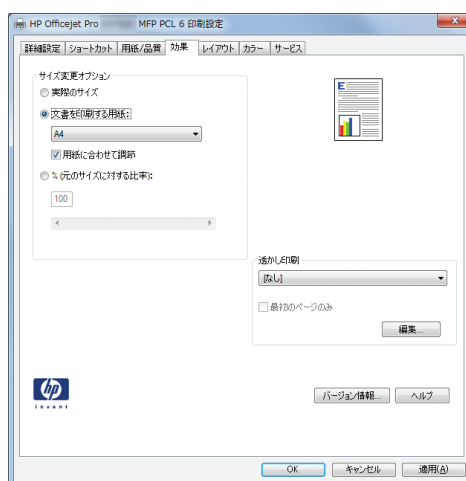
1. ソフトウェア プログラムの【ファイル】メニューで、【印刷】をクリックします。
2. プリンタを選択し、【プロパティ】または【ユーザー設定】をクリックします。



3. **【効果】** タブをクリックします。



4. **【文書を印刷する用紙】** オプションを選択して、ドロップダウン リストからサイズを選択します。



透かしの文書への追加 (Windows の場合)

1. ソフトウェアで **【ファイル】** メニューの **【印刷】** をクリックします。
2. プリンタを選択し、**【プロパティ】** または **【ユーザー設定】** をクリックします。
3. **【効果】** タブをクリックします。
4. **【透かし】** ドロップダウン リストから **【透かし】** を選択します。

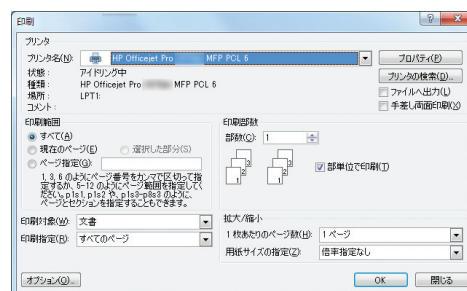
または、**【編集】** ボタンをクリックして新しい透かしをリストに追加します。透かしの設定を指定し、**【OK】** ボタンをクリックします。

5. 透かしを最初のページだけに印刷するには、**【最初のページのみ】** チェック ボックスをオンにします。このオプションを選択しなかった場合、透かしはすべてのページに印刷されます。

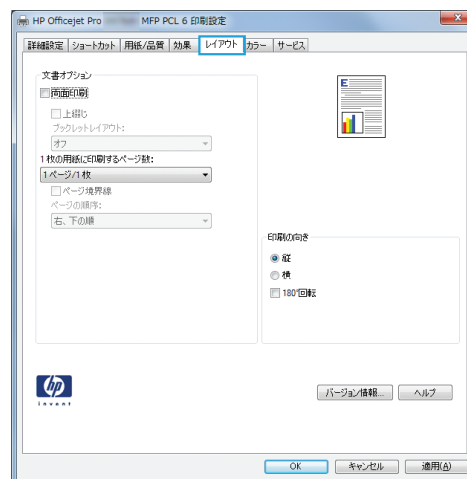
ブックレットの作成 (Windows の場合)

1. ソフトウェアで **【ファイル】** メニューの **【印刷】** をクリックします。

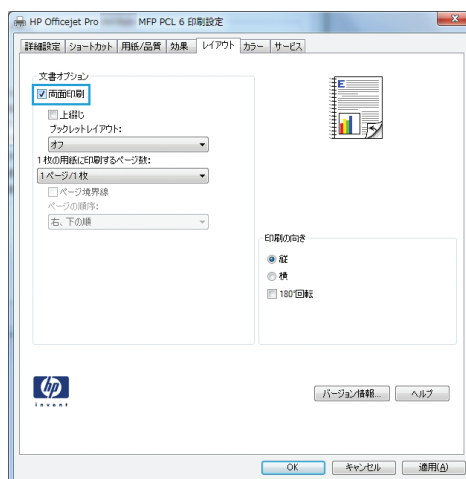
2. プリンターを選択し、**【プロパティ】** または **【ユーザー設定】** をクリックします。



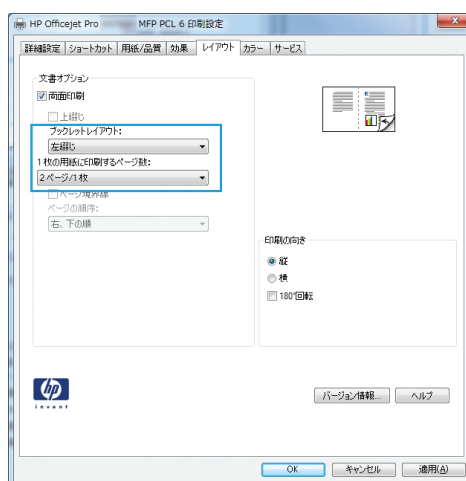
3. **【レイアウト】** タブをクリックします。



4. **[[両面印刷]]** チェック ボックスをオンにします。



5. **[ブックレット レイアウト]** ドロップダウンリストで、**[左綴じ]** または **[右綴じ]** オプションをクリックします。 **[1 枚の用紙に印刷するページ数]** オプションが、自動的に **[2 ページ/1 枚]** に変わります。



その他の印刷タスク (Mac OS X)

Mac で印刷ジョブをキャンセルする

1. 印刷ジョブが現在印刷中の場合、キャンセルするには、製品のコントロール パネルの下部付近にある **[<ファイル名> を印刷中]** 表示をタッチし、コントロール パネルの右側に表示されるキャンセル **✕** をタッチします。

 **注記：** ジョブをキャンセルすると、製品が現在処理中のジョブがクリアされます。複数の処理が実行中の場合、ステップ 1 を繰り返して、他のジョブをキャンセルします。

2. ソフトウェア プログラムまたは印刷キューから印刷ジョブをキャンセルすることもできます。
 - **ソフトウェア プログラム：** 通常は、しばらくの間コンピューターの画面に表示されるダイアログ ボックスで印刷ジョブをキャンセルできます。
 - **Mac プリント キュー：** ドック内のプリンター アイコンをダブルクリックしてプリントキューを開きます。印刷ジョブを選択し、**[削除]** をクリックします。

Mac で使用する用紙のサイズとタイプの変更

1. ソフトウェア プログラムの **【ファイル】** メニューで、**【印刷】** オプションをクリックします。
2. **【用紙サイズ】** ドロップダウン リストからサイズを選択します。
3. **【用紙/品質】** パネルを開きます。
4. **【メディアの種類】** ドロップダウン リストからタイプを選択します。
5. **【印刷】** ボタンをクリックします。

文書のサイズ変更またはカスタム用紙サイズへの印刷 (Mac の場合)

Mac OS X 10.6 以降 次のどちらかの方法に従います。	1. 【ファイル】 メニューで、【印刷】 オプションをクリックします。 2. プリンタを選択し、【用紙サイズ】 および 【印刷の向き】 オプションで適切な設定を選択します。
	1. 【ファイル】 メニューで、【印刷】 オプションをクリックします。 2. 【用紙の取り扱い】 メニューを開きます。 3. 【出力用紙サイズ】 領域で、【用紙サイズに合わせる】 ボックスをクリックしてドロップダウン リストからサイズを選択します。

透かしの使用 (Mac の場合)

1. **【ファイル】** メニューで、**【印刷】** オプションをクリックします。
2. **【透かし】** メニューを開きます。
3. 半透明のメッセージを印刷するには、**【透かし】** ボックスを選択します。
4. **【透かし】** メニューで、全ページに透かしを印刷するか、最初のページだけに透かしを印刷するのを選択します。
5. **【テキスト】** メニューで、いずれかの標準メッセージを選択するか、**【カスタム】** オプションを選択して、ボックスに新しいメッセージを入力します。
6. 残りの設定のオプションを選択します。

HP ePrint を使用する

HP ePrint を使用すると、電子メール対応デバイスからプリンターの電子メール アドレスに電子メールの添付ファイルとして文書を送信し、印刷できます。

 **注記：** HP ePrint を使用するには、プリンターが有線ネットワークかワイヤレス ネットワークに接続されていて、インターネットにアクセスできる必要があります。

1. HP ePrint を使用するには、まず HP Web サービスを有効にする必要があります。
 - a. 製品のコントロール パネルの [ホーム] 画面で、Web サービス  ボタンをタッチします。
 - b. **Web サービスを有効にする** ボタンをタッチします。
2. **HP Web サービス** メニューで、**電子メール アドレスの表示** ボタンをタッチして、製品の電子メール アドレスをコントロール パネルに表示します。
3. HP ePrintCenter Web サイトを使用して、セキュリティ設定を定義し、このプリンターに送信されるすべての HP ePrint ジョブに関するデフォルトの印刷設定を設定します。
 - a. www.hpeprintcenter.com に移動します。
 - b. **[サインイン]** をクリックし、HP ePrintCenter 認証情報を入力するか、サインアップして新しいアカウントを取得します。
 - c. リストからプリンターを選択するか、**[+ プリンタの追加]** をクリックしてプリンタを追加します。プリンターを追加するには、プリンター コードが必要です。これは、プリンターの電子メール アドレスのうち @ 記号より前の部分です。

 **注記：** このコードは、HP Web サービスを有効にしてから 24 時間だけ有効です。コードが期限切れになった場合は、再度 HP Web サービスを有効にする手順に従って、新しいコードを取得します。

- d. 予期しない文書が印刷されないようにするには、**[ePrint 設定]**、**[許可された送信者]** タブの順にクリックします。 **[許可送信者のみ]** をクリックし、ePrint ジョブの実行を許可する電子メール アドレスを追加します。
 - e. このプリンターに送信されるすべての ePrint ジョブに関するデフォルトの設定を指定するには、**[ePrint 設定]**、**[印刷オプション]** の順にクリックし、使用する設定を選択します。
4. 文書を印刷するには、プリンターの電子メール アドレスに送信される電子メール メッセージにその文書を添付します。

 **注記：** 電子メールが受信されると、その内容が印刷されます。これは電子メールなので、すぐに届く保証はなく、必ず届くという保証也没有ありません。印刷のステータスは、www.eprintcenter.com で確認できます。

 **注記：** HP ePrint で印刷された文書は元の下稿とは表示が異なることがあります。スタイル、フォーマット、テキスト フローが元の下稿と多少異なることがあります。高品質で印刷する必要があるドキュメント (法律文書など) については、プリントアウトがどのようなになるかを詳細に制御できるコンピューター上のソフトウェア アプリケーションから印刷することをお勧めします。

HP ePrint Mobile ドライバを使用する

HP ePrint Mobile ドライバにより、デスクトップ コンピュータまたはノート パソコンから HP ePrint 対応のプリンタに簡単に印刷することができます。ドライバのインストール後に、お使いのアプリケーションから **[印刷]** オプションを選択して、設置されているプリンタのリストから **[HP ePrint Mobile]** を選択します。この単一のドライバにより、お使いの ePrintCenter アカウントに登

録されている HP ePrint 対応プリンタを簡単に見つけられます。対象の HP プリンタは、机の上に置くことも、営業所や海外支社などの離れた場所に置くこともできます。インターネットを使用して、ファイル タイプまたはファイル サイズの制約を受けることなくリモート印刷を実行できます。世界中のあらゆる場所にプリンタを設置できます。プリンタが Web に接続されて ePrintCenter に登録されていれば、そのプリンタに印刷ジョブを送信できます。

Windows の場合は、HP ePrint Mobile ドライバは、PostScript® プリンタに対応するネットワーク (LAN または WAN) 上のローカル ネットワーク プリンタへの従来のダイレクト IP 印刷もサポートします。

ドライバと詳細については、www.hp.com/go/eprintmobiledriver にアクセスしてください。

サポートされているオペレーティング システム

- Windows® XP (32 ビット、SP 2 以降)

 **注記：** Microsoft は、2009 年 4 月に Windows XP のメインストリーム サポートを終了しました。HP は、発売中止になった XP オペレーティング システムについて引き続き最善のサポートを提供します。

- Windows Vista® (32 ビット版および 64 ビット版)
- Windows 7 (32 ビット版および 64 ビット版)
- Windows Server 3.5 SP1

 **注記：** プリンタの追加ウィザードを使用していない場合は、Windows .Net 3.5 がインストールされます。

- Mac OS X バージョン 10.5 および 10.6

 **注記：** HP ePrint Mobile ドライバは、Mac の PDF ワークフロー ユーティリティであり、厳密にいうとプリント ドライバではありません。Mac 用の HP ePrint Mobile は、ePrintcenter 経由の印刷パスのみをサポートしており、ローカル ネットワーク プリンタへのダイレクト IP 印刷をサポートしていません。

AirPrint

Apple の AirPrint からのダイレクト印刷は、iOS 4.2 および Mac OS X 10.7 以降でサポートされます。次のモバイル アプリケーションで、iPad (iOS 4.2)、iPhone (3GS 以降)、または iPod touch (第 3 世代以降) から製品に直接印刷するには、AirPrint を使用します。

- メール
- 写真
- Safari
- 選択したサードパーティのアプリケーション

AirPrint を使用するには、プリンタがワイヤレス ネットワークに接続されている必要があります。AirPrint の使用方法と AirPrint に対応する HP 製品の詳細については、www.hp.com/go/airprint を参照してください。

 **注記：** AirPrint を使用するにはプリンタのファームウェアをアップグレードする必要があることがあります。 www.hp.com/support を参照してください。

 **注記：** AirPrint ドライバを使用する場合、オプションと設定は HP から提供されているフル機能のドライバと異なります。このドキュメントでは、フル機能の HP ドライバの機能を説明しています。

HP ワイヤレス ダイレクトによるプリンタの接続

HP ワイヤレス ダイレクトでは、コンピューター、スマートフォン、タブレットや、その他の Wi-Fi 対応デバイスをプリンタに直接接続できます。HP ワイヤレス ダイレクト接続を使用すると、Wi-Fi 対応デバイスからルーターを使用しないでワイヤレス印刷できます。

- コンピューターからワイヤレス ダイレクト経由で印刷するには、HP プリント ソフトウェアが必要です。スマートフォンまたはタブレットからワイヤレス ダイレクト経由で印刷するには、互換性のある印刷アプリケーションが必要です。
- ワイヤレス ダイレクト接続は、プリンタのコントロール パネルからオンにして管理します。
- Wi-Fi 対応デバイスが WPA2 暗号化をサポートしている場合、ワイヤレス ダイレクト接続をセットアップするときにセキュリティを有効にすることができます。
- ワイヤレス ダイレクトを使用してプリンタに接続できるデバイスは最大 5 台です。
- ワイヤレス ダイレクト接続は、プリンタがワイヤレス ネットワークまたは USB ケーブルに接続されていても利用できます。
- ワイヤレス ダイレクトはインターネットには接続できません。

この章では、次の項目を説明します。

- [Wi-Fi 対応のモバイル デバイスからの接続と印刷](#)
- [Wi-Fi 対応のコンピューターからのワイヤレス ルーターおよびワイヤレス ダイレクトを経由した接続](#)
- [Wi-Fi 対応のコンピューターからのワイヤレス ダイレクトのみを経由した接続](#)
- [USB 経由の印刷からワイヤレス ダイレクト接続への変更](#)

Wi-Fi 対応のモバイル デバイスからの接続と印刷

1. プリンタをセットアップします。モバイル デバイスから印刷するには、互換性のある印刷アプリケーションが必要です。モバイル印刷アプリケーションがワイヤレス ネットワーク接続経由で印刷できる場合、ワイヤレス ダイレクト経由の印刷が可能です。

 **注記：** 使用できるモバイル デバイスは、HP ePrint モバイル アプリがインストールされたもの、HP Printer Control App がインストールされたもの、iOS 4.2+ を搭載した Apple デバイス、HP webOS デバイスです。

2. プリンタのワイヤレス ダイレクト接続をオンにします。
 - コントロール パネルで、**セットアップ**  ボタンを押す (X476 Series) かタッチ (X576 Series) します。
 - **ネットワーク設定** メニューを開きます。

- **ワイヤレス ダイレクト** メニューを開きます。
 - **オン**を選択してワイヤレス ダイレクト接続を有効にするか、**オン (セキュリティあり)**を選択してセキュアなワイヤレス ダイレクト接続を有効にします。
3. モバイル デバイスの Wi-Fi 機能をオンにします。
 4. モバイル デバイスから、プリンターのワイヤレス ダイレクト名 (例、HP-Setup-xx-Officejet Pro X576) を検索して接続します。
 5. モバイル デバイスの印刷アプリケーションで、HP プリンターがデフォルト プリンターであることを確認し、[印刷] を選択して、ドキュメントを印刷します。

Wi-Fi 対応のコンピューターからのワイヤレス ルーターおよびワイヤレス ダイレクトを経由した接続

1. ワイヤレス ルーター経由でプリンターを設定し、インストールします。 続行する前に、ワイヤレス ルーター経由で正常に印刷できることを確認してください。
2. プリンターのワイヤレス ダイレクト接続をオンにします。
 - コントロール パネルで、**セットアップ**  ボタンを押す (X476 Series) かタッチ (X576 Series) します。
 - **ネットワーク設定** メニューを開きます。
 - **ワイヤレス ダイレクト** メニューを開きます。
 - **オン**を選択してワイヤレス ダイレクト接続を有効にするか、**オン (セキュリティあり)**を選択してセキュアなワイヤレス ダイレクト接続を有効にします。
3. コンピューターの Wi-Fi 機能をオンにします。
4. コンピューターから、プリンターのワイヤレス ダイレクト名 (例、HP-Setup-xx-Officejet Pro X576) を検索して接続します。
5. コンピューターから [印刷] を選択し、確認してドキュメントを印刷します。

Wi-Fi 対応のコンピューターからのワイヤレス ダイレクトのみを経由した接続

1. プリンターを設定します。ただし、HP プリンター ソフトウェアはインストールしません。
2. プリンターのワイヤレス ダイレクト接続をオンにします。
 - コントロール パネルで、**セットアップ**  ボタンを押す (X476 Series) かタッチ (X576 Series) します。
 - **ネットワーク設定** メニューを開きます。
 - **ワイヤレス ダイレクト** メニューを開きます。
 - **オン**を選択してワイヤレス ダイレクト接続を有効にするか、**オン (セキュリティあり)**を選択してセキュアなワイヤレス ダイレクト接続を有効にします。
3. コンピューターの Wi-Fi 機能をオンにします。

4. コンピューターから、プリンターのワイヤレス ダイレクト名 (例、HP-Setup-xx-Officejet Pro X576) を検索して接続します。
5. HP プリンター ソフトウェアをインストールします。
 - **【接続オプション】** ソフトウェア画面が表示されたら、**【ワイヤレス】** を選択します。
 - 検出されたプリンターのリストが表示されたら、お使いの HP プリンターを選択し、インストールを終了します。

USB 経由の印刷からワイヤレス ダイレクト接続への変更

USB 接続でプリンターを設定した後で、次の手順を実行します。

1. プリンターのワイヤレス ダイレクト接続をオンにします。
 - コントロール パネルで、**セットアップ**  ボタンを押す (X476 Series) かタッチ (X576 Series) します。
 - **ネットワーク設定** メニューを開きます。
 - **ワイヤレス ダイレクト** メニューを開きます。
 - **オン**を選択してワイヤレス ダイレクト接続を有効にするか、**オン (セキュリティあり)**を選択してセキュアなワイヤレス ダイレクト接続を有効にします。
2. コンピューターの Wi-Fi 機能をオンにします。
3. コンピューターから、プリンターのワイヤレス ダイレクト名 (例、HP-Setup-xx-Officejet Pro X576) を検索して接続します。
4. コンピューターから、ワイヤレス ダイレクト経由で印刷するようにプリンター ソフトウェアを設定します。
 - a. Windows の **【スタート】** ボタン > **【すべてのプログラム】** > **【HP】** > HP Officejet Pro X576 MFP Series **【プリンタ セットアップ & ソフトウェア】** を選択します。
 - b. **【新しいプリンタを接続する】** を選択します。
5. ワイヤレス ダイレクト経由で印刷する場合、使用しているソフトウェア アプリケーションで Windows プリンター グループから (ネットワーク) というラベルのプリンターを選択します。

 **重要：** **【USB 接続プリンターのワイヤレスへの変換】** は選択しません。

- c. **【接続オプション】** ソフトウェア画面が表示されたら、**【ワイヤレス】** を選択します。
- d. 検出されたプリンターのリストが表示されたら、お使いの HP プリンターを選択し、インストールを終了します。

 **注記：** プリンター グループにはプリンターの 2 つのインスタンスが存在するため、HP Officejet Pro X576 MFP Series (ネットワーク) という名前のプリンターを選択してください。

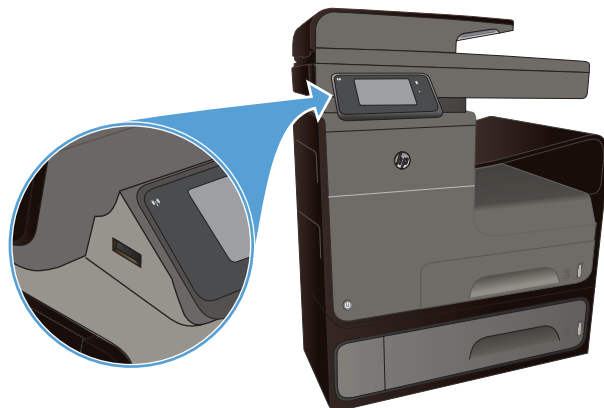
プラグアンドプリント USB ドライブ印刷

このプリンタは USB フラッシュ ドライブを使用した印刷の機能を備えているため、コンピューターからファイルを送信せずにすばやくファイルを印刷できます。製品の正面と背面にある USB ポ

ートには、標準の USB ストレージ アクセサリを接続できます。印刷できるファイルの種類は以下のとおりです。

- .PDF
- .JPEG
- .JPG
- .PNG
- .TIFF

1. USB ドライブを製品の正面と背面にある USB ポートに挿入します。[プラグアンドプリント] メニューが開きます。



2. USB デバイス上のドキュメントとフォルダーのリストから、ドキュメントを選択します。
3. 必要な場合、**設定** ボタンをタッチして、ジョブの印刷設定を変更します。
4. **スタート - モノクロ** または **スタート - カラー** をタッチして、印刷ジョブを開始します。
5. 文書をスキャンして、.JPEG または .PDF ファイルとして USB ドライブに保存するには、文書をスキャナ ガラスまたは文書フィーダにセットします。[**USB ドライブにスキャン**] 項目をタッチします。 **設定** ボタンをタッチして、スキャン設定を調整します。

9 カラー

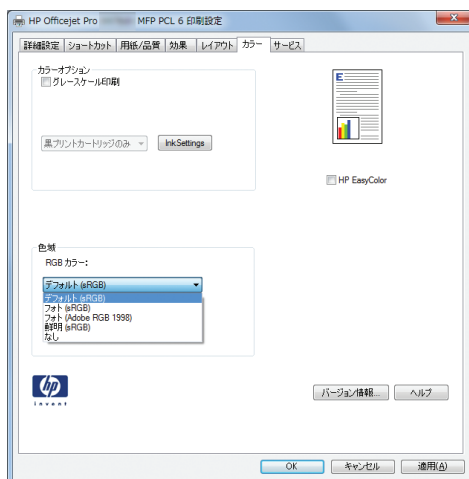
- [カラーの調整](#)
- [\[HP EasyColor \] オプションの使用](#)
- [カラーをコンピューター画面と一致させる](#)
- [色あせおよび水濡れに強い印刷](#)

カラーの調整

カラーの管理は、プリンター ドライバの【カラー】タブ (Windows の場合) および【カラー オプション】タブ (Mac の場合) の設定を変更することで行います。

印刷ジョブのカラー テーマの変更

1. ソフトウェアで【ファイル】メニューの【印刷】をクリックします。
2. 【プロパティ】または【基本設定】(Windows) をクリックします。
3. 【カラー】タブ (Windows) または【カラー オプション】タブ (Mac) をクリックし、HP EasyColor のチェックをオフにします。
4. 【カラー テーマ】(Windows) または【RGB カラー】(Mac) ドロップダウン リストからカラー テーマを選択します。



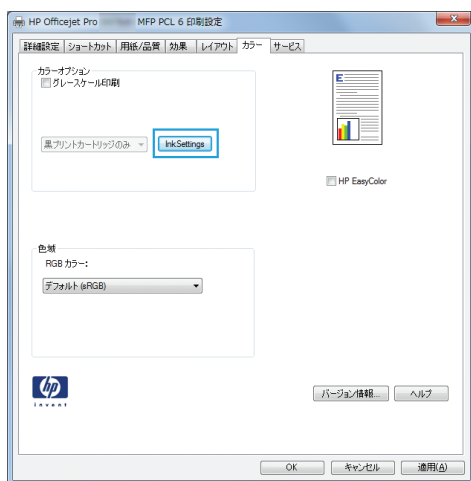
- **【デフォルト (sRGB)】**： RGB データが raw デバイス モードで印刷されます。 このテーマを使用する場合、適切な印刷結果を得るには、ソフトウェアまたは OS でカラーを管理する必要があります。
- **【鮮明】**： 中間階調の彩度が高くなります。 このテーマは、業務用のグラフィックを印刷する用途に適しています。

- **[フォト]**： RGB カラーが、デジタル現像所で写真として印刷されるときと同じように解釈されます。[デフォルト (sRGB)] を選択した場合に比べて、濃度と彩度が高くなります。このテーマは、写真を印刷する用途に適しています。
- **[フォト (Adobe RGB 1998)]**： このテーマは、sRGB ではなく Adobe RGB の色空間を使用しているデジタル写真を印刷する用途に適しています。このテーマを使用する場合、ソフトウェア側でカラー管理を無効にしてください。
- **[なし]**： カラー テーマは使用されません。

カラー オプションを変更する

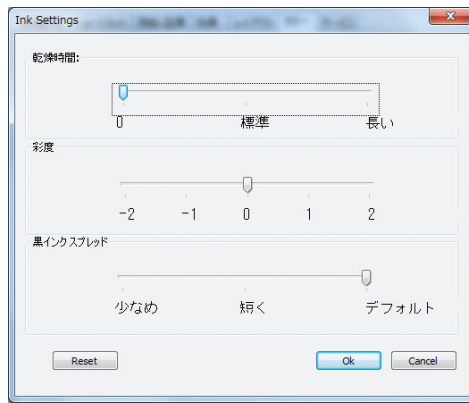
現在の印刷ジョブに対するカラー オプション設定を変更するには、プリンタ ドライバの [カラー] タブを使用します。

1. ソフトウェアで **[ファイル]** メニューの **[印刷]** をクリックします。
2. **[プロパティ]** または **[基本設定]** (Windows) をクリックします。
3. **[カラー]** タブ (Windows) または **[カラー オプション]** タブ (Mac) をクリックします。
4. **[HP EasyColor]** チェック ボックスをオフにします。



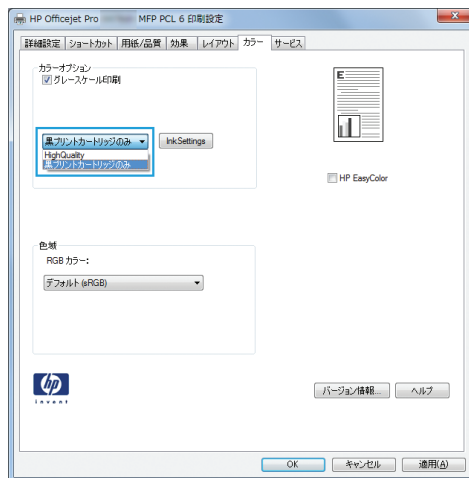
5. Ink Settings ボタン (Windows) をクリックするか、**[詳細]** メニューを展開し (Mac)、スライダーを使用して次の調整を行います。
 - **[乾燥時間]**
 - **[彩度]**
 - **[黒インク スプレッド]**

 **注記：** カラー設定を手動で変更した場合、印刷結果に悪影響が及ぶおそれがあります。カラー設定を手動で変更する作業は、グラフィックの専門家だけが行うことを推奨しています。



注記： カラー設定を手動で変更した場合、印刷結果に悪影響が及ぶおそれがあります。 カラー設定を手動で変更する作業は、グラフィックの専門家だけが行うことを推奨しています。

6. [OK] をクリックして調整内容を保存してウィンドウを閉じるか、[Reset] をクリックして設定をデフォルトに戻します (Windows)。
7. [グレースケール印刷] オプション (Windows) または[カラーをグレーとして印刷] (Mac) をクリックすると、カラー ドキュメントを黒とグレースケールで印刷します。 このオプションは、複写またはファクス送信する目的でカラー文書を印刷する場合に適しています。 また、ドラフト印刷を行う場合やカラー カートリッジの寿命を伸ばす場合にも使用できます。



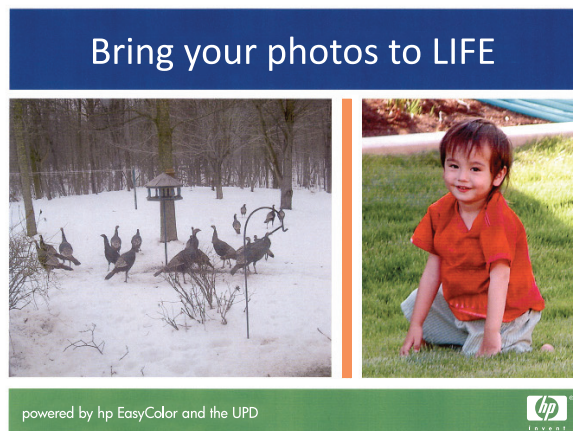
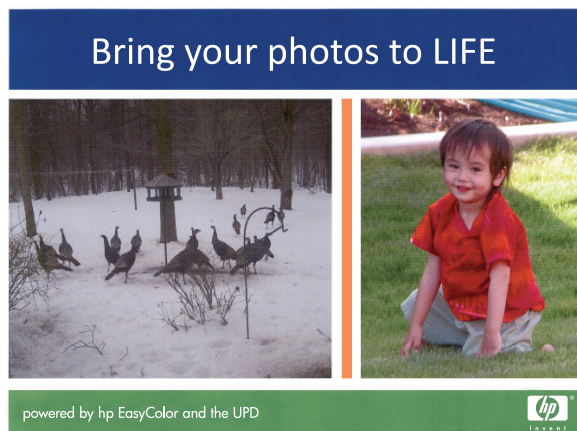
8. [OK] ボタンをクリックします (Windows)。

[HP EasyColor] オプションの使用

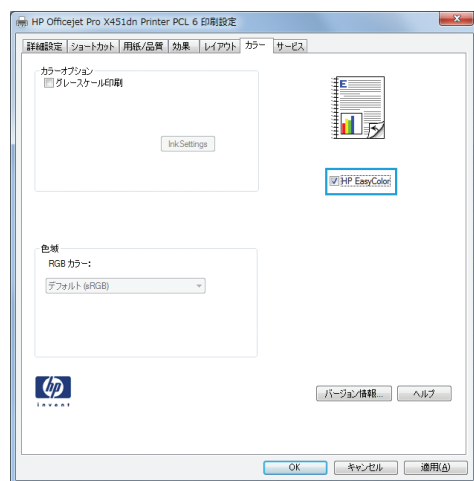
Windows に対応した HP PCL 6 プリンタ ドライバを使用すると、[HP EasyColor] テクノロジーによってさまざまな内容が含まれた Microsoft Office プログラムから印刷する文書の品質が自動的に向上します。このテクノロジーでは、文書のスキャンをして .JPEG または .PNG 形式の写真が自動的に調整されます。[HP EasyColor] テクノロジーによって、複数の部分に分割するのではなく画像全体を一度に処理して、カラーの一貫性や細部の鮮明さが向上し、印刷速度も上がります。

Mac に対応した HP Postscript プリンタ ドライバを使用すると、[HP EasyColor] テクノロジーによってすべての文書がスキャンされ、すべての写真の自動的に調整され、品質が向上します。

次に例を示します。左の画像は【HP EasyColor】オプションを使用せずに作成したものです。一方、【HP EasyColor】オプションを使用して作成した右の画像では、品質が向上していることが分かります。



HP PCL 6 プリンタ ドライバと HP Mac PostScript プリンタ ドライバでは、【HP EasyColor】オプションがデフォルトで有効になっているため、手動でカラー調整を行う必要はありません。このオプションを無効にして手動でカラー設定を行うには、Windows ドライバで【カラー】タブ、または Mac ドライバで【カラー オプション】を開き、【HP EasyColor】チェック ボックスをクリックしてチェックを外します。



カラーをコンピューター画面と一致させる

ほとんどのユーザーにとって、カラーのマッチングを行うための最適な方法は、sRGB カラーを印刷することです。

プリンターとコンピューターのモニタでは色の生成方法が異なるため、プリンター出力の色とコンピューター画面の色を一致させる処理は複雑です。モニタは RGB (赤、緑、青) カラー処理を使用して発光ピクセルで色を表示し、プリンターは CMYK (シアン、マゼンタ、イエロー、黒) 処理を使用して色を印刷します。

印刷物の色とモニタに表示される色がどの程度一致するかは、次のような要因の影響を受けます。

- 印刷するメディア
- プリンター インク
- 印刷プロセス (たとえば、インクジェット、プレス、またはレーザー技術)
- 天井の照明
- 色を認識する個人の特性
- ソフトウェア プログラム
- プリンター ドライバ
- コンピューターのオペレーティング システム
- モニタ
- ビデオ カードとドライバ
- 動作環境 (湿度など)

以上が、画面に表示される色が印刷物の色と完全に一致しない場合に考えられる要因です。

色あせおよび水濡れに強い印刷

HP Officejet の顔料インクはビジネス用に作成されており、液状のレーザー トナーのようなものです。取り扱いに強くすぐに乾く、プロフェッショナルで耐久性のあるカラー ドキュメントを実現します。普通紙上にプロフェッショナルな耐水性のドキュメントを印刷できます。

HP Officejet の顔料インクは、鮮やかな色と深みのある黒を実現するだけでなく、従来の染料インクに比べて、水濡れや色あせに強く、耐久性が高いという利点を備えています。このような独自の特長を実現できる理由は、顔料の粒子が水に溶けず、分散することで沈殿を防いでいることにあります。このため、出力は雨や水滴に強く、重要なドキュメントも安心して取り扱うことができます。

ビジネス用の HP Officejet インクは、HP プリントヘッドで使用するよう特別に開発されています。独自のインク組成により、プリントヘッドの長寿命化と信頼性の向上を実現しています。ColorLok® 用紙にこのインクで印刷した場合、レーザー プリンターと同様の品質の出力が得られ、乾燥が早く、配布用に最適です。

 **注記：** 各種普通紙を対象とした HP 社内テストの結果、HP では本製品で ColorLok® ロゴのついた用紙を使用することを強くお勧めしております。詳細については、<http://www.hp.com/go/printpermanence> をご覧ください。



10 コピー

- [コピー機能の使用](#)
- [コピー設定](#)
- [写真をコピーする](#)
- [複数のサイズが混在する原稿をコピーする](#)
- [両面コピー](#)

コピー機能の使用

コピー

1. 文書をスキャナ ガラスまたは文書フィーダにセットします。

⚠ 注意： ドキュメント フィーダを使用する場合、ドキュメントにホチキスがついていないことを確認してください。

注意： コピーを実行する場合、スキャン カバーが閉じていることを確認してください。



2. [ホーム] 画面の **コピー** ボタンをタッチします。
3. **黒** ボタンまたは **カラー** ボタンをタッチして、コピーを開始します。

複数コピー

1. 文書をスキャナ ガラスまたは文書フィーダにセットします。



2. [ホーム] 画面の**コピー**  ボタンをタッチします。
3. 矢印をタッチしてコピー部数を変更するか、既存の数字をタッチしてコピー部数を入力します。
4. **黒** ボタンまたは**カラー** ボタンをタッチして、コピーを開始します。

複数ページの原稿のコピー

1. 原稿を文書フィーダに上向きで挿入します。



2. ガイドを調節して、用紙に軽く触れるようにします。



3. [ホーム] 画面の**コピー**  ボタンをタッチします。
4. **黒** ボタンまたは**カラー** ボタンをタッチして、コピーを開始します。

ID カードのコピー

ID カードの両面や、他の小さいサイズの文書を、1 枚の用紙の同じ面にコピーするには、**ID コピー** 機能を使用します。表面をコピーするように求められた後、スキャナ ガラスの別の領域に裏面を置いて、再度コピーするように求められます。両方のイメージが同時に印刷されます。

1. 文書をスキャナ ガラスにセットします。



2. [ホーム] 画面の**コピー**  ボタンをタッチします。
3. **設定** ボタンをタッチし、**ID コピー** をタッチします。
4. **黒** ボタンまたは**カラー** ボタンをタッチして、コピーを開始します。

5. スキャナ ガラスの別の領域に次のページを置くように求められます。



6. さらに別のページをコピーする場合は **OK** ボタンをタッチします。これが最後のページの場合は **完了** ボタンをタッチします。
7. すべてのページが 1 枚の用紙の片面にコピーされます。

コピー ジョブのキャンセル

1. コントロール パネルの キャンセル **×** ボタンをタッチします。

 **注記：** 現在のジョブ画面がタイムアウトしていない場合は、キャンセル **×** ボタンを使用します。ステータス バーのキューからジョブをキャンセルすることもできます。

2. 文書フィーダに残っている用紙を取り除きます。

縮小/拡大コピー

1. 文書をスキャナ ガラスまたは文書フィーダにセットします。



2. [ホーム] 画面の **コピー**  ボタンをタッチします。

3. 設定ボタンをタッチし、縮小/拡大ボタンをタッチします。矢印ボタンをタッチしてオプションをスクロールし、オプションをタッチして選択します。
4. 黒ボタンまたはカラー ボタンをタッチして、コピーを開始します。

コピーの丁合い

1. 文書をスキャナ ガラスまたは文書フィーダにセットします。



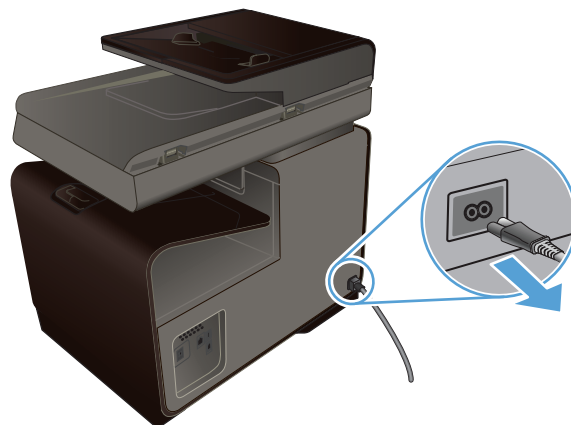
2. [ホーム] 画面のコピー  ボタンをタッチします。
3. 設定ボタンをタッチし、丁合いボタンをタッチして選択します。
4. 黒ボタンまたはカラー ボタンをタッチして、コピーを開始します。

コピー設定

スキャナ ガラスにごみや汚れがないか検査する

長い間に、スキャナのガラス板やビニール製の白い裏張り部分に細かいごみがたまり、性能が劣化する場合があります。次の手順に従って、スキャナのガラス板とプラスチック製の白い裏張り部分をクリーニングしてください。

1. プリンターの電源スイッチをオフにして、コンセントから電源コードを外します。



2. スキャナ カバーを開きます。
3. 非研磨性ガラス クリーナーを含ませた柔らかい布またはスポンジでスキャナのガラス板とビニール製の白い裏張り部分をクリーニングします。

注意： プリンターのどの部分にも研磨材、アセトン、ベンゼン、アンモニア、エチルアルコール、および四塩化炭素は使用しないでください。これらは、プリンターを損傷するおそれがあります。また、ガラス板やプラテンには液体を直接かけないでください。液体が漏れてプリンターを損傷するおそれがあります。



4. しみを防ぐには、セーム革またはセルローススポンジでガラス板とビニール製の白い部分を拭きます。
5. 製品の電源コードをコンセントに差し込み、製品の電源スイッチをオンにします。

コピーの薄さまたは濃さを調整する

1. 文書をスキャナ ガラスまたは文書フィーダーにセットします。



2. [ホーム] 画面の **コピー**  ボタンをタッチします。
3. **設定** ボタンをタッチし、**薄い/濃い** を選択し、矢印ボタンをタッチして設定を調整します。
4. **黒** ボタンまたは **カラー** ボタンをタッチして、コピーを開始します。

カスタム コピー設定を定義する

コントロール パネルでコピー設定を変更すると、カスタム設定はジョブの完了後、約 2 分間有効に残り、その後デフォルト設定に戻ります。すぐにデフォルト設定に戻すには、[ホーム] 画面のキャンセル  ボタンを押します。

印刷またはコピーを最小マージンで行う

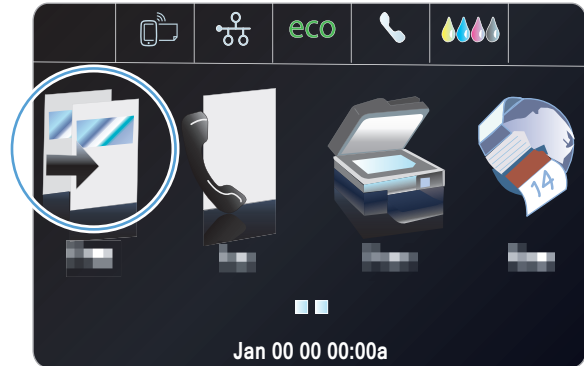
このプリンターでは、マージンなしで印刷することはできません。最大印刷領域は 203.2 x 347mm (8 x 13.7 インチ) であり、印刷できない部分がページの周囲に 4.23mm (1/6 インチ) 残ります。

端が切り取られた文書を印刷またはスキャンする場合の考慮事項

- 原稿が出力サイズより小さい場合は、スキャナのアイコンで示されている隅から原稿を 5mm 離します。この位置でコピーし直すかスキャンしてください。
- 原稿が目的の出力のサイズであるときは、**縮小/拡大**機能を使用し、イメージを縮小してコピーが切り取られないようにします。

特殊用紙にコピーする場合の用紙サイズと用紙タイプを設定する

1. ホーム画面の [コピー] ボタンをタッチします。



2. 設定ボタンをタッチし、トレイ選択ボタンにスクロールしてタッチします。
3. 必要に応じて、トレイの用紙サイズとタイプを設定します。

注記： 設定をトレイのデフォルトとして保存することができます。

4. 黒ボタンまたはカラー ボタンをタッチして、コピーを開始します。

写真をコピーする

 **注記：** 写真は、文書フィーダからではなくてスキャナのガラス板からコピーします。

1. スキャナのガラス板の左上角に合わせて下向きにして写真を乗せ、スキャナのカバーを閉じます。



2. [ホーム] 画面のコピー  ボタンをタッチします。
3. 設定ボタンをタッチし、強調ボタンにスクロールしてタッチします。

4. **混在** ボタンをタッチします。
5. **黒**ボタンまたは**カラー** ボタンをタッチして、コピーを開始します。

複数のサイズが混在する原稿をコピーする

複数のサイズが混在する原稿をコピーするには、スキャナのガラス板を使用します。

 **注記：** ページの片方の寸法が共通している場合に限り、文書フィーダを使用して複数のサイズが混在する原稿をコピーできます。たとえば、レター サイズとリーガル サイズのページを組み合わせることができます。レター サイズとリーガル サイズの幅が同じだからです。上部の端がそれぞれ均等になり、ページの幅が同じで長さが異なるようにページを重ねてください。

1. 原稿の最大ページに十分対応できる大きさの用紙をトレイにセットします。
2. スキャナのガラス板の左上隅に合わせて下向きに、原稿の 1 ページを置きます。



3. [ホーム] 画面の**コピー**  ボタンをタッチします。
4. **設定**ボタンをタッチし、**トレイ選択**ボタンにスクロールしてタッチします。
5. トレイに入れた用紙のサイズの名前を用紙サイズのリストからタッチします。
6. **黒**ボタンまたは**カラー** ボタンをタッチして、コピーを開始します。
7. ページごとにこの手順を繰り返します。

両面コピー

自動両面コピー

1. 文書の 1 ページ目をスキャナ ガラスまたは文書フィーダにセットします。



2. [ホーム] 画面の **コピー**  ボタンをタッチします。
3. **両面印刷** ボタンをタッチします。
4. 使用する両面オプションを選択します。たとえば、両面の原稿を両面印刷するには、[両面から両面] オプションを選択します。
5. **黒** ボタンまたは **カラー** ボタンをタッチして、コピーを開始します。

11 スキャン

- [スキャン機能の使用](#)
- [スキャン設定](#)
- [USB への写真のスキャン](#)

スキャン機能の使用

プリンターを使用して、スキャナ ガラスまたは文書フィーダから文書をスキャンします。

 **注意：** ドキュメント フィーダを使用する場合、ドキュメントにホチキスがついていないことを確認してください。

注意： 最高のスキャン品質を得るには、プリンターをオンにする前にスキャナーのカバーを閉じます。これにより、スキャナーの調整が行われます。

スキャン方法

スキャン ジョブは、次の方法で実行します。

- 製品のコントロール パネルから USB フラッシュ ドライブにスキャンします。
- HP Scan ソフトウェアを使用してコンピューターからスキャンします。
- TWAIN 対応または Windows Image Acquisition (WIA) 対応ソフトウェアからスキャンします。

 **注記：** テキスト認識ソフトウェアについて調べて使用するには、ソフトウェア CD から Readiris プログラムをインストールしてください。テキスト認識ソフトウェアは、光学文字認識 (OCR) ソフトウェアとも呼ばれます。

USB ドライブにスキャンする

1. 文書をスキャナ ガラスまたは文書フィーダにセットします。
2. USB ドライブを製品の正面と背面にあるポートに接続します。
3. [ホーム] 画面の[スキャン](#)  ボタンをタッチします。
4. [[USB ドライブにスキャン](#)] 画面にタッチします。
5. [スキャン](#) ボタンをタッチし、ファイルをスキャンして保存します。USB ドライブに [HP] という名前のフォルダが作成され、自動生成されたファイル名を使用してファイルが .PDF または .JPG 形式で保存されます。

 **注記：** 要約画面が開いたら、タッチして設定を調整できます。

HP スキャン ソフトウェアから原稿をスキャンする

ご使用のオペレーティング システム用の説明に従ってください。

 **注記：** HP ソフトウェアを使用すると、ドキュメントを編集可能なテキスト (スキャンしたドキュメント内で検索、コピー、貼り付け、編集が可能な形式) としてスキャンできます。この形式を使用して、レター、新聞の切り抜き、その他多くのドキュメントを編集することができます。

Windows

1. 印刷面を下にしてガラス面の左下隅に合わせて、または ADF に印刷面を上にして原稿をセットします。
2. コンピューターで HP スキャン ソフトウェアを開きます。
 - コンピューターのデスクトップで、**[スタート]** をクリックします。
 - **[プログラム]** または **[すべてのプログラム]** を選択します。
 - お使いの HP プリンターのフォルダーを選択します。
 - **[HP Scan]** を選択します。
3. スキャン ショートカットを選択します。必要に応じて、スキャン設定に変更を加えます。
4. スキャンを開始するには、**[スキャン]** をクリックします。

Mac OS X

1. 印刷面を下にしてガラス面の左下隅に合わせて、または ADF に印刷面を上にして原稿をセットします。
2. **[HP Scan]** アイコンをダブルクリックします。このアイコンは、ハードディスクのトップ レベルにある **[アプリケーション]** フォルダー内の **[Hewlett-Packard]** フォルダーに存在します。
3. プロンプトに従ってスキャンを完了します。

他のソフトウェアを使用したスキャン

このプリンターは、TWAIN および Windows Image Acquisition (WIA) に対応しています。TWAIN 対応または WIA 対応スキャン デバイスをサポートする Windows ベースのプログラムと、TWAIN 対応スキャン デバイスをサポートする Macintosh ベースのプログラムで動作します。

TWAIN 対応または WIA 対応プログラムを使用している場合、スキャン機能にアクセスして、開いているプログラムから直接イメージをスキャンできます。詳細については、TWAIN-または WIA 準拠ソフトウェア プログラムに付属するヘルプ ファイルまたはドキュメントと、[Windows で HP ソフトウェアを使用せずにスキャンするには](#) を参照してください。

TWAIN 対応プログラムからのスキャン

一般に、**[取得]**、**[ファイルの取得]**、**[スキャン]**、**[新しいオブジェクトのインポート]**、**[挿入]**、**[スキャナ]** などのコマンドがあるプログラムは TWAIN に対応しています。プログラムが対応しているかどうか不明な場合、またはコマンドの名前が不明な場合は、そのソフトウェア プログラムのヘルプまたはマニュアルを参照してください。

TWAIN 対応プログラムからスキャンすると、HP Scan ソフトウェアが自動的に起動することがあります。HP Scan プログラムが起動したら、イメージをプレビューしながら変更を行うことができます。プログラムが自動的に起動しない場合、イメージはすぐに TWAIN 対応プログラムに送信されます。

TWAIN-compliant 対応プログラムからスキャンを開始します。コマンドや使用する手順については、ソフトウェア プログラムのヘルプまたはマニュアルを参照してください。

WIA 対応プログラムからのスキャン

WIA は、ソフトウェア プログラムから直接イメージをスキャンするもう 1 つの方法です。WIA は、HP Scan ソフトウェアの代わりに Microsoft ソフトウェアを使用してスキャンします。

一般的に、ソフトウェア プログラムの [挿入] メニューや [ファイル] メニューに **「スキャナまたはカメラから画像を取得」** のようなコマンドがあれば、WIA に対応しています。プログラムが WIA 対応かどうか不明な場合は、ソフトウェア プログラムのヘルプまたはドキュメントを参照してください。

WIA-compliant 対応プログラムからスキャンを開始します。コマンドや使用する手順については、ソフトウェア プログラムのヘルプまたはマニュアルを参照してください。

または

Windows のコントロール パネルから、**「スキャナとカメラ」** フォルダ (Windows Vista と Windows 7 の場合は **「ハードウェアとサウンド」** フォルダ) で、製品アイコンをダブルクリックします。これにより、標準の Microsoft WIA ウィザードが開き、ファイルをスキャンできます。

光学文字認識 (OCR) ソフトウェアを使用したスキャン

スキャンしたテキストを目的のワープロ プログラムにインポートして編集するには、HP Scan ソフトウェアを開き、**「編集可能テキスト (OCR) として保存」** というショートカットを選択します。

他社製の OCR ソフトウェアを使用することもできます。Readiris Pro OCR プログラムは、製品に同梱されている別個の CD に収録されています。Readiris Pro プログラムを使用するには、該当するソフトウェア CD からプログラムをインストールし、オンライン ヘルプの指示に従います。

スキャンのキャンセル

スキャン ジョブをキャンセルするには、次のいずれかの手順を使用します。

- プリンターのコントロール パネルの **キャンセル**  ボタンをタッチします。
- タイムアウトが発生した場合、ステータス バーからジョブを選択して削除します。

スキャン設定

スキャナの解像度とカラー

スキャンしたイメージを印刷して、品質が期待どおりでない場合は、ニーズに合わない解像度またはカラーの設定をスキャナ ソフトウェアで選択した可能性があります。 解像度およびカラーは、スキャンするイメージの次の品質に影響します。

- 鮮明度
- グラデーションのテクスチャ (スムーズまたは粗め)
- スキャン時間
- ファイル サイズ

スキャンの解像度は、インチあたりのピクセル数 (ppi) で測定します。

 **注記：** スキャンの ppi レベルは、印刷の dpi (インチあたりのドット数) レベルに置き換えられません。

カラー、グレースケール、モノクロにより、可能なカラーの数が定義されます。 スキャナ ハードウェアの解像度は、最大 600ppi に調整できます。

解像度およびカラーのガイドラインの表には、スキャンのニーズを満たすために従うべき簡潔なヒントが記載されています。

 **注記：** 解像度およびカラーを高い値に設定すると、ファイルが大きくなってディスク領域を占有し、スキャン処理が遅くなることがあります。 解像度およびカラーを設定する前に、スキャンしたイメージをどのように使用するかを判断してください。

解像度およびカラーのガイドライン

次の表では、さまざまなタイプのスキャン ジョブに推奨する解像度設定およびカラー設定について説明します。

 **注記：** デフォルトの解像度設定は、フラットベッド スキャンでは約 600 dpi、ADF スキャンでは約 300 dpi です。

使用方法	推奨解像度	推奨カラー設定
ファクス	300 dpi	● モノクロ
電子メール	300 dpi	● スムーズなグラデーションがイメージで必要ない場合はモノクロ ● スムーズなグラデーションがイメージで必要な場合はグレースケール ● イメージがカラーである場合はカラー
テキスト編集	300 dpi	● モノクロ

使用方法	推奨解像度	推奨カラー設定
印刷 (グラフィックスまたはテキスト)	通常のグラフィックスおよびテキストの場合は 600 dpi	- 濃淡があるかカラーのグラフィックスまたは写真の場合はグレースケール - イメージがカラーである場合はカラー
画面表示	75 dpi	- テキストの場合はモノクロ - グラフィックスおよび写真の場合はグレースケール - イメージがカラーである場合はカラー

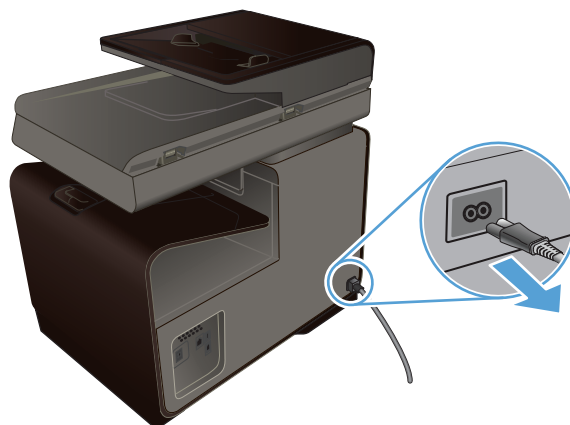
薄い/濃い

明るさの値を設定するには、スライダを使用してスキャンした画像を薄くするか濃くします。

スキャン品質

長い間に、スキャナガラス板やビニール製の白い裏張り部分に細かいごみがたまり、性能が劣化する場合があります。 次の手順に従って、スキャナのガラス板とプラスチック製の白い裏張り部分をクリーニングしてください。

1. プリンターの電源スイッチをオフにして、コンセントから電源コードを外します。



2. スキャナ カバーを開きます。

3. 非研磨性ガラス クリーナーを含ませた柔らかい布またはスポンジでスキヤナのガラス板とビニール製の白い裏張り部分をクリーニングします。

注意： プリンターのどの部分にも研磨材、アセトン、ベンゼン、アンモニア、エチルアルコール、および四塩化炭素は使用しないでください。これらは、プリンターを損傷するおそれがあります。また、ガラス板やプラテンには液体を直接かけないでください。液体が漏れてプリンターを損傷するおそれがあります。



4. しみを防ぐには、セーム革またはセルローススポンジでガラス板とビニール製の白い部分を拭きます。
5. プリンターの電源コードをコンセントに差し込み、プリンターの電源スイッチをオンにします。

USB への写真のスキャン

1. スキャナのガラス板の左上角に合わせて下向きにして写真を乗せ、スキャナのカバーを閉じます。



2. USB ストレージ デバイスを製品の正面と背面にあるポートに挿入します。
3. [ホーム] 画面の**スキャン**  ボタンをタッチします。

4. USB ドライブにスキャン ボタンをタッチします。スキャン設定の要約がコントロール パネルに表示されます。設定を調整するには、この画面をタッチします。
5. 文書をスキャンして USB フラッシュ ドライブ上のフォルダに保存するには、[スキャン] ボタンをタッチします。

12 ファクス

- [ファクス機能を設定する](#)
- [電話帳を使用する](#)
- [ファクスの設定を行う](#)
- [ファクスを使用する](#)
- [ファクスに関する問題を解決する](#)
- [規制に関する情報および保証](#)

ファクス機能を設定する

ハードウェアの設置と接続

電話回線へのファクスの接続

▲ 電話ケーブルを製品のライン ポート  と壁の電話ジャックに接続します。

この製品はアナログ デバイスです。HP では、専用のアナログ回線で製品を使用することをお勧めします。DSL、PBX、ISDN、または VoIP などのデジタル環境を使用している場合、必ず適切なフィルタを使用し、デジタル設定を正しく設定してください。詳細については、ご利用のデジタル サービス プロバイダにお問い合わせください。

 **注記：** 国/地域によっては、製品に付属する電話コードにアダプタが必要な場合があります。

ファクスの設定

製品のファクス設定は、コントロール パネルまたは HP 内蔵 Web サーバーから設定できます。

米国とその他多くの国/地域では、時刻、日付、その他のファクス ヘッダー情報を設定することが法的な要件になっています。

コントロール パネルを使用したファクスの時刻、日付、ヘッダーの設定

コントロール パネルを使用して、日付、時刻、ヘッダーを設定するには、次の手順に従います。

1. ホーム画面の [セットアップ ] ボタンをタッチします。
2. [デバイス セットアップ] メニューをタッチします。
3. [ユーザー設定] メニューをタッチします。
4. スクロールして [日付と時刻] ボタンをタッチします。
5. 12 時間時計か 24 時間時計を選択します。

6. キーパッドを使用して現在の時刻を入力し、OK ボタンをタッチします。
7. 日付形式を選択します。
8. キーパッドを使用して現在の日付を入力し、OK ボタンをタッチします。
9. **ファクス設定** メニューで、**ファクスの基本設定** メニューをタッチし、**ファクス ヘッダ** メニューをタッチします。
10. プロンプトが表示されたら、キーパッドを使用して名前とファクス番号を入力し、OK ボタンをタッチします。

 **注記：** ファクス番号の最大文字数は 20 文字です。

11. キーパッドを使用して会社名やその他のヘッダー識別情報を入力し、OK ボタンをタッチします。

 **注記：** ファクス ヘッダーの最大文字数は 25 文字です。

ローカライズされた一般的な文字の使用

コントロール パネルを使用してテキストを入力したり、ワンタッチ キー、短縮ダイヤル エントリ、グループ ダイヤル エントリに名前を入力する場合、123 ボタンをタッチして、特殊文字が含まれるキーパッドを開きます。

HP ファクス セットアップ ウィザードの使用 (Windows)

ソフトウェアをインストールした時点でファクス設定処理を完了しなかった場合は、HP ファクス設定ウィザードを使用してファクス設定処理をいつでも完了できます。

1. コンピューターで、[スタート] をクリックし、[プログラム] をクリックします。
2. [HP]、製品名、お使いのプリンターの順にクリックします。HP プリンターアシスタントの [ファクス] セクションから [ファクス セットアップ ウィザード] を選択します。
3. ファクス セットアップ ウィザードの画面に表示される指示に従い、ファクス設定を行います。

電話帳を使用する

頻繁にダイヤルするファクス番号は、個別のファクス番号として、または他の電話帳ファクス番号エントリとして保存できます (最大 75 個)。

短縮ダイヤルを使用する

短縮ダイヤルの作成と編集

1. 製品の [ホーム] 画面の **ファクス**  ボタンをタッチします。
2. **[短縮ダイヤル設定]** メニューをタッチします。
3. **短縮ダイヤルの追加/編集** ボタンをタッチします。
4. 割り当てていない番号をリストからタッチします。
5. プロンプトが表示されたら、キーパッドを使用してエントリの番号を入力し、**次へ** ボタンをタッチします。
6. キーパッドを使用してファクス番号の名前を入力し、**完了** ボタンをタッチします。



短縮ダイヤルのエントリの削除

1. [ホーム] 画面の **ファクス**  ボタンをタッチします。
2. **[短縮ダイヤル設定]** メニューをタッチします。
3. **短縮ダイヤルを削除** ボタンをタッチします。
4. 削除するエントリをタッチします。



グループ ダイヤル エントリを管理する

グループ ダイヤル エントリの作成と編集

1. グループに含めるファクス番号ごとに、個別のエントリを作成します。
 - a. [ホーム] 画面の **ファクス**  ボタンをタッチします。
 - b. [短縮ダイヤル設定] メニューをタッチします。
 - c. **短縮ダイヤルの追加/編集** ボタンをタッチします。
 - d. 割り当てていない番号をリストからタッチします。
 - e. キーパッドを使用してエントリのファクス番号を入力し、**次へ** ボタンをタッチします。
 - f. キーパッドを使用してエントリの名前を入力し、**完了** ボタンをタッチします。
2. [短縮ダイヤル設定] メニューから [グループ短縮ダイヤル] ボタンをタッチします。
3. 割り当てていない番号をリストからタッチします。
4. グループに含める個別エントリの名前をタッチします。完了したら、[OK] ボタンをタッチします。
5. キーパッドを使用してグループの名前を入力し、[完了] ボタンをタッチします。

ファクスの設定を行う

ファクス送信設定

ダイヤルの特殊記号およびオプションの設定

ダイヤルしているファクス番号にポーズを挿入できます。ポーズは、多くの場合、国際電話をかけるとき、または外線に接続するときに挿入できます。これらの記号にアクセスするには、キーパッドの * 文字をタッチします。

特殊記号	ボタン	説明
ダイヤル トーンのポーズ		ファクス番号を入力する際には、コントロール パネルのキーパッドにある W ボタンが使用できます。この製品は、この文字により、ダイヤル トーンを待機してから、電話番号の残りの部分をダイヤルします。
フック フラッシュ		ファクス番号を入力する際には、コントロール パネルのキーパッドにある R ボタンが使用できます。この製品は、この文字により、フック フラッシュを挿入します。

ダイヤル局番の設定

ダイヤル局番は番号または番号のグループであり、コントロール パネルかソフトウェアで入力したすべてのファクス番号の先頭に自動的に追加されます。ダイヤル局番の最大文字数は 50 文字です。

デフォルト設定は [オフ] です。たとえば、会社の電話システム外の電話回線につなげるために 9 などの番号をダイヤルする必要がある場合に、この設定をオンに切り替えて局番を入力できます。この設定がアクティブである間は、手動でダイヤルしてダイヤル局番なしでファクス番号をダイヤルできます。

1. ホーム画面の [セットアップ ] ボタンをタッチします。
2. [ファクス設定] メニューをタッチします。
3. [基本設定] メニューをタッチします。
4. スクロールして [ダイヤル識別番号] ボタンをタッチし、[オン] ボタンをタッチします。
5. キーパッドを使用して局番を入力し、[完了] ボタンをタッチします。 使用できるのは、番号、ポーズ、ダイヤル記号です。

トーン ダイヤルまたはパルス ダイヤルの設定

トーン ダイヤル モードまたはパルス ダイヤル モードにこの製品を設定するには、次の手順を実行します。出荷時のデフォルト設定は [トーン ダイヤル] です。電話回線でトーン ダイヤルを使用できることが分かっている場合は、この設定を変更しないでください。

 **注記：** パルス ダイヤル オプションは、一部の国/地域では利用できません。

1. ホーム画面の [セットアップ ] ボタンをタッチします。
2. [ファクス設定] メニューをタッチします。
3. [基本設定] メニューをタッチします。
4. スクロールして [ダイヤルの種類] ボタンをタッチし、[トーン ダイヤル] ボタンまたは [パルス ダイヤル] ボタンをタッチします。

自動リダイヤルおよびリダイヤル間の時間の設定

受信側ファクス機が応答しないか通話中であるためにこの製品がファクスを送信できない場合は、通話中の場合のリダイヤル、応答しない場合のリダイヤル、通信エラーの場合のリダイヤルの各オプションに基づいてリダイヤルが試されます。

通話中の場合のリダイヤル オプションの設定

このオプションをオンにすると、この製品は、通話中信号を受信した場合に自動的にリダイヤルします。通話中の場合のリダイヤル オプションの出荷時のデフォルト設定は [オン] です。

1. ホーム画面の [セットアップ ] ボタンをタッチします。
2. [ファクス設定] メニューをタッチします。
3. [ファクスの詳細設定] メニューをタッチします。
4. リダイヤル セットアップ ボタンをタッチします。
5. スクロールして [ビジー リダイヤル] ボタンをタッチし、[オン] ボタンをタッチします。

応答しない場合のリダイヤル オプションの設定

このオプションをオンにすると、この製品は、受信側装置が応答しない場合に自動的にリダイヤルします。 応答しない場合のリダイヤル オプションの出荷時のデフォルト設定は [オフ] です。

1. ホーム画面の [セットアップ - 2. [ファクス設定] メニューをタッチします。
- 3. [ファクスの詳細設定] メニューをタッチします。
- 4. リダイヤル セットアップ ボタンをタッチします。
- 5. スクロールして [応答なしリダイヤル] ボタンをタッチし、[オン] ボタンをタッチします。

通信エラーの場合のリダイヤル オプションの設定

このオプションをオンにすると、この製品は、何らかの通信エラーが発生した場合、自動的にリダイヤルします。 通信エラーの場合のリダイヤル オプションの出荷時のデフォルト設定は [オン] です。

 **注記：** 通信エラーの場合のリダイヤル機能は、スキャンとファクス、後でファクスを送信、ブロードキャスト ファクスの場合のみ使用できます。

1. ホーム画面の [セットアップ - 2. [ファクス設定] メニューをタッチします。
- 3. [ファクスの詳細設定] メニューをタッチします。
- 4. [リダイヤル セットアップ] ボタンをタッチします。
- 5. スクロールして [通信エラー リダイヤル] ボタンをタッチし、[オン] ボタンをタッチします。

濃淡および解像度の設定

濃淡設定の変更

この設定は、送信中の送信ファクスの薄さと暗さに影響します。

濃淡のデフォルト設定は、ファクスされる項目に一般的に適用されます。 デフォルト設定では、スライダが中間に設定されています。

1. [ホーム] 画面の **ファクス**  ボタンをタッチします。
2. [設定] メニューをタッチします。
3. [薄い/濃い] ボタンをタッチし、いずれかの矢印をタッチしてスライダを調整します。

解像度の設定

 **注記：** 解像度を上げると、ファクスのサイズは大きくなります。 ファクスが大きくなると送信時間は長くなり、この製品の使用可能メモリを超えることがあります。

すべてのファクス ジョブのデフォルト解像度を次のいずれかの設定に変更するには、次の手順を実行します。

- **標準**: この設定では品質が最低になり、送信時間は最も速くなります。
- **高解像度**: この設定では、解像度品質が**標準**よりも高くなります。一般的にテキスト文書に適しています。
- **超高画質**: テキストとイメージが混在する文書に最適な設定です。送信時間は**高解像度**設定よりも長くなります。
- **フォト**: 画像を含む文書に最適な設定です。

解像度の出荷時のデフォルト設定は **[高解像度]** です。

解像度のデフォルト設定の構成

1. [ホーム] 画面の**ファクス**  ボタンをタッチします。
2. **設定** ボタンをタッチします。
3. **[解像度]** ボタンをタッチし、いずれかのオプションをタッチします。

表紙ページのテンプレート

HP デジタル ファクス ソフトウェア プログラムでは、ビジネス用ファクスおよび個人用ファクスの表紙ページのテンプレートをいくつか使用できます。

 **注記**: 表紙ページ テンプレートは変更できませんが、そのテンプレートのフィールドの編集は可能です。

ファクス受信設定

ファクス転送の設定

受信ファクスを別のファクス番号に転送するように、この製品を設定できます。この製品にファクスが届くと、ファクスはメモリに保存されます。次に、指定したファクス番号がダイヤルされて、ファクスが送信されます。その番号が通話中などのエラーのためにファクスが転送されず、リダイヤルを繰り返しても正常に転送されない場合は、ファクスが印刷されます。

ファクスの受信中にメモリが不足した場合は、ファクス受信が終了し、メモリに保存されたページおよびページの一部のみが転送されます。

ファクス転送機能を使用する場合は、この製品で（コンピューターではなく）ファクスを受信し、応答モードを**自動**に設定する必要があります。

1. ホーム画面の **[セットアップ]**  ボタンをタッチします。
2. **[ファクス設定]** メニューをタッチします。
3. **[ファクスの詳細設定]** メニューをタッチします。
4. **[ファクスの転送]** メニューをタッチします。
5. **[ファクスの転送]** ボタンをタッチし、**[オン]** ボタンをタッチします。
6. キーパッドを使用してファクス転送番号を入力し、**[完了]** ボタンをタッチします。

ファクス番号のブロックまたはブロック解除

 **注記：** ファクスのブロックは、着信識別機能がサポートされる場合のみサポートされます。

特定の人や企業からファクスを受信しない場合は、コントロール パネルを使用して、30 までのファクス番号をブロックできます。ファクス番号をブロックし、その番号からファクスが送信されると、その番号がブロックされていることがコントロール パネルに表示され、ファクスは印刷されず、メモリに保存されません。ブロックしたファクス番号からのファクスは、「破棄」と指定されてファクス使用状況ログに表示されます。ブロックしたファクス番号は、個別にまたはすべて同時にブロック解除できます。

 **注記：** ブロックされたファクスの送信者には、ファクスがエラーになったことが通知されません。

1. ホーム画面の [セットアップ - 2. [ファクス設定] メニューをタッチします。
- 3. [ファクスの基本設定] メニューをタッチします。
- 4. 迷惑ファクスのブロック ボタンをタッチします。
- 5. 番号の追加 ボタンをタッチします。
- 6. キーパッドを使用して、ブロックするファクス番号を入力し、[完了] ボタンをタッチします。

応答するまでの呼び出し回数の設定

応答モードを [自動] に設定すると、応答するまでの呼び出し回数の設定により、着信が応答される前に電話の呼び出し音が鳴る回数が決まります。

ファクス コールと音声電話の両方を受信し (共有回線)、留守番電話機も使用している回線にこの製品を接続している場合は、応答するまでの呼び出し回数の設定を調整しなければならないことがあります。応答するまでの呼び出し回数は、留守番電話機の応答するまでの呼び出し回数より多くする必要があります。これにより、音声電話の場合は、留守番電話機が着信に応答してメッセージを録音できるようになります。留守番電話機がコールに応答すると、この製品はコールを聞き、ファクス トーンを検出すると自動的に応答します。

応答するまでの呼び出し回数のデフォルト設定は、米国とカナダで 5 回、その他の国/地域で 2 回です。

次の表を使用し、応答するまでの呼び出し回数を決めてください。

電話回線のタイプ	応答するまでの呼び出し回数の推奨設定
専用ファクス回線 (ファクス コールのみを受信)	コントロール パネルに表示される範囲内で呼び出し回数を設定します。(許容される呼び出しの最少回数および最大回数は、国/地域によって異なります。)
2 つの別々の番号があり、呼び出しパターン サービスがある 1 回線	1 回または 2 回の呼び出し。(別の電話番号に留守番電話機またはコンピューターのボイスメールがある場合は、留守番電話システムよりも呼び出し回数を多く設定してください。また、特徴のある呼び出し機能を使用し、音声電話とファクス コールを区別してください。)

電話回線のタイプ	応答するまでの呼び出し回数の推奨設定
電話機のみが接続されている共有回線（ファクス コールと音声電話の両方を受信）	5 回以上。
留守番電話機またはコンピューターのボイスメールが接続された共有回線（ファクス コールと音声電話の両方を受信）	留守番電話機またはコンピューターのボイスメールより 2 回多い回数。

応答するまでの呼び出し回数を設定または変更するには、次の手順を実行します。

1. ホーム画面の [セッティング] ボタンをタッチします。
2. [ファクス設定] メニューをタッチします。
3. [ファクスの基本設定] メニューをタッチします。
4. 応答するまでの呼び出し回数 ボタンをタッチします。
5. キーパッドを使用して呼び出し回数を入力し、[完了] ボタンをタッチします。

特徴のある呼び出しの設定

呼び出しパターン サービスまたは特徴のある呼び出しサービスは、その地域の一部の電話会社で利用できます。このサービスにより、複数の電話番号を単一回線で利用できます。それぞれの電話番号の呼び出しパターンは固有であるため、ユーザは音声電話に应答し、この製品はファクス コールに应答できます。

電話会社の呼び出しパターン サービスを利用している場合は、正しい呼び出しパターンに应答するようにこの製品を設定する必要があります。一部の国/地域では、固有の呼び出しパターンがサポートされていません。電話会社に連絡し、自分の国/地域でこのサービスを利用できるかどうかを判断してください。

 **注記：** 呼び出しパターン サービスがなく、呼び出しパターンの設定をデフォルトの [すべての呼び出し] 以外に変更すると、ファクスを受信できなくなることがあります。

設定は次のとおりです。

- **呼び出し音のパターン検出：** 製品の呼び出し音のパターン検出機能をオフまたはオンにします。
- **すべての呼び出し：** プリンターは、電話回線をとおして着信するすべての呼び出しに应答します。
- **1 回：** プリンターは、1 回呼び出しパターンを生成するすべての呼び出しに应答します。
- **2 回：** プリンターは、2 回呼び出しパターンを生成するすべての呼び出しに应答します。
- **3 回：** プリンターは、3 回呼び出しパターンを生成するすべての呼び出しに应答します。
- **2 回および 3 回：** プリンターは 2 回呼び出しまたは 3 回呼び出しパターンを生成するすべての呼び出しに应答します。

コール应答の呼び出しパターンを変更するには、次の手順を実行します。

1. ホーム画面の [セッティング] ボタンをタッチします。
2. [ファクス設定] メニューをタッチします。

3. [ファクスの詳細設定] メニューをタッチします。
4. [特徴のある呼び出し] ボタンをタッチし、オプションの名前をタッチします。

受信ファクスの自動縮小の使用

受信ファクス自動縮小の出荷時のデフォルト設定は [オン] です。

[ファクス スタンプ] オプションをオンにした場合は、自動縮小もオンにしなければならないことがあります。これによって受信ファクスのサイズがわずかに小さくなり、ページスタンプのためにファクスが 2 ページになることが防止されます。

 **注記：** デフォルト用紙サイズ設定が、トレイ内の用紙のサイズと一致していることを確認してください。

1. ホーム画面の [セットアップ - 2. [ファクス設定] メニューをタッチします。
- 3. [ファクスの詳細設定] メニューをタッチします。
- 4. [自動縮小] ボタンをタッチし、**オン** ボタンをタッチします。

ファクス音量の設定

ファクスの音量はコントロール パネルから制御します。

ファクスの受信スタンプの設定

それぞれの受信ファクスの最上部には、送信者の識別情報が印刷されます。独自のヘッダー情報を受信ファクスにスタンプし、ファクスを受信した日時を確認することもできます。ファクスの受信スタンプの出荷時のデフォルト設定は [オフ] です。

 **注記：** 受信スタンプの設定をオンにすると、ページ サイズが大きくなり、2 ページ目が印刷される原因となることがあります。

 **注記：** このオプションは、この製品で印刷する受信ファクスのみに適用されます。

1. ホーム画面の [セットアップ - 2. [ファクス設定] メニューをタッチします。
- 3. [ファクスの詳細設定] メニューをタッチします。
- 4. スクロールして [ファクス スタンプ] ボタンをタッチし、[オン] ボタンまたは [オフ] ボタンをタッチします。

ファクス ポーリングの設定

ポーリング (要求に応じて送信) が設定されたファクスがある場合は、そのファクスをこの製品に送信するように要求できます (他の装置に対するポーリングとして知られています)。

1. [ホーム] 画面の **ファクス**  ボタンをタッチします。
2. **ファクス方法** ボタンをタッチします。

3. ポーリング受信 ボタンをタッチします。
4. キーパッドを使用して、ポーリングするファクス機の数を入力し、[ファクス開始] ボタンをタッチします。

この製品はその他のファクス機にダイヤルし、ファクスを要求します。

ファクスを使用する

ファクス ソフトウェア

サポート対象のファクス プログラム

この製品に付属の PC ファクス プログラムのみが、この製品で動作する PC ファクス プログラムです。 コンピューターに以前インストールした PC ファクス プログラムを使用し続けるには、コンピューターにすでに接続されているモデムを使用します。この製品のモデムでは機能しません。

ファクスのキャンセル

現在ダイヤルしている 1 件のファクス、または送受信しているファクスをキャンセルするには、次の指示に従います。

現在のファクスのキャンセル

現在のジョブ画面がタイムアウトしていない場合は、コントロール パネルのキャンセル  ボタンを押します。 ジョブがタイムアウトした後で、ステータス バーでジョブを選択してキャンセルすることもできます。

保留中ファクス ジョブのキャンセル

次の状況でファクス ジョブをキャンセルするには、以下の手順を実行します。

- 通話中信号を受けたか、コールが応答されないか、通信エラーが発生した後でリダイヤルを待機している。
- 後で送信するようにファクスがスケジュールされている。

[ファクス ジョブ ステータス] メニューを使用してファクス ジョブをキャンセルするには、次の手順を実行します。

1. [ホーム] 画面の **ファクス**  ボタンをタッチします。
2. **ファクス ジョブ ステータス** ボタンをタッチします。
3. キャンセルするジョブのファクス番号をタッチします。

DSL システム、PBX システム、または ISDN システムでファクスを使用する

HP の製品は、従来のアナログ電話サービスで使用するよう限定的に設計されています。DSL、PBX、ISDN 回線、または VoIP サービスで動作するようには設計されていませんが、適切な設定と機器を使用すれば動作します。

 **注記：** HP では、DSL、PBX、ISDN、VoIP の設定オプションについて、サービス プロバイダに相談することを推奨しています。

HP Officejet 製品はアナログ デバイスであり、デジタルからアナログへのコンバータを使用しない限り、一部のデジタル電話環境との互換性はありません。HP では、デジタル環境またはデジタルからアナログへのコンバータとの互換性が製品にあることを保証していません。

DSL

デジタル加入者回線 (DSL) では、標準的な電話の銅線でデジタル技術が使用されます。この製品には、このデジタル信号との直接的な互換性はありません。しかし、DSL の設定中に構成を指定すると信号を分離できるので、帯域幅の一部を使用してアナログ信号 (音声とファクス) を送信しながら、残りの帯域幅を使用してデジタル データを送信できます。

 **注記：** DSL サービスとの互換性がないファクスもあります。HP では、すべての DSL サービス回線またはプロバイダとの互換性が製品にあることを保証していません。

一般的な DSL モデムでは、低周波数のアナログ電話とファクスのモデム通信から、高周波数の DSL モデム通信を分離するフィルタが採用されています。多くの場合は、アナログ電話とアナログ ファクスの製品でフィルタを使用し、DSL モデムによって使用される電話回線に接続する必要があります。DSL サービス プロバイダは、一般的にこのフィルタを提供しています。詳細および支援については、DSL プロバイダに問い合わせてください。

PBX

この製品はアナログ デバイスであり、一部のデジタル電話環境との互換性はありません。ファクス機能には、デジタルからアナログへのフィルタかコンバータが必要になることがあります。PBX 環境でのファクス送信に問題がある場合は、PBX プロバイダに連絡して支援を求めなければならないことがあります。HP では、デジタル環境またはデジタルからアナログへのコンバータとの互換性が製品にあることを保証していません。

詳細および支援については、PBX プロバイダに問い合わせてください。

ISDN

この製品はアナログ デバイスであり、一部のデジタル電話環境との互換性はありません。ファクス機能には、デジタルからアナログへのフィルタかコンバータが必要になることがあります。ISDN 環境でのファクス送信に問題がある場合は、ISDN プロバイダに連絡して支援を求めなければならないことがあります。HP では、ISDN デジタル環境またはデジタルからアナログへのコンバータとの互換性が製品にあることを保証していません。

VoIP サービスでのファクスの使用

ボイス オーバー IP (VoIP) サービスには、多くの場合、プロバイダが IP サービスでファクスをサポートしていると明言していない限り、ファクス機との互換性はありません。

VoIP ネットワーク上でファクスを動作させる場合に問題が発生する場合は、すべてのケーブルと設定が正しいことを確認してください。ファクス速度の設定を低くすると、VoIP ネットワーク上でこの製品によってファクスを送信できることがあります。

VoIP プロバイダが接続用に「パス スルー」モードを提供している場合は、VoIP 上でファクスのパフォーマンスが上がります。プロバイダが「コンフォート ノイズ」を回線に追加している場合は、この機能を無効にしていれば、ファクスのパフォーマンスを上げることができます。

ファクス送信の問題が解決しない場合は、VoIP プロバイダに連絡してください。

ファクス メモリ

電源が失われても、ファクス メモリの内容は維持される

製品の NEND メモリは、停電時にデータの損失を防ぐ役割を果たします。NAND RAM は、電源が供給されなくても長期間データを維持できます。

メモリからファクスを削除する

他の人が自分の製品にアクセスしてメモリからファクスを再印刷しようとする懸念がある場合に、この手順を実行してください。

⚠ 注意： この手順では、再印刷メモリがクリアされることに加えて、現在送信中のファクス、リダイヤルの保留中の未送信ファクス、後で送信がスケジュールされているファクス、印刷されていないか転送されていないファクスもクリアされます。

1. ホーム画面の [セットアップ 

JAWW

ファクスの送信

フラットベッド スキャナからのファクス送信

 **注記:** フラットベッドを使用する場合、ファクス送信できるのは 1 ページだけです (複数ページは不可)。

1. 文書を下に向けてスキャナ ガラスに置きます。



2. [ホーム] 画面の **ファクス**  ボタンをタッチします。
3. キーパッドを使用してファクス番号を入力します。
4. **[スタート - モノクロ]** または **[スタート - カラー]** ボタンをタッチします。

文書フィーダからのファクス送信

1. 原稿を文書フィーダに上向きで挿入します。

注記： 文書フィーダには、75g/m² (20 ポンド) の用紙を 50 枚までセットできます。

注意： プリンターの破損を防ぐため、修正テープ、修正液、ペーパー クリップ、ホチキスが使用されている原稿を使用しないでください。また、写真、小さい原稿、壊れやすい原稿を文書フィーダにセットしないでください。



2. 用紙ガイドを調節して、用紙に軽く触れるようにします。



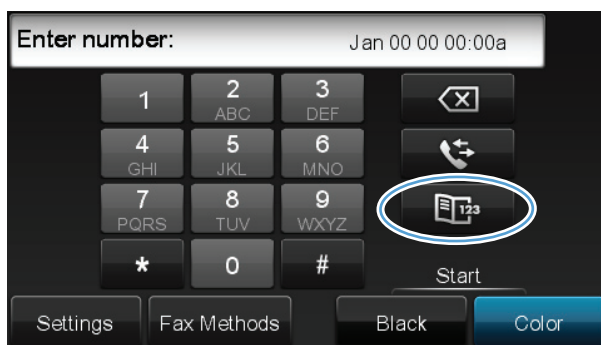
3. [ホーム] 画面の **ファクス**  ボタンをタッチします。
4. キーパッドを使用してファクス番号を入力します。
5. [スタート - モノクロ] または [スタート - カラー] ボタンをタッチします。

短縮ダイヤル エントリおよびグループ ダイヤル エントリの使用

1. 文書フィーダまたはスキャナ ガラス上にドキュメントをセットします。



2. [ホーム] 画面の **ファクス** ボタンをタッチします。
3. キーパッドの [短縮ダイヤル] アイコンをタッチします。



4. 使用する個別エントリまたはグループ エントリの名前をタッチします。
5. [スタート - モノクロ] または [スタート - カラー] ボタンをタッチします。

コンピューターから標準的なファクスを送信する

コンピューター上のドキュメントを、プリンターで印刷してファクスしなくても、コンピューターから直接ファクス送信できます。

 **注記：** この方法でコンピューターから送信されたファクスは、インターネット接続またはコンピューター モデムではなく、プリンターのファクス接続を使用します。したがって、プリンターが正常に機能している電話回線に接続されていること、ファクス機能がセットアップされ正しく動作していることを確認する必要があります。

この機能を使用するには、プリンターに同梱されている HP ソフトウェア CD に収録されているインストール プログラムを使用して、プリンター ソフトウェアをインストールする必要があります。

Windows

1. コンピューター上で、ファクスするドキュメントを開きます。
2. お使いのソフトウェア アプリケーションの【ファイル】メニューで【印刷】をクリックします。
3. 【名前】リストで、名前に【fax】が付いたプリンターを選択します。
4. 設定（方向、ページの順序、シートごとのページなど）を変更するには、【プロパティ】ダイアログボックスを開くボタンをクリックします。ソフトウェア アプリケーションによって、このボタンは【プロパティ】、【オプション】、【プリンタ設定】、【プリンタ】、【プリファレンス】などの名前になっています。
5. 設定を変更した後で、【OK】をクリックします。
6. 【印刷】または【OK】をクリックします。
7. 受信者のファクス番号およびその他の情報を入力し、さらにファクス設定を変更（例えば、ドキュメントをモノクロ ファクスまたはカラー ファクスとして送信するよう選択）してから、【ファクスの送信】をクリックします。プリンターはファクス番号のダイヤルとドキュメントのファクス送信を開始します。

Mac OS X

1. コンピューター上で、ファクスするドキュメントを開きます。
2. お使いのソフトウェア アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】をクリックします。
3. 名前に【“(Fax)”】が付いたプリンターを選択します。
4. ポップアップ メニューから、【ファクス情報】を選択します。

 **注記：** ポップアップ メニューが表示されない場合は、【プリンタ】の横の展開用の三角マークをクリックしてみてください。
5. 表示されたボックスでファクス番号およびその他の情報を入力します。

 **ヒント：** カラー ファクスを送信するには、ポップアップ メニューで【ファクス オプション】を選択し、【カラー】をクリックします。
6. その他のファクス オプションを選択し、【ファクス】をクリックして、ファクス番号のダイヤルとドキュメントのファクス送信を開始します。

ソフトウェアからのファクスの送信

ここでは、プリンタに付属のソフトウェアを使用してファクスを送信する場合の基本的な手順について説明します。ソフトウェアに関連するその他のトピックスはすべて、ソフトウェアのヘルプで説明されています。ソフトウェアのヘルプは、ソフトウェア プログラムの【ヘルプ】メニューから開くことができます。

次の要件を満たしている場合、コンピュータから電子文書をファクスすることができます。

- プリンタがコンピュータ、またはコンピュータが接続されているネットワークに直接接続されている。
- プリンタのソフトウェアがコンピュータにインストールされている。
- コンピュータのオペレーティング システムが、対象のプリンタでサポートされている。

ソフトウェアからのファクスの送信

1. [スタート]、[プログラム] (Windows XP では [すべてのプログラム])、[HP] の順にクリックします。
2. 製品名をクリックし、[HP プリンタアシスタント] をクリックします。
3. [ファクス送信] アイコンをクリックして、ファクス ソフトウェアを開きます。
4. 文書をスキャナ ガラスにセットします。
5. 受信者を入力するか、アドレス帳から追加します。
6. [カバー ページの追加] ボタンをクリックし、[スキャンを追加] ボタンをクリックして、スキャナーのガラス面上のドキュメントをスキャンしてファクス ジョブに追加します。
7. [ファクス送信] ボタンをクリックしてファクスを送信します。

ファクス回線に接続されている電話からダイヤルし、ファクスを送信します。

この製品と同じ回線に接続されている電話からファクス番号をダイヤルしなければならないことがあります。たとえば、装置が手動受信モードになっている人にファクスを送信する場合は、ファクスの前に音声電話でファクスを送信することをその人に知らせることがあります。

 **注記：** 電話はプリンターと同じ電話回線に (別のポートを通じて) 接続されている必要があります。

1. 文書を文書フィーダにセットします。
2. [ホーム] 画面の **ファクス**  ボタンをタッチします。
3. この製品と同じ回線に接続されている電話の受話器を上げます。電話のキーパッドを使用してファクス番号をダイヤルします。
4. 受信者が応答したら、ファクス機を始動するようにその人に指示します。
5. ファクス トーンが聞こえたら、コントロール パネルの [**ファクス開始**] をタッチして、コントロール パネルに **接続中** と表示されるまで待機してから受話器を置きます。

確認してファクスを送信する

ファクス番号を 2 回入力するように求めて、正しい番号にファクスを送信していることを確認するように、この製品を設定できます。

1. ホーム画面の [**セットアップ** - 2. [**ファクス設定**] メニューをタッチします。
- 3. [**ファクスの詳細設定**] メニューをタッチします。

4. スクロールして**ファクスの確認**メニューをタッチし、**オン**ボタンをタッチします。
5. ファクスを送信します。

後で送信するようにファクスをスケジュールする

1 人または複数の宛先に後で自動的に送信するようにファクスをスケジュールするには、製品のコントロール パネルを使用します。スケジュール日国を入力すると、ドキュメントがメモリにスキャンされ、準備完了状態に戻ります。

 **注記：** スケジュールした時刻にファクスを送信できない場合、その情報は、ファクス エラー レポートに表示されるか (そのオプションがオンになっている場合)、ファクス使用状況ログに記録されます。送信が開始されない理由として、ファクス送信コールが応答されなかったか、通話中信号によってリダイヤルが停止したことが考えられます。

後で送信するようにファクスをスケジュールしたが、更新が必要になった場合は、別のジョブとして追加情報を送信します。同じ時刻に同じファクス番号に送信するようにスケジュールしたすべてのファクスは、個別のファクスとして送信されます。

1. 文書を文書フィーダにセットします。



2. [ホーム] 画面の**ファクス**  ボタンをタッチします。
3. **ファクス方法** ボタンをタッチします。
4. **ファクスを後で送信** ボタンをタッチします。
5. キーパッドを使用し、ファクスを送信する時刻を入力します。 **OK** ボタンをタッチします。
6. キーパッドを使用し、ファクスを送信する日付を入力します。 **OK** ボタンをタッチします。
7. キーパッドを使用してファクス番号を入力するか、電話帳/短縮ダイヤル リストから番号を選択します。 **OK** ボタンをタッチします。文書はスキャンされ、指定時刻までメモリ内のファイルに保存されます。

ダイヤル モニタリングを使用したファクス送信

ダイヤルのモニタ機能を使用すると、通常の電話をダイヤルするようにプリンタのコントロール パネルから番号をダイヤルできます。ダイヤルのモニタ機能を使用してファクスを送信する際には、ダイヤルのトーン音、電話の応答メッセージ、またはその他の音がプリンタのスピーカーを通して聴こえます。これにより、ダイヤル中に応答メッセージに対応したり、ダイヤルの速度を制御することができます。

 **ヒント：** コーリング カードを使用する場合、コーリング カード PIN の入力が遅すぎると、プリンターによるファクス音の送信開始のタイミングが早すぎて、コーリング カード PIN がコーリング カード サービスによって認識されないことがあります。この場合には、コーリング カードの PIN を登録する短縮ダイヤル エントリを作成できます。

 **注記：** ダイヤル トーンを聞いて、ボリュームがオンになっていることを確認します。

プリンタのコントロール パネルからダイヤルのモニタ機能を使用してファクスを送信するには

1. 原稿をセットします。
2. **ファクス** をタッチして、**スタート - モノクロ** または **スタート - カラー** をタッチします。
プリンタが自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出すると、ダイヤル トーンが聞こえます。
3. ダイヤル トーンが聞こえたら、デバイスのコントロール パネルのキーパッドで番号を入力します。
4. 音声ガイダンスがあれば、従ってください。

 **ヒント：** コーリング カード PIN を短縮ダイヤルに登録し、コーリング カードを使ってファクスを送信する場合は、PIN の入力を求めるメッセージに対して [短縮ダイヤル] をタッチして、PIN を登録した短縮ダイヤル番号を選択します。

受信側のファクス機が応答すると、ファクスが送信されます。

アクセス コード、クレジット カード、通話カードの使用

アクセス コード、クレジット カード、通話カードを使用するには、手動でダイヤルし、ポーズしてダイヤル コードを入力できるようにします。

外国にファクスを送信する

国外の宛先にファクスを送信するには、手動でダイヤルし、ポーズして国際ダイヤル コードを入力できるようにします。

ファクスを受信する

ファクスを印刷する

製品は約 2MB のメモリを搭載しています。これは高画質解像度のモノクロ A4 ページで 約 100 ページ分に相当します。

ファクスは連続的に保存されます。ファクスを再印刷しても、ファクスはメモリからクリアされません。

ファクスの再印刷

1. ホーム画面の [セットアップ ] ボタンをタッチします。
2. ファクス設定 ボタンをタッチします。
3. ファクス ツール ボタンをタッチします。
4. ファクスの再印刷 ボタンをタッチします。
5. 再印刷するファクスのエントリをタッチします。

電話回線でファクス トーンが聞こえるときにファクスを受信する

ファクス コールと電話の両方を受信する電話回線があり、電話に応答したときにファクス トーンが聞こえた場合は、次のうちいずれかの方法で受信処理を開始できます。

- 製品の近くにいる場合は、コントロール パネルの [ファクス開始] ボタンを押す。
- 製品の近くにいない場合は、電話のキーパッドで 1-2-3 と順番に押して、ファクス送信音が聞こえたら受話器を置く。

ファクスに関する問題を解決する

ファクス トラブルシューティング チェックリスト

- 考えられる解決策は複数あります。それぞれの推奨アクション後にファクス送信を再試行し、問題が解決したかどうかを確認してください。
 - ファクスの問題解決中には、最適な結果を出すため、製品からの回線が壁の電話ポートに直接接続されていることを確認してください。製品に接続されているその他すべてのデバイスは取り外してください。
1. 電話コードが製品の背面の正しいポートに接続されていることを確認します。
 2. ファクス テストを使用して、電話回線を確認します。
 - a. コントロール パネルで [セットアップ ] メニューを開き、[ファクス設定] メニューを開きます。
 - b. ファクス ツールボタンを選択します。
 - c. [ファクス テストの実行] オプションを選択します。ファクス テスト レポートが印刷されます。

このレポートには次の結果が含まれます。

 - **合格:** レポートには、点検するために、現在のすべてのファクス設定が含まれます。
 - **不合格:** 誤ったポートにコードが接続されています。レポートにより、この問題の解決方法が提案されます。
 - **不合格:** 電話回線が有効ではありません。レポートにより、この問題の解決方法が提案されます。

3. 製品のファームウェアが最新であることを確認します。
 - a. コントロール パネルの [レポートの印刷] メニューから構成のページを印刷し、現在のファームウェアの日付コードを確認します。
 - b. www.hp.com に移動します。
 1. [サポート & ドライバー] リンクをクリックします。
 2. [ドライバ & ソフトウェア] リンク オプションをクリックします。
 3. 製品のモデル番号を [製品名/製品番号を半角英数字で入力してください] のボックスに入力し、[検索] ボタンをクリックします。
 4. オペレーティング システムのリンクをクリックします。
 5. 表のファームウェア セクションまでスクロールします。
 - リストされているバージョンが構成ページのバージョンと一致している場合、バージョンは最新です。
 - バージョンが異なる場合は、ファームウェア アップグレードをダウンロードし、画面に表示される指示に従って製品のファームウェアを更新します。
-  **注記：** ファームウェアをアップグレードするには、インターネットにアクセスできるコンピューターに製品を接続する必要があります。
- ファクスを再送信します。
4. 製品ソフトウェアをインストールしたとき、ファクスを設定したことを確認します。
コンピューターの HP プログラム フォルダから Fax Setup Utility を実行します。
5. 電話サービスでアナログ ファクスがサポートされていることを確認します。
 - ISDN またはデジタル PBX を使用している場合は、サービス プロバイダに連絡し、アナログ ファクス回線に構成する方法について確認します。
 - VoIP サービスを使用している場合は、コントロール パネルから [ファクスの速度] 設定を [おそい (9600 bps)] に変更するか、[はい (33600 bps)] を無効にします。サービス プロバイダがファクスをサポートしているかどうか、およびファクス モデムの推奨速度を確認します。一部の会社ではアダプタが必要となることがあります。
 - DSL サービスを使用している場合は、製品への電話回線接続にフィルタが組み込まれていることを確認します。DSL フィルタがない場合は、DSL サービス プロバイダに連絡するか、DSL フィルタを購入します。DSL フィルタがインストールされている場合は、フィルタに欠陥がある可能性があるため、別のフィルタを試します。
6. エラーが解決しない場合は、このセクションに続くセクションで、さらに詳しい問題解決策を探します。

ファクス エラー メッセージ

アラート メッセージと警告メッセージは一時的に表示されるもので、[OK] ボタンをタッチしてメッセージを確認して印刷を再開するか、[キャンセル ] ボタンをタッチしてジョブをキャンセルする必要があります。警告によっては、ジョブが印刷を完了しなかったり、印刷品質が影響を受ける場合があります。アラート メッセージと警告メッセージが印刷に関連したメッセージであり、自動継

続機能がオンになっている場合、警告が表示されてから 10 秒以内に確認しないと、プリンターはジョブの印刷を再開しようとしません。

ダイヤル トーンがありません。

説明

ダイヤル トーンを検出できませんでした。

推奨操作

[ファクス開始] ボタンをタッチし、電話回線でダイヤル トーンを確認します。

製品と壁の両方から電話コードを取り外し、コードを取り付け直します。

製品に付属の電話コードを使用していることを確認します。

製品の電話コードを壁から取り外し、電話に接続して音声電話をかけてみます。

壁の電話ジャックからの電話コードが、回線ポートに接続されていることを確認します。

製品の電話コードを別の電話回線のジャックに接続します。

コントロール パネルの [サービス] メニューから [ファクス テストの実行] オプションを使用し、電話回線を確認します。

エラーが解決しない場合は、HP までご連絡ください。「www.hp.com/support」または製品に同梱されているサポートに関するリーフレットを参照してください。

 **注記：** この製品は、デジタル PBX または VoIP システムに接続するようには設計されていません。ダイヤル トーン検出を無効にして、もう一度試してください。

ファクスが応答しません。 キャンセルした送信。

説明

ファクス番号のリダイヤルがエラーになったか、[応答なしリダイヤル] オプションがオフになっていました。

推奨操作

送信先に電話し、ファクス機の電源がオンになっており、準備が完了していることを確認してください。

正しいファクス番号をダイヤルしていることを確認します。

リダイヤル オプションが有効であることを確認します。

製品と壁の両方から電話コードを取り外し、コードを取り付け直します。

製品の電話コードを壁から取り外し、電話に接続して音声電話をかけてみます。

壁の電話ジャックからの電話コードが、回線ポートに接続されていることを確認します。

製品の電話コードを別の電話回線のジャックに接続します。

エラーが解決しない場合は、HP までご連絡ください。「www.hp.com/support」または製品に同梱されているサポートに関するリーフレットを参照してください。

ファクスが応答しません。 リダイヤル保留中。

説明

受信側のファクス回線が応答しませんでした。 数分後にリダイヤルが試されます。

推奨操作

ファクスの送信を製品に再試行させます。

送信先に電話し、ファクス機の電源がオンになっており、準備が完了していることを確認してください。

正しいファクス番号をダイヤルしていることを確認します。

製品がリダイヤルを続ける場合は、製品の電話コードを壁から取り外し、電話に接続して音声電話をかけてみます。

壁の電話ジャックからの電話コードが、回線ポートに接続されていることを確認します。

製品の電話コードを別の電話回線のジャックに接続します。

別の電話コードを試します。

エラーが解決しない場合は、HP までご連絡ください。 「www.hp.com/support」または製品に同梱されているサポートに関するリーフレットを参照してください。

ファクスが検出されません。

説明

製品が着信に応答しましたが、ファクス機がコールしていることを検出しませんでした。

推奨操作

製品がファクスを再受信できるようにします。

別の電話コードを試します。

製品の電話コードを別の電話回線のジャックに接続します。

エラーが解決しない場合は、HP までご連絡ください。 「www.hp.com/support」または製品に同梱されているサポートに関するリーフレットを参照してください。

ファクスのストレージがいっぱいです。 ファクス受信のキャンセル。

説明

ファクスの保存に使用できるメモリ量が不十分であるため、受信ファクスを保存できません。

推奨操作

プライベート受信 機能を使用している場合は、すべての受信ファクスを印刷し、一部のメモリを解放します。

さらにメモリが必要である場合は、メモリからファクスをクリアします。 **サービス** メニューを開きます。 [**ファクス サービス**] メニューから [**ファクス ログの消去**] オプションを選択します。

ファクスのストレージがいっぱいです。 ファクス送信のキャンセル。

説明

ファクス ジョブ中にメモリがいっぱいになりました。 ファクス ジョブが正しく動作するには、ファクスのすべてのページをメモリに読み取る必要があります。 メモリに収まったページのみが送信されました。

推奨操作

現在のジョブをキャンセルします。 製品をオフにし、もう一度オンにします。 もう一度ジョブを送信してみます。

エラーが再発する場合は、ジョブをキャンセルし、製品をオフにしてからもう一度オンにします。一部のジョブではメモリが不足することがあります。

ファクスは使用中です。 キャンセルした送信。

説明

送信先のファクス回線が通話中でした。 ファクス送信はキャンセルされました。

推奨操作

送信先に電話し、ファクス機の電源がオンになっており、準備が完了していることを確認してください。

正しいファクス番号をダイヤルしていることを確認します。

[ビジー リダイヤル] オプションが有効になっていることを確認します。

[サービス] メニューを開き、[ファクス サービス] をタッチします。 **ファクス テストの実行** ボタンをタッチします。 このテストにより、電話コードが正しいポートに接続されていること、および電話回線で信号が通じていることを確認します。 結果はレポートとして印刷されます。

エラーが解決しない場合は、HP までご連絡ください。 「www.hp.com/support」または製品に同梱されているサポートに関するリーフレットを参照してください。

ファクスは使用中です。 リダイヤル保留中。

説明

送信先のファクス回線が通話中でした。 通話中の番号には自動的にリダイヤルされます。

推奨操作

ファクスの送信を製品に再試行させます。

送信先に電話し、ファクス機の電源がオンになっており、準備が完了していることを確認してください。

正しいファクス番号をダイヤルしていることを確認します。

[サービス] メニューを開き、[ファクス サービス] をタッチします。 **ファクス テストの実行** ボタンをタッチします。 このテストにより、電話コードが正しいポートに接続されていること、および電話回線で信号が通じていることを確認します。 結果はレポートとして印刷されます。

エラーが解決しない場合は、HP までご連絡ください。「www.hp.com/support」または製品に同梱されているサポートに関するリーフレットを参照してください。

ファクス受信エラー。

説明

ファクスを受信しようとしているときにエラーが発生しました。

推奨操作

送信側にファクスの再送信を依頼します。

送信側または別のファクス機にファクスを送信してみます。

[**ファクス開始**] ボタンをタッチし、電話回線でダイヤル トーンを確認します。

電話コードを取り外してから再び接続し、コードがしっかりと接続されていることを確認します。

製品に付属の電話コードを使用していることを確認します。

[**サービス**] メニューを開き、[**ファクス サービス**] をタッチします。 **ファクス テストの実行** ボタンをタッチします。 このテストにより、電話コードが正しいポートに接続されていること、および電話回線で信号が通じていることを確認します。 結果はレポートとして印刷されます。

ファクスの速度を落とします。 送信側にファクスの再送信を依頼します。

エラー修正モードをオフにします。 送信側にファクスの再送信を依頼します。

 **注記：** エラー修正モードをオフにすると、ファクス イメージの品質が落ちることがあります。

別の電話回線に製品を接続します。

エラーが解決しない場合は、HP までご連絡ください。「www.hp.com/support」または製品に同梱されているサポートに関するリーフレットを参照してください。

ファクス送信エラー。

説明

ファクスを送信しようとしているときにエラーが発生しました。

推奨操作

ファクスの再送信を試行します。

別のファクス番号にファクスを送信してみます。

[**ファクス開始**] ボタンをタッチし、電話回線でダイヤル トーンを確認します。

電話コードを取り外してから再び接続し、コードがしっかりと接続されていることを確認します。

製品に付属の電話コードを使用していることを確認します。

電話回線から製品を取り外して電話機を接続し、音声電話をかけて、電話回線が動作していることを確認します。

別の電話回線に製品を接続します。

ファクスの解像度をデフォルトの [**高解像度**] ではなく、[**標準**] に設定します。

エラーが解決しない場合は、HP までご連絡ください。「www.hp.com/support」または製品に同梱されているサポートに関するリーフレットを参照してください。

通信エラー

説明

ファクス通信エラーは、この製品と送信者または受信者の間で発生します。

推奨操作

ファクスの送信を製品に再試行させます。製品の電話コードを壁から取り外し、電話に接続して電話をかけてみます。製品の電話コードを別の電話回線のジャックに接続します。

別の電話コードを試します。

ファクスの速度オプションをおそい (9600 bps) 設定に設定するか、ファクス速度を低い値に設定します。

エラー修正モード 機能をオフにして、自動エラー修正を防止します。

 **注記：** エラー修正モード 機能をオフにすると、イメージ品質が落ちることがあります。

コントロール パネルから **ファクス使用状況ログ** レポートを印刷し、特定のファクス番号でエラーが発生しているかどうかを判断します。

エラーが解決しない場合は、HP までご連絡ください。「www.hp.com/support」または製品に同梱されているサポートに関するリーフレットを参照してください。

文書フィーダのドアが開いています。 キャンセルしたファクス。

説明

文書フィーダの上部にあるカバーが開いており、ファクスを送信できません。

推奨操作

カバーを閉じてファクスを再送信してください。

ファクスのログおよびレポート

ファクスのログおよびレポートを印刷するには、次の手順を実行します。

個別のファクス レポートの印刷

1. [ホーム] 画面で、**セットアップ**  ボタンをタッチし、**レポートの印刷** メニューをタッチします。



2. [ファクス レポート] メニューをタッチします。
3. 印刷するレポートの名前をタッチします。

ファクス エラー レポートの設定

ファクス エラー レポートは、この製品でファクス ジョブのエラーが発生したことを示す簡潔なレポートです。次のイベントの後で印刷するように設定できます。

- すべてのファクス エラー (出荷時のデフォルト設定)
- [送信ファクス エラー]
- [受信ファクス エラー]
- なし

 **注記：** このオプションでは、ファクス使用状況ログを印刷しない限り、ファクスを送信できなかったことが示されません。

1. [ホーム] 画面の **ファクス**  ボタンをタッチします。



2. **セットアップ**  ボタンをタッチします。
3. **ファクス設定** ボタンをタッチします。

4. **高度な設定** ボタンをタッチします。
5. **[ファクス エラー レポート]** ボタンをタッチして、使用する印刷オプションをタッチします。

エラー修正およびファクス速度の変更

ファクス エラー修正モードの設定

一般的に、この製品ではファクスの送受信中に電話線の信号が監視されます。エラー修正設定が **[オン]** になっている場合に、この製品によって伝送時のエラーが検出されると、ファクスの一部の再送信が要求されます。エラー修正の出荷時のデフォルト設定は **[オン]** です。

ファクスの送受信に問題がある場合と、伝送時のエラーを許容する場合にのみ、エラー修正をオフにします。海外とファクスを送受信する場合や、衛星電話を接続している場合は、この設定をオフにすると便利です。

1. ホーム画面の **[セットアップ]** ボタンをタッチします。
2. **[ファクス設定]** メニューをタッチします。
3. **[ファクスの詳細設定]** メニューをタッチします。
4. エラー修正モードボタンをタッチし、**オン** ボタンをタッチします。

ファクス速度の変更

ファクス速度の設定は、この製品がファクス送信に使用するモデムのプロトコルです。フル二重モデムの世界的な標準では、1 秒あたり最大 33,600 ビット (bps) で電話回線によってデータが送受信されます。ファクス速度設定の出荷時のデフォルト設定は **[はやい (33600 bps)]** です。

特定デバイスとのファクスの送受信で問題が発生する場合に限って、この設定を変更してください。海外とファクスを送受信する場合や、衛星電話を接続している場合は、ファクス速度を落とすと便利です。

1. ホーム画面の **[セットアップ]** ボタンをタッチします。
2. **[ファクス設定]** メニューをタッチします。
3. **[ファクスの詳細設定]** メニューをタッチします。
4. スクロールして **[ファクスの速度]** ボタンをタッチし、使用する速度設定をタッチします。

ファクス送信の問題を解決する

- コントロール パネルにエラー メッセージが表示される
- ファクスを送信しようとしていないのに、印字可 というメッセージがコントロール パネルに表示される
- コントロール パネルに「1 ページ保存中」というメッセージが表示され、そのメッセージ以降の処理が行われない

- [ファクスを受信できるが送信できない](#)
- [コントロール パネルからファクス機能を使用できない](#)
- [短縮ダイヤルを使用できない](#)
- [グループ ダイヤルを使用できない](#)
- [ファクスを送信しようとする、記録されたエラー メッセージを電話会社から受信する](#)
- [この製品に電話を接続するとファクスを送信できない](#)

コントロール パネルにエラー メッセージが表示される

通信エラー というメッセージが表示される

- ファクスの送信を製品に再試行させます。 再送信すると、ファクス速度が一時的に落ちます。
- 製品の電話コードを壁から取り外し、電話に接続して電話をかけてみます。 製品の電話コードを別の電話回線のジャックに接続します。
- 別の電話コードを試します。
- コントロール パネルから、[[ファクスの速度](#)] オプションを [[標準 \(14400 bps\)](#)] 設定または [[おそい \(9600 bps\)](#)] 設定に変更します。
 - a. ホーム画面の [[セットアップ](#) ] ボタンをタッチします。
 - b. [ファクス設定](#) メニューを開きます。
 - c. [ファクスの詳細設定](#) メニューを開きます。
 - d. [ファクスの速度](#) メニューを開きます。
 - e. 正しい設定を選択します。
- [[エラー修正モード](#)] オプションをオフにします。
 - a. ホーム画面の [[セットアップ](#) ] ボタンをタッチします。
 - b. [ファクス設定](#) メニューを開きます。
 - c. [ファクスの詳細設定](#) メニューを開きます。
 - d. [エラー修正モード](#) メニューを開きます。
 - e. [[オフ](#)] 設定を選択します。

 **注記:** [[エラー修正モード](#)] オプションをオフにすると、イメージ品質が落ちることがあります。

- エラーが解決しない場合は、HP までご連絡ください。 「www.hp.com/support」または製品に同梱されているサポートに関するリーフレットを参照してください。

ダイヤル トーンがありません。

- 電話コードが製品から壁の電話ジャックに直接接続されていることを確認します。
- [[ファクス開始](#)] ボタンを使用し、電話回線でダイヤル トーンを確認します。
- 製品の電話コードを壁から取り外し、電話に接続して音声電話をかけてみます。

- 製品と壁の両方から電話コードを取り外し、コードを取り付け直します。
- 製品に付属の電話コードを使用していることを確認します。
- 製品の電話コードを別の電話回線のジャックに接続します。
- コントロール パネルの [サービス] メニューから [ファクス テストの実行] オプションを使用し、電話回線を確認します。
 - a. ホーム画面の [セットアップ  - b. ファクス設定 メニューを開きます。
 - c. ファクス ツール メニューを開きます。
 - d. [ファクス テストの実行] 項目を選択します。

ファクスは使用中です。 というメッセージが表示される

- もう一度ファクスを送信してみます。
- 送信先に電話し、ファクス機の電源がオンになっており、準備が完了していることを確認してください。
- 正しいファクス番号をダイヤルしていることを確認します。
- [ファクス開始] ボタンを使用し、電話回線でダイヤル トーンを確認します。
- 製品を取り外して電話回線に電話機を接続し、音声電話をかけて、電話が動作することを確認します。
- 製品の電話コードを別の電話回線のジャックに接続し、もう一度ファクスを送信してみます。
- 別の電話コードを試します。
- 後でファクスを送信します。
- エラーが解決しない場合は、HP までご連絡ください。「www.hp.com/support」または製品に同梱されているサポートに関するリーフレットを参照してください。

ファクスが応答しません。 というメッセージが表示される

- ファクスを再送信してみます。
- 送信先に電話し、ファクス機の電源がオンになっており、準備が完了していることを確認してください。
- 正しいファクス番号をダイヤルしていることを確認します。
- 製品の電話コードを壁から取り外し、電話に接続して音声電話をかけてみます。
- 製品の電話コードを別の電話回線のジャックに接続します。
- 別の電話コードを試します。
- 壁の電話ジャックからの電話コードが、回線ポートに接続されていることを確認します。

- コントロール パネルの [ファクス設定] メニューから [ファクス テストの実行] オプションを使用し、電話回線を確認します。
 - a. ホーム画面の [セットアップ ] ボタンをタッチします。
 - b. ファクス設定 メニューを開きます。
 - c. ファクス ツール メニューを開きます。
 - d. [ファクス テストの実行] 項目を選択します。
- エラーが解決しない場合は、HP までご連絡ください。「www.hp.com/support」または製品に同梱されているサポートに関するリーフレットを参照してください。

文書フィーダの紙詰まり

- 用紙が製品のサイズ要件に適合しているかを確認します。この製品のファクスでは、381mm より長い用紙がサポートされません。
- レター サイズ、A4 サイズ、リーガル サイズの用紙に原稿をコピーするか印刷し、ファクスを再送信します。

ファクスのストレージがいっぱいです。 というメッセージが表示される

- プリンターの電源を切って入れ直します。
- 保存されていて印刷していないファクスを印刷します。
 - a. セットアップ  ボタンをタッチし、ファクス設定メニューをタッチします。
 - b. ファクス ツール メニューを開きます。
 - c. [メモリのファクスを再印刷] 項目を選択します。
- 保存されているファクスをメモリから削除します。
 - a. ホーム画面の [セットアップ ] ボタンをタッチします。
 - b. ファクス設定 メニューを開きます。
 - c. ファクス ツール メニューを開きます。
 - d. [ファクス ログの消去] 項目を選択します。
- 大きいファクス ジョブを小さいジョブに分割し、小さいジョブを個別にファクス送信します。

スキャナ エラー

- 用紙が製品のサイズ要件に適合しているかを確認します。この製品のファクスでは、381mm より長い用紙がサポートされません。
- レター サイズ、A4 サイズ、リーガル サイズの用紙に原稿をコピーするか印刷し、ファクスを再送信します。

ファクスを送信しようとしていないのに、印字可 というメッセージがコントロール パネルに表示される

- ファクス使用状況ログでエラーを確認します。
 - a. セットアップ  ボタンをタッチし、レポートの印刷メニューをタッチします。
 - b. ファクス レポート メニューを開きます。
 - c. ファクス ログ メニューを開きます。
 - d. [今すぐログを印刷] オプションを選択します。
- 製品と壁の電話ジャックとの間に電話機を接続している場合は、受話器をおろしてあることを確認します。
- 壁の電話ジャックに製品を直接接続し、ファクスを再送信します。

コントロール パネルに「1 ページ保存中」というメッセージが表示され、そのメッセージ以降の処理が行われない

- 保存されているファクスをメモリから削除します。
 - a. ホーム画面の [セットアップ  - b. ファクス設定 メニューを開きます。
 - c. ファクス ツール メニューを開きます。
 - d. [ファクス ログの消去] 項目を選択します。

ファクスを受信できるが送信できない

ファクスを送信しても何も実行されません。

1. [ファクス開始] ボタンを使用し、電話回線でダイヤル トーンを確認します。
2. プリンターの電源を切って入れ直します。
3. コントロール パネルまたは HP ファクス設定ウィザードを使用し、ファクスの時刻、日付、ファクス ヘッダー情報を設定します。
 - a. ホーム画面の [セットアップ  - b. ファクス設定 メニューを開きます。
 - c. 基本設定 メニューを開きます。
 - d. ファクス ヘッダ メニューを開きます。
 - e. 正しい設定を入力します。
4. その回線のすべての内線電話で受話器をおろしていることを確認します。
5. 電話回線で DSL サービスを使用している場合は、製品への電話回線接続に高域フィルタが組み込まれていることを確認します。

コントロール パネルからファクス機能を使用できない

- 製品がパスワードで保護されている可能性があります。HP 内蔵 Web サーバー、HP ToolBox ソフトウェア、コントロール パネルのうちいずれかを使用してパスワードを設定します。
- 製品のパスワードを知らない場合は、システム管理者に連絡してください。
- ファクス機能が無効になっていないことを、システム管理者とともに確認します。

短縮ダイヤルを使用できない

- ファクス番号が有効であることを確認します。
- 外線にプレフィックスが必要な場合は、[ダイヤル識別番号] オプションをオンにするか、短縮ダイヤル番号にプレフィックスを含めます。
 - a. ホーム画面の [セットアップ ] ボタンをタッチします。
 - b. **ファクス設定** メニューを開きます。
 - c. **ファクスの基本設定** メニューを開きます。
 - d. **ダイヤル識別番号** メニューを開きます。
 - e. [オン] 設定を選択します。

グループ ダイヤルを使用できない

- ファクス番号が有効であることを確認します。
- 外線にプレフィックスが必要な場合は、[ダイヤル識別番号] オプションをオンにするか、短縮ダイヤル番号にプレフィックスを含めます。
 - a. ホーム画面の [セットアップ ] ボタンをタッチします。
 - b. **ファクス設定** メニューを開きます。
 - c. **ファクスの基本設定** メニューを開きます。
 - d. **ダイヤル識別番号** メニューを開きます。
 - e. [オン] 設定を選択します。
- 短縮ダイヤル エントリでグループのすべてのエントリを設定します。
 - a. 未使用の短縮ダイヤル エントリを開きます。
 - b. 短縮ダイヤルにファクス番号を入力します。
 - c. [OK] ボタンをタッチして短縮ダイヤルを保存します。

ファクスを送信しようとする、記録されたエラー メッセージを電話会社から受信する

- ファクス番号を正しくダイヤルしたこと、および電話サービスがブロックされていないことを確認します。たとえば、一部の電話サービスでは、長距離通話が防止されていることがあります。
- 外線にプレフィックスが必要な場合は、[ダイヤル識別番号] オプションをオンにするか、短縮ダイヤル番号にプレフィックスを含めます。
 - a. ホーム画面の [セットアップ  - b. [ファクス設定](#) メニューを開きます。
 - c. [ファクスの基本設定](#) メニューを開きます。
 - d. [ダイヤル識別番号](#) メニューを開きます。
 - e. [オン] 設定を選択します。

 **注記：** [ダイヤル識別番号] オプションをオンにしているとき、プレフィックスなしでファクスを送信するには、ファクスを手動で送信します。

- 国際電話番号にファクスを送信する
 - a. プレフィックスが必要な場合は、プレフィックスを含めて電話番号を手動でダイヤルします。
 - b. 電話番号をダイヤルする前に、国/地域の番号を入力します。
 - c. 電話でトーンが聞こえるまで待機します。
 - d. [コントロール パネル](#) から手動でファクスを送信します。

この製品に電話を接続するとファクスを送信できない

- 電話の受話器がおろされていることを確認します。
- ファクス送信時に、同じ回線に接続されている電話機が音声電話に使用されていないことを確認します。
- 電話を回線から取り外し、ファクスを送信してみます。

ファクス受信の問題を解決する

- [ファクスが応答しない](#)
- [コントロール パネルにエラー メッセージが表示される](#)
- [ファクスを受信したが印刷されない](#)
- [送信側が通話中信号を受信する](#)
- [ダイヤル トーンがない](#)
- [PBX 回線でファクスの送受信ができない](#)

ファクスが応答しない

ファクス回線でボイスメールを使用できる

- 独自の呼び出しサービスを電話回線に追加し、電話会社が提供する呼び出しパターンと一致するように、この製品の [特徴のある呼び出し] 設定を変更します。 詳細については、電話会社に連絡してください。
 - a. 応答モードが [自動] 設定に構成されていることを確認します。
 - b. ホーム画面の [セットアップ ] ボタンをタッチします。
 - c. **ファクス設定** メニューを開きます。
 - d. **ファクスの基本設定** メニューを開きます。
 - e. **特徴のある呼び出し** メニューを開きます。
 - f. 正しい設定を選択します。
- ファクス用に専用回線を購入します。

DSL 電話サービスに製品が接続している

- 設置と機能を確認します。 DSL モデムでは、この製品への電話回線接続に高域フィルタが必要です。 フィルタの詳細について、またはフィルタの購入については、DSL サービス プロバイダに連絡してください。
- フィルタが接続されていることを確認します。
- 既存フィルタを交換し、フィルタに欠陥がないことを確認します。

この製品でファクスが IP で、つまり VoIP 電話サービスで使用されている

- [ファクスの速度] オプションを [おそい (9600 bps)] 設定か [標準 (14400 bps)] 設定に構成するか、[はやい (33600 bps)] 設定を無効にします。
 - a. ホーム画面の [セットアップ ] ボタンをタッチします。
 - b. **ファクス設定** メニューを開きます。
 - c. **ファクスの詳細設定** メニューを開きます。
 - d. **ファクスの速度** メニューを開きます。
 - e. 正しい設定を選択します。
- サービス プロバイダに連絡して、ファクスがサポートされていることを確認し、推奨ファクス速度設定を確認します。 一部の会社ではアダプタが必要となることがあります。

コントロール パネルにエラー メッセージが表示される

ファクスが検出されません。 というメッセージが表示される

 **注記：** このエラーは、ファクスが届かないことを示していないことがあります。 誤ってファクス番号に音声電話をかけて、発信者が受話器を置いた場合も、**ファクスが検出されません。** というメッセージがコントロール パネルに表示されます。

- 送信側にファクスの再送信を依頼します。
- 電話コードが、この製品から壁の電話ジャックに接続されていることを確認します。
- 別の電話コードを試します。
- 製品の電話コードを別の電話回線のジャックに接続します。
- 電話機を壁の電話ジャックに接続してダイヤル トーンを確認し、電話回線および壁の電話ジャックが有効であることを確認します。
- 電話コードが製品の「ライン」ポートに接続されていることを確認します。
- コントロール パネルからファクス テストを実行し、電話回線を確認します。
- エラーが解決しない場合は、HP までご連絡ください。「www.hp.com/support」または製品に同梱されているサポートに関するリーフレットを参照してください。

通信エラー というメッセージが表示される

- 再度ファクスを送信するか、回線の状態が改善したときに送信するように、送信側に依頼します。
- 製品の電話コードを壁から取り外し、電話に接続して電話をかけてみます。 製品の電話コードを別の電話回線のジャックに接続します。
- 別の電話コードを試します。
- [ファクスの速度] オプションを [おそい (9600 bps)] 設定か [標準 (14400 bps)] 設定に構成するか、[はやい (33600 bps)] 設定を無効にします。
 - a. ホーム画面の [セットアップ  - b. **ファクス設定** メニューを開きます。
 - c. **ファクスの詳細設定** メニューを開きます。
 - d. **ファクスの速度** メニューを開きます。
 - e. 正しい設定を選択します。
- **エラー修正モード** 機能をオフにして、自動エラー修正を防止します。

 **注記：** エラー修正モード 機能をオフにすると、イメージ品質が落ちることがあります。

- a. ホーム画面の [セットアップ - b. **ファクス設定** メニューを開きます。
- c. **ファクスの詳細設定** メニューを開きます。

- d. エラー修正モード メニューを開きます。
- e. [オフ] 設定を選択します。
- コントロール パネルから **ファクス使用状況ログ** レポートを印刷し、特定のファクス番号でエラーが発生しているかどうかを判断します。
 - a. [セットアップ] ボタンをタッチし、[レポート] ボタンをタッチします。
 - b. **ファクス レポート** メニューを開きます。
 - c. [**ファクス使用状況ログ**] 項目を選択します。
- エラーが解決しない場合は、HP までご連絡ください。「www.hp.com/support」または製品に同梱されているサポートに関するリーフレットを参照してください。

ファクスのストレージがいっぱいです。 というメッセージが表示される

- プリンターの電源を切って入れ直します。
- すべてのファクスを印刷してから、送信者にファクスを再送信してもらってください。
- 大きいファクス ジョブを小さいジョブに分割し、小さいジョブを個別にファクス送信するように、送信側に依頼します。
- 送信側のファクス機の解像度が [**フォト**] 設定または [**最高画質**] 設定に構成されていないことを確認します。
 - a. ホーム画面の [**セットアップ**  - b. **ファクス設定** メニューを開きます。
 - c. **ファクスの詳細設定** メニューを開きます。
 - d. **解像度** メニューを開きます。
 - e. 正しい設定を選択します。
- すべてのファクス ジョブをキャンセルするか、メモリからファクスをクリアします。

ファクスを受信したが印刷されない

[プライベート受信] 機能をオンにします。

- [**プライベート受信**] 機能を有効にすると、受信ファクスはメモリに保存されます。保存されたファクスを印刷するには、パスワードが必要です。
- パスワードを入力してファクスを印刷します。パスワードを知らない場合は、この製品の管理者に連絡します。

 **注記：** ファクスを印刷しないと、メモリ エラーが発生することがあります。この製品は、メモリがいっぱいである場合、応答しません。

送信側が通話中信号を受信する

受話器が製品に接続されている

- 電話の受話器がおりていることを確認します。
- 製品の設定と一致するように [応答モード] オプションを変更します。
 - a. ホーム画面の [セットアップ  - b. [ファクス設定](#) メニューを開きます。
 - c. [ファクスの基本設定](#) メニューを開きます。
 - d. [自動応答](#) メニューを開きます。
 - e. [オン](#) を選択します。

電話回線スプリッタを使用している

- 電話回線スプリッタを使用している場合は、スプリッタを取り外して、電話を着信用電話として設定します。
- 電話の受話器がおりていることを確認します。
- ファクス送信時に、電話が音声電話に使用されていないことを確認します。

ダイヤル トーンがない

- 電話回線スプリッタを使用している場合は、電話回線スプリッタを取り外して、電話を着信用電話として設定します。

PBX 回線でファクスの送受信ができない

- PBX 電話回線を使用している場合は、PBX 管理者に連絡して、この製品用にアナログ ファクス回線を構成します。

一般的なファクスの問題の解決

- [ファクスの送信速度が遅い](#)
- [ファクスの品質が悪い](#)
- [ファクスが途中で切れる、または 2 ページにわたって印刷される](#)

ファクスの送信速度が遅い

電話回線の品質に問題があります。

- 回線の状態が回復してから、もう一度ファクスを送信してください。
- ファクスをサポートしている回線の電話会社に確認してください。

- エラー修正モード 設定をオフにします。
 - a. セットアップ  メニューを開きます。
 - b. ファクス設定 メニューを開きます。
 - c. ファクスの詳細設定 メニューを開きます。
 - d. エラー修正モード メニューを開きます。
 - e. オフ 設定を選択します。

 **注記：** これにより、イメージ品質が低下します。

- 原稿には白い用紙を使用します。 グレイ、イエロー、ピンクなどの色紙は使用しないでください。
- [ファクスの速度] 設定の値を大きくします。
 - a. セットアップ  メニューを開きます。
 - b. ファクス設定 メニューを開きます。
 - c. ファクスの詳細設定 メニューを開きます。
 - d. ファクスの速度 メニューを開きます。
 - e. 正しい設定を選択します。
- 大きなファクス ジョブは分割して小さくし、個別に送信します。
- コントロール パネルのファクス設定で解像度を低くします。
 - a. [ホーム] 画面の **ファクス**  ボタンをタッチします。
 - b. **設定** ボタンをタッチします。
 - c. **解像度** メニューを開きます。
 - d. 正しい設定を選択します。

ファクスの品質が悪い

ファクスがかすんでいたり、色が薄くなっていたりします。

- ファクスを送信するときに、ファクスの解像度を上げてください。 受信するファクスは解像度の影響を受けません。
 - a. [ホーム] 画面の **ファクス**  ボタンをタッチします。
 - b. **[設定]** メニューをタッチします。
 - c. **解像度** メニューを開きます。
 - d. 正しい設定を選択します。

 **注記：** 解像度を上げると送信速度が低下します。

- コントロール パネルで **[エラー修正モード]** 設定をオンにします。
 - a. **セットアップ**  メニューを開きます。
 - b. **[ファクス設定]** メニューをタッチします。
 - c. **[高度な設定]** メニューをタッチします。
 - d. **エラー修正モード** メニューを開きます。
 - e. **[オン]** 設定を選択します。
- インク カートリッジを確認し、必要に応じて交換します。
- 送信者に、送信に使用しているファクスのコントラスト設定を濃くするように依頼し、その後、ファクスを再送信してもらいます。

ファクスが途中で切れる、または 2 ページにわたって印刷される

- **[デフォルト用紙サイズ]** を設定します。 ファクスは、**[デフォルト用紙サイズ]** 設定に基づいて、指定されたサイズの用紙 1 枚に印刷されます。
 - a. **セットアップ**  メニューを開きます。
 - b. **[ファクス設定]** メニューをタッチします。
 - c. **[ファクスの基本設定]** メニューをタッチします。
 - d. **[ファクス用紙サイズ]** メニューをタッチします。
 - e. 正しい設定を選択します。
- ファクスで使用するトレイの用紙タイプとサイズを設定します。

 **注記：** **デフォルト用紙サイズ** 設定がレターになっている場合、リーガル サイズの原稿は 2 ページにわたって印刷されます。

規制に関する情報および保証

規制情報および保証情報については、*HP OfficeJet Pro X476 AND X576 MFP Series Warranty and Legal Guide* を参照してください。

13 管理とメンテナンス

- [情報ページの印刷](#)
- [HP 内蔵 Web サーバーの使用](#)
- [HP Web Jetadmin ソフトウェアの使用](#)
- [プリンターのセキュリティ機能](#)
- [エコノミー設定](#)
- [プリンターのクリーニング](#)
- [製品のアップデート](#)

情報ページの印刷

情報ページは、プリンターのメモリ内にあります。これらのページは、プリンターの問題を診断して、解決するのに役立ちます。

 **注記：** プリンターの言語がインストール時に正しく設定されていない場合、サポートされている言語の 1 つで情報ページが印刷されるよう、言語を手動で設定することができます。コントロールパネルの [デバイス セットアップ] メニューまたは HP 内蔵 Web サーバーを使用して、言語を変更します。

1. ホーム画面の [セットアップ - 2. [レポートの印刷](#) ボタンをタッチします。
- 3. 印刷するレポートの名前をタッチします。

メニュー項目	サブメニュー項目	説明
プリンタ ステータス レポート		インク カートリッジのステータスを印刷します。 次の情報が含まれます。 • カートリッジの推定寿命 (%) • 概算残りページ数 • HP インク カートリッジの部品番号 • 印刷済みページ数 • 新しい HP インク カートリッジの注文と使用済みの HP インク カートリッジのリサイクルに関する情報
印刷品質レポート		印刷品質の問題解決に役立つページを印刷します。
使用状況ページ		製品で処理したすべての用紙サイズの総数、モノクロとカラーの区別、片面印刷と両面印刷の区別、およびページ数の一覧を表示します。 この結果は、契約による請求書の作成に利用できます。

メニュー項目	サブメニュー項目	説明
ネットワーク設定ページ		次のステータスが表示されます。 • ネットワーク ハードウェア設定 • 有効な機能 • TCP/IP および SNMP 情報 • ネットワーク統計 • ワイヤレス ネットワーク設定 (ワイヤレス モデルのみ)
イベント ログ		製品の使用中のエラーやその他のイベントのログを印刷します。
ファクス レポート	ファクスの確認	ファクス ジョブが成功した後、確認レポートを印刷するかどうかを設定します。
	ファクス エラー レポート	ファクス ジョブが失敗した後、レポートを印刷するかどうかを設定します。
	最後の処理	送信または受信した最後のファックス操作の詳細なレポートを印刷します。
	ファクス ログ	ファクス サービス ログでは、ファクス ログに直前の 40 のエントリが印刷されます。
	短縮ダイヤル リスト	このプリンターにセットアップされている短縮ダイヤルの一覧を印刷します。
	着信識別レポート	すべての着信ファクス電話番号のリストを印刷します。
	迷惑ファクス レポート	このプリンターへのファクス送信をブロックされている電話番号の一覧を印刷します。
PCL フォント リスト		インストールされているすべての PCL フォントのリストを印刷します。
PS フォント リスト		インストールされているすべての PS フォントのリストを印刷します。
PS フォント リスト		インストールされているすべての PS フォントのリストを印刷します。

HP 内蔵 Web サーバーの使用

このプリンターには、プリンターおよびネットワークのアクティビティに関する情報にアクセスできる内蔵 Web サーバー (EWS) が装備されています。Web サーバーは Web プログラムを実行するための環境を提供します。これは、Windows などのオペレーティング システムがコンピューター上でプログラムを実行するための環境を提供するのと同様です。Web プログラムからの出力は、Web ブラウザに表示されます。

「内蔵」Web サーバーは、ネットワーク サーバーにロードされるソフトウェアではなく、ハードウェア デバイス (HP プリンターなど) またはファームウェア内に組み込まれています。

EWS の利点は、ネットワーク接続デバイスやコンピューターを使用しているユーザーは、だれでもプリンターのインターフェースを利用できるということです。特別なソフトウェアがインストールまたは設定されることはありませんが、サポートされている Web ブラウザがコンピューターにインストールされている必要があります。EWS にアクセスするには、ブラウザのアドレス行にプリンターの IP アドレスを入力します。

 **注記：** Macintosh オペレーティング システムの場合、製品に同梱の Macintosh ソフトウェアをインストールすると、USB 接続経由で HP EWS を使用できるようになります。

Cookie について

HP EWS は、ブラウザからページを表示したときに小さいテキスト ファイル (Cookie) をハード ディスクに作成します。これらのファイルにより HP EWS は次回アクセス時にユーザーのコンピューターを認識することができます。たとえば、HP EWS の言語を設定した場合、選択した言語が Cookie に記憶されるので、次に HP EWS を開いたときに、ページがその言語で表示されます。一部の Cookie (選択した言語を記憶しておく Cookie など) は各セッションの終了時に消去されますが、その他のもの (ユーザー固有の設定を記憶する Cookie など) は手動で消去するまでコンピューター上に保存されます。

 **重要：** HP EWS がコンピューターに保存する Cookie は、コンピューターに設定を保存するため、またはプリンターとコンピューター間で情報を共有するためにだけ使用されます。これらの Cookie が HP の Web サイトに送信されることはありません。

ブラウザの設定によって、すべての Cookie を受け入れることも、Cookie が書き込まれる前に警告することもできます。これにより、どの Cookie を受け入れ、どれを拒否するかを選択できます。また、ブラウザを使用して不要な Cookie を削除することもできます。

プリンターによっては、Cookie を無効にすると、以下の機能のどれかが使用できなくなる場合があります。

- アプリケーションを終了したところからの再開 (特にセットアップ ウィザードで有用)
- HP EWS ブラウザ言語設定の記憶
- HP EWS ホームページのカスタマイズ

プライバシーおよび Cookie 設定の変更方法と、Cookie の表示または削除方法については、Web ブラウザで利用できるドキュメントを参照してください。

HP 内蔵 Web サーバーの起動

HP 内蔵 Web サーバー (HP EWS) を起動するには、サポートされている Web ブラウザのアドレス フィールドに製品の IP アドレスまたはホスト名を入力します。IP アドレスを調べるには、プリンター ステータス レポートまたはネットワーク設定ページを印刷するか、製品のコントロール パネルで IP アドレスを表示します。

Windows プリンター ドライバから HP EWS を起動することもできます。[サービス] タブを開き、[デバイスとサプライのステータス] アイコンをクリックします。

Mac の場合、HP EWS は、HP Utility または [システム環境設定] -> [プリントとスキャン] -> [製品名] -> [オプションとサプライ] -> [一般] -> [プリンターの Web ページの表示] から起動できます。

 **注記：** HP EWS を起動するときにエラーが発生した場合は、ネットワークのプロキシ設定が正しいか確認します。

 **ヒント：** URL を開いたら、いつでもすぐに表示できるようにお気に入り (ブックマーク) に追加してください。

機能

- [ホーム タブ](#)
- [\[スキャン\] タブ](#)
- [ファクス タブ](#)
- [\[Web サービス\] タブ](#)
- [\[ネットワーク\] タブ](#)
- [\[ツール\] タブ](#)
- [\[設定\] タブ](#)

 **注記：** HP EWS でネットワーク設定を変更すると、製品の一部のソフトウェアや機能が無効になる場合があります。

ホーム タブ

【ホーム】タブでは、デバイスに関連する表示やタスクのカスタマイズを行えます。【ホーム】タブには次の項目があります。

 **注記：** 次の項目の一部はデフォルトでは表示されていません。【このページのパーソナライズ】ボタンを使用して、項目の表示/非表示を切り替えることができます。

- **【最近アクセスした】：** HP EWS の最近使用した 5 つのリンクを表示します。
- **【プリンタ ステータス】：** 現在のプリンタ ステータスを表示します。
- **【診断】：** 診断タスクへのリンクを提供します。
- **【ePrint】：** ePrint 接続のステータスを表示します。
- **【ファクス ステータス】：** ファクス ログの最近の 5 つのエントリを表示します。
- **【インク レベル ステータス】：** インク レベル ステータスを表示します。
- **【管理】：** HP EWS の管理のためのリンク。
- **【有線ネットワーク ステータス】：** 有線 (802.3) のステータスまたは有線 (802.11) のステータス (ワイヤレス モデル) を表示します。
- **【セットアップ】：** セットアップ オプションを表示します。
- **【カスタム ショートカット】：** ショートカットとして追加するクイック リンクをカスタマイズします。
- **【サポート】：** Hewlett-Packard のサポート Web サイトへのリンク。
- **【コンピュータにスキャン】：** コンピューターへのスキャンを開始します。

 **注記：** このページの設定は、Web ブラウザの cookie に自動的に保存されます。Web ブラウザの Cookie が削除されると、設定は失われます。

[スキャン] タブ

[スキャン] タブでは、製品のスキャン機能を設定します。[スキャン] タブには次の項目があります。

- [コンピュータにスキャン]： Webscan を使用します。

 **重要：** セキュリティ上の理由で、Webscan はデフォルトでは無効になっています。 Webscan を有効にするには、[設定] タブを開き、[管理者設定] をクリックし、Webscan の隣の[有効] チェックボックスをクリックし、[適用] ボタンをクリックします。

Webscan を有効にすると、プリンターにアクセスできる人は誰でも、スキャナーのガラス面上にあるものをスキャンできます。

- [電子メールにスキャン]
 - [電子メールにスキャンのセットアップ]： 電子メールにスキャン機能のセットアップに使用します。
 - [送信用電子メール プロファイル]： スキャンしたドキュメントの送信者を設定します。
 - [電子メール アドレス帳]： スキャンしたドキュメントの送信先のリストを設定します。
 - [電子メール オプション]： デフォルトの [件名] 行と本文テキストを設定し、デフォルトのスキャン設定を設定します。
- [ネットワーク フォルダにスキャン]
 - [ネットワーク フォルダのセットアップ]： プリンターからスキャンした画像やドキュメントを保存するネットワーク フォルダーを設定します。

ファクス タブ

[ファクス] タブを使用して、製品のファクス機能を設定します。[ファクス] タブには次の項目があります。

- [ファクス セットアップ ウィザード]： プリンターのファクス機能を設定します。
- [基本ファクス設定]： ヘッダーの名前/ファクス番号を変更し、その他の基本的なファクス設定を設定します。
- [詳細ファクス設定]： エラー レポート、確認など、ファクスの詳細を設定します。
- [ファクス短縮ダイヤル]： 短縮ダイヤル番号を入力して保存します。
- [ファクスの転送]： 着信ファクスを別のファクス番号に自動的に転送します。
- [迷惑ファクスを拒否]： 特定の発信者や会社からのファクスを拒否します。

[情報] 領域：

- [ファクス ログ]： このプリンターで送受信されたファクスが一覧表示されます。

[HP デジタルファクス] 領域：

- [デジタル ファクス プロファイル]： 着信モノクロ ファクスをネットワーク上の指定したフォルダーに保存するか、電子メールで転送します。

[Web サービス] タブ

[HP Web サービス] タブでは、この製品用に HP Web サービスを設定して有効にします。HP ePrint 機能を使用するには、HP Web サービスを有効にする必要があります。

[ネットワーク] タブ

[ネットワーク] タブでは、製品が IP ベースのネットワークに接続されている場合に、製品のネットワーク設定を指定して保護します。このタブは、プリンターが別のタイプのネットワークに接続されている場合は表示されません。

[ツール] タブ

[製品情報]

- [プリンタ情報]：シリアル番号、名前、ファームウェア バージョンなどの基本的なデバイス情報を表示します。
- [インク ゲージ]：各カートリッジの推定インク レベル、インク カートリッジ部品番号、推定残り印刷可能ページ数を表示します。
- [Ink Settings]：プリンターが「インク残量がわずか」の通知を表示するしきい値を変更します。

[レポート]

- [使用状況レポート]：印刷、スキャン、コピー、ファクスで処理されたページ数を表示します。
- [プリンタ レポート]：さまざまなレポートを印刷します。
- [イベント ログ]：ファームウェア エラーなどのイベントのログを表示します。

[公益事業]

- [ブックマーク]：HP EWS のページをブックマークします。
- [印刷品質ツールボックス]：印刷品質を改善するためのメンテナンス ツールを実行します。
- [資産のトラッキング]：このデバイスに資産番号/場所を割り当てます。

[バックアップと復元]

- [バックアップ]：プリンターの設定を記録した、パスワードで暗号化されたファイルを作成します。
- [復元]：HP EWS が作成したバックアップ ファイルを使用して、プリンターの設定を復元します。

[ジョブ ID]

- [ジョブ モニタ:] プリンターで現在アクティブまたは待機中のジョブをモニタまたはキャンセルします。

[プリンターの再起動]

- [電源サイクル]：プリンターの電源をオフにして再起動します。

[設定] タブ

電力管理、日付と時刻、セキュリティ、印刷、用紙設定、電子メール警告、デフォルトのコピー設定、デフォルト設定の復元、ファイアウォール設定など、製品に関するさまざまなオプションの設定と保守を行います。

HP Web Jetadmin ソフトウェアの使用

HP Web Jetadmin は高い評価を得ている業界最高水準のツールであり、ネットワーク接続された多様な HP 製デバイス (例: プリンター、多機能装置、デジタル送信装置) を効率的に管理できます。このソフトウェア 1 つで、印刷/画像処理環境におけるリモート インストール、監視、保守、トラブルシューティング、セキュリティ確保の各作業を行うことができます。これにより、時間の節約、コストの抑制、および既存資産の有効利用が可能になるので、業務の生産性が向上します。

特定のプリンター機能をサポートする、HP Web Jetadmin の更新プログラムが随時提供されています。更新プログラムの詳細については、www.hp.com/go/webjetadmin にアクセスし、[セルフ ヘルプおよびドキュメント] リンクをクリックしてください。

プリンターのセキュリティ機能

セキュリティ ステートメント

この製品は、製品のセキュリティ強化、ネットワーク上の情報の保護、製品の監視および保守の簡素化に役立つセキュリティ標準およびプロトコルをサポートしています。

HP の安全なイメージングおよび印刷ソリューションの詳細については、www.hp.com/go/Secureprinting をご覧ください。このサイトには、セキュリティ機能に関するホワイト ペーパーや FAQ ドキュメントへのリンクがあり、本書に記載されていないその他のセキュリティ機能に関する情報が記載される場合もあります。

HP 内蔵 Web サーバーでの管理者パスワードの割り当て

権限のないユーザーが HP 内蔵 Web サーバーから製品の設定を変更するのを防ぐため、HP 内蔵 Web サーバーで管理者パスワードを割り当てることができます。管理者パスワードを割り当てて適用した場合、HP 内蔵 Web サーバーから設定変更を行う際には、パスワードを入力する必要があります。既存のパスワードを変更するには、最初にそのパスワードを入力する必要があります。既存のパスワードを入力してから割り当てられたパスワードを削除することにより、パスワードを削除することもできます。

コントロール パネル ロック

HP 内蔵 Web サーバーでは、不正使用を防ぐため、製品のコントロール パネルの一部の機能をロックすることができます。コントロール パネルをロックすると、一部のコントロール パネル設定機能をコントロール パネルから変更できなくなります。コントロール パネルのロック設定自体を保護することもできます。このためには、HP 内蔵 Web サーバーの管理者パスワードを設定します。HP 内蔵 Web サーバーの管理者パスワードを設定した場合、コントロールパネルのロックを有効または無効にするには、管理者パスワードを入力する必要があります。

未使用の Protokol および サービスの無効化

HP 内蔵 Web サーバーでは、未使用の Protokol やサービスを無効にすることができます。さらに、EWS の管理者パスワードを設定することにより、これらの Protokol およびサービス設定が変更されるのを防ぐことができます。対象となる Protokol およびサービスは次のとおりです。

- **IPv4 および IPv6 無効化/有効化**：製品を TCP/IP ネットワーク上で正しく動作させるには、ネットワークで有効な IP アドレスを指定するなど、TCP/IP ネットワーク設定を正しく設定する必要があります。この製品は、この Protokol の 2 つのバージョンをサポートします。バージョン 4 (IPv4) とバージョン 6 (IPv6) です。IPv4 と IPv6 は、個別に有効化/無効化することも、同時に有効化することもできます。
- **Bonjour 無効化/有効化**：Bonjour サービスは、一般的な DNS サーバーが使用されていない小規模なネットワークで、IP アドレスと名前の解決に用いられます。Bonjour サービスは有効化または無効化できます。
- **SNMP 無効化/有効化**：SNMP (Simple Network Management Protocol) は、製品の管理のために、ネットワーク管理アプリケーションが使用します。この製品は IP ネットワーク上の SNMPv1 Protokol をサポートしています。この製品では、SNMPv1 を有効化/無効化できます。
- **WINS 無効化/有効化**：ネットワークに DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) サービスがある場合、Windows Internet Name Service (WINS) サーバーの IP アドレスが指定されていれば、製品は DHCP サーバーから IP アドレスを自動的に取得し、自分の名前を RFC 1001 および 1002 適合のダイナミック ネーム サービスに登録します。WINS サーバーの IP アドレス設定は、有効化または無効化できます。有効化した場合、プライマリおよびセカンダリ WINS サーバーを指定できます。
- **SLP 無効化/有効化**：SLP (Service Location Protocol) はインターネットの標準的なネットワーク Protokol で、ネットワーク アプリケーションがエンタープライズ ネットワークのネットワーク サービスの存在、位置、および構成を発見するためのフレームワークを提供します。この Protokol は有効化または無効化できます。
- **LPD 無効化/有効化**：LPD (Line Printer Daemon: ライン プリンター デーモン) は、さまざまな TCP/IP システムにインストールできるラインプリンターのスプール サービスに関連した Protokol とプログラムを参照します。LPD は有効化または無効化できます。
- **LLMNR 無効化/有効化**：LLMNR (Link-Local Multicast Name Resolution) は、DNS (Domain Name System) パケット形式に基づく Protokol で、IPv4 および IPv6 ホストが同じローカルリンク上のホストの名前解決を行うために使用されます。LLMNR は有効化または無効化できます。
- **ポート 9100 無効化/有効化**：製品は、TCP ポート 9100 経由の Raw IP 印刷をサポートします。製品の HP 独自のこの TCP/IP ポートは、印刷用のデフォルト ポートであり、HP ソフトウェアからアクセスされます。ポート 9100 は有効化または無効化できます。
- **Web サービス無効化/有効化**：製品でサポートされている Microsoft Web Services Dynamic Discovery (WS Discovery) Protokol または Microsoft Web Services for Devices (WSD)

Print サービスを有効化または無効化できます。これらの Web サービスを同時に有効化または無効化することも、WS Discovery を単独で有効化することもできます。

- **IPP (Internet Printing Protocol) の無効化/有効化**：IPP (Internet Printing Protocol は、インターネット上でドキュメントの印刷と管理を行うためのインターネット標準プロトコルです。IPP は無効化または有効化できます。

管理者設定

HP 内蔵 Web サーバーでは、一部の製品機能を有効化/無効化することができます。これには、ネットワーク、Ethernet、ワイヤレス、ワイヤレス アクセス ポイント (ワイヤレス ダイレクト機能の無効化)、USB、ファクス、ファクス再印刷、コピー、デジタル送信、Webscan、コントロール パネルロック、カラー ファクス、カラー コピー、メモリ デバイスからのカラー印刷、すべての Web サービス、ePrint のみ、Apps のみがあります。設定を有効にするには、製品をオフにしてから再びオンにする必要があります。

カラー印刷アクセス制御

HP のカラー アクセス コントロール ツールを使えば、個々のユーザーまたはグループおよびアプリケーション単位で、カラーを有効化または無効化することができます。詳細については、www.hp.com/go/upd を参照してください。HP 内蔵 Web サーバーからも、カラー ファクス、カラー コピー、メモリ デバイスからのカラー印刷を無効化できます。

保護されたプロトコル - HTTPS

HP 内蔵 Web サーバーでは、HTTPS リダイレクション機能による通信の暗号化を有効にすることができます。HTTPS を使用した場合、暗号化によって、EWS と製品との間でやりとりされる情報を他人が知ることを防ぎ、安全な通信方法を提供します。

Firewall

HP 内蔵 Web サーバーでは、製品のファイアウォール ルール、優先順位、テンプレート、サービス、ポリシーを有効化し、設定することができます。ファイアウォール機能は、IPv4 ネットワークと IPv6 ネットワークの両方でネットワーク層のセキュリティを提供します。ファイアウォール設定機能では、製品にアクセスできる IP アドレスを制御し、デジタル送信、管理、検出、印刷サービスに関する権限と優先順位を設定できます。これにより、製品へのアクセスをより安全に制御できます。

フォルダーへのスキャンおよびフォルダーへのファクスの認証

ネットワーク フォルダーへのスキャンおよびファクス機能では、Windows のファイル共有機能を通じて、ネットワーク フォルダーへの送信を行うことができます。ネットワーク フォルダーが存在するネットワークにログオンするために、ユーザー名とパスワードが必要な場合があります。また、ネットワーク フォルダーへの書き込みアクセスを行うには、適切な権限が必要な場合があります。

Syslog

Syslog はステータス メッセージを指定されたサーバーに記録するための標準プロトコルであり、ネットワーク上のデバイスの動作と状態の追跡に使用できます。HP 内蔵 Web サービスでは、Syslog

を有効にして、ステータス メッセージの送信先のサーバーを指定することができます。ステータス メッセージの優先順位を指定することもできます。

証明書

HP 内蔵 Web サーバーでは、製品、サーバー、ネットワークの認証のための証明書のインストールと管理を実行できます。実行できる機能としては、証明書の作成、証明書のインストール、証明書のインポート/エクスポートがあります。

署名付きファームウェア

デジタル署名付きファームウェア更新のサポートにより、承認されていないファームウェアを製品にインストールすることを防止し、悪意のあるソフトウェアの侵入を防ぐことができます。

ワイヤレス認証

HP 内蔵 Web サーバーには、アクセス制御をサポートする EAP-TLS、LEAP、PEAP といった 802.1x ワイヤレス エンタープライズ認証プロトコルを通じてワイヤレス ネットワークを設定する機能があります。また、HP 内蔵 Web サーバーには、WEP 暗号化および WPA-PSK 認証のようなワイヤレス動的キー暗号化を設定する機能もあります。さらに、ワイヤレス ダイレクト認証を有効化または無効化することもできます。

エコノミー設定

一般オフィス モードでの印刷

一般オフィス モードではインク使用量が少なく、カートリッジの寿命が長くなります。

1. ソフトウェアで **【ファイル】** メニューの **【印刷】** をクリックします。
2. プリンタを選択し、**【プロパティ】** または **【ユーザー設定】** をクリックします。
3. **【用紙/品質】** タブをクリックします。
4. **【印刷品質】** ドロップダウン ボックスから **【一般オフィス】** を選択します。

電力管理

この製品には、電力消費量を削減するための電力管理機能が組み込まれています。

待機モードと待機後にスリープ モードを設定することによって、長時間製品を使用しないときに消費電力を削減できます。製品が待機または待機後にスリープ モードに入るまでの時間を設定できます。

スケジュール オン/オフ機能では、特定時間後に製品の電源が切れます。この遅延時間設定は調整できます。

待機の設定

1. ホーム画面の [セットアップ ] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - デバイス セットアップ
 - 電力管理
 - スタンバイ
3. 待機遅延の時間を選択します。

 **注記：** デフォルト値は 10 分です。

待機後にスリープの設定

1. ホーム画面の [セットアップ ] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - デバイス セットアップ
 - 電力管理
 - 待機後にスリープ
3. 待機後にスリープ遅延の時間を選択します。

 **注記：** デフォルトは 2 時間です。

スケジュール オン/オフ

1. ホーム画面の [セットアップ ] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - デバイス セットアップ
 - 電力管理
 - スケジュール オン/オフ
3. スケジュール オン または スケジュール オフ を有効にし、これらのイベントが起きる時刻を設定します。

プリンターのクリーニング

プリントヘッドのクリーニング

印刷時には、用紙、インク、ほこりの粒子が製品内に溜まります。時間が経つと、インクのしみや汚れなどを引き起こし、印刷品質を低下させる原因になります。このデバイスには、このような問題を修正したり回避したりするためのクリーニング モードが用意されています。

プリンターのコントロール パネルからのプリントヘッドのクリーニング

1. ホーム画面の [セットアップ] ボタンをタッチします。
2. ツール メニューをタッチします。
3. プリントヘッドのクリーニング ボタンをタッチします。
4. 指示されたら普通紙レターまたは A4 用紙をセットします。
5. [OK] ボタンをタッチして、クリーニングを開始します。

製品にゆっくり給紙されます。クリーニングが完了したら、用紙を破棄します。

スキャナ ガラスのタブとプラテンのクリーニング

長い間に、スキャナのガラス板やビニール製の白い裏張り部分に細かいごみがたまり、性能が劣化する場合があります。次の手順に従って、スキャナのガラス板とプラスチック製の白い裏張り部分をクリーニングしてください。

1. プリンターの電源スイッチをオフにして、コンセントから電源コードを外します。
2. スキャナ カバーを開きます。
3. 非研磨性ガラス クリーナーを含ませた柔らかい布またはスポンジでスキャナのガラス板とビニール製の白い裏張り部分をクリーニングします。



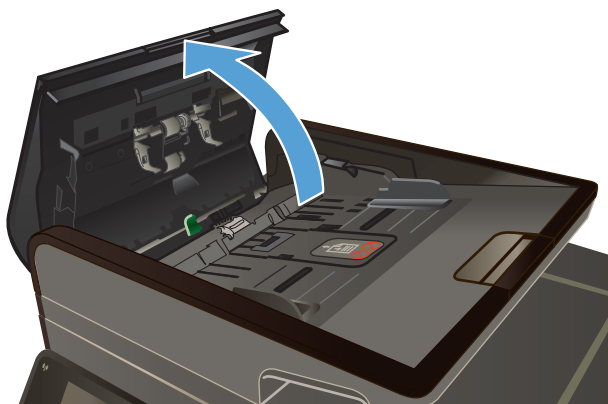
⚠ 注意： プリンターのどの部分にも研磨材、アセトン、ベンゼン、アンモニア、エチルアルコール、および四塩化炭素は使用しないでください。これらは、プリンターを損傷するおそれがあります。また、ガラス板やプラテンには液体を直接かけないでください。液体が漏れてプリンターを損傷するおそれがあります。

4. しみが残らないように乾いたセーム革またはセルロース スポンジでガラス板とビニール製の白い裏張り部分を拭き取ります。
5. プリンターの電源コードをコンセントに差し込み、プリンターの電源スイッチをオンにします。

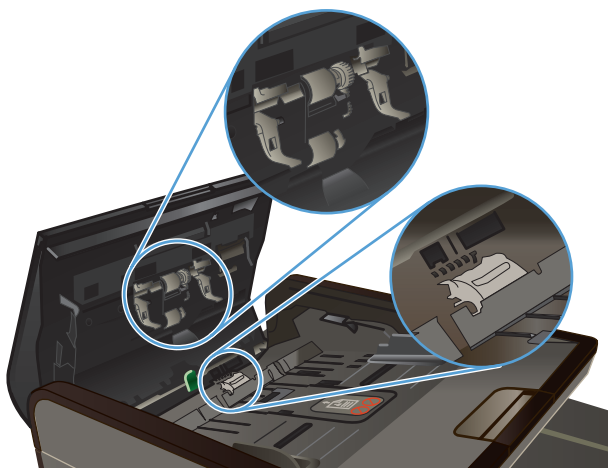
文書フィーダピックアップ ローラーおよび仕分けパッドのクリーニング

製品の文書フィーダで、紙詰まりや複数ページが一度に給紙されるなど、用紙処理に関する問題が発生する場合、文書フィーダ ローラーおよび仕分けパッドをクリーニングします。

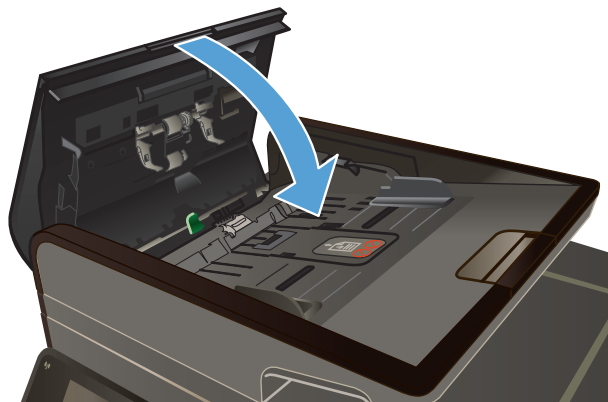
1. 文書フィーダのカバーを開けます。



2. 湿らせた繊維の残らない布を使用して、ピックアップ ローラーと仕分けパッドの両方を拭き、汚れを取り除きます。



3. 文書フィーダのカバーを閉じます。



タッチ スクリーンのクリーニング

タッチスクリーンに付いた指紋やほこりを取り除く必要がある場合は、タッチスクリーンをクリーニングします。糸くずの出ない清潔な布を水で湿らせて、あまり力を入れずにタッチスクリーンを拭きます。

⚠ 注意： 水のみを使用してください。溶剤やクリーナーを使用すると、タッチスクリーンが損傷する場合があります。タッチスクリーンに水を直接かけたり吹きかけたりしないでください。

製品のアップデート

この製品のソフトウェア アップデートとファームウェア アップデート、およびインストール手順については、www.hp.com/support で参照できます。[ダウンロードとドライバ] をクリックし、オペレーティング システムをクリックして、該当する製品のダウンロードを選択します。

14 問題の解決

- [カスタマ サポート](#)
- [問題解決のチェックリスト](#)
- [出荷時のデフォルト設定の復元](#)
- [用紙送りが滑らかでない、または紙詰まりが発生する](#)
- [紙詰まりの解消](#)
- [印刷品質の改善](#)
- [印刷されない、または印刷速度が遅い](#)
- [プラグアンドプリント USB ドライブ印刷の問題の解決](#)
- [製品の接続に関する問題を解決する](#)
- [ワイヤレス ネットワークに関する問題の解決](#)
- [Windows において、プリンタのソフトウェアに関する問題を解決する](#)
- [Mac において、プリンタのソフトウェアに関する問題を解決する](#)

カスタマ サポート

国/地域の電話サポートを受ける (保証期間中は無料)	各国/地域の電話番号については、パッケージに同梱されているお知らせ、または www.hp.com/support/ をご覧ください。
製品名、シリアル番号、購入日、問題の説明をご用意ください。	
24 時間のインターネット製品サポート、トラブルシューティング、およびドライバ、ソフトウェア、電子情報のダウンロード	www.hp.com/support
Macintosh コンピュータと使用している製品のサポートを受ける	www.hp.com/go/macosex
ソフトウェア ユーティリティ、ドライバ、電子形式の情報をダウンロードする	http://www.hp.com/go/support
追加の HP サービス契約または保守契約を注文する	www.hp.com/go/carepack
製品の登録	www.register.hp.com

問題解決のチェックリスト

プリンターに関する問題を解決する際、次の手順に従ってください。

- [手順 1: 製品の電源が入っていることの確認](#)

- [手順 2：コントロール パネルのエラー メッセージの確認](#)
- [手順 3：印刷機能のテスト](#)
- [手順 4：コピー機能のテスト](#)
- [手順 5：ファクス送信機能のテスト](#)
- [手順 6：ファクス受信機能のテスト](#)
- [手順 7：コンピューターからの印刷ジョブの送信](#)
- [手順 8：プラグアンドプリント USB ドライブ印刷機能のテスト](#)
- [プリンターの性能に影響を与える要因](#)

手順 1：製品の電源が入っていることの確認

1. 製品が電源に差し込まれ、電源が入っていることを確認します。
2. 電源ケーブルが製品とコンセントに接続されていることを確認します。
3. 電源ケーブルを別のコンセントに接続して、電源を確認します。
4. 製品のモーターが回転しない場合、インク カートリッジが取り付けられていて、ドアがすべて閉まっていることを確認します。コントロール パネルに、これらの問題を示すメッセージが表示されます。
5. 文書フィーダのモーターが回転しない場合、文書フィーダ カバーを開いて、梱包材や出荷用テープをすべて取り除きます。
6. スキャナ ライトがコピー、スキャン、ファクス送受信中に点灯しない場合、HP サポートに連絡してください。

手順 2：コントロール パネルのエラー メッセージの確認

コントロール パネルが準備完了状態になっている必要があります。エラー メッセージが表示されている場合は、エラーを解消します。

手順 3：印刷機能のテスト

1. コントロール パネルの ホーム画面で、**セットアップ**  ボタンをタッチします。
2. **レポートの印刷**メニューを開き、[プリンタ ステータス レポート] 項目を選択してレポートを印刷します。
3. レポートが印刷されない場合、用紙がトレイに取り付けられていることを確認し、用紙がプリンター内部で詰まっていないかどうかコントロール パネルで確認します。

 **注記：** トレイ内の用紙がこのプリンターの要件を満たしているかどうかを確認します。

手順 4： コピー機能のテスト

1. 設定ページを文書フィーダに置き、コピーを作成します。用紙が文書フィーダからスムーズに給紙されない場合、文書フィーダのローラーと仕分けパッドのクリーニングが必要な可能性があります。用紙がこのプリンターの要件を満たしているかどうかを確認します。
2. 設定ページをスキャナ ガラスに置き、コピーを作成します。
3. コピーされたページの印刷品質が適切でない場合、スキャナ ガラスと小さいガラス タブをクリーニングしてください。

手順 5： ファクス送信機能のテスト

1. コントロール パネルの ホーム画面で、**セットアップ**  ボタンをタッチします。
2. [ファクス設定] メニューを開き、次に [ファクス ツール] メニューを開きます。 **ファクス テストの実行** ボタンをタッチして、ファクス機能をテストします。
3. 製品のコントロール パネルの **ファクス**  ボタンをタッチし、**ファクス開始** ボタンをタッチします。

手順 6： ファクス受信機能のテスト

1. コントロール パネルの ホーム画面で、**セットアップ**  ボタンをタッチします。
2. [ファクス設定] メニュー、[ファクス ツール] メニューの順にタッチします。 **ファクス テストの実行** ボタンをタッチして、ファクス機能をテストします。
3. 別のファクス機を使用して、この製品にファクスを送信します。
4. この製品のファクス設定を見直して設定し直します。

手順 7： コンピューターからの印刷ジョブの送信

1. ワープロ プログラムを使用して、印刷ジョブをプリンターに送信します。
2. ジョブが印刷されない場合、適切なプリンター ドライバを選択したことを確認します。
3. 製品ソフトウェアをアンインストールしてからインストールし直します。

手順 8： プラグアンドプリント USB ドライブ印刷機能のテスト

1. PDF ドキュメントまたは .JPEG 写真を USB フラッシュ ドライブに保存し、プリンターの正面にあるスロットに挿入します。
2. [USB Print] メニューが開きます。ドキュメントまたは写真を印刷してみます。
3. ドキュメントが一覧表示されない場合、別のタイプの USB フラッシュ ドライブを試してください。

プリンターの性能に影響を与える要因

印刷の所要時間は、次のような要因に影響されます。

- 使用しているソフトウェア プログラムとその設定
- 特殊な用紙の使用 (厚手の用紙、カスタム サイズの用紙など)
- プリンターの処理時間およびダウンロード時間
- グラフィックスの複雑さおよびサイズ
- 使用しているコンピューターの速度
- USB またはネットワークの接続
- カラーとモノクロのどちらで印刷しているか
- USB ドライブを使用している場合はそのタイプ

出荷時のデフォルト設定の復元

⚠ 注意： 出荷時のデフォルト設定に復元すると、プリンターとネットワークの設定がすべて出荷時のデフォルト設定に戻り、ファクス ヘッダー名、電話番号、プリンターのメモリ内に保存されたファクスもすべてクリアされます。 この手順では、ファクス電話帳もクリアされ、メモリ内の保存されたすべてのページも削除されます。 手順を実行すると、プリンターは自動的に再起動されます。

1. プリンターのコントロール パネルの **セットアップ**  ボタンをタッチします。
2. スクロールして **ツール** メニューをタッチします。
3. スクロールして **[出荷時デフォルト値に戻す]** ボタンをタッチし、**[OK]** ボタンをタッチします。
プリンターが自動的に再起動します。

用紙送りが滑らかでない、または紙詰まりが発生する

- [用紙がピックアップされない](#)
- [複数枚の用紙がピックアップされる](#)
- [紙詰まりを防ぐ](#)

用紙がピックアップされない

トレイから用紙がピックアップされない場合、次の解決策を試してください。

1. プリンタのカバーを開け、詰まっている用紙を取り除きます。
2. ジョブに適したサイズの用紙をトレイにセットします。
3. トレイの用紙ガイドの位置を用紙サイズに合わせて調整します。トレイの底面で、ガイドを用紙サイズのマークの位置に合わせます。

4. トレイから用紙の束を取り出してさばき、左右を入れ替え、裏返します。 *用紙の束を振らない* ください。 用紙の束をトレイに戻します。
5. 製品のコントロール パネルで、トレイ 1 (製品の左側の多目的トレイ) を通じて手動で給紙する 指示が表示されて応答待ちになっているかどうかを確認します。 用紙をセットして続行しま す。

複数枚の用紙がピックアップされる

トレイから複数枚の用紙がピックアップされる場合、次の解決策を試してください。

1. トレイから用紙の束を取り出してさばき、左右を入れ替え、裏返します。 *用紙の束を振らない* ください。 用紙の束をトレイに戻します。
2. このプリンタに関する HP の仕様を満たす用紙だけを使用します。
3. しわ、折り目、損傷などが無い用紙を使用します。 必要があれば、別のパッケージの用紙を使用 します。 トレイ内のすべての用紙が同じ種類とサイズであることを確認します。
4. トレイから用紙があふれていないかどうかを確認します。 あふれている場合は、用紙の束全体 をトレイから取り出し、束をまっすぐ揃え、枚数を減らしてからトレイに戻します。
5. トレイの用紙ガイドの位置を用紙サイズに合わせて調整します。トレイの底面で、ガイドを用紙 サイズのマークの位置に合わせます。

紙詰まりを防ぐ

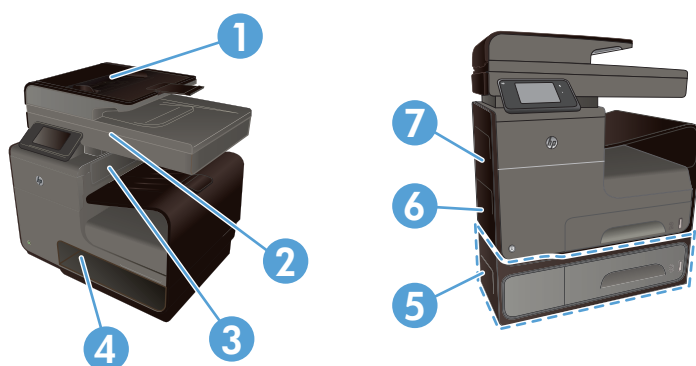
紙詰まりを減らすには、次の解決策を試してください。

1. このプリンターに関する HP の仕様を満たす用紙だけを使用します。 この製品では、軽量の横 目用紙の使用は推奨されません。
2. しわ、折り目、損傷などが無い用紙を使用します。 必要があれば、別のパッケージの用紙を使用 します。
3. プリントまたはコピーされた用紙でない、新品の用紙を使用します。
4. トレイから用紙があふれていないかどうかを確認します。 あふれている場合は、用紙の束全体 をトレイから取り出し、束をまっすぐ揃え、その一部をトレイに戻します。
5. トレイの用紙ガイドの位置を用紙サイズに合わせて調整します。 用紙ガイドは、用紙の束にち ょうど触れる位置に動かします。用紙がたわまないようにします。
6. トレイがプリンタにしっかり挿入されているかどうかを確認します。
7. 厚手、エンボス付き、またはミシン目入りの用紙を使用する場合、トレイ 1 (製品の左側の多目 的トレイ) を使用して、1 枚ずつ手動で給紙します。

紙詰まりの解消

紙詰まりの場所

紙詰まりは、次の場所で発生する可能性があります。

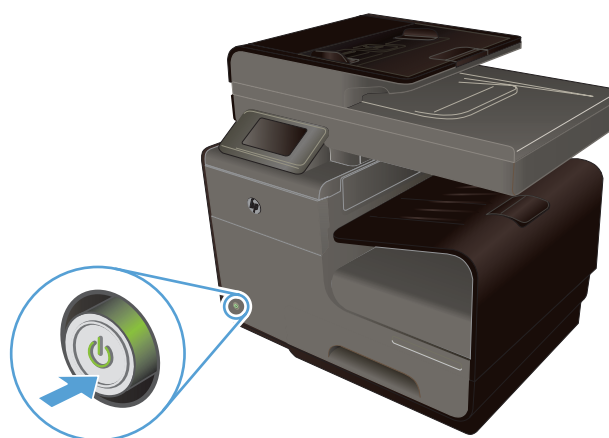


1	文書フィーダ
2	スキャナ
3	排紙ビン
4	トレイ 2
5	オプションのトレイ 3 と左側の紙詰まりアクセス ドア
6	トレイ 1
7	左扉

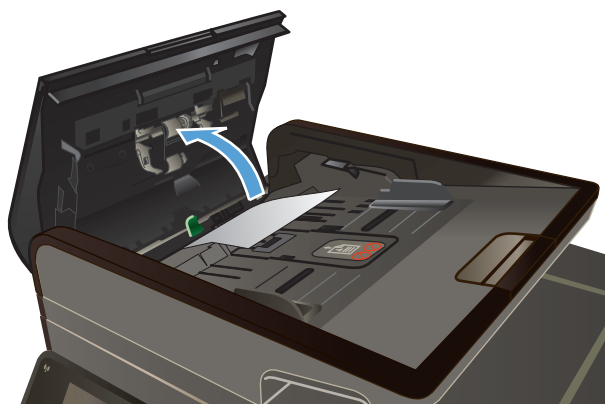
紙詰まりが発生すると、インクの汚れが製品内に残る可能性があります。この問題は通常、数枚印刷した後、自動的に解決します。

文書フィーダの紙詰まりを解決する

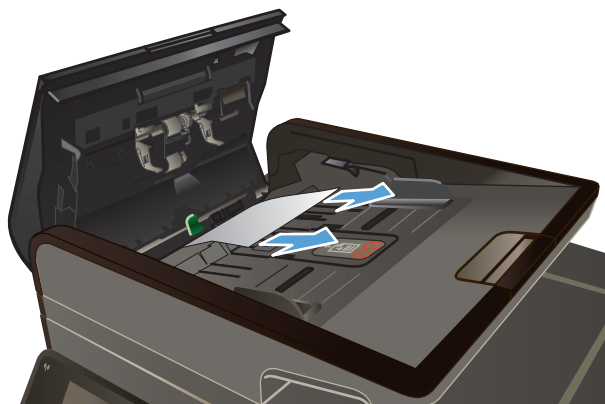
1. プリンターの電源を切ります。



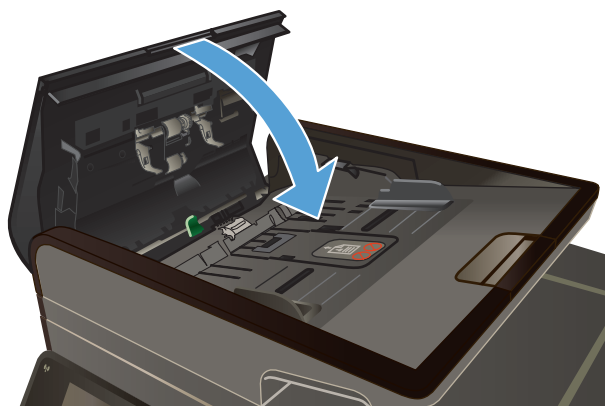
2. 文書フィーダのカバーを開けます。



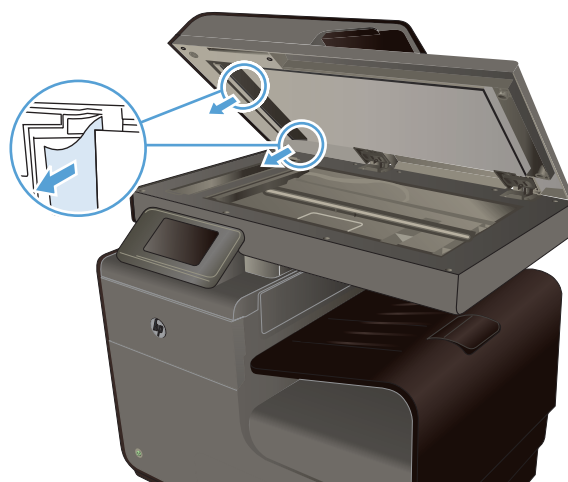
3. 文書フィーダのローラー アセンブリを持ち上げ、詰まった紙をゆっくり引き出します。



4. 文書フィーダのカバーを閉じます。



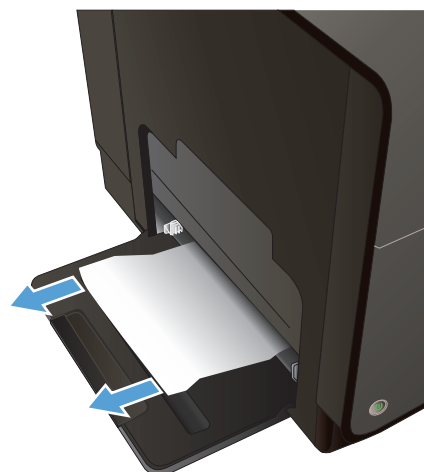
5. スキャナ カバーを開きます。用紙がビニール製の白い裏張り部分の後ろに詰まっている場合、ゆっくり引き出します。



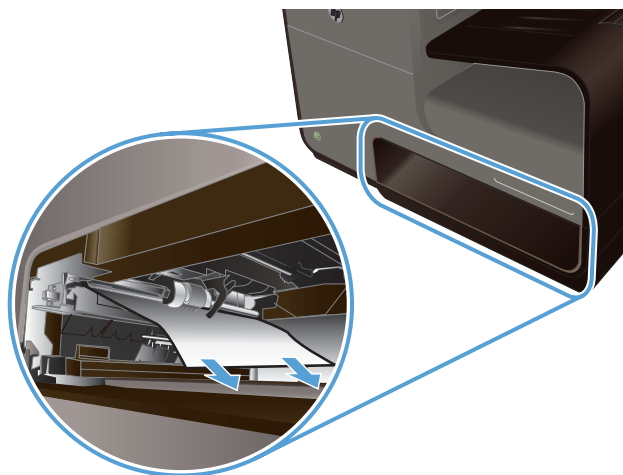
トレイ 1 (多目的トレイ) の紙詰まりの解消

1. 詰まった用紙がトレイ 1 の中に見えて簡単に手が届く場合は、用紙をトレイ 1 から取り出します。

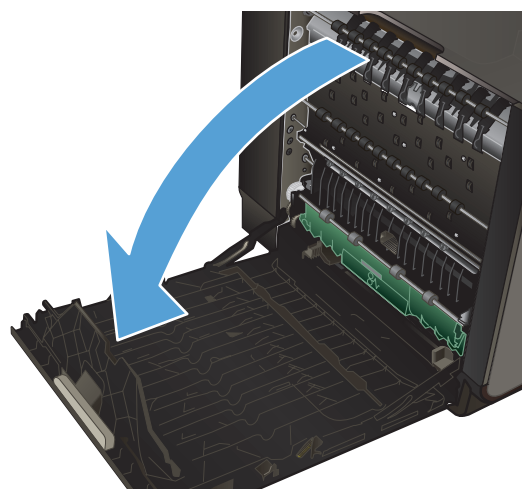
注記： 用紙が破れた場合は、印刷を再開する前にすべての紙片を取り除いてください。



2. 詰まった用紙を取り除くもう 1 つの手段として、トレイ 2 を取り外し、詰まった用紙を右側に引き出してから製品の外に取り出す方法もあります。

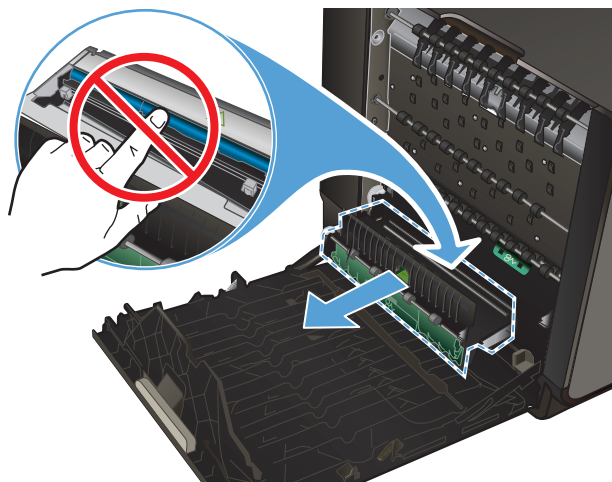


3. 詰まった用紙がトレイ 1 の中に見えないか、簡単に手が届かない場合、左のドアを開けて詰まった用紙を取り出します。

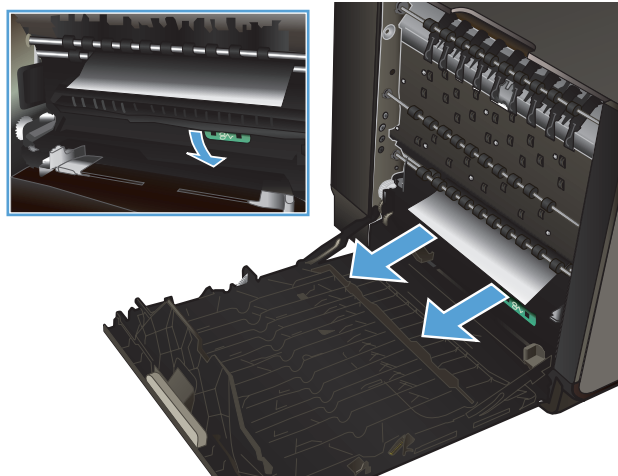


4. それでも用紙が見えないか手が届かない場合は、両面印刷ユニットを両手で手前に引いて取り外します。両面印刷ユニットを紙の上に（インクがこぼれるのを防ぐため）まっすぐに置きます。

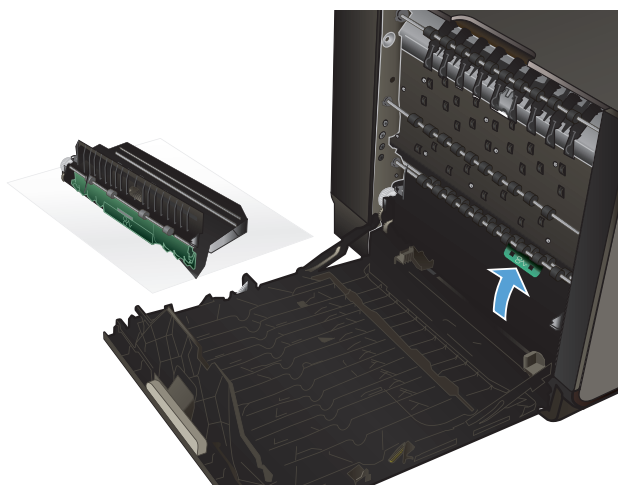
注意： 両面印刷ユニットを取り外す際に、黒い円筒に触れると皮膚や服がインクで汚れるおそれがあるため注意してください。



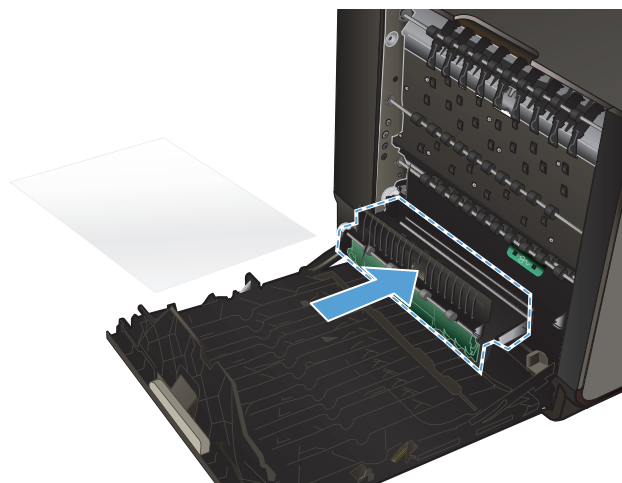
5. 緑色のタブを押し下げてプラテンを下に下げます。これにより、製品はプリントゾーンを通じて給紙しようとしています。給紙されない場合は、用紙を軽く引いてみてください。用紙を取り出します。



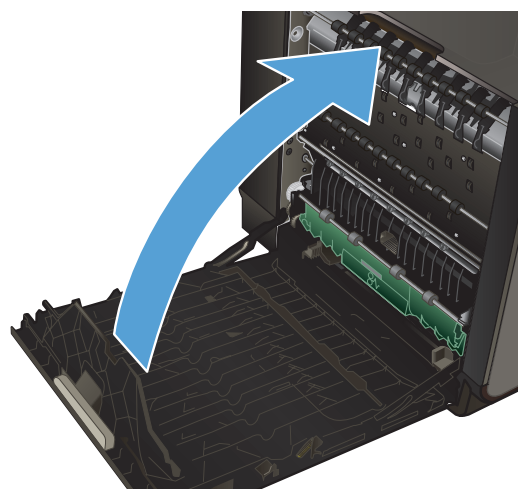
6. 緑のタブを上に戻して、プラテンを動作位置に戻します。



7. 両面印刷ユニットを取り付け直します。

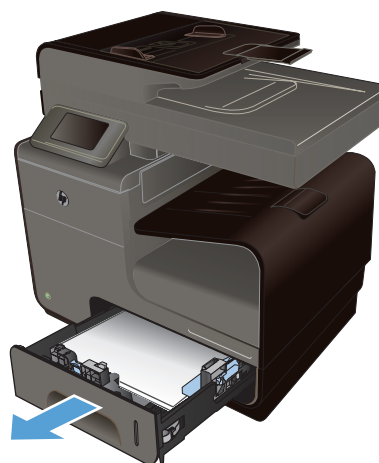


8. 左扉を閉じます。

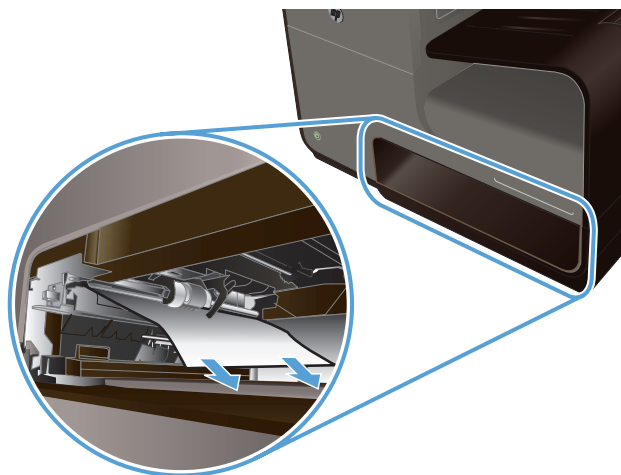


トレイ 2 の紙詰まりの除去

1. トレイ 2 を手前に引き、トレイの左後部にあるラッチを外して、トレイを開きます。

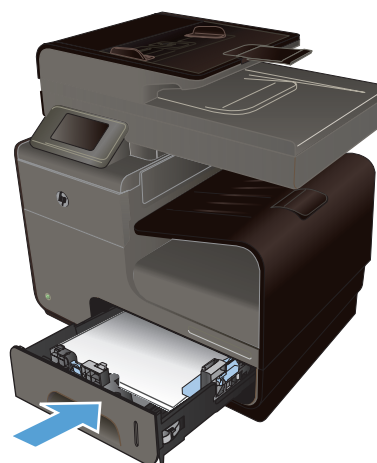


2. 詰まった用紙を右側に引き出し、製品の外に取り出します。



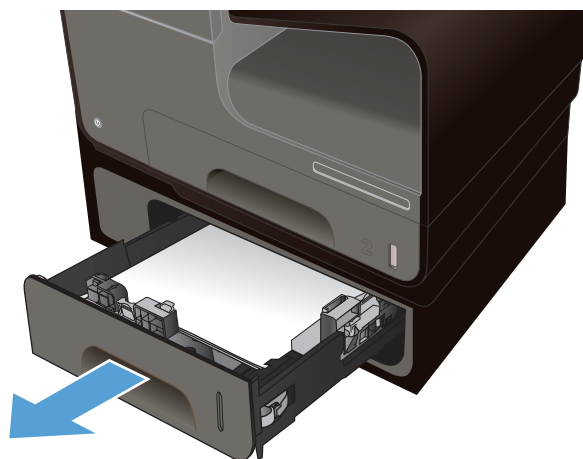
3. トレイ 2 を閉じます。

注記： トレイを閉じるには、中央部を押すか、両端を均等な力で押します。片側だけを押しないようにしてください。

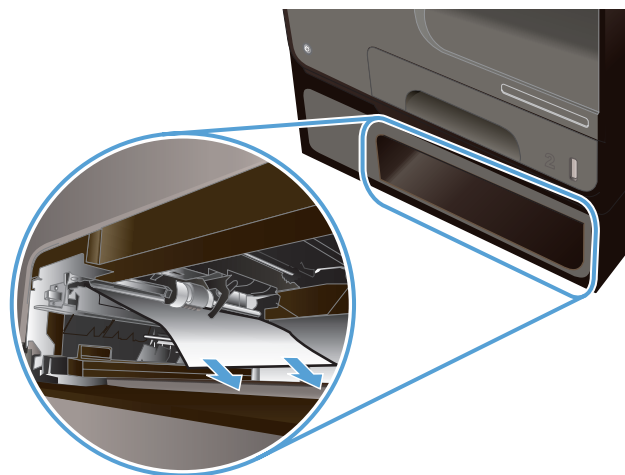


トレイ 3 (オプション) の紙詰まりの除去

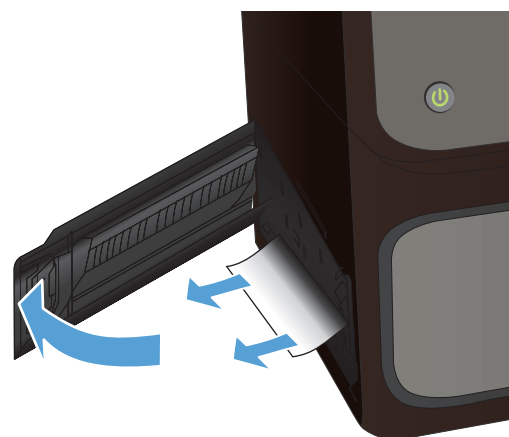
1. トレイ 3 を引き出します。



2. 詰まった用紙を右側に引き出し、製品の外に取り出します。

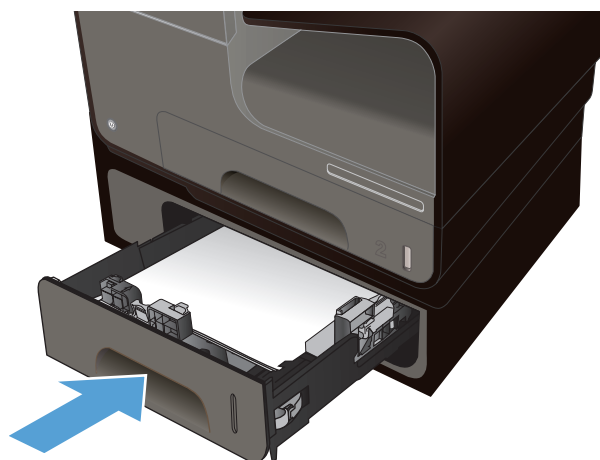


3. トレイから詰まった用紙を取り除けない場合は、トレイ 3 の左のドアから用紙を取り除きます。



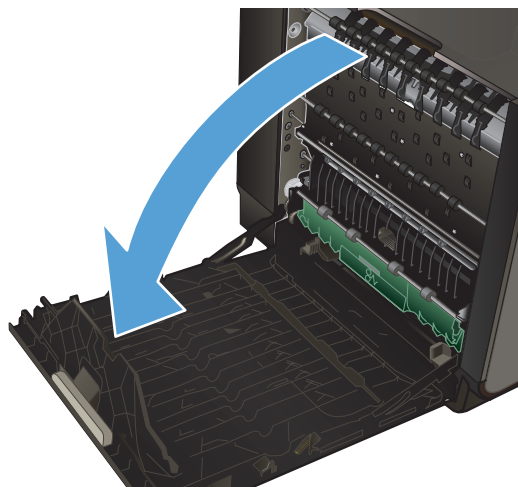
4. トレイ 3 を閉じます。

注記： トレイを閉じるには、中央部を押すか、両端を均等な力で押します。片側だけを押しないようにしてください。



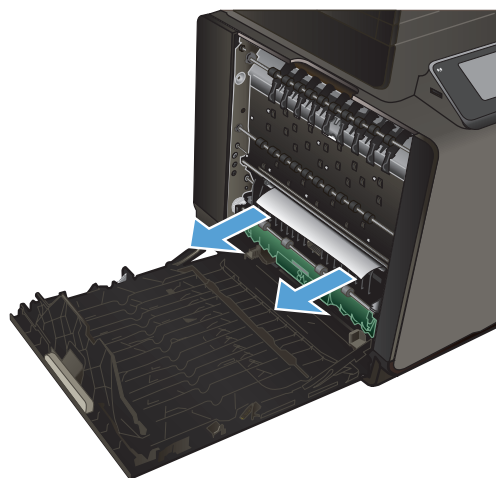
左のドアの紙詰まりを取り除く

1. 左扉を開きます。

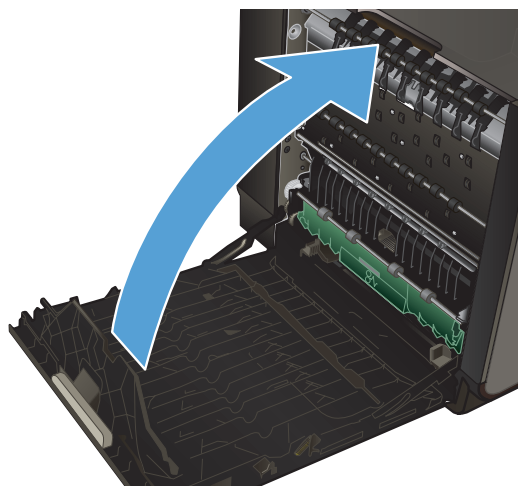


2. ローラーおよび排紙部分から目に見える用紙をそっと取り除きます。

注記： 用紙が破れた場合は、印刷を再開する前にすべての紙片を取り除いてください。紙片を取り除くために尖ったものを使用しないでください。



3. 左扉を閉じます。



排紙ビンの紙詰まりの除去

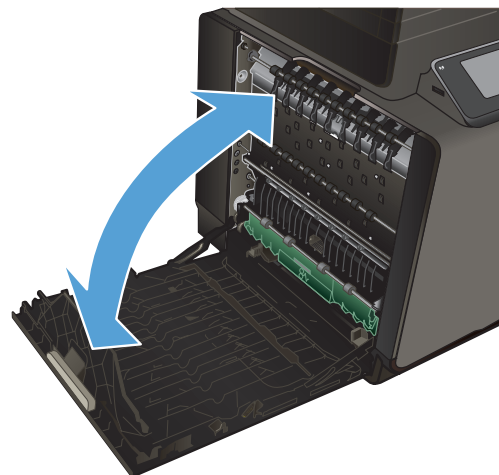
1. 排紙ビン領域で詰まっている用紙を探します。

2. 見えているメディアを取り除きます。

注記： 用紙が破れた場合は、印刷を再開する前にすべての紙片を取り除いてください。

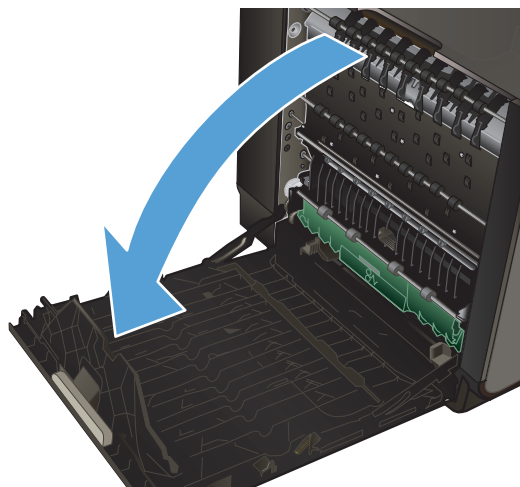


3. 左のドアを開けて閉め直すと、メッセージが消えます。

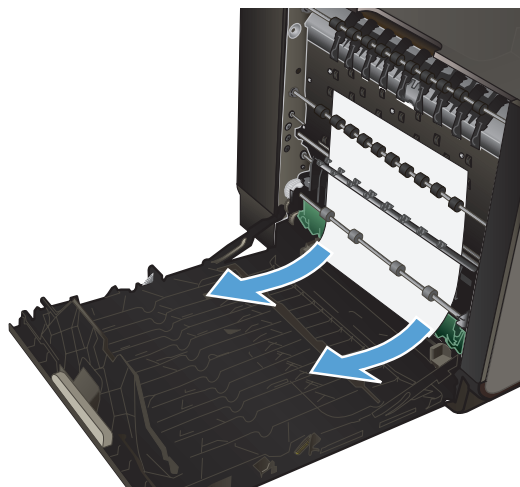


両面印刷ユニットの紙詰まりの除去

1. 左扉を開きます。

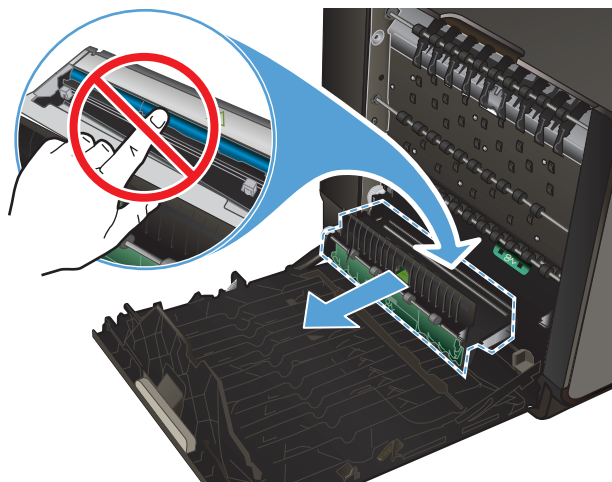


2. 用紙の終端が見える場合は、製品から用紙を取り除きます。

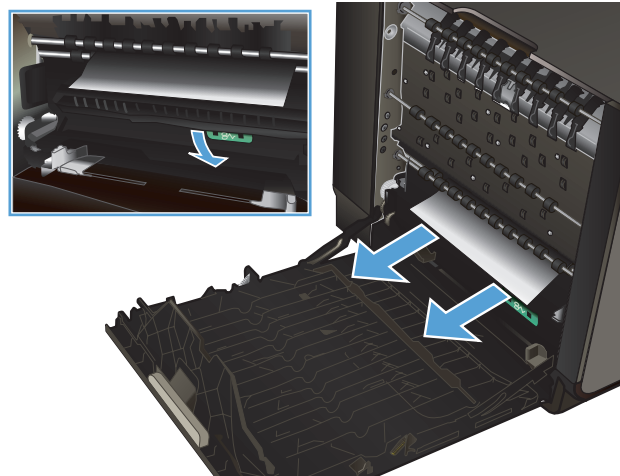


3. 用紙が見えないか手が届かない場合は、両面印刷ユニットを両手で手前に引いて取り外します。両面印刷ユニットを紙の上に（インクがこぼれるのを防ぐため）まっすぐに置きます。

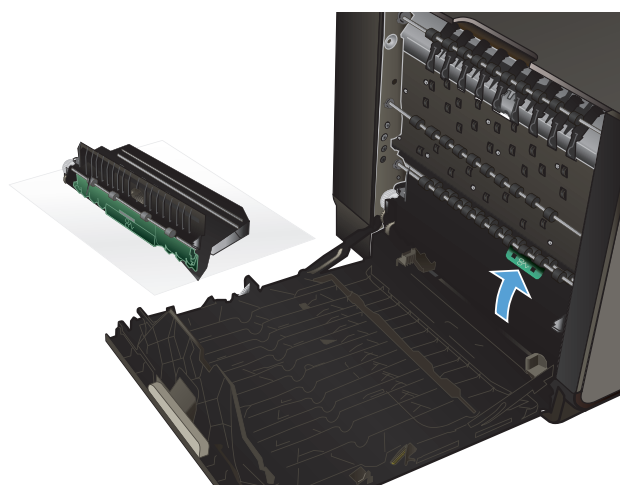
注意： 両面印刷ユニットを取り外す際に、黒い円筒に触れると皮膚や服がインクで汚れるおそれがあるため注意してください。



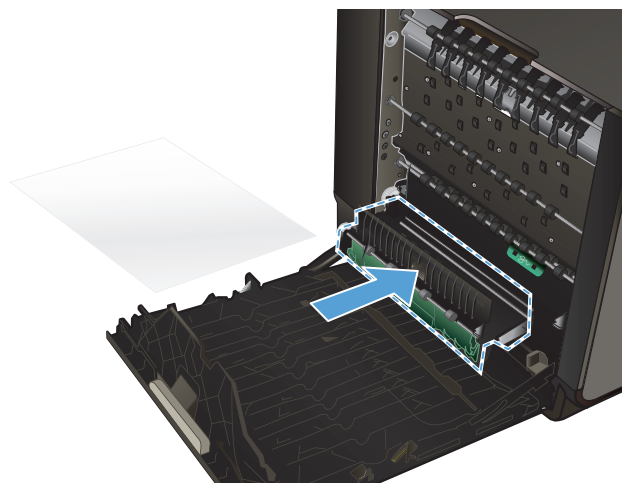
4. 緑色のタブを押し下げてプラテンを下に下げます。これにより、製品はプリントゾーンを通じて給紙しようとします。給紙されない場合は、用紙を軽く引いてみてください。用紙を取り出します。



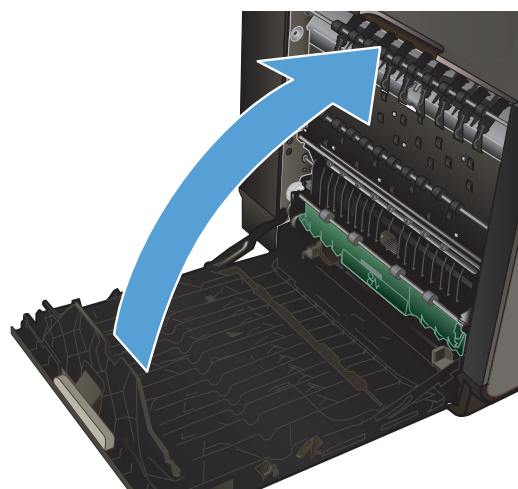
5. 緑のタブを上に戻して、プラテンを動作位置に戻します。



6. 両面印刷ユニットを取り付け直します。



7. 左扉を閉じます。



印刷品質の改善

これらのガイドラインに従うことで、印刷品質に関するほとんどの問題を防ぐことができます。

- [プリンタ ドライバで正しい用紙タイプ設定を使用する](#)
- [カラーの調整](#)
- [HP の仕様を満たす用紙を使用する](#)
- [インク カートリッジの確認](#)
- [インクのにじみのクリーニング](#)
- [プリントヘッドのクリーニング](#)
- [自社の印刷ニーズに最適なプリンタ ドライバを使用する](#)
- [コピー処理におけるプリント品質を向上させる](#)

プリンタ ドライバで正しい用紙タイプ設定を使用する

次のいずれかの問題が発生している場合は、用紙タイプ設定を確認してください。

- 印刷されたページがインクで汚れる。
- 印刷されたページに斑点が繰り返し現れる。
- 印刷したページが丸まっている。
- 印刷されたページに一部印刷されていない領域がある。

用紙タイプおよびサイズ設定の変更 (Windows)

1. **【印刷】** 機能があるソフトウェア プログラムで、**【ファイル】** メニューをクリックし、**【印刷】** をクリックします。
2. プリンタを選択し、**【プロパティ】** または **【ユーザー設定】** をクリックします。
3. **【用紙/品質】** タブをクリックします。
4. **【用紙タイプ】** ドロップ ダウン リストで、**【詳細...】** オプションをクリックします。
5. **【用紙の種類：】** オプションのリストを展開します。
6. 用紙タイプのカテゴリを展開して、使用している用紙タイプを表示します。
7. 使用する用紙のタイプに合ったオプションを選択して、**【OK】** ボタンをクリックします。

用紙タイプおよびサイズ設定の変更 (Mac)

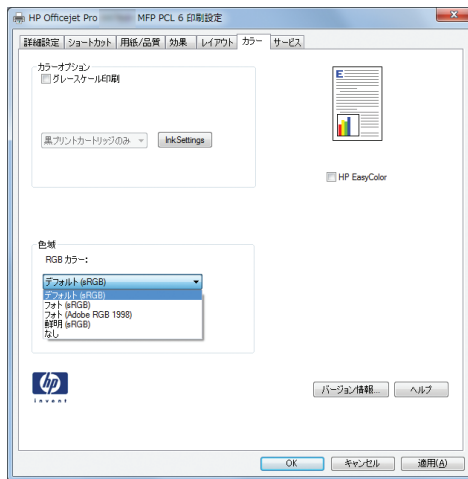
1. ソフトウェア プログラムの **【ファイル】** メニューで、**【印刷】** オプションをクリックします。
2. **【用紙サイズ】** ドロップダウン リストからサイズを選択します。
3. **【用紙/品質】** メニューを開きます。
4. **【メディアの種類】** ドロップダウン リストからタイプを選択します。
5. **【印刷】** ボタンをクリックします。

カラーの調整

カラーの管理は、プリンター ドライバの **【カラー】** タブ (Windows の場合) および **【カラー オプション】** タブ (Mac の場合) の設定を変更することで行います。

印刷ジョブのカラー テーマの変更

1. ソフトウェアで **【ファイル】** メニューの **【印刷】** をクリックします。
2. **【プロパティ】** または **【基本設定】** (Windows) をクリックします。
3. **【カラー】** タブ (Windows) または **【カラー オプション】** タブ (Mac) をクリックし、HP EasyColor のチェックをオフにします。
4. **【カラー テーマ】** (Windows) または **【RGB カラー】** (Mac) ドロップダウン リストからカラー テーマを選択します。



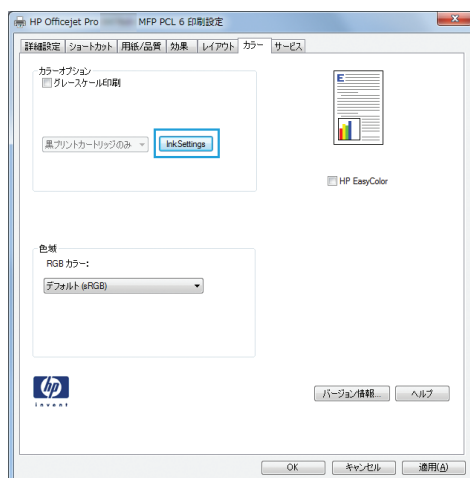
- **[デフォルト (sRGB)]**： RGB データが raw デバイス モードで印刷されます。 このテーマを使用する場合、適切な印刷結果を得るには、ソフトウェアまたは OS でカラーを管理する必要があります。
- **[鮮明]**： 中間階調の彩度が高くなります。 このテーマは、業務用のグラフィックを印刷する用途に適しています。
- **[フォト]**： RGB カラーが、デジタル現像所で写真として印刷されるときと同じように解釈されます。 [デフォルト (sRGB)] を選択した場合に比べて、濃度と彩度が高くなります。 このテーマは、写真を印刷する用途に適しています。
- **[フォト (Adobe RGB 1998)]**： このテーマは、sRGB ではなく Adobe RGB の色空間を使用しているデジタル写真を印刷する用途に適しています。 このテーマを使用する場合、ソフトウェア側でカラー管理を無効にしてください。
- **[なし]**： カラー テーマは使用されません。

カラー オプションを変更する

現在の印刷ジョブに対するカラー オプション設定を変更するには、プリンタ ドライバの [カラー] タブを使用します。

1. ソフトウェアで [ファイル] メニューの [印刷] をクリックします。
2. [プロパティ] または [基本設定] (Windows) をクリックします。
3. [カラー] タブ (Windows) または [カラー オプション] タブ (Mac) をクリックします。

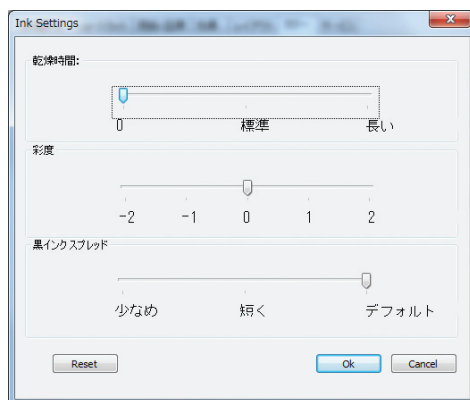
4. [HP EasyColor] チェック ボックスをオフにします。



5. Ink Settings ボタン (Windows) をクリックするか、[詳細] メニューを展開し (Mac)、スライダーを使用して次の調整を行います。

- [乾燥時間]
- [彩度]
- [黒インク スプレッド]

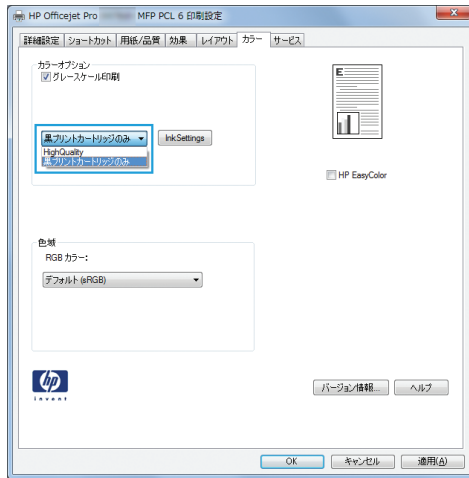
 **注記：** カラー設定を手動で変更した場合、印刷結果に悪影響が及ぶおそれがあります。カラー設定を手動で変更する作業は、グラフィックの専門家だけが行うことを推奨しています。



 **注記：** カラー設定を手動で変更した場合、印刷結果に悪影響が及ぶおそれがあります。カラー設定を手動で変更する作業は、グラフィックの専門家だけが行うことを推奨しています。

6. [OK] をクリックして調整内容を保存してウィンドウを閉じるか、[Reset] をクリックして設定をデフォルトに戻します (Windows)。

7. [グレースケール印刷] オプション (Windows) または[カラーをグレイとして印刷] (Mac) をクリックすると、カラー ドキュメントを黒とグレースケールで印刷します。このオプションは、複写またはファクス送信する目的でカラー文書を印刷する場合に適しています。また、ドラフト印刷を行う場合やカラー カートリッジの寿命を伸ばす場合にも使用できます。



8. [OK] ボタンをクリックします (Windows)。

HP の仕様を満たす用紙を使用する

次のいずれかの問題が発生している場合、別の用紙を使用してください。

- プリント結果が薄すぎるか、または部分的に薄いように見える。
- 印刷されたページにインクのしみが現れる。
- 印刷されたページがインクで汚れる。
- プリントした文字がゆがんで見える。
- 印刷したページが丸まっている。

必ずタイプと重量がこのプリンターでサポートされている用紙を使用してください。さらに、用紙を選択するときは、次のガイドラインに従ってください。

- 上質で、切れ目、破れ目、しみ、しわ、穴などがなく、目が粗くなく、ほこりや針が付いておらず、端が曲がっていない用紙を使用します。
- 以前にプリントされたことがない、新品の用紙を使用します。
- インクジェット プリンター用の用紙を使用します。
- ざらざらしすぎでない用紙を使用します。一般に、滑らかな用紙を使用するとプリント品質が向上します。

 **注記：** 各種普通紙を対象とした HP 社内テストの結果、HP では本製品で ColorLok® ロゴのついた用紙を使用することを強くお勧めしております。詳細については、<http://www.hp.com/go/printpermanence> をご覧ください。



インク カートリッジの確認

ステータス レポートを印刷してインク カートリッジを確認し、次のいずれかの問題が発生している場合は、必要に応じてカートリッジを交換してください。

- 印刷されたページに一部印刷されていない領域がある。
- 印刷されたページに筋や帯が生じている。

 **注記：** 下書き印刷設定を使用している場合は、印刷が薄くなることがあります。

インク カートリッジを交換する必要があると判断した場合は、カートリッジを見るか、サプライ品ステータス ページを印刷して、HP 純正プリント カートリッジの部品番号を確認してください。

補充または再生インク カートリッジ

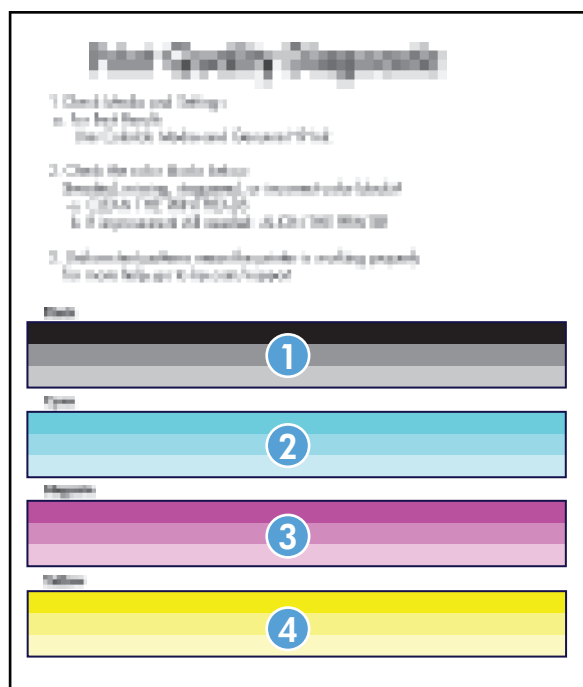
Hewlett-Packard 社は、新品または再生品のどちらについても、HP 製以外のサプライ品の使用は推奨していません。HP 製品ではないため、HP がその設計を変更したり、その品質を管理することはできません。補充または再生インク カートリッジを使用していて印刷品質に不満を感じている場合は、そのカートリッジを HP 純正のカートリッジに交換してください。

 **注記：** HP 製でないインク カートリッジを HP 純正インク カートリッジに交換しても、プリントヘッドの中には HP 製でないインクが残っている場合があります。残っているインクがすべて使用されると、新しく取り付けた HP 純正インク カートリッジからインクが供給されます。

印刷品質ページの意味

1. コントロール パネルの [セットアップ - 2. [レポートの印刷] メニューをタッチします。
- 3. [印刷品質レポート] 項目を選択して、印刷します。
- 4. 印刷されたページに記載されている指示に従います。

このページには、4 つの色帯が印刷されます。これは、次の図に示すようなグループに分けられています。各グループを確認することで、問題が発生しているインク カートリッジを特定できます。



セクション	インク カートリッジ
1	黒
2	シアン
3	マゼンタ
4	イエロー

- 点または縞が 1 つまたは複数のグループに現れた場合、プリントヘッドをクリーニングします。 それでも問題が解決しない場合は、HP に連絡してください。
- 複数の色帯に縞が現れた場合、もう一度プリントヘッドのクリーニングを行って、それでも問題が解決しなければ、HP に連絡してください。 インク カートリッジ以外のコンポーネントが原因で問題が発生している可能性があります。

インク カートリッジの損傷の検査

1. インク カートリッジを製品から取り出し、カートリッジの経路にゴミがないことを確認します。

2. インク カートリッジの金属コネクタを検査します。

⚠ 注意： カートリッジの端にある金属のコネクタには触れないでください。 金属コネクタに指紋が付着すると印刷品質に問題が生じることがあります。



3. 金属コネクタに傷やその他の損傷が見られる場合は、インク カートリッジを交換します。
4. 金属コネクタが損傷している様子がなければ、カートリッジをスロットに挿入して、ロックされるまで静かに押し込みます。 数ページ印刷して、問題が解決したかどうかを確認してください。

インクのにじみのクリーニング

次のいずれかの問題が発生している場合は、クリーニング ページを印刷し、プリントヘッドと用紙経路からほこりや過剰なインクを取り除いてください。

- 印刷されたページにインクのにじみが現れる。
- 印刷されたページがインクで汚れる。
- 印刷されたページに斑点が繰り返し現れる。

以下の手順に従って、インクのにじみをクリーニングします。

1. 指示されたら普通紙レターまたは A4 用紙をセットします。
2. コントロール パネルで、**セットアップ**  ボタンをタッチします。
3. **ツール** メニュー ボタンを押すかタッチします。
4. **にじみ解消** メニュー ボタンを押すかタッチします。
5. **OK** ボタンを押すかタッチして、クリーニングを開始します。

製品にゆっくり給紙されます。 このページは、印刷品質の評価のために保存しておいてください。

プリントヘッドのクリーニング

プリントヘッドのクリーニングにより、印刷品質のさまざまな問題が解決することがあります。

以下の手順に従って、プリントヘッドをクリーニングします。

1. レターまたは A4 普通紙をセットします。
2. コントロール パネルで、**セットアップ**  ボタンをタッチします。
3. **ツール メニュー** ボタンを押すかタッチします。
4. **プリントヘッドのクリーニング** メニュー ボタンを押すかタッチします。
5. **OK** ボタンを押すかタッチして、クリーニングを開始します。

製品にゆっくり給紙されます。このページは、印刷品質の評価のために保存しておいてください。

6. コントロール パネルに表示される手順を実行します。

自社の印刷ニーズに最適なプリンタ ドライバを使用する

印刷したページにおいて、グラフィックに予期しない線が入る、テキストが印刷されない、グラフィックが印刷されない、書式設定が不適切である、代替フォントが使用されている、などの問題が発生する場合、別のプリンタ ドライバを使用しなければならないことがあります。

HP PCL 6 ドライバ

- デフォルトのドライバとして提供されます。このドライバは、CD を使用すると自動的にインストールされます。
- すべての Windows 環境における推奨ドライバです。
- ほとんどのユーザーにとって、速度、印刷品質、および利用可能なプリンタ機能の面で最高レベルです。
- Windows Graphic Device Interface (GDI) を使用して作成されているので、Windows 環境での動作が高速です。
- PCL5 をベースにしたサードパーティのソフトウェア プログラムおよびカスタマイズされたソフトウェア プログラムの間で、互換性が完全ではない可能性があります。

HP UPD PS ドライバ

- Adobe® ソフトウェア プログラムやその他のグラフィック集約型ソフトウェア プログラムで印刷する場合の推奨ドライバです。
 - Postscript エミュレーションでの印刷や Postscript Flash フォントの印刷に対応しています。
 - このドライバは、<http://www.hp.com/go/upd> からダウンロードできます。
-

HP UPD PCL 5

- Windows 環境で一般的なオフィス文書を印刷する場合の推奨ドライバです。
- PCL の旧バージョンおよび古い HP Inkjet 製品と互換性があります。
- サードパーティのソフトウェア プログラムおよびカスタマイズされたソフトウェア プログラムでの印刷に最適です。
- PCL 5 を使用している混合環境での使用に最適です (UNIX、Linux、メインフレーム)。
- 会社での Windows 環境向け使用を目的とした設計となっており、単一のドライバで複数のプリンタ モデルに対応しています。
- Windows 搭載のモバイル コンピュータから複数のプリンタ モデルに印刷する場合にお勧めします。
- このドライバは、<http://www.hp.com/go/upd> からダウンロードできます。

HP UPD PCL 6

- すべての Windows 環境における推奨ドライバです。
 - ほとんどのユーザーにとって、速度、印刷品質、および利用可能なプリンタ機能の面で最高レベルです。
 - Windows Graphic Device Interface (GDI) を使用して作成されているので、Windows 環境での動作が高速です。
 - PCL5 をベースにしたサードパーティ製品およびカスタム製品との間で、互換性が完全ではない可能性があります。
 - このドライバは、<http://www.hp.com/go/upd> からダウンロードできます。
-

プリンタ ドライバは、<http://www.hp.com/go/support> でダウンロードすることもできます。

コピー処理におけるプリント品質を向上させる

コピーした文書のプリント品質に問題がある場合、プリントした文書に関する前述の解決策を確認してください。なお、プリント品質に関する一部の問題は、コピーした文書でのみ発生します。

- 文書フィーダを使用してコピーした文書に筋ができる場合、スキャナ アセンブリの左部にある小さいガラス ストリップをクリーニングします。
- スキャナ ガラスを使用してコピーしたページにしみなどが生じる場合、スキャナ ガラスとビニール製の白い裏張り部分をクリーニングします。



1. プリンタの電源スイッチをオフにして、コンセントから電源コードを外します。
 2. スキャナ カバーを開きます。
 3. 非研磨性ガラス クリーナーを含ませた柔らかい布またはスポンジでスキャナのガラス板とビニール製の白い裏張り部分をクリーニングします。
-
- ⚠ 注意：** プリンタのどの部分にも研磨材、アセトン、ベンゼン、アンモニア、エチルアルコール、および四塩化炭素は使用しないでください。これらは、プリンタを損傷するおそれがあります。また、ガラス板やプラテンには液体を直接かけないでください。液体が漏れてプリンタを損傷するおそれがあります。
-
4. しみが残らないように乾いたセーム革またはセルロース スポンジでガラス板とビニール製の白い裏張り部分を拭き取ります。
 5. プリンタの電源コードをコンセントに差し込み、プリンタの電源スイッチをオンにします。

印刷されない、または印刷速度が遅い

印刷されない

まったく印刷されない場合は、次の解決策を試してください。

1. プリンタの電源が入っているかどうか、および、コントロール パネルの表示が準備完了状態になっているかどうかを確認します。
 - 。 コントロール パネルの表示が準備完了状態になっていない場合、プリンタの電源を入れ直します。
 - 。 コントロール パネルの表示が準備完了状態になっている場合は、ジョブを再実行してみます。
2. コントロール パネルの表示がエラーになっている場合は、そのエラーを解消してから、コントロール パネルからテスト ページを印刷します。 テスト ページが印刷できた場合、製品と印刷を実行するコンピューターとの間の通信に問題がある可能性があります。

3. ケーブルが正しく接続されているかどうかを確認します。 プリンタをネットワークに接続している場合は、次の項目を確認します。
 - プリンタのネットワーク接続ポートの横にあるランプの状態を確認します。 ネットワークが稼動している場合、ランプは緑で点灯します。
 - 電話コードでなくネットワーク ケーブルを使用してネットワークに接続しているかどうかを確認します。
 - ネットワーク ルーター、ハブ、またはスイッチの電源が入っているかどうか、および、それらの装置が正常に動作しているかどうかを確認します。
4. プリンタに付属の CD に収録されている HP 製ソフトウェアをインストールします。 汎用プリンタ ドライバを使用すると、プリント キュー内のジョブを消去する処理が遅延する可能性があります。
5. コンピュータに表示されるプリンタのリストで、このプリンタの名前を右クリックして **【プロパティ】** をクリックし、**【ポート】** タブをクリックします。
 - ネットワーク ケーブルを使用してネットワークに接続している場合、**【ポート】** タブに表示されるプリンタ名が、プリンタの設定ページのプリンタ名と一致しているかどうかを確認します。
 - USB ケーブルを使用して無線ネットワークに接続している場合、**【Virtual printer port for USB】** (USB 用仮想プリンタ ポート) チェックボックスがオンになっているかどうかを確認します。
6. コンピュータ上でパーソナル ファイアウォール システムを使用している場合、プリンタとの通信がブロックされている可能性があります。 ファイアウォールを一時的に無効にし、ファイアウォールが問題の原因であるかどうかを確認します。
7. コンピュータまたはプリンタを無線ネットワークに接続している場合、信号品質が低かったり干渉が発生したりすると、印刷ジョブが遅延することがあります。

印刷速度が遅い

印刷はされるが印刷速度が遅いように見える場合は、次の解決策を試してください。

1. コンピュータがこのプリンタの最低要件を満たしているかどうかを確認します。 仕様については、Web サイト www.hp.com/support を参照してください。
2. 用紙タイプの設定が、実際に使用する用紙のタイプと一致していない場合、設定を正しい用紙タイプに変更します。
3. コンピュータまたはプリンタを無線ネットワークに接続している場合、信号品質が低かったり干渉が発生したりすると、印刷ジョブが遅延することがあります。

プラグアンドプリント USB ドライブ印刷の問題の解決

- [USB アクセサリを挿入したときに \[USB Print\] メニューが開かない](#)
- [USB ストレージ デバイスのファイルが印刷されない](#)
- [印刷するファイルが \[USB Print\] メニューに一覧表示されない](#)

USB アクセサリを挿入したときに [USB Print] メニューが開かない

1. この製品でサポートされていない USB ストレージ デバイスまたはファイル システムが使用されている可能性があります。 ファイル アロケーション テーブル (FAT) ファイル システムを使用する、標準の USB ストレージ デバイスにファイルを保存してください。 プリンターは、FAT12、FAT16、および FAT32 USB ストレージ アクセサリをサポートします。
2. 別のメニューが既に関いている場合は、そのメニューを閉じてから、もう一度 USB ストレージ デバイスを挿入してください。
3. USB ストレージ デバイスに複数のパーティションが存在する可能性があります (一部の USB ストレージ デバイス メーカーは、アクセサリに、CD に似たパーティションを作成するソフトウェアをインストールしています)。USB ストレージ デバイスを再フォーマットしてパーティションを削除するか、別の USB ストレージ デバイスを使用してください。
4. USB ストレージ デバイスへの製品の供給電力が不足している可能性があります。
 - a. USB ストレージ デバイスを取り外します。
 - b. プリンターの電源を切って入れ直します。
 - c. 電源付きの USB ストレージ デバイスまたは消費電力が少ない USB ストレージ デバイスを使用します。
5. USB ストレージ デバイスが正しく機能していない可能性があります。
 - a. USB ストレージ デバイスを取り外します。
 - b. プリンターの電源を切って入れ直します。
 - c. 別の USB ストレージ デバイスから印刷を試みます。

USB ストレージ デバイスのファイルが印刷されない

1. トレイに用紙がセットされているかどうかを確認します。
2. コントロール パネルのメッセージを確認します。 紙詰まりが発生している場合は、用紙を取り除いてください。

印刷するファイルが [USB Print] メニューに一覧表示されない

1. USB 印刷機能でサポートされていないファイル タイプを印刷しようとしている可能性があります。 この製品がサポートするファイル タイプは、PDF、PNG、JPEG、および PostScript です。
2. USB ストレージ アクセサリの 1 つのフォルダ内にあるファイルが多すぎる可能性があります。 ファイルをサブフォルダに移動して、フォルダ内のファイル数を減らしてください。
3. ファイル名に、プリンターでサポートされていない文字セットが使用されている可能性があります。 この場合は、ファイル名に別の文字セットの文字が使用されます。 ASCII 文字を使用してファイル名を変更してください。

製品の接続に関する問題を解決する

USB 直接接続に関する問題の解決

プリンターとコンピューターを直接接続している場合は、USB ケーブルを確認します。

- ケーブルがコンピューターとプリンタに接続されていることを確認します。
- ケーブルが 5m 以下であることを確認します。 長すぎる場合は、より短いケーブルを使用してみます。
- ケーブルを別の製品に接続し、正常に動作するかどうかを確認します。 必要があればケーブルを交換します。

ネットワークに関する問題の解決

以下の項目をチェックし、プリンタがネットワークと通信していることを確認します。 ネットワーク接続を確認する前に、プリンタのコントロール パネルを使用して設定ページをプリントし、設定ページにプリントされるこのプリンタの IP アドレスを確認します。

- [物理的な接続の問題](#)
- [コンピュータ側で、このプリンタに対して誤った IP アドレスを使用している](#)
- [コンピュータがプリンタと通信できない](#)
- [ネットワークに対するプリンタのリンク設定と通信方式設定が誤っている](#)
- [新規に導入したソフトウェアにおいて、互換性問題が発生している可能性がある](#)
- [コンピュータまたはワークステーションが正しくセットアップされていない可能性がある](#)
- [プリンタが無効になっているか、または、その他のネットワーク設定が誤っている](#)

物理的な接続の問題

1. 正常なケーブルを使用して、製品が正しい Ethernet ポートに接続されているかどうかを確認します。
2. ケーブルが確実に接続されているかどうかを確認します。
3. 製品の背面の Ethernet ポートにおいて、黄色の動作ランプと緑のリンク ステータス ランプが点灯しているかどうかを確認します。
4. 問題が解消しない場合は、ケーブルを変えるか、ネットワーク ルーター、スイッチ、またはハブの別のポートを試してみます。

コンピュータ側で、このプリンタに対して誤った IP アドレスを使用している

1. コンピューターで、プリンターのプロパティを開き、[ポート] タブをクリックします。 このプリンターに対して現在の IP アドレスが設定されているかどうかを確認します。 製品の IP アドレスは、製品の設定ページまたはコントロール パネルから知ることができます。
2. HP 標準の TCP/IP ポートを使用して製品を接続した場合、[IP アドレスが変更された場合でも常にこのプリンターに印刷する] チェックボックスをオンにします。

3. Microsoft 標準の TCP/IP ポートを使用してプリンタを接続した場合、IP アドレスではなくホスト名を使用します。

CD インストーラを使用して製品をインストールした場合、または HP の Web サイトからフル機能のインストーラをダウンロードした場合は、次の手順で製品の IP アドレスを表示または変更できます。

 - a. **【起動】** をクリックします。
 - b. **【すべてのプログラム】** をクリックします。
 - c. **【HP】** をクリックします。
 - d. お使いの製品をクリックします。
 - e. **【IP アドレスを更新】** をクリックしてユーティリティを開き、製品の既知の (以前の) IP アドレスを表示して、必要場合は IP アドレスを変更します。
4. IP アドレスが正しい場合、インストールされているプリンターの一覧からこの製品のエントリを削除してから、もう一度追加します。

コンピュータがプリンタと通信できない

1. プリンターに対して ping コマンドを実行してネットワーク通信をテストします。
 - a. コンピュータでコマンド ライン プロンプトを開きます。Windows の場合は、**【スタート】** メニューの **【ファイル名を指定して実行】** をクリックし、「cmd」と入力します。
 - b. 「ping」と入力し、その後ろにプリンタの IP アドレスを入力し、実行します。
 - c. ウィンドウに往復時間が表示される場合、ネットワークとデバイスは両方とも稼動しています。
2. ping コマンドが失敗した場合は、ネットワーク ルーター、ハブ、またはスイッチの電源が入っているかどうかを確認します。次に、ネットワーク設定、製品、およびコンピューターがすべて同じネットワークに対して設定されていることを確認します。

ネットワークに対するプリンタのリンク設定と通信方式設定が誤っている

この設定を自動モード (デフォルトの設定) のままにしておくことをお勧めします。これらの設定を変更した場合、ネットワーク側でも変更する必要があります。

新規に導入したソフトウェアにおいて、互換性問題が発生している可能性がある

新しいソフトウェア プログラムが正しくインストールされていること、および正しいプリンタ ドライバを使用していることを確認します。

コンピュータまたはワークステーションが正しくセットアップされていない可能性がある

1. ネットワーク ドライバ、プリンタ ドライバ、およびネットワーク リダイレクションを確認します。
2. オペレーティング システムが正しく設定されていることを確認します。

プリンタが無効になっているか、または、その他のネットワーク設定が誤っている

1. 設定ページの内容を確認し、ネットワーク プロトコルのステータスを調べます。必要に応じて、有効にします。
2. 必要に応じて、ネットワークを再設定します。

ワイヤレス ネットワークに関する問題の解決

- [ワイヤレス接続チェックリスト](#)
- [コントロール パネルに、「プリンターのワイヤレス機能が無効になっている」と表示される。](#)
- [ワイヤレス設定が完了しても印刷されない](#)
- [印刷されない \(コンピュータにサードパーティのファイアウォールがインストールされている場合\)](#)
- [ワイヤレス ルーターまたはプリンターの移動後、ワイヤレス接続が上手くいかない](#)
- [ワイヤレス製品にコンピューターを追加接続できない](#)
- [VPN に接続すると、ワイヤレス製品の通信が切断される](#)
- [対象のネットワークが、ワイヤレス ネットワーク リストに表示されていない](#)
- [ワイヤレス ネットワークが機能していない](#)

ワイヤレス接続チェックリスト

- プリンタおよびワイヤレス ルータがオンになっていて、電源が供給されている。また、プリンタのワイヤレス通信機がオンになっている。
- SSID (Service Set Identifier) が正しい。設定ページを印刷し、SSID を確認する。SSID が正しいかどうか不明な場合は、ワイヤレス セットアップをもう一度実行する。
- セキュリティで保護されたネットワークでは、セキュリティ情報が正しいかどうかを確認する。セキュリティ情報が正しくない場合は、ワイヤレス セットアップをもう一度実行する。
- ワイヤレス ネットワークが正しく動作している場合は、同じワイヤレス ネットワークの他のコンピューターにアクセスしてみる。ネットワークがインターネットに接続されている場合は、別のワイヤレス接続経由でインターネットに接続してみる。
- プリンターの暗号化方法 (AES または TKIP) がワイヤレス アクセス ポイント (ワイヤレス ルーターなど) と同じである (WPA セキュリティを使用しているネットワークの場合)。
- プリンタがワイヤレス ネットワークの範囲内にある。大半のネットワークでは、ワイヤレス アクセス ポイント (ワイヤレス ルータ) の 30m/100 ft 以内にプリンタを設置する必要がある。
- 障害物がワイヤレス信号を妨害していない。アクセス ポイントとプリンタの間にある大きな金属製物体をすべて取り除く。金属やコンクリートを含む柱や壁、支柱により、プリンタとワイヤレス アクセス ポイントが隔てられていないことを確認する。

- プリンタが、ワイヤレス信号に干渉する可能性のある電子装置から離れたところにある。 モーター、コードレス フォン、監視カメラ、ワイヤレス ネットワーク、一部の Bluetooth デバイスなどがワイヤレス信号に干渉する可能性がある。
- プリンタ ドライバがコンピュータにインストールされている。
- 正しいプリンタ ポートが選択されている。
- コンピュータとプリンタが同じワイヤレス ネットワークに接続されている。

コントロール パネルに、「**プリンターのワイヤレス機能が無効になっている**」と表示される。

1. セットアップ  ボタンをタッチし、ワイヤレス セットアップ メニューをタッチします。
2. ワイヤレスのオン/オフボタンをタッチし、オンボタンをタッチします。

ワイヤレス設定が完了しても印刷されない

1. プリンターの電源が入っていて準備完了状態になっていることを確認します。
2. また、正しいワイヤレス ネットワークに接続していることと、
3. ワイヤレス ネットワークが正しく動作していることを確認します。
 - a. コントロール パネルで**セットアップ**  ボタンをタッチし、**ネットワーク設定**メニュー項目をタッチします。
 - b. [**ワイヤレス ネットワーク テストを印刷**] 項目を開き、ワイヤレス ネットワークをテストします。結果はレポートとして印刷されます。
4. 正しいポートまたはプリンターが選択されていることを確認します。
 - a. フル機能のインストーラを使用せずにインストールされたプリンターの場合：
 1. コンピューターに表示されるプリンターのリストで、このプリンターの名前を右クリックして [**プロパティ**] をクリックし、[**ポート**] タブをクリックします。
 2. [**USB 用仮想プリンタ ポート**] チェックボックスがオンになっていることを確認します。
 - b. CD インストーラを使用して製品をインストールした場合、または HP の Web サイトからフル機能のインストーラをダウンロードした場合は、次の手順で製品の IP アドレスを表示または変更できます。
 - i. [**起動**] をクリックします。
 - ii. [**すべてのプログラム**] をクリックします。
 - iii. [**HP**] をクリックします。
 - iv. お使いの製品をクリックします。
 - v. [**IP アドレスを更新**] をクリックしてユーティリティを開き、製品の既知の（以前の）IP アドレスを表示して、必要な場合は IP アドレスを変更します。
5. コンピューターが正常に動作していることを確認します。 必要に応じてコンピューターを再起動します。

印刷されない (コンピュータにサードパーティのファイアウォールがインストールされている場合)

1. 製造元から最新の更新プログラムを入手し、ファイアウォールを更新します。
2. 製品をインストールまたは印刷しようとしたときにファイアウォールへのアクセスが要求される場合は、必ず、プログラムに実行を許可してください。
3. 一時的にファイアウォールをオフにし、コンピュータにワイヤレス製品をインストールします。ワイヤレス インストールが完了したら、ファイアウォールを有効にします。

ワイヤレス ルーターまたはプリンターの移動後、ワイヤレス接続が上手くいかない

ルーターまたはプリンターが、コンピュータと同じネットワークに接続されていることを確認します。

1. コントロール パネルから**セットアップ**  ボタンをタッチし、**レポートの印刷**メニューをタッチします。
2. **ネットワーク設定ページ**項目を選択してレポートを印刷します。
3. 設定レポートの SSID (Service Set Identifier) を、コンピュータのプリンター設定の SSID と比較します。
4. SSID が異なる場合、これらのデバイスは同じネットワークに接続されていません。 プリンターのワイヤレス セットアップを再設定してください。

ワイヤレス製品にコンピュータを追加接続できない

1. 他のコンピュータがワイヤレス範囲内にあり、信号をさえぎる障害物がないことを確認してください。 大半のネットワークでは、ワイヤレス範囲はワイヤレス アクセス ポイントから 30m の範囲です。
2. プリンターの電源が入っていて準備完了状態になっていることを確認します。
3. コンピューターでサードパーティのファイアウォールをすべてオフにします。
4. ワイヤレス ネットワークが正しく動作していることを確認します。
 - a. 製品のコントロール パネルで**セットアップ**  ボタンをタッチし、**ネットワーク設定**メニューをタッチします。
 - b. **ワイヤレス テスト レポートを印刷** 項目をタッチして、ワイヤレス ネットワークをテストします。 結果はレポートとして印刷されます。

5. 正しいポートまたはプリンターが選択されていることを確認します。
 - a. フル機能のインストーラを使用せずにインストールされたプリンターの場合：
 1. コンピューターに表示されるプリンターのリストで、このプリンターの名前を右クリックして **【プロパティ】** をクリックし、**【ポート】** タブをクリックします。
 2. **【USB 用仮想プリンタ ポート】** チェックボックスがオンになっていることを確認します。
 - b. CD インストーラを使用して製品をインストールした場合、または HP の Web サイトからフル機能のインストーラをダウンロードした場合は、次の手順で製品の IP アドレスを表示または変更できます。
 - i. **【起動】** をクリックします。
 - ii. **【すべてのプログラム】** をクリックします。
 - iii. **【HP】** をクリックします。
 - iv. お使いの製品をクリックします。
 - v. **【IP アドレスを更新】** をクリックしてユーティリティを開き、製品の既知の（以前の）IP アドレスを表示して、必要な場合は IP アドレスを変更します。
6. コンピューターが正常に動作していることを確認します。 必要に応じてコンピューターを再起動します。

VPN に接続すると、ワイヤレス製品の通信が切断される

- 通常、VPN とその他のネットワークに同時に接続することはできません。

対象のネットワークが、ワイヤレス ネットワーク リストに表示されていない

- ワイヤレス ルータがオンになっていて、電源が供給されていることを確認してください。
- ネットワークが非表示になっている可能性があります。 ただし、非表示のネットワークでも接続は可能です。

ワイヤレス ネットワークが機能していない

1. ネットワークの通信が切断されているかどうかを確認するには、他のデバイスをネットワークに接続してみます。
2. ping コマンドを実行してネットワーク通信をテストします。
 - a. コンピューターでコマンド ライン プロンプトを開きます。Windows の場合は、[スタート] メニューの [ファイル名を指定して実行] をクリックし、「cmd」と入力します。
 - b. 「ping」に続けて、ネットワークの SSID (Service Set Identifier) を入力します。
 - c. ウィンドウに往復時間が表示される場合、ネットワークは稼働しています。
3. ルーターまたはプリンターが、コンピューターと同じネットワークに接続されていることを確認します。
 - a. 製品のコントロール パネルから **セットアップ**  ボタンをタッチし、**レポートの印刷** メニューをタッチします。
 - b. **ネットワーク設定ページ** 項目をタッチしてレポートを印刷します。
 - c. 設定レポートの SSID (Service Set Identifier) を、コンピューターのプリンター設定の SSID と比較します。
 - d. SSID が異なる場合、これらのデバイスは同じネットワークに接続されていません。プリンターのワイヤレス セットアップを再設定してください。

Windows において、プリンタのソフトウェアに関する問題を解決する

問題	解決法
製品のプリンタ ドライバが プリンタ フォルダに見当たらない	プリンタのソフトウェアを再インストールします。 注記： 実行中のアプリケーションをすべて終了します。システム トレーにアイコンがあるアプリケーションを終了するには、目的のアイコンを右クリックし、 【閉じる】 または 【無効】 を選択します。
	USB ケーブルをコンピュータ上の別の USB ポートに接続してみます。
ソフトウェアのインストール中にエラー メッセージが表示された	プリンタのソフトウェアを再インストールします。 注記： 実行中のアプリケーションをすべて終了します。タスクバーにアイコンがあるアプリケーションを終了するには、目的のアイコンを右クリックし、 【閉じる】 または 【無効】 を選択します。
	プリンタのソフトウェアをインストールするドライブの空き容量を確認します。必要に応じて可能な限り容量を空けて、プリンタのソフトウェアを再インストールします。
	必要に応じてデフラグを実行し、プリンタのソフトウェアを再インストールします。
製品は印字可になっているのに、何も印刷されない	製品のコントロール パネルから設定ページを印刷し、製品の機能を確認します。
	すべてのケーブルが正しく接続されていて、仕様に合っていることを確認します。USB ケーブルや電源ケーブルなどが対象です。新しいケーブルを使用してみます。

問題	解決法
	設定ページの IP アドレスがソフトウェア ポートの IP アドレスと一致していることを確認します。次のどちらかの手順に従います。
Windows XP、Windows Server 2003、Windows Server 2008、Windows Vista で、フル機能のインストーラ (Windows のプリンターの追加ウィザードなど) を使用せずにインストールした場合	1. 【スタート】 をクリックします。 2. 【設定】 をクリックします。 3. 【プリンタとファクス】 (デフォルトの 【スタート】 メニュー表示を使用) をクリックするか、【プリンタ】 (クラシック 【スタート】 メニューを使用) をクリックします。 4. プリンタ ドライバのアイコンを右クリックし、【プロパティ】 を選択します。 5. 【ポート】 タブをクリックしてから、【ポートの設定】 をクリックします。 6. IP アドレスを確認して、【OK】 または 【キャンセル】 をクリックします。 7. IP アドレスが異なっている場合は、そのドライバを削除し、適切な IP アドレスを使用してドライバを再インストールします。
Windows 7 で、フル機能のインストーラ (Windows のプリンターの追加ウィザードなど) を使用せずにインストールした場合	1. 【スタート】 をクリックします。 2. 【デバイスとプリンター】 をクリックします。 3. プリンタ ドライバのアイコンを右クリックし、【プリンタのプロパティ】 を選択します。 4. 【ポート】 タブをクリックしてから、【ポートの設定】 をクリックします。 5. IP アドレスを確認して、【OK】 または 【キャンセル】 をクリックします。 6. IP アドレスが異なっている場合は、そのドライバを削除し、適切な IP アドレスを使用してドライバを再インストールします。
Windows XP、Windows Server 2003、Windows Server 2008、Windows Vista、Windows 7 で、フル機能のインストーラを使用してインストールした場合	1. 【スタート】 をクリックします。 2. 【すべてのプログラム】 をクリックします。 3. 【HP】 をクリックします。 4. お使いの製品をクリックします。 5. 【IP アドレスを更新】 をクリックしてユーティリティを開き、製品の既知の (以前の) IP アドレスを表示して、必要な場合は IP アドレスを変更します。

Mac において、プリンタのソフトウェアに関する問題を解決する

- [【プリントとスキャン】リストにプリンター ドライバが表示されない](#)

- [\[プリントとスキャン\] の製品リストにこの製品の名前が表示されない](#)
- [\[プリントとスキャン\] リストで選択したプリンターがプリンター ドライバによって自動セットアップされない](#)
- [印刷ジョブが、目的のプリンタに送信されない](#)
- [USB ケーブルを使用して接続している場合、ドライバ選択後に \[プリントとスキャン\] リストに製品が表示されない](#)
- [プリンタを USB 接続しているときに汎用プリンタ ドライバを使用している](#)

[プリントとスキャン] リストにプリンター ドライバが表示されない

1. プリンタの .gz ファイルがハード ディスク上の Library/Printers/PPDs/Contents/Resources フォルダにあるかどうかを確認します。ない場合はソフトウェアを再インストールします。
2. .gz ファイルがこのフォルダにある場合、.ppd ファイルが破損している可能性があります。このファイルを削除し、ソフトウェアを再インストールします。

[プリントとスキャン] の製品リストにこの製品の名前が表示されない

1. ケーブルが正しく接続されているかどうか、および、プリンタの電源が入っているかどうかを確認します。
2. 設定ページを印刷し、製品名を確認します。設定ページの名前が [プリントとスキャン] リストの製品名と一致しているかどうかを確認します。
3. USB ケーブルまたは Ethernet ケーブルを高品質ケーブルに交換します。

[プリントとスキャン] リストで選択したプリンターがプリンター ドライバによって自動セットアップされない

1. ケーブルが正しく接続されているかどうか、および、プリンタの電源が入っているかどうかを確認します。
2. プリンタの .gz ファイルがハード ディスク上の Library/Printers/PPDs/Contents/Resources フォルダにあるかどうかを確認します。ない場合はソフトウェアを再インストールします。
3. .gz ファイルがこのフォルダにある場合、.ppd ファイルが破損している可能性があります。このファイルを削除し、ソフトウェアを再インストールします。
4. USB ケーブルまたは Ethernet ケーブルを高品質ケーブルに交換します。

印刷ジョブが、目的のプリンタに送信されない

1. プリント キューを開き、印刷ジョブを再開します。
2. 同名または類似名の別のプリンターによって印刷ジョブが受信された可能性があります。設定ページを印刷し、製品名を確認します。設定ページの名前が [プリントとスキャン] リストの製品名と一致しているかどうかを確認します。

USB ケーブルを使用して接続している場合、ドライバ選択後に [プリントとスキャン] リストに製品が表示されない

ソフトウェアのトラブルシューティング

- ▲ Mac OS のバージョンが Mac OS X 10.6 以降であるかどうかを確認します。

ハードウェアのトラブルシューティング

1. プリンタの電源がオンになっているかどうかを確認します。
2. USB ケーブルが正しく接続されているかどうかを確認します。
3. 適切な高速 USB ケーブルを使用しているかどうかを確認します。
4. USB チェーン上で電力を供給されている USB デバイスの台数が多すぎないかどうかを確認します。USB チェーンからすべてのデバイスを取り外し、USB ケーブルをコンピュータの USB ポートに直接接続します。
5. 独自電源を持たない USB ハブが USB チェーンに 3 台以上接続されていないかどうかを確認します。USB チェーンからすべてのデバイスを取り外し、USB ケーブルをコンピュータの USB ポートに直接接続します。



注記： iMac キーボードは、独自電源を持たない USB ハブです。

プリンタを USB 接続しているときに汎用プリンタ ドライバを使用している

ソフトウェアをインストールする前に USB ケーブルを接続した場合、このプリンタ用のプリンタドライバではなく汎用プリンタドライバが使用されている可能性があります。

1. 汎用プリンタドライバを削除します。
2. プリンタに付属の CD からソフトウェアを再インストールします。ソフトウェアのインストールプログラムから要求されるまで、USB ケーブルを接続しないでください。
3. プリンタを複数台導入している場合、[Print][印刷] ダイアログボックスの [対象プリンタ] リストで正しいプリンタを選択しているかどうかを確認します。

A サプライ品およびアクセサリ

- [部品、アクセサリ、およびサプライ品の注文](#)
- [製品番号](#)

部品、アクセサリ、およびサプライ品の注文

サプライ品や用紙を注文する	www.hp.com/go/suresupply
HP 純正の部品やアクセサリを注文する	www.hp.com/buy/parts
サービス代理店経由で注文する	HP の正規サービス代理店問い合わせてください。

製品番号

品目	部品番号	カートリッジ番号	説明
インク カートリッジ	CN621A	HP 970	標準容量のインク カートリッジ、HP Officejet 顔料インク使用 (黒)
	CN625A	HP 970XL	大容量のインク カートリッジ、HP Officejet 顔料インク使用 (黒)
	CN622A	HP 971	標準容量のインク カートリッジ、HP Officejet 顔料インク使用 (シアン)
	CN626A	HP 971XL	大容量のインク カートリッジ、HP Officejet 顔料インク使用 (シアン)
	CN624A	HP 971	標準容量のインク カートリッジ、HP Officejet 顔料インク使用 (イエロー)
	CN628A	HP 971XL	大容量のインク カートリッジ、HP Officejet 顔料インク使用 (イエロー)
	CN623A	HP 971	標準容量のインク カートリッジ、HP Officejet 顔料インク使用 (マゼンタ)
	CN627A	HP 971XL	大容量のインク カートリッジ、HP Officejet 顔料インク使用 (マゼンタ)
用紙処理アクセサリ	CN595A		500 枚用紙フィーダ (オプションのトレイ 3)
USB ケーブル	8121-0868		A to B タイプのケーブル (2m)

 **注記：** カートリッジで印刷可能なページ数については、www.hp.com/go/pageyield を参照してください。実際のページ数は使用状況により異なります。

一部のインク カートリッジは地域によって使用できない場合があります。

B サービスおよびサポート

- [Hewlett-Packard 社製品限定保証](#)
- [ソフトウェア使用許諾契約書](#)
- [OpenSSL](#)
- [カスタマ サポート](#)

Hewlett-Packard 社製品限定保証

HP 製品	限定保障期間
HP Officejet Pro X476dn、X476dw、X576dw	1 年

HP は、エンドユーザーに対して、購入日から上記の期間中、HP ハードウェアとアクセサリに材料および製造上の瑕疵がないことを保証します。HP は、保証期間中にこのような不具合の通知を受けた場合は、自らの判断に基づき不具合があると証明された製品の修理または交換を行います。交換製品は新品か、または新品と同様の機能を有する製品のいずれかになります。

HP は、HP ソフトウェアを正しくインストールして使用した場合に、購入日から上記の期間中、材料および製造上の瑕疵が原因でプログラミング命令の実行が妨げられないことを保証します。HP は、保証期間中にこのような不具合の通知を受けた場合は、当該不具合によりプログラミング インストラクションが実行できないソフトウェアメディアの交換を行います。

HP は、HP の製品の動作が中断されないものであったり、エラーが皆無であることは保証しません。なお、HP が HP の製品を相当期間内に修理または交換できなかった場合、お客様は、当該製品を返却することで、当該製品の購入金額を HP に請求できます。

HP 製品には、新品と同等の性能を発揮する再生部品が無作為に使用されることがあります。

本保証は、以下に起因する不具合に対しては適用されません。(a)不適当または不完全な保守、校正に因るとき。(b) HP が供給しないソフトウェア、インタフェース、または消耗品に因るとき。(c) HP が認めない改造または誤用に因るとき。(d) 表示した環境仕様の範囲外での動作に因るとき。(e) 据付場所の不備または保全の不適合に因るとき。

特定目的のための適合性や市場商品力についての暗黙の保証は、上記で明記された保証の保証期間に限定されます。一部の国/地域では、暗黙の保証の保証期間を制限できない場合があるため、上記の制限や責任の排除はお客様に適用されない場合があります。本保証は特定の法律上の権利をお客様に認めるものです。また、お客様は、その国/地域の法律によっては、他の権利も認められる場合があります。

HP の限定保証は、HP が製品のサポートを提供し、かつ製品を販売している国/地域で有効です。お客様の受け取る保証サービスは、国/地域の標準規定によって異なる場合があります。HP は、法律または規制上の理由で製品を機能させる意図のなかった国/地域で動作するように製品の形態、整合性、または機能を変更しません。

現地の法律で許容されている範囲内において、本保証書の責任が、HP の唯一で排他的な責任です。現地の法律で許容されている範囲内において、契約あるいは法律に基づくか否かにかかわらず、いかなる場合であっても、直接的損害、特殊な損害、偶発的損害、結果的損害（利益の逸失やデータの消失を含む）その他の損害に対して、HP およびそのサプライヤーは一切責任を負いません。一部の国/地域では、付带的または結果的な損害の排除や制限を認めない場合があります、上記の制限や排除はお客様に適用されない場合があります。

ここに含まれている保証条項は、法律により許される範囲を除いて、本製品の販売に適用されるお客様の必須の法的権利を除外、制限、変更するものではなく、それらの権利に追加されるものです。

ソフトウェア使用許諾契約書

本ソフトウェア製品をご利用の前に、以下の条項を良くお読みください。本ソフトウェア使用許諾契約書（以下「EULA」という）は、本ソフトウェア製品の使用に関してお客様（個人または法人を問わない）と Hewlett-Packard Company（以下「HP」という）との間で締結される契約書です。オンライン文書内の使用許諾契約などで、別の使用許諾契約がお客様と HP または本ソフトウェアのサプライヤーとの間に締結されている場合、本 EULA は適用されません。「ソフトウェア」には関連メディア、ユーザーガイドとその他の印刷物、および「オンライン」または電子文書（まとめて「ユーザー文書」という）が含まれる場合があります。

本ソフトウェアに関する権利は、お客様が本 EULA の全ての条件に同意する場合にのみ提供されます。本ソフトウェアをインストール、複製、ダウンロード、または使用することによって、お客様は本 EULA の条項に拘束されることに同意されたものとみなされます。本 EULA に同意されない場合、本ソフトウェアをインストール、ダウンロード、または使用することはできません。本ソフトウェアを購入されても、本 EULA に同意されない場合は、本ソフトウェアを 14 日以内に購入店まで返却いただければ、代金を全額返金いたします。本ソフトウェアが別の HP 製品上にインストールされて

いる場合または別の HP 製品と共に使用可能な状態になっている場合は、未使用のそれら全ての製品を全部返却していただくものとします。

1. 第三者のソフトウェア。本ソフトウェアには、HP 所有のソフトウェア（以下「HP ソフトウェア」）の他に、第三者の使用許諾を受けたソフトウェア（以下「第三者のソフトウェア」）が含まれる場合があります。第三者のソフトウェアは、その第三者により規定された使用条件に従って使用が許諾されます。一般に、第三者のライセンスは "license.txt"、"readme" などのファイルに記載されていますが、それらのライセンスが見つからない場合は、HP サポートまでご連絡ください。第三者のライセンスにソースコードの利用を認めるライセンス（GNU 一般公開ライセンスなど）が含まれており、該当するソースコードが本ソフトウェアに含まれない場合は、HP の Web サイト (hp.com) の製品サポート ページでソースコードの取得方法についてご確認ください。
2. 許諾権利。本契約書のすべての使用条件に準拠することを条件に、お客様は以下の権利を付与されます。
 - a. 使用。お客様には、本 HP ソフトウェアのコピー 1 部を使用する権利が許諾されます。「使用」とは、本 HP ソフトウェアをインストール、複製、格納、ロード、実行、表示、または使用することをいいます。お客様は、本 HP ソフトウェアを改変したり、本 HP ソフトウェアのいかなる使用許諾または制御に関する機能も無効にすることはできません。本ソフトウェアが HP によりイメージ処理用製品または印刷処理用製品とともに提供された場合（本ソフトウェアがプリンタのドライバ、ファームウェア、またはアドオンの場合など）、本 HP ソフトウェアはそれらの製品（「HP 製品」）での使用に限定されます。使用に関する追加制限が、ユーザー マニュアルに記載されている場合があります。本 HP ソフトウェアの構成部分を分割して使用することはできません。お客様に本 HP ソフトウェアを配布する権利はありません。
 - b. 複製。複製の権利とは、それぞれの複製に元の HP ソフトウェアに含まれる所有権に関する通知をすべて転載し、バックアップ目的のみの使用に限り、本 HP ソフトウェアのアーカイブ コピーまたはバックアップ用コピーを作成できることを意味します。
3. アップグレード。HP がアップグレード、更新、補足（まとめて「アップグレード」という）として提供する HP ソフトウェアを使用するには、まず元の HP ソフトウェアがアップグレードの権利対象として HP により許可されている必要があります。アップグレードが元の HP ソフトウェアに取って替わる場合、お客様はかかる HP ソフトウェアを今後使用することはできなくなります。本契約書は、HP がアップグレードに関する使用条項を他に提示していない限り、各アップグレードに適用されます。本契約書と他の条項とが異なる場合は、他の条項が優先されます。
4. 譲渡。
 - a. 第三者への譲渡。本 HP ソフトウェアの最初のエンド ユーザーは、本 HP ソフトウェアを別のエンド ユーザーに 1 回に限り譲渡することができます。譲渡には、全構成部品、メディア、ユーザー マニュアル、本契約書、純正製品証明書（それが存在する場合）をすべて含めます。譲渡は、委託販売などの間接的譲渡であってはなりません。譲渡に先立ち、譲渡されるソフトウェアを受け取るエンド ユーザーは本契約書に同意するものとします。本 HP ソフトウェアを譲渡した時点で、お客様のライセンスは自動的に終了します。
 - b. 制限。お客様は本 HP ソフトウェアを賃貸、リース、貸与したり、商用タイムシェアリングまたはサービス機関向けに使用することはできません。本契約書で明示的に許可されている場合を除き、お客様は、本 HP ソフトウェアを再使用許諾、譲渡、移転することはできません。

5. 所有権。本ソフトウェアおよびユーザー マニュアルに含まれる知的財産権はすべて HP およびその供給業者により所有され、該当する著作権、業務上の秘密、特許、商標に関する法律で保護されています。お客様は、製品の識別番号、著作権表示、所有者による制限を本ソフトウェアから除去してはならないものとします。
6. リバース エンジニアリングの制限。お客様は、該当の法律で許可されている場合を除き、本 HP ソフトウェアをリバース エンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルすることはできません。
7. データの使用に関する承諾。HP およびその関連会社は、(i) 本ソフトウェアまたは HP 製品の使用、または (ii) 本ソフトウェアまたは HP 製品に関するサポート サービス、に関連してお客様から提供される技術情報を収集および使用することがあります。かかる情報にはすべて HP のプライバシー ポリシーが適用されます。HP はかかる情報を、お客様個人が特定されるような方法で利用しないものとしますが、お客様の使用を改善したりまたはサポート サービスを提供したりするために必要な場合はこの限りではありません。
8. 責任の制限。万一お客様に損害が生じた場合の本契約書に基づく HP およびその供給業者の責任、および本契約書に基づくお客様に対する唯一の救済手段は、本製品の購入についてお客様が実際に支払った金額または 5.00 米ドルのいずれか高い額を上限とします。HP またはその供給業者は、法律上許容される最大限において、本ソフトウェアの使用または使用不能によって生じる特別、付随的、間接的または派生的損害 (逸失利益、データ喪失、事業の中断、人身傷害、プライバシーの喪失を含む) について、HP またはその供給業者が当該損害の可能性を通知されていたとしても、上記の救済手段が主たる目的を達することができるかどうかにかかわらず、一切の責任を負いません。一部の地域または管轄地域では、付随的または結果的な損害の排除や制限を認めない場合があります、上記の制限や排除はお客様に適用されない場合があります。
9. お客様がアメリカ合衆国政府の場合。本ソフトウェアは、すべて私費で開発されています。すべてのソフトウェアは、該当する取得規制が適用されたうえで提供される商用コンピュータ ソフトウェアです。したがって、US FAR 48 CFR 12.212 および DFAR 48 CFR 227.7202 に基づき、米国政府またはその下請業者による使用、複製、開示は、強制適用のある連邦法に反しない範囲で、本契約書に規定されている使用条件のみを適用するものとします。
10. 輸出法の遵守。お客様は、(i) 本ソフトウェアの輸出または輸入に適用される、または (ii) 核兵器、化学兵器、生化学兵器の拡散など、本ソフトウェアの使用を制限する、すべての法律、規則、規制を遵守するものとします。
11. 権利の保有。HP およびその供給業者は、本契約書でお客様に明示的に付与されていない権利を含む、すべての権利を有します。

© 2009 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

改訂 04/09

OpenSSL

本製品には、OpenSSL Toolkit で使用するために OpenSSL Project (<http://www.openssl.org/>) によって開発されたソフトウェアが含まれています。

OpenSSL Project は、このソフトウェアを特定物として「現状のまま」の状態で提供し、商品性の保証および特定目的適合性の保証を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負いません。起こりうる損害について予見の有無を問わず、「ソフトウェア」を使用したために生じる、直接的、間接的、付随的、特別、懲罰的、または結果的損害 (代替の製品またはサービスの調達、データまたは利益の喪失、事業の中断などを含み、他のいかなる場合も含む) については、

それが契約、厳格な責任、不法行為（過失の場合もそうでない場合も含む）など、いかなる責任の理論においても、OpenSSL Project およびその寄稿者はその責任を負いません。

本製品には、Eric Young (eay@cryptsoft.com) 氏によって作成された暗号化ソフトウェア、および Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com) によって作成されたソフトウェアが含まれています。

カスタマ サポート

国/地域の電話サポートを受ける（保証期間中は無料）	各国/地域の電話番号については、パッケージに同梱されているお知らせ、または www.hp.com/support/ をご覧ください。
製品名、シリアル番号、購入日、問題の説明をご用意ください。	
24 時間のインターネット製品サポート、トラブルシューティング、およびドライバ、ソフトウェア、電子情報のダウンロード	www.hp.com/support
Macintosh コンピュータと使用している製品のサポートを受ける	www.hp.com/go/macosex
ソフトウェア ユーティリティ、ドライバ、電子形式の情報をダウンロードする	http://www.hp.com/go/support
追加の HP サービス契約または保守契約を注文する	www.hp.com/go/carepack
製品の登録	www.register.hp.com

C 製品の仕様

- [物理的仕様](#)
- [電力消費、電気仕様、および稼動音](#)
- [AE \(acoustic emissions : アコースティック エミッション\)](#)
- [環境仕様](#)

物理的仕様

表 C-1 物理的仕様

製品	高さ	奥行き	幅	重量
HP Officejet Pro X476 MFP Series	521 mm (20.5 インチ)	406 mm (16.0 インチ)	521 mm (20.5 インチ)	23.7 kg (50.0 ポンド)
HP Officejet Pro X576 MFP Series	518 mm (20.4 インチ)	399mm (15.7 インチ)	516 mm (20.3 インチ)	23.1 kg (51 ポンド)、サプライ含まず

電力消費、電気仕様、および稼動音

⚠ **注意：** 電源要件は、販売された国/地域によって異なります。動作電圧は変更しないでください。製品を損傷するおそれがあります。このような損傷は、HP の限定保証およびサービス契約の範囲外となります。

AE (acoustic emissions : アコースティック エミッション)

表 C-2 アコースティック エミッション レベル

動作	LwAd-mono (B)	LwAd-color (B)	注記
印刷	6.9	6.8	
コピー	7.1	6.9	ADF モデル
スキャン	6.9	6.7	ADF モデル

HP では、従業員の通常の作業場があるのと別の部屋に機器を設置することを推奨します。

環境仕様

表 C-3 環境仕様¹

	動作時	輸送時
温度	15 ～ 30° C (59 ～ 86° F)	-40° ～ 60°C (-40° ～ 140° F)
相対湿度	20 ～ 80%	90% 以下 (結露しないこと)
高度	0 ～ 3048m	
傾き	重要: プリンターを 15 度より大きく傾けると、特に起動直後には、インクの漏れが生じるおそれがあります。プリンターを移動する際には注意してください。	

¹ 値は変更されることがあります。

D 環境製品スチュワードシップ プログラム

- [環境の保護](#)
- [オゾン放出](#)
- [消費電力](#)
- [用紙の使用](#)
- [プラスチック](#)
- [HP Officejet サプライ品](#)
- [回収およびリサイクル手順](#)
- [用紙](#)
- [材料の制限](#)
- [ユーザーによる使用済み機器の廃棄](#)
- [電子ハードウェアのリサイクル](#)
- [化学物質](#)
- [化学物質安全性データシート \(MSDS\)](#)
- [詳細について](#)
- [成分表 \(中国\)](#)
- [有害物質に関する制限の規格 \(トルコ\)](#)
- [有害物質に関する制限の規格 \(ウクライナ\)](#)
- [有害物質に関する制限の規格 \(ベトナム\)](#)

環境の保護

Hewlett-Packard 社は環境保全を考慮した上で、高品質の製品をお届けしています。この製品は、いくつかの点で環境への影響を最小限に抑えるように設計されています。

オゾン放出

この製品はオゾン ガス (O₃) をほとんど発生しません。

消費電力

印字可モードおよびスリープ モードでは、消費電力を大幅に節約することができます。これにより、製品のパフォーマンスを維持したまま、天然資源の保護およびコストの削減を実現できます。

ENERGY STAR® ロゴの付いた Hewlett-Packard の印刷/イメージング機器は、米国環境保護局が定めるイメージング機器向けの ENERGY STAR 仕様に適合しています。ENERGY STAR に適合したイメージング製品には、次のマークが付けられています。



その他の ENERGY STAR 適合イメージング製品のモデル情報は、次の Web サイトでご覧いただけます。

www.hp.com/go/energystar

 **注記：** 長時間使用しない場合は、プリンターの電源をオフにすることで、さらに電力を節約できます。

用紙の使用

本製品のオプション機能である自動両面印刷機能（用紙の両面に印刷する機能）、および N-up 印刷機能（1 枚の用紙に複数のページを印刷する機能）を使用して用紙の使用量を減らすことで、天然資源の消費量も減らすことができます。

 **注記：** 再生紙と A4 サイズの用紙は、両面印刷に使用できます。

プラスチック

25g を超えるプラスチック部品には、国際規格に基づく材料識別マークが付いているため、プリンタを処分する際にプラスチックを正しく識別することができます。

HP Officejet サプライ品

HP では、製品設計および製造から販売、お客様によるご使用、そしてリサイクルに至るまで、環境に優しく、先進的で高品質の製品およびサービスを提供するよう努力しています。HP Planet Partners プログラムにご参加いただくことで、ご使用いただいた HP Officejet インク カートリッジは、適切にリサイクルされ、プラスチック部と金属部は新たな製品に使用するために生まれ変わり、埋立地から何百万トンもの廃棄物が削減されます。回収したカートリッジはリサイクルされ、新しい材料として利用されるため、お客様に返却されることはありません。環境保全のために、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

 **注記：** リサイクル情報の詳細と、リサイクル用の送料支払い済みラベル、封筒、ボックスの請求については、<http://www.hp.com/recycle> を参照してください。

回収およびリサイクル手順

米国およびプエルトリコ

リサイクル情報の詳細と、送料支払い済みラベル、封筒、ボックスの請求については、www.hp.com/recycle を参照してください。以下の該当する手順を実行してください。

カートリッジが複数 (2 個以上) の場合

1. HP Officejet インク カートリッジをそれぞれオリジナルのボックスおよびバッグに入れます。
2. 紐または梱包用テープを使用して、複数の箱をひとまとめにします。発送重量は、最大 31kg (70 ポンド) です。
3. 前払いの発送ラベルを 1 枚使用します。

または

1. 適切な箱を用意するか、www.hp.com/recycle を参照するか、または 1-800-340-2445 に連絡して、無料の回収専用箱を入手します (HP Deskjet インク カートリッジを最大 31kg まで梱包可)。
2. 前払いの発送ラベルを 1 枚使用します。

1 個のカートリッジの回収

1. HP Officejet インク カートリッジをオリジナルのバッグおよびボックスに入れます。
2. 発送ラベルをボックスの前面に貼付します。

発送

合衆国およびプエルトリコでの HP Officejet インク カートリッジ リサイクル返却については、ボックス同梱の、送料前払い、宛先記入済みの送付ラベルを使用してください。UPS ラベルを使用する場合は、次回集配時に、パッケージを UPS ドライバに渡すか、正規 UPS センターから発送してください (UPS Ground の集荷料金には通常のレートが適用されます)。最寄りの UPS センターについては、1-800-PICKUPS にお問い合わせいただくか、www.ups.com をご覧ください。

FedEx ラベルを使用する場合は、次回集配時に、パッケージを郵便配達員または FedEx のドライバに渡してください (FedEx Ground の集荷料金には通常のレートが適用されます)。または、梱包したインク カートリッジを郵便局または FedEx 集荷センター/取扱店から発送してください。最寄りの郵便局については、1-800-ASK-USPS にお問い合わせいただくか、www.usps.com をご覧ください。最寄りの FedEx 集荷センター/取扱店については、1-800-GOFEDEX にお問い合わせいただくか、www.fedex.com をご覧ください。

詳細情報について、または追加ラベルや一括回収用の箱の注文については、www.hp.com/recycle を参照するか、または 1-800-340-2445 までお問い合わせください。この情報は、予告なしに変更される場合があります。

アラスカおよびハワイにお住まいの方へ

UPS ラベルを使用しないでください。詳細については、1-800-340-2445 までお問い合わせください。USPS と HP 間での取り決めにより、アラスカおよびハワイについては無料のカートリッジ返却輸送サービスを提供していません。

米国以外でのリサイクル品の回収

HP Planet Partners 返却およびリサイクル プログラムへのお申し込みについては、リサイクル ガイド (新しくご購入いただいたサプライ品に同梱されています)、または www.hp.com/recycle をご覧ください。お住まいの国/地域を選択すると、お使いの HP Officejet 用サプライ品の返却方法が表示されます。

バッテリーの廃棄

バッテリーの廃棄に関する情報は、<http://www8.hp.com/us/en/hp-information/environment/product-recycling.html> を参照してください。

プリンターのリサイクル

プリンターのリサイクルに関する情報は、<http://www8.hp.com/us/en/hp-information/environment/product-recycling.html> を参照してください。

用紙

この製品では、HP のガイドラインに適合する再生紙が使用できます。この製品には、EN12281:2002 に準拠する再生紙を使用することができます。

材料の制限

この HP 製品では、水銀の意図的な使用はありません。

この HP 製品には電池が使用されているため、回収時に特別な取扱いが必要になる場合があります。この製品に Hewlett-Packard が使用している電池を以下に示します。

HP Officejet Pro X476 and X576 MFP Series	
タイプ	リチウム二酸化マンガン
重量	3.0g
実装位置	メイン ボード上
ユーザーによる取り外し	いいえ



廢電池請回收



Dit HP Product bevat een lithium-manganees-dioxide batterij. Deze bevindt zich op de hoofdprintplaat. Wanneer deze batterij leeg is, moet deze volgens de geldende regels worden afgevoerd.



廢電池請回收

Please recycle waste batteries.

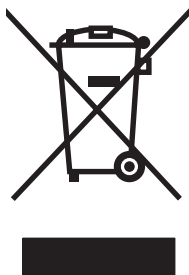
California Perchlorate Material Notice

Perchlorate material - special handling may apply. See:
<http://www.dtsc.ca.gov/hazardouswaste/perchlorate/>

This product's real-time clock battery or coin cell battery may contain perchlorate and may require special handling when recycled or disposed of in California.

リサイクル情報については、www.hp.com/recycle にアクセスするか、最寄りの代理店または米国電子工業会 (www.eiae.org) にお問い合わせください。

ユーザーによる使用済み機器の廃棄



このシンボルは、製品を家庭廃棄物と一緒に捨てることをできないことを表しています。人間の健康と環境を守るために、電気・電子機器廃棄物のリサイクルを行うための指定された回収拠点に使用済み機器を持って行く必要があります。詳細については、<http://www.hp.com/recycle> を参照してください。

電子ハードウェアのリサイクル

HP では、お客様による使用済み電子ハードウェアのリサイクルを推奨しています。リサイクルの詳細については、<http://www.hp.com/recycle> を参照してください。

化学物質

HP は、REACH (欧州議会および理事会の規則 (EC) No 1907/2006) などの法的要件に準拠するための必要に応じて、HP 製品で使用されている化学物質に関する情報をお客様に提供するように努めています。このプリンタの化学情報レポートについては、www.hp.com/go/reach を参照してください。

化学物質安全性データシート (MSDS)

化学物質が使われているサプライ品 (インクなど) の Material Safety Data Sheet (化学物質等安全データシート : MSDS) は HP の Web サイト www.hp.com/go/msds または www.hp.com/hpinfo/community/environment/productinfo/safety から入手可能です。

詳細について

これらの環境に関するトピック

- この製品やこの製品に関連する多くの HP 製品についての製品環境プロフィール
- HP 社の環境への貢献
- HP 社の環境管理システム
- HP 社の製品回収およびリサイクル プログラム
- 化学物質安全データシート (MSDS)

www.hp.com/go/environment または www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment にアクセスしてください。

成分表 (中国)

有毒有害物质表

根据中国电子信息产品污染控制管理办法的要求而出台

部件名称	有毒有害物质和元素					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr(VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
打印引擎	0	0	0	0	0	0
复印机组件	0	0	0	0	0	0
控制面板	0	0	0	0	0	0
塑料外壳	0	0	0	0	0	0
格式化板组件	0	0	0	0	0	0
碳粉盒	0	0	0	0	0	0

3690b

0：表示在此部件所用的所有同类材料中，所含的此有毒或有害物质均低于 SJ/T11363-2006 的限制要求。

X：表示在此部件所用的所有同类材料中，至少一种所含的此有毒或有害物质高于 SJ/T11363-2006 的限制要求。

注：引用的“环保使用期限”是根据在正常温度和湿度条件下操作使用产品而确定的。

有害物質に関する制限の規格 (トルコ)

Türkiye Cumhuriyeti: EEE Yönetmeliğine Uygundur

有害物質に関する制限の規格 (ウクライナ)

Обладнання відповідає вимогам Технічного регламенту щодо обмеження використання деяких небезпечних речовин в електричному та електронному обладнанні, затвердженого постановою Кабінету Міністрів України від 3 грудня 2008 № 1057

有害物質に関する制限の規格 (ベトナム)

“Các sản phẩm của công ty Hewlett-Packard tuân thủ Thông tư 30/2011/TT-BCT quy định tạm thời về giới hạn hàm lượng cho phép của một số hóa chất độc hại trong sản phẩm điện, điện tử”

E 規制に関する情報

- [規制に関する告知](#)
- [VCCI 規格 \(日本\)](#)
- [電源コードの使用手順](#)
- [電源コード規格 \(日本\)](#)
- [EMC ステートメント \(韓国\)](#)
- [GS 規格 \(ドイツ\)](#)
- [欧州連合規制通知](#)
- [電気通信 \(ファクス\) 製品向けのその他の規格](#)
- [ワイヤレス製品の追加規定](#)
- [匿名の使用状況情報の保存](#)

規制に関する告知

規定モデル識別番号

規制を識別するため、お使いの製品には規制モデル番号が割り当てられています。この製品の規制モデル番号は VCVRA-1212 です。規制番号を商品名 (HP Officejet Pro X476 MFP Series、HP Officejet Pro X576 MFP Series など) や製品番号 (CN459A、CN463A、CN596A、CV037A など) と混同しないでください。

FCC 規定

本装置をテストした結果、Class B デジタル デバイスの基準に達し、FCC 規則の Part 15 に準拠していることが確認されました。これらの基準は、居住空間に装置を設置した場合の受信障害に対するしかるべき防止策を提供することを目的としています。本装置は、無線周波エネルギーを発生、使用し、放射する可能性があります。指示に従って本装置を設置し使用していない場合、無線通信に支障をきたす場合があります。しかし、特定の設置条件で障害が発生しないことを保証するものではありません。本装置の電源の投入時および切断時に、ラジオやテレビの電波受信に支障がある場合、次の処置の 1 つまたは複数を試すことをお勧めします。

- 受信アンテナの向きを変えるか、または設置場所を変える
- 装置と受信機の距離を広げる
- 受信機が接続されている電気回路とは別の回路上のコンセントに本装置を接続する
- 本装置の販売店、またはラジオ/テレビの専門技術者に相談する

 **注記：** HP が明示的に認めていないプリンタへの変更や改造を行うと、本装置を操作するユーザーの権利が無効になる場合があります。

FCC 規則の Part 15 の Class B 基準に準拠するには、シールド付きインタフェース ケーブルを使用してください。

詳細については、下記にお問い合わせください。 Manager of Corporate Product Regulations
Hewlett-Packard Company 3000 Hanover Street Palo Alto, Ca 94304 (650) 857-1501

This device complies with Part 15 of FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

VCCI 規格（日本）

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

電源コードの使用手順

電源がプリンタの定格電圧に適合していることを確認します。定格電圧は、プリンタのラベルに記載されています。プリンタは 100-127Vac または 220-240Vac と 50/60Hz を使用します。

プリンタと接地した AC コンセントを電源コードで接続します。

 **注意：** プリンタの損傷を防ぐため、プリンタに付属の電源コードのみを使用してください。

電源コード規格（日本）

製品には、同梱された電源コードをお使い下さい。
同梱された電源コードは、他の製品では使用出来ません。

EMC ステートメント（韓国）

B급 기기 (가정용 방송통신기기)	이 기기는 가정용(B급)으로 전자파적합등록을 한 기기로서 주로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며, 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.
-----------------------	--

GS 規格 (ドイツ)

Das Gerät ist nicht für die Benutzung im unmittelbaren Gesichtsfeld am Bildschirmarbeitsplatz vorgesehen. Um störende Reflexionen am Bildschirmarbeitsplatz zu vermeiden, darf dieses Produkt nicht im unmittelbaren Gesichtsfeld platziert werden.

欧州連合規制通知

CE マーク  が付いた製品は、以下の EU 指令に適合します：

- 低電圧指令 2006/95/EC
- EMC 指令 2004/108/EC
- Ecodesign Directive 2009/125/EC (該当する場合)

本製品の CE コンプライアンスは、HP が提供する適切な CE マークの付いた AC アダプターを使用して電源を供給する場合にのみ有効です。

本製品に有線または無線の通信機能がある場合は、以下の EU 指令の基本要件にも適合します：

- 無線および電気通信端末機器指令 1999/5/EC

これらの指令に適合していれば、HP が発行した本製品または製品ファミリーに対する EU Declaration of Conformity に一覧表示されている適用可能な欧州統一規格 (European Norms) にも適合していることになります。欧州統一規格のリスト (英語版のみ) は製品マニュアル内、または次の Web サイトにあります。www.hp.com/go/certificates (検索フィールドに製品番号を入力してください)。

コンプライアンスは、製品に付けられた以下の適合マークのいずれかによって示されます：

	非通信製品の場合および EU 統一通信製品の場合 (10mW 未満の電源クラス内の Bluetooth® など)
	EU 非統一通信製品の場合 (該当する場合、4 桁の通知機関番号が CE と ! のあいだに挿入されます)。

製品に付属の規制ラベルを参照してください。

本製品の通信機能は、以下の EU および EFTA 加盟国で 사용할 ことができます：オーストリア、ベルギー、ブルガリア、キプロス、チェコ共和国、デンマーク、エストニア、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、アイスランド、アイルランド、イタリア、ラトビア、リヒテンシュタイン、リトアニア、ルクセンブルグ、マルタ、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、スロバキア共和国、スロヴェニア、スペイン、スウェーデン、スイス、英国。

電話コネクタ (一部の製品でのみ使用可能) は、アナログ電話回線への接続用です。

製品をワイヤレス LAN デバイスと使用する場合

国によっては、屋内使用限定、使用可能なチャネル数の制限など、ワイヤレス LAN ネットワークの運用に関する特定の義務または特別の要件が定められています。ワイヤレス ネットワークの国設定が正しいことを確認してください。

[フランス]

本製品の 2.4 GHz ワイヤレス LAN 操作には、特定の制限が適用されます：屋内では、本機は、2400 ~ 2483.5 MHz の周波数帯全域 (チャンネル 1 ~ 13) で使用できます。屋外での使用については、2400 ~ 2454 MHz の周波数帯 (チャンネル 1 ~ 7) だけが使用できます。最新の要件については、www.arcep.fr を参照してください。

規制関連の連絡先：

Hewlett-Packard GmbH, Dept./MS: HQ-TRE, Herrenberger Strasse 140, 71034 Boeblingen, GERMANY

電気通信 (ファクス) 製品向けのその他の規格

通信運用に関する EU ステートメント

この製品は EEA (European Economic Area) の国/地域のアナログ PSTN (Public Switched Telecommunication Networks) に接続するためのものです。

ネットワークとの互換性はお客様が選択する設定に依存し、製品の購入地と別の国や地域の電話回線で機器を使用する場合は設定を変更する必要があります。追加の製品サポートが必要な場合は、販売店または HP までお問い合わせください。

この機器は、1999/5/EC 指令 (annex II) に基づいて、公衆電話交換回線網 (PSTN) への汎欧州単一端末接続用に、製造者によって認証されています。ただし、PSTN には国ごとに多少の違いがあるため、この承認自体がすべての PSTN 網終端点での正常動作を無条件に保証するものではありません。

問題が発生した場合、まず機器の販売者に問い合わせてください。

この機器は、DTMF トーン ダイアルおよびループ切断ダイアル向けに設計されています。万が一ループ切断ダイアルで問題が発生した場合、この機器を DTMF トーン ダイアル設定でのみ使用することを推奨します。

New Zealand Telecom Statements

The grant of a Telepermit for any item of terminal equipment indicates only that Telecom has accepted that the item complies with minimum conditions for connection to its network. It indicates no endorsement of the product by Telecom, nor does it provide any sort of warranty. Above all, it provides no assurance that any item will work correctly in all respects with another item of Telepermitted equipment of a different make or model, nor does it imply that any product is compatible with all of Telecom's network services.

This equipment may not provide for the effective hand-over of a call to another device connected to the same line.

This equipment shall not be set up to make automatic calls to the Telecom "111" Emergency Service.

This product has not been tested to ensure compatibility with the FaxAbility distinctive ring service for New Zealand.

Additional FCC statement for telecom products (US)

This equipment complies with Part 68 of the FCC rules and the requirements adopted by the ACTA. On the rear (or bottom) of this equipment is a label that contains, among other information, a product identifier in the format US:AAAEQ##TXXXX. If requested, this number must be provided to the telephone company.

Applicable connector jack Universal Service Order Codes ("USOC") for the Equipment is: RJ-11C.

A plug and jack used to connect this equipment to the premises wiring and telephone network must comply with the applicable FCC Part 68 rules and requirements adopted by the ACTA. A compliant telephone cord and modular plug is provided with this product. It is designed to be connected to a compatible modular jack that is also compliant. See installation instructions for details.

The REN is used to determine the number of devices that may be connected to a telephone line. Excessive RENs on a telephone line may result in the devices not ringing in response to an incoming call. In most but not all areas, the sum of RENs should not exceed five (5.0). To be certain of the number of devices that may be connected to a line, as determined by the total RENs, contact the local telephone company. For products approved after July 23, 2001, the REN for this product is part of the product identifier that has the format US:AAAEQ##TXXXX. The digits represented by ## are the REN without a decimal point (e.g., 00 is a REN of 0.0).

If this equipment causes harm to the telephone network, the telephone company will notify you in advance that temporary discontinuance of service may be required. But if advance notice isn't practical, the telephone company will notify the customer as soon as possible. Also, you will be advised of your right to file a complaint with the FCC if you believe it is necessary.

The telephone company may make changes in its facilities, equipment, operations or procedures that could affect the operation of the equipment. If this happens the telephone company will provide advance notice in order for you to make necessary modifications to maintain uninterrupted service.

If trouble is experienced with this equipment, please contact the manufacturer, or look elsewhere in this manual, for repair or warranty information. If the equipment is causing harm to the telephone network, the telephone company may request that you disconnect the equipment until the problem is resolved.

Connection to party line service is subject to state tariffs. Contact the state public utility commission, public service commission or corporation commission for information.

⚠ 注意 : If your home has specially wired alarm equipment connected to the telephone line, ensure the installation of this equipment does not disable your alarm equipment. If you have questions about what will disable alarm equipment, consult your telephone company or a qualified installer.

WHEN PROGRAMMING EMERGENCY NUMBERS AND(OR) MAKING TEST CALLS TO EMERGENCY NUMBERS:

- Remain on the line and briefly explain to the dispatcher the reason for the call.
- Perform such activities in the off-peak hours, such as early morning or late evening.

 **注記：** The FCC hearing aid compatibility rules for telephones are not applicable to this equipment.

The Telephone Consumer Protection Act of 1991 makes it unlawful for any person to use a computer or other electronic device, including FAX machines, to send any message unless such message clearly contains in a margin at the top or bottom of each transmitted page or on the first page of the transmission, the date and time it is sent and an identification of the business or other entity, or other individual sending the message and the telephone number of the sending machine or such business, other entity, or individual. (The telephone number provided may not be a 900 number or any other number for which charges exceed local or long-distance transmission charges.)

In order to program this information into your FAX machine, you should complete the steps described in the software.

Telephone Consumer Protection Act (US)

The Telephone Consumer Protection Act of 1991 makes it unlawful for any person to use a computer or other electronic device, including fax machines, to send any message unless such message clearly contains, in a margin at the top or bottom of each transmitted page or on the first page of the transmission, the date and time it is sent and an identification of the business, other entity, or individual sending the message and the telephone number of the sending machine or such business, or other entity, or individual. (The telephone number provided cannot be a 900 number or any other number for which charges exceed local or long distance transmission charges).

Industry Canada CS-03 requirements

Notice: The Industry Canada label identifies certified equipment. This certification means the equipment meets certain telecommunications network protective, operational, and safety requirements as prescribed in the appropriate Terminal Equipment Technical Requirement document(s). The Department does not guarantee the equipment will operate to the user's satisfaction. Before installing this equipment, users should ensure that it is permissible for the equipment to be connected to the facilities of the local telecommunications company. The equipment must also be installed using an acceptable method of connection. The customer should be aware that compliance with the above conditions may not prevent degradation of service in some situations. Repairs to certified equipment should be coordinated by a representative designated by the supplier. Any repairs or alterations made by the user to this equipment, or equipment malfunctions, may give the telecommunications company cause to request the user to disconnect the equipment. Users should ensure for their own protection that the electrical ground connections of the power utility, telephone lines, and internal metallic water pipe system, if present, are connected together. This precaution can be particularly important in rural areas.

⚠ 注意: Users should not attempt to make such connections themselves, but should contact the appropriate electric inspection authority, or electrician, as appropriate. The Ringer Equivalence Number (REN) of this device is 0.0.

Notice: The Ringer Equivalence Number (REN) assigned to each terminal device provides an indication of the maximum number of terminals allowed to be connected to a telephone interface. The termination on an interface may consist of any combination of devices subject only to the requirement that the sum of the Ringer Equivalence Number of all the devices does not exceed five (5.0). The standard connecting arrangement code (telephone jack type) for equipment with direct connections to the telephone network is CA11A.

Note à l' attention des utilisateurs du réseau téléphonique Canadien/ notice to users of the Canadian telephone network

Cet appareil est conforme aux spécifications techniques des équipements terminaux d' Industrie Canada. Le numéro d' enregistrement atteste de la conformité de l' appareil. L' abréviation IC qui précède le numéro d' enregistrement indique que l' enregistrement a été effectué dans le cadre d' une Déclaration de conformité stipulant que les spécifications techniques d' Industrie Canada ont été respectées. Néanmoins, cette abréviation ne signifie en aucun cas que l' appareil a été validé par Industrie Canada. Pour leur propre sécurité, les utilisateurs doivent s' assurer que les prises électriques reliées à la terre de la source d' alimentation, des lignes téléphoniques et du circuit métallique d' alimentation en eau sont, le cas échéant, branchées les unes aux autres. Cette précaution est particulièrement importante dans les zones rurales. Le numéro REN (Ringer Equivalence Number) attribué à chaque appareil terminal fournit une indication sur le nombre maximal de terminaux qui peuvent être connectés à une interface téléphonique. La terminaison d' une interface peut se composer de n' importe quelle combinaison d' appareils, à condition que le total des numéros REN ne dépasse pas 5.

Basé sur les résultats de tests FCC Partie 68, le numéro REN de ce produit est 0.0B.

オーストラリアの有線ファクスに関する声明

In Australia the HP device must be connected to the Telecommunications Network through a line cord which meets the requirements of the Technical Standard AS/ACIF S008.

ドイツ電話網ユーザーへの告知

Dieses HP Faxprodukt ist ausschließlich für den Anschluss an das analoge öffentliche Telefonnetz vorgesehen. Stecken Sie den TAE N-Telefonstecker, der im Lieferumfang des Geräts enthalten ist, in eine N-codierte TAE 6-Anschlussdose. Dieses HP Faxprodukt kann als einzelnes Gerät und/oder zusammen (Reihenschaltung) mit anderen zugelassenen Endgeräten verwendet werden.

ベトナムの有線通信における ICTQC で型番認証された製品に対するマーク



ワイヤレス製品の追加規定

FCC 準拠の規定 – 米国

無線周波数放射の影響

⚠ 注意： 本装置から放射される出力は FCC 無線周波数の影響限度をはるかに下回っていますが、通常の動作時に起こりうる人的被害の可能性を最小限に抑える方法で装置を使用してください。

FCC 無線周波数の放射限度を超えないようにするには、通常の動作時にアンテナを人体から 20cm (8 インチ) 以上離して設置してください。

米国およびカナダのユーザー向けの通知

⚠ 注意： When using IEEE 802.11a wireless LAN, this product is restricted to indoor use, due to its operation in the 5.15- to 5.25-GHz frequency range. The FCC/Industry Canada requires this product to be used indoors for the frequency range of 5.15 GHz to 5.25 GHz to reduce the potential for harmful interference to co-channel mobile satellite systems. High-power radar is allocated as the primary user of the 5.25- to 5.35-GHz and 5.65- to 5.85-GHz bands. These radar stations can cause interference with and/or damage to this device.

オーストラリアの規定

本装置には、無線転送 (ワイヤレス) 装置が搭載されています。無線障害波の影響から身体を守るため、本装置は、頭部、首、胴体から 20cm 以上離して利用することを推奨します。

ブラジル ANATEL 規定

Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito à proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário (Res. ANTEL 282/2001).

カナダの規定

Under Industry Canada regulations, this radio transmitter may only operate using an antenna of a type and maximum (or lesser) gain approved for the transmitter by Industry Canada. To reduce potential radio interference to other users, the antenna type and its gain should be so

chosen that the equivalent isotropically radiated power (e.i.r.p.) is not more than that necessary for successful communication.

This device complies with Industry Canada licence-exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

⚠ 警告! Exposure to Radio Frequency Radiation The radiated output power of this device is below the Industry Canada radio frequency exposure limits. Nevertheless, the device should be used in such a manner that the potential for human contact is minimized during normal operation.

To avoid the possibility of exceeding the Industry Canada radio frequency exposure limits, human proximity to the antennas should not be less than 20 cm (8 inches).

日本の規定

この機器は技術基準適合証明又は工事設計認証を受けた無線設備を搭載しています。

韓國の規定

당해 무선설비는 운용 중 전파혼선 가능성이 있음

台灣の規定

低功率電波輻射性電機管理辦法

第十二條 經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。

第十四條 低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。
前項合法通信，指依電信法規定作業之無線電通信。
低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

メキシコの規定

Aviso para los usuarios de México

La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones: (1) es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y (2) este equipo o dispositivo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada. Para saber el modelo de la tarjeta inalámbrica utilizada, revise la etiqueta regulatoria de la impresora.

匿名の使用状況情報の保存

本プリンターで使用される HP カートリッジには、プリンターの動作を補助するためのメモリ チップが搭載されています。

また、このメモリ チップはプリンターの使用状況についての匿名情報を一部、保存します。保存される情報は、カートリッジを最初に装着した日付、カートリッジを最後に使用した日付、そのカートリッジで印刷したページ数、ページ カバレッジ、印刷の頻度、使用した印刷モード、発生した印刷エラー、プリンター モデルなどです。

HP は、これらの情報をお客様の印刷ニーズに合ったプリンターの開発に役立てています。カートリッジのメモリ チップから収集されたデータには、カートリッジやプリンターのお客様やユーザーの特定に利用可能な情報は含まれていません。

HP では、HP が無料で行っている製品回収およびリサイクル プログラム (HP Planet Partners : www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment/recycle/) に返却されたカートリッジからメモリ チップのサンプル内容を収集します。このサンプリングから得られたメモリ チップは、今後の HP プリンター改良のために読み取られ、研究されます。このカートリッジのリサイクルを補助する HP パートナーも同様に、このデータにアクセスできる場合があります。

カートリッジを保有する任意の第三者が、メモリ チップ上の匿名情報にアクセスする可能性もあります。この情報へのアクセスを希望されない場合、チップを動作不能にすることもできます。ただし、メモリ チップを動作不能にした後で、そのカートリッジを HP プリンターに使用することはできません。

この匿名情報の提供に懸念がある場合は、プリンターの使用状況情報を収集するメモリ チップの機能をオフにして、この情報にアクセスできないようにすることができます。

使用情報機能を無効にするには

1. プリンターのコントロール パネルで **【セットアップ】** をタッチします。
2. **【基本設定】** を選択し、**【カートリッジ チップ情報】** を選択します。
3. **【OK】** をタッチして使用状況情報の収集をオフにします。

 **注記：** 使用情報機能を再度有効にするには、出荷時のデフォルト設定を復元します。

 **注記：** メモリ チップのプリンター使用情報を回収する機能をオフにしても、引き続き HP プリンターでそのカートリッジを使用することができます。

F 操作

- [29 ページの「接続」](#)
- [37 ページの「Windows での製品の使用」](#)
- [43 ページの「Mac でのプリンターの使用」](#)
- [49 ページの「用紙および印刷メディア」](#)
- [61 ページの「インク カートリッジ」](#)
- [71 ページの「印刷」](#)
- [99 ページの「カラー」](#)
- [105 ページの「コピー」](#)
- [115 ページの「スキャン」](#)
- [123 ページの「ファクス」](#)
- [165 ページの「管理とメンテナンス」](#)
- [179 ページの「問題の解決」](#)

索引

記号/数字

- [コピー] メニュー 13
- [レポート] メニュー 26
- 1 枚の用紙に印刷するページ数 81
- 1 枚の用紙に印刷するページ数 選択 (Windows の場合) 77
- 1 枚の用紙に印刷する複数ページ 81
- 1 枚の用紙に複数ページ 印刷 (Windows の場合) 77

A

AirPrint 93

D

- dpi (インチあたりのドット数)
 - スキャン 118
 - ファクス 128
- DSL
 - ファクス送信 134

E

- Ethernet ポート
 - 位置 6, 7

H

- HP Easy Color
 - 使用 101
 - 無効 101
- HP ePrint
 - 説明 34
- HP ePrint Mobile ドライバ 92
- HP ePrint、使用 91
- HP Utility 44
- HP Utility、Mac 43
- HP Web Jetadmin 171
- HP Web サービス、有効化 91
- HP カスタマ ケア 179, 225
- HP 製以外のサプライ品 63
- HP デジタルソリューションのセッティングメニュー 22
- HP 内蔵 Web サーバー 41

- HP 不正品 Web サイト 63
- HP ユニバーサル プリンタ ドライバ 38

I

- ID カード
 - コピー 107
- IPv4 アドレス 33
- IP アドレス
 - 取得 31
- ISDN
 - ファクス送信 134

J

Jetadmin、HP Web 171

M

- Mac
 - HP Utility 44
 - TWAIN 対応ソフトウェアからスキャン 116
 - ソフトウェアの削除 45
 - 対応オペレーティング システム 43
 - ドライバ設定 45, 80
 - ファクス送信 46
 - 問題、トラブルシューティング 216
 - 用紙タイプとサイズの変更 91
- Macintosh
 - サポート 179, 225
 - 文書のサイズ変更 91
- Macintosh ドライバ設定
 - 透かし 91
- Macintosh ドライバ設定
 - カスタム用紙サイズ 91
- Mac ソフトウェアのアンインストール 45
- Mac ソフトウェアの削除 45

N

- N-UP 印刷 81
 - 選択 (Windows の場合) 77

O

OCR ソフトウェア 117

P

- PBX
 - ファクス送信 134
- PCL6 フォント リスト 27
- PCL ドライバ 37
- PCL ドライバ
 - ユニバーサル 38
- PCL フォント リスト 27
- ppi (インチあたりのピクセル数)、スキャンの解像度 118
- PS エミュレーション ドライバ 37
- PS フォント リスト 27

R

Readiris OCR ソフトウェア 117

T

- TCP/IP
 - IPv4 パラメータの手動設定 33
- TWAIN 対応ソフトウェア、使用してスキャン 116

U

- USB ケーブル、製品番号 219
- USB 構成 29
- USB ストレージ アクセサリ
 - 印刷元 96
- USB ポート
 - 位置 6, 7

V

- V.34 設定 151
- VoIP
 - ファクス送信 135

W

- Web 印刷
 - HP ePrint 34

- Web サイト
 - Macintosh カスタマ サポート 179, 225
 - 化学物質安全性データシート (MSDS) 234
 - カスタマ サポート 179, 225
 - ユニバーサル プリンタ ドライバ 38
 - Web サイト
 - HP Web Jetadmin、ダウンロード 171
 - サプライ品の注文 219
 - 不正品レポート 63
 - WIA 対応ソフトウェア、使用してスキャン 116
 - Windows
 - TWAIN または WIA ソフトウェアからスキャン 116
 - サポート対象のドライバ 37
 - ソフトウェア コンポーネント 37, 41
 - 対応オペレーティングシステム 37
 - ドライバの設定 39
 - ファクスの送信 140
 - ユニバーサル プリンタ ドライバ 38
 - Windows ソフトウェアのアンインストール 41
 - Windows ソフトウェアの削除 41
 - WPS
 - ワイヤレス ネットワークの設定 35
- あ**
- 明るさ、スキャン 119
 - アクセサリ
 - 注文 219
- い**
- 一般オフィス設定 63, 174
 - 色あせおよび水濡れに強い印刷 103
 - インク カートリッジ
 - HP 製以外 63
 - 交換 64
 - 損傷の確認 202
- 部品番号 61, 219
 - 保管 63
 - 印刷カートリッジ
 - リサイクル 63
 - 印刷ジョブ
 - キャンセル (Windows) 83
 - キャンセル 90
 - 印刷品質ページ
 - 意味 67, 201
 - 印刷 67, 201
 - 印刷品質
 - 改善 197
 - 向上 (Windows の場合) 75
 - 印刷品質
 - 改善 196
 - 印刷メディア
 - 対応している 50
 - 印刷
 - 設定 (Mac の場合) 80
 - 設定 (Windows の場合) 71
 - 印刷
 - USB ストレージ アクセサリから 96
 - 最小マージン 111
 - インストール
 - ソフトウェア、USB 接続 29
 - インタフェース ポート
 - 位置 6, 7
 - インチあたりのドット数 (dpi)
 - ファクス 128
 - インチあたりのピクセル数 (ppi)、スキャンの解像度 118
- う**
- 薄い/濃い、スキャン 119
 - 薄さ
 - コピーのコントラスト 111
 - ファクスの濃淡 128
- え**
- エコノミー設定 174
 - エラー
 - ソフトウェア 215
 - エラー修正の設定、ファクス 151
 - エラー メッセージ、ファクス 144, 151, 157
 - エラー レポート、ファクス
 - 印刷 150
- お**
- 応答するまでの呼び出し回数の設定 130
 - 温度仕様
 - 環境 228
 - オンライン サポート 179, 225
 - オンライン ヘルプ、コントロールパネル 11
 - 音量、調整 132
- か**
- カートリッジ
 - HP 製以外 63
 - 交換 64
 - 保管 63
 - リサイクル 230
 - 解決
 - USB 直接接続の問題 209
 - ネットワークに関する問題 209
 - ファクスの問題 151
 - プラグアンドプリント USB ドライブ印刷の問題 207
 - 外線
 - ダイヤル局番 126
 - ポーズ、挿入する 126
 - 解像度
 - スキャン 118
 - ファクス 128
 - 化学物質安全性データシート (MSDS) 234
 - 拡大/縮小、ドキュメント
 - コピー 108
 - 稼動音仕様 227
 - カスタマ サポート
 - オンライン 179, 225
 - カスタム サイズ コピー 108
 - カスタム用紙サイズの設定
 - Macintosh 91
 - 紙詰まり
 - 原因 183
 - 場所 183
 - 文書フィーダ、クリーニング 184
 - 用紙経路、除去 192
 - 紙詰まり
 - 排紙ビン、除去 193
 - カラー オプション
 - 設定 (Windows の場合) 79

カラー オプション
 HP EasyColor (Windows の場合) 101
カラー 102
 ColorIok テクノロジー 103
 管理 99
 使用 99
 マッチング 102
カラーのマッチング 102
カラー、スキャンの設定 118, 119
ガラス、クリーニング 109, 119, 176
カラー
 グレースケールでの印刷 (Windows の場合) 83
 調整 99, 197
[カラー] タブの設定 81
環境仕様 228
環境への配慮 4
韓国語 EMC ステートメント 238
カートリッジ
 リサイクル 63

き
偽造サプライ品 63
偽造防止サプライ品 63
機能 2
キャンセル
 印刷ジョブ 83, 90
 コピー ジョブ 108
 スキャン ジョブ 117
 ファクス 133
給紙トレイ
 位置 5
 セット 55
局番、ダイヤル 126

く
クリーニング
 ガラス 109, 119, 176
 タッチ スクリーン 178
 プリントヘッド 175
 用紙経路 203
グループ ダイヤル エントリ
 作成 126
 編集する 126
グレースケール
 印刷 (Windows の場合) 83

け
警告 iii
ゲートウェイ、デフォルトの設定 33

こ
光学文字認識ソフトウェア 117
濃さ設定
 ファクス 128
濃さ、コントラスト設定
 コピー 111
コピー
 拡大 108
 キャンセル 108
 コントラスト、調整 111
 最小マージン 111
 写真 112
 縮小 108
 丁合い 109
 濃淡設定 111
 複数コピー 106
 用紙設定 112
 両面 114
 ワンタッチ 105
コピー
 品質、向上 205
コピーの丁合い 109
コントラスト設定
 コピー 111
コントロール パネル
 [レポート] メニュー 26
 クリーニング ページ、印刷 175
 タッチ スクリーンのクリーニング 178
 ヘルプ 11
 ホーム画面 10
 ボタンとランプ 8
 メニュー 17
コントロール パネル
 設定 39, 44

さ
サービス メニュー 26
最後のページ
 異なる用紙に印刷する (Windows の場合) 85
最小マージン印刷 111

最初のページ
 異なる用紙に印刷する (Windows の場合) 85
 別の用紙の使用 80
サイズ 227
サイズ調整、ドキュメント
 コピー 108
サイズ、コピー
 縮小または拡大 108
サイズ、メディア
 用紙の大きさに合わせる設定、ファクス 132
材料の制限 232
サブネット マスク 33
サプライ品
 HP 製以外 63
 偽造 63
 ステータス、HP Utility による表示 44
 注文 219
 リサイクル 230
サプライ品
 リサイクル 63
サプライ品のリサイクル 63
サプライ品の注文
 Web サイト 219
サポート
 オンライン 179, 225

し
仕様
 電気および稼働音 227
湿度仕様
 環境 228
自動縮小設定、ファクス 132
写真
 コピー 112
 スキャン 120
重量 227
出荷時のデフォルト設定への復元 182
出荷時のデフォルト設定、復元 182
手動ファクス
 送信 142
取得
 IP アドレス 31
使用可能なメディア 50
使用許諾、ソフトウェア 222

詳細設定
ファクス 19
仕様
環境 228
物理的 227
ショートカット (Windows の場合)
作成 73
使用 72
シリアル番号、位置 7

す

水銀を含まない製品 232
透かし 91
追加 (Windows の場合) 88
スキャナ
ガラスのクリーニング 109, 119, 176
ガラスのクリーニング 205
スキャン
Mac ソフトウェアから 47
スキャン
OCR ソフトウェア 117
TWAIN 対応ソフトウェア 116
WIA 対応ソフトウェア 116
解像度 118
カラー 118
キャンセル 117
グレースケール 119
写真 120
調整 119
方法 115
スキャン メニュー 15
ステータス
HP Utility、Mac 44
ホーム画面、コントロール パネル 10
寸法 227

せ

製品概要 2
製品
シリアル番号、位置 7
モデル比較 1
接続
USB 29
解決、問題 209

設定
ドライバ (Mac の場合) 45
ドライバ プリセット (Mac の場合) 80
優先度 39, 44
設定
出荷時のデフォルト設定、復元 182
ドライバ 39

そ

ソフトウェア
インストール、有線ネットワーク 31
設定 39, 44
ソフトウェア使用許諾説明書 222
ファクスの送信 139
ソフトウェア
HP Utility 44
Mac のアンインストール 45
Readiris Pro OCR 117
TWAIN または WIA からスキャン 116
Windows 41
Windows コンポーネント 37
アンインストール (Windows) 41
インストール、USB 接続 29
内蔵 Web サーバー 41
対応オペレーティング システム 37, 43
問題 215

た

対応オペレーティング システム 37, 43
待機
無効化 175
有効化 175
ダイヤル
局番、挿入する 126
自動的にリダイヤルする、設定 127
電話から 140
トーンまたはパルスの設定 127
ポーズ、挿入する 126
ダイヤル モニタリング 142

耐用期間経過後の廃棄 232
タッチ スクリーン、クリーニング 178
縦方向
選択、Windows 78
短縮ダイヤルのエントリ
作成 125
編集する 125
短縮ダイヤル
プログラミング 138

ち

小さい文書
コピー 107
チェックリスト
ファクスのトラブルシューティング 143
注意 iii
注記 iii
注文
サプライ品とアクセサリ 219

つ

通話中信号、リダイヤル オプション 127

て

テクニカル サポート
オンライン 179, 225
電気仕様 227
デバイス セットアップ メニュー 22
デフォルト ゲートウェイ、設定 33
デフォルト、戻す 182
電子的にファクス
送信 139
電子メール、スキャンする
解像度設定 118
電力
消費 227
電話帳、ファクス
エントリを追加する 138
電話、着信用
ファクスの送信元 140
電話
からのファクスの受信 143

と

- ドア リリース、位置 5
- 動作環境、仕様 228
- トーン ダイアル 127
- ドキュメントの拡大
 - コピー 108
- ドキュメントの縮小
 - コピー 108
- 特殊用紙
 - 印刷 (Windows) 83
- 特徴のある呼び出しの設定 131
- ドライバ
 - サポート対象 (Windows の場合) 37
 - 設定の変更 (Windows の場合) 39
- ドライバ
 - 設定 (Mac の場合) 80
 - 設定 (Windows の場合) 71
 - 設定の変更 (Mac の場合) 45
 - 設定 39
 - プリセット (Mac の場合) 80
 - ユニバーサル 38
 - 用紙タイプとサイズの変更 50
- トラブルシューティング
 - USB 直接接続の問題 209
 - チェックリスト 179
 - ファクス エラー修正の設定 151
 - ファクス送信 151
 - ファクスの受信 157
 - ファクス 143
 - プラグアンドプリント USB ドライブ印刷の問題 207
 - 用紙送りに関する問題 182
- トラブルシューティング
 - Mac に関する問題 216
- トラブルの解決
 - 紙詰まり 183
 - ネットワークに関する問題 209
- 取り替え
 - インク カートリッジ 64
- インストール
 - ソフトウェア、有線ネットワーク 31
- 取り付け
 - 有線ネットワークへのプリンターの取り付け 30

トレイ

- 紙詰まり、除去 186
- トレイ 2
 - 紙詰まり、除去 189
- トレイ 2
 - 紙詰まり、除去 190
- トレイ 3
 - 製品番号 219
- トレイ
 - 紙詰まり、除去 189
 - 選択 (Windows の場合) 76
 - デフォルトの用紙サイズ 58
- トレイ
 - 位置 5
 - 紙詰まり、除去 190

な

- 内線電話
 - ファクスの送信元 140
- 内蔵 Web サーバー (EWS)
 - 機能 166

に

- 二重通信設定、変更 33
- 日本 VCCI 規格 238

ね

- ネットワーク設定メニュー 20
- ネットワーク
 - HP Web Jetadmin 171
 - IPv4 アドレス 33
 - サブネット マスク 33
 - 設定 20
 - デフォルト ゲートウェイ 33
- ネットワーク、有線
 - プリンターの取り付け 30
- ネットワーク
 - 設定、表示 32
 - 設定、変更 32
 - パスワード、設定 32
 - パスワード、変更 32
- ネットワークの管理 32

の

- 濃淡設定
 - ファクス 128

は

- 廃棄物処理 233

廃棄、耐用期間経過後 232

- 排紙ビン
 - 位置 5
- 排紙ビン
 - 紙詰まり、除去 193
- パルス ダイアル 127

ひ

- 比較、製品モデル 1
- 左のドア
 - 紙詰まり、除去 192
- 表紙
 - 印刷 (Mac の場合) 80
 - 異なる用紙に印刷する (Windows の場合) 85
- ヒント iii
- ビン、排紙
 - 位置 5
- ビン、排紙
 - 紙詰まり、除去 193

ふ

- ファイアウォール 34
- ファクス送信
 - コンピュータ (Mac) から送信 46, 139
 - コンピュータ (Windows) から送信 139
- ファクス送信を遅らせる 141
- ファクスの再印刷 143
- ファクスの時刻、設定
 - HP ファクス設定ウィザードの使用 124
 - コントロール パネルの使用 123
- ファクスの受信
 - エラー レポート、印刷 150
 - 応答するまでの呼び出し回数の設定 130
 - 再印刷 143
 - 自動縮小設定 132
 - 受信スタンプの設定 132
 - ファクス トーンが聞こえるとき 143
 - ブロック 130
 - ポーリング 132
 - 呼び出しパターン、設定 131
- ファクスの送信
 - ダイアル モニタリング 142

- ファクスの送信
 - エラー レポート、印刷 150
 - 遅らせる 141
 - 確認 140
 - キャンセル 133
 - 着信用電話から 140
 - 転送 129
 - ファクスの転送 129
 - ファクスのトラブルシューティング
 - チェックリスト 143
 - ファクスの日付、設定
 - HP ファクス設定ウィザードの使用 124
 - コントロール パネルの使用 123
 - ファクスのブロック 130
 - ファクス番号のブロック解除 130
 - ファクス
 - ダイヤル モニタリング 142
 - ファクス
 - DSL、PBX、または ISDN の使用 134
 - V.34 設定 151
 - VoIP の使用 135
 - 一般的な問題の解決 161
 - 印刷 142
 - エラー修正 151
 - エラー レポート、印刷 150
 - 応答するまでの呼び出し回数 130
 - 音量設定 132
 - 解像度 128
 - キャンセル 133
 - コントラスト設定 128
 - 自動縮小 132
 - 受信スタンプ 132
 - 受信できない 157
 - 出荷時のデフォルト設定、復元 182
 - 送信できない 151
 - 送信を遅らせる 141
 - ダイヤル局番 126
 - ダイヤル、トーンまたはパルス 127
 - 短縮ダイヤル 138
 - 転送 129
 - 電話から送信する 140
 - 番号を確認する 140
 - ファクス トーンが聞こえると
きに受信する 143
 - ブロック 130
 - ポーズ、挿入する 126
 - ポーリング 132
 - メモリから再印刷する 143
 - メモリから削除する 135
 - 呼び出しタイプ 19
 - 呼び出しパターン 131
 - リダイヤル設定 127
 - レポート 20
 - ファクス ヘッダー、設定
 - HP ファクス設定ウィザードの使用 124
 - コントロール パネルの使用 123
 - ファクス ポート、位置 6, 7
 - ファクス メニュー 15
 - ファクス レポート、印刷 20
 - ファクスの送信
 - ソフトウェアから送信 139
 - ファクス
 - ソフトウェアから送信 139
 - フォント
 - リスト、印刷 27
 - 部数、変更 106
 - 部数
 - 印刷部数の変更 (Windows の場合) 72
 - 不正品対策 Web サイト 63
 - 付属のバッテリー 232
 - ブックレット
 - 作成 (Windows の場合) 88
 - 物理的仕様 227
 - プラグアンドプリント USB ドライブ印刷 96
 - プリセット (Mac の場合) 80
 - プリンター ドライバ (Windows の場合)
 - 設定の変更 39
 - 対応 37
 - プリンタ ドライバ (Mac の場合)
 - 設定の変更 45
 - 設定 80
 - プリンタ ドライバ (Windows の場合)
 - 設定 71
 - プリンタ ドライバ
 - ワイヤレス ネットワークの設定 35
 - プリンタ ドライバ
 - 選択 204
 - プリンタ ドライバを開く (Windows の場合) 71
 - プリント カートリッジ
 - ドア リリース、位置 5
 - リサイクル 230
 - プロトコル設定、ファクス 151
 - 文書サイズの変更
 - Windows 87
 - 文書の拡大縮小
 - Windows 87
 - 文書の拡大縮小
 - Macintosh 91
 - 文書のサイズ変更
 - Macintosh 91
 - 文書フィーダ
 - 位置 5
 - 紙詰まり 184
 - セット 57
- へ
- ヘルプ
 - 印刷オプション (Windows の場合) 72
 - ヘルプ、コントロール パネル 11
- ほ
- ポーズ、挿入する 126
 - ポート
 - 位置 6, 7
 - ホームガメン、コントロールパネル 10
 - ポーリング、ファクス 132
 - 保管
 - インク カートリッジ 63
 - 環境仕様 228
 - 保証
 - 使用許諾 222
 - 製品 221
- ま
- マニュアルのマーク iii

マーク、マニュアル iii

む

向き

選択、Windows 78

め

メディア

対応サイズ 50

メディア

1 枚の用紙に印刷するページ
数 81

最初のページ 80

メディア

カスタムサイズ、Macintosh の
設定 91

メニュー

HP デジタル ソリューション
のセットアップ 22

コピー 13

コントロール パネル、アクセ
ス 17

サービス 26

スキャン 15

デバイス セットアップ 22

ネットワーク設定 20

ファクス設定 17

ファクス 15

メニュー、コントロール パネル

レポート 26

メモリからファクスを削除する
135

メモリ

ファクスの再印刷 143

ファクスの削除 135

も

モデル

番号、位置 7

比較 1

モデル、機能概要 2

問題の解決

ファクス 161

問題解決

印刷されない 206

印刷速度が遅い 207

ゆ

優先度、設定 39, 44

ユニバーサル プリンタ ドライ
バ 38

ユーザー定義の印刷設定
(Windows の場合) 72

よ

用紙経路

紙詰まり、除去 192

用紙サイズ

カスタムの選択 75

選択 75

文書を用紙サイズに合わせて拡
大縮小 (Windows) 87

変更 50

用紙タイプ

選択 76

変更 50, 197

用紙の大きさに合わせる設定、ファ
クス 132

用紙のセット

給紙トレイ 55

用紙のピックアップに関する問題

解決 182, 183

用紙、注文 219

用紙、特殊

印刷 (Windows の場合) 83

用紙

1 枚の用紙に印刷するページ
数 81

最初と最後のページ、異なる用
紙の使用 85

最初のページ 80

トレイのデフォルトのサイズ
58

表紙、異なる用紙の使用 85

用紙

カスタム サイズ、Macintosh の
設定 91

紙詰まり 183

コピー設定 112

サポートされているサイズ 50

ファクス自動縮小設定 132

選択 200

横方向

選択、Windows 78

呼び出しトーン

特有 131

呼び出しパターン 131

ら

ラベル

印刷 (Windows) 83

り

リサイクル

HP 印刷サプライ品回収および
環境プログラム 231

リサイクル 4, 230

リダイヤル

自動、設定 127

両面印刷

設定 (Windows の場合) 76

両面に印刷する

設定 (Windows の場合) 76

リンク速度設定 33

る

留守番電話機、接続

ファクス設定 130

れ

レポート

PCL フォント リスト 166

PS フォント リスト 166

イベント ログ 166

ネットワーク設定ページ 166

品質レポート 165

ファクス 20

プリンタ ステータス レポー
ト 165

レポート、ファクス

エラー 150

ろ

ログ、ファクス

エラー 150

わ

ワイヤレス セットアップ ウィザ
ード

ワイヤレス ネットワークの設
定 34

ワイヤレス ネットワーク接続
34

ワイヤレス ネットワークへの接
続 34

- ワイヤレス ネットワーク
 - WPS での設定 35
 - セットアップ ウィザードを使用した設定 34
- ワイヤレス ネットワーク
 - ドライバのインストール 35
- ワイヤレス
 - 設定 21

